

HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one

ユーザガイド

HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one

ユーザー ガイド

出版番号：Q3450-90237

Second edition

注意

HP 製品およびサービスに適用される保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明記されています。本書の記載事項を追加保証として解釈してはなりません。HP は本書の内容に関する技術上または編集上の誤記または脱落について責任を負わないものとします。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

ご注意： 規制情報は本ガイドの「技術情報」という章に記載されています。

多くの地域において、次の物のコピーを作成することは法律で禁じられています。疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書：
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙：
  郵便切手
  食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- 紙幣、トラベラーズ チェック、郵便為替
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

安全に関する情報

警告　発火や感電を防止するために、本製品を雨やその他の水分にさらさないよう注意してください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。

警告　感電の危険性があります

1 セットアップ ポスターに記述されている指示すべてをお読みの上、内容を理解するようにしてください。
2 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。
6 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。
7 だれかが電源コードを踏みつけたりつまずいたりすることのない、また電源コードが損傷することのない、安全な場所に本製品を設置してください。
8 本製品が正常に動作しない場合については、オンライン ヘルプのトラブルシューティングの章を参照してください。
9 お客様ご自身で分解修理しないでください。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
10 風通しのよいところでご使用ください。

警告　この装置は、主電源の供給が停止したときには動作しません。

目次

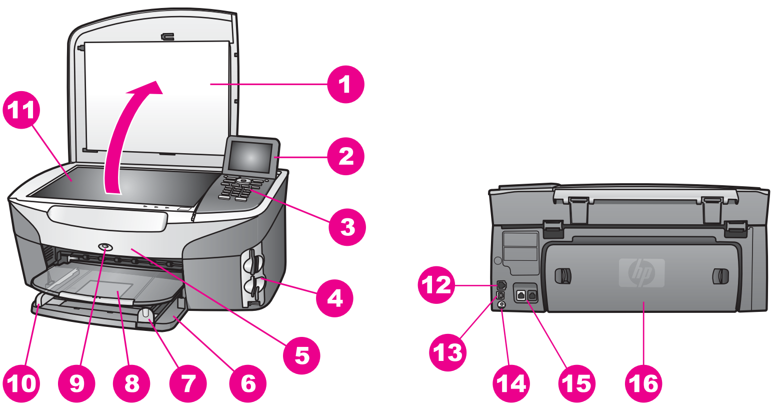
1 HP all-in-one の概要

ほとんどの HP all-in-one の機能は、コンピュータに接続しなくても使用できます。コピー、ファクスの送信、メモリ カードからの写真の印刷などのジョブは、HP all-in-one 上で簡単かつすぐに実行できます。ここでは、HP all-in-one のハードウェアの機能、コントロール パネルの機能、および「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの利用方法について説明します。

注記 HP Photosmart 2600 series および HP Photosmart 2700 series all-in-ones の機能には多少の違いがあります。本書に記載されている機能の一部は、ご購入いただいたモデルに搭載されていないことがあります。

ヒント ご使用のコンピュータに 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアをインストールして使用すると、HP all-in-one をさらに活用することができます。このソフトウェアでは、トラブルシューティングのヒント、製品ごとのヘルプ、高画質コピー、ファクス、スキャン、および写真機能などが利用できます。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 およびHP Image Zone による HP all-in-one のフル活用を参照してください。

HP all-in-one の概要



番号	説明
「**1**」	カバー
「**2**」	カラー グラフィック ディスプレイ
「**3**」	コントロール パネル

(続き)

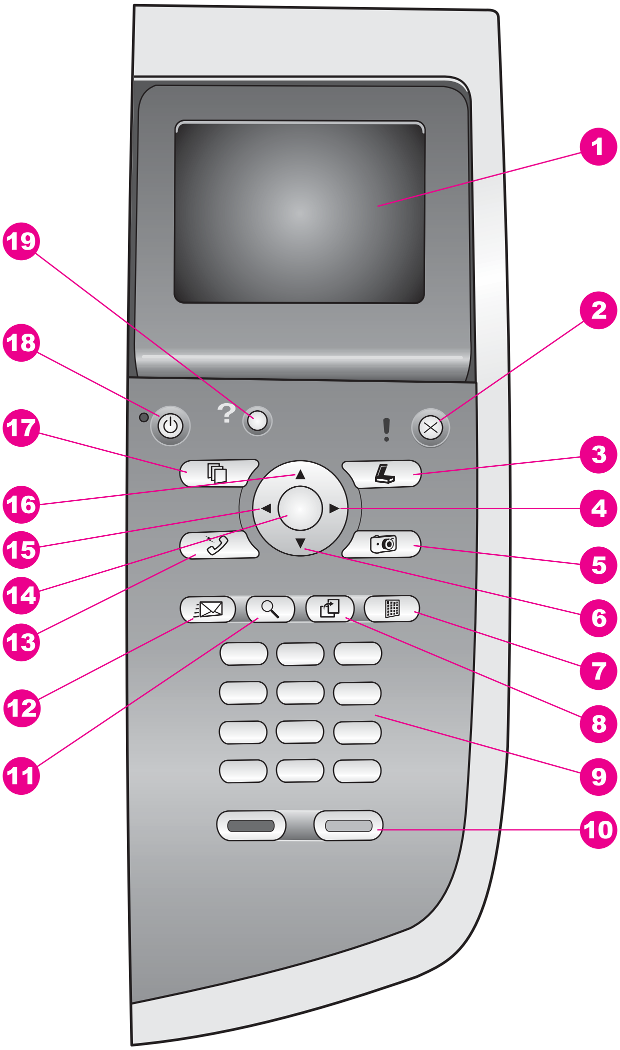
番号	説明
「4」	メモリ カード スロットおよび PictBridge カメラ ポート
「5」	プリント カートリッジ アクセス ドア
「6」	給紙トレイ
「7」	縦方向の用紙ガイド
「8」	排紙トレイ
「9」	802.11b および 802.11g ワイヤレス ON インジケータ (HP Photosmart 2700 series all-in-one のみ)
「10」	横方向の用紙ガイド
「11」	ガラス板
「12」	Ethernet ポートおよび Ethernet インジケータ
「13」	後部 USB ポート
「14」	電源コネクタ
「15」	ファクス ポート (1 - 電話回線接続用、2 - 電話機接続用)
「16」	後部アクセスドア

注記　HP Photosmart 2700 series all-in-one のワイヤレスはデフォルトではオンです。青色のランプ (ワイヤレス) が点灯して、ワイヤレスの状態を示します。ワイヤレスがオンの場合には、ランプが点灯し続けます。USB ケーブルまたは Ethernet ケーブルで HP all-in-one を接続する場合、ワイヤレスをオフにしてください。ワイヤレスおよび青色のランプをオフにする方法については、HP all-in-one に付属の『ネットワーク ガイド』を参照してください。

コントロール パネルの概要

ここでは、カラー グラフィック ディスプレイのアイコンおよびスクリーンセーバ、コントロール パネルのボタン、ランプ、およびキーパッドの機能について説明します。

コントロール パネルの機能



番号	名前と説明
「1」	「カラー グラフィック ディスプレイ」：メニュー、写真、およびメッセージを表示します。カラー グラフィック ディスプレイは、見やすい位置にくるように角度を調整できます。
「2」	「キャンセル」：ジョブの停止、メニューの終了、設定の終了を行います。

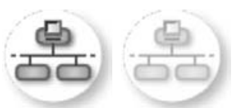
番号	名前と説明
「3」	「**スキャン**」：スキャン機能を選択します。このボタンが点灯しているときは、スキャン機能が選択されています。
「4」	「**右向き矢印**」：値を増やしたり、カラー グラフィック ディスプレイに写真を表示しているとき次に進みます。
「5」	「**フォト**」：フォト機能を選択します。このボタンが点灯しているときは、フォト機能が選択されています。メモリ カードから写真を印刷するときやコンピュータに写真を保存するときはこのボタンを使用してください。
「6」	「**下向き矢印**」：メニュー オプションを下にスクロールします。
「7」	「**フォト シート**」：メモリ カード スロットにメモリ カードが挿入されていると、フォト シートを印刷します。フォト シートには、メモリ カード内のすべての写真のサムネイル ビューが表示されます。 フォト シート上で写真を選択し、そのフォト シートをスキャンすることでその写真を印刷できます。
「8」	「**回転**」：カラー グラフィック ディスプレイに表示している写真の向きを 90 度回転します。続けて押すと、90 度ずつ回転します。 注記　回転はアルバム モードでの印刷にのみ影響を及ぼします。
「9」	「**キーパッド**」：ファクス番号や値、文字を入力します。
「10」	「**スタート - モノクロ**」と「**スタート - カラー**」：モノクロまたはカラーでのコピー、スキャン、ファクス、メモリ カードの印刷ジョブを開始します。
「11」	「**ズーム**」：カラー グラフィック ディスプレイに表示している画像を拡大します。このボタンは、印刷時にトリミング ボックスを調整する場合にも使用できます。
「12」	「**HP Instant Share**」：HP Instant Share の機能を呼び出します。
「13」	「**ファクス**」：ファクス機能を選択します。点灯しているときは、ファクス機能が選択されています。
「14」	「**OK**」：カラー グラフィック ディスプレイに表示、選択されているメニュー、設定、値を確定します。
「15」	「**左向き矢印**」：値を減らしたり、カラー グラフィック ディスプレイに写真を表示したときに前に戻ります。
「16」	「**上向き矢印**」：メニュー オプションを上にスクロールします。

(続き)

番号	名前と説明
「17」	「コピー」 ：コピー機能を選択します。このボタンが点灯しているときは、コピー機能が選択されています。このボタンはデフォルトで点灯しています。
「18」	「On」 ：HP all-in-one の電源をオン/オフにします。HP all-in-one の電源をオフにしていても、本体には必要最小限の電力が供給されています。HP all-in-one への電力供給を完全に遮断するには、電源ケーブルを抜いてください。
「19」	「セットアップ」 ：レポートの印刷やファクス設定、メンテナンスを行うためのメニュー システムと製品のヘルプを呼び出します。

カラー グラフィック ディスプレイのアイコン

カラー グラフィック ディスプレイでは、画面の下部に次のアイコンを表示し、HP all-in-one に関する重要な情報を知らせます。アイコンの中には、HP all-in-one がワイヤレス ネットワークに接続可能な場合にのみ表示されるものがあります。

アイコン	用途
	プリント カートリッジがほとんど空であることを示します。アイコンの下部の色はプリント カートリッジの上部の色に対応しています。たとえば、グリーンのアイコンは上部がグリーンのカートリッジを表します。このカートリッジはカラー プリント カートリッジです。
	アイコンの色に対応するプリント カートリッジのインク残量を示します。このカートリッジは、グレー プリント カートリッジを示しています。
	左 -有線接続されていることを示します。 右 -有線接続されていないことを示します。
	HP all-in-one はワイヤレス ネットワークに接続できますが、現在はワイヤレス ネットワークに接続されていないことを示します。インフラストラクチャ モードでのみ表示されます。(HP Photosmart 2700 series all-in-one のみ)
	アドホック ワイヤレス ネットワークに接続されていることを示します。(HP Photosmart 2700 series all-in-one のみ)

アイコン	用途
	ワイヤレス ネットワーク接続の信号強度を示します。インフラストラクチャ モードでのみ表示されます。(HP Photosmart 2700 series all-in-one のみ)
	HP Instant Share メッセージが受信されたことを示します。
	HP Instant Share はセットアップ済みですが、ポーリングがオフになっていることを示します。
	アダプタが取り付けられており、接続があることを示します。

カラー グラフィック ディスプレイのスクリーン セーバー

カラー グラフィック ディスプレイを操作しない状態が 2 分間続くと、ディスプレイの寿命を延ばすためにディスプレイが暗くなります。操作しない状態がさらに 8 分間 (合計で 10 分間) 続くと、ディスプレイはスクリーン セーバー モードになります。操作しない状態が 60 分間続くと、カラー グラフィック ディスプレイはスリープ状態になり、画面の表示が完全に消えます。コントロール パネルのボタン操作、カバーの持ち上げ、メモリ カードの挿入、接続されているコンピュータからの HP all-in-one の操作、フロント カメラ ポートへのデバイスの接続などを行うと、画面が再び表示されます。

メニューの概要

次の図は、HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイに表示されるメニューの一覧です。

コピー メニュー

コピー メニュー
1. コピー枚数
2. 縮小/拡大
3. トレイ選択
4. 用紙サイズ
5. 用紙の種類
6. コピー品質
7. 薄く/濃く

(続き)

コピー メニュー
8. 強調
9. 色の濃さ
0. 新しいデフォルトの設定

スキャン to メニュー

「スキャン to」 メニューの一覧には、コンピュータにインストールされているアプリケーションなど、スキャン画像の送信先が表示されます。したがって、実際の 「スキャン to」 メニューはここに示されている一覧と異なる場合があります。

スキャン to (USB - Windows)
1. HP Image Zone
2. Microsoft PowerPoint
3. Adobe Photoshop
4. HP Instant Share
5. メモリ カード

スキャン to (USB - Macintosh)
1. JPEG を HP ギャラリへ
2. Microsoft Word
3. Microsoft PowerPoint
4. HP Instant Share
5. メモリ カード

スキャン メニュー

HP all-in-one がネットワークで 1 台以上のコンピュータに接続されている場合、「スキャン メニュー」 では、オプションが表示される前に、接続済みのコンピュータを選択できます。

スキャン メニュー (ネットワーク)
1. コンピュータの選択
2. HP Instant Share
3. メモリ カード

フォト メニュー

HP all-in-one がネットワークで 1 台以上のコンピュータに接続されている場合、「フォト メニュー」 に表示されるオプションは、USB ケーブルで 1 台のコンピュータに接続されている場合とは異なります。

フォト メニュー
1. 印刷オプション
2. 編集
3. コンピュータへ転送
4. スライド ショー
5. HP Instant Share

ファクス メニュー

ファクス メニュー
1. 解像度
2. 薄く/濃く
3. 新しいデフォルトの設定

フォト シート メニュー

フォト シート メニュー
1. フォト シートの印刷
2. フォト シートのスキャン

HP Instant Share メニュー

HP Instant Share
1. 送信
2. 受信
3. HP Instant Share オプション
4. 新しい送信先の追加

セットアップ メニュー

「セットアップ メニュー」 から 「ヘルプ メニュー」 を選択すると、重要なトピックに関するヘルプ項目をすばやく見つけることができます。多くの情

報は、接続されている Windows コンピュータまたは Macintosh コンピュータの画面に表示されます。カラー グラフィック ディスプレイ アイコンに関する情報はカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

セットアップ メニュー
1. ヘルプ メニュー
2. レポートの印刷
3. 短縮ダイヤルの設定
4. ファクスの基本設定
5. ファクスの詳細設定
6. ツール
7. プリファレンス
8. ネットワーク
9. HP Instant Share
0. Bluetooth

「HP Image Zone」 による HP all-in-one のフル活用

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアは、HP all-in-one をセットアップするときにコンピュータにインストールされます。詳細については、本体に付属の『ソフトウェア ガイド』を参照してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの利用方法は、オペレーティング システム (OS) によって異なります。たとえば、Windows を搭載したコンピュータをご使用の場合、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのエントリ ポイントは 「**HP ディレクタ**」 です。OS X V10.1.5 以降を搭載した Macintosh をご使用の場合、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのエントリ ポイントは 「**HP Image Zone**」 画面です。いずれにしろ、エントリ ポイントが 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアおよびサービスのランチャーの役割を果たします。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、HP all-in-one の機能の拡張をすばやく簡単に行うことができます。本書全体を通して、このようなボックスを見ると、トピック別のヒントやプロジェクトに役立つ情報が得られます。

「HP Image Zone」 ソフトウェアへのアクセス (Windows)

デスクトップ アイコン、システム トレイ アイコン、または 「**スタート**」 メニューから 「**HP ディレクタ**」 を開きます。「**HP ディレクタ**」 に 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの機能が表示されます。

「HP ディレクタ」 を開くには

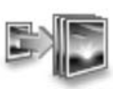
1 次のいずれかを実行してください。
   – Windows のデスクトップで、「**HP ディレクタ**」 アイコンをダブルクリックします。
   – Windows タスクバーの右端のシステム トレイにある 「**Hewlett-Packard Digital Imaging Monitor**」 アイコンをダブルクリックします。
   – タスクバーで、「**スタート**」 をクリックした後、「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」 をポイントし、次に、「**HP**」 を選択して、「**HP ディレクタ**」 をクリックします。

2 「**デバイス選択**」 ボックスで、インストールされているデバイスのリストを、クリックして表示します。

3 HP all-in-one を選択します。

注記 下記の 「**HP ディレクタ**」 のグラフィックに表示されるアイコンは、コンピュータによって異なります。「**HP ディレクタ**」 は、選択したプリンタに関連付けられているアイコンを表示するようにカスタマイズされています。選択したプリンタに特定の機能が搭載されていない場合は、その機能のアイコンが 「**HP ディレクタ**」 に表示されないこともあります。

ヒント コンピュータ上の 「**HP ディレクタ**」 にアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。そのような状況を修正するには、Windows のコントロール パネルを使用して、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを完全にアンインストールしてから、ソフトウェアを再インストールします。詳細は、HP all-in-one に付属の「セットアップ ガイド」を参照してください。

ボタン	名前と用途
	「**画像のスキャン**」 : 写真、図、絵をスキャンして、「**HP Image Zone**」 に表示します。
	「**ドキュメント スキャン**」 : テキストまたはテキストとグラフィックスの両方が含まれている文書をスキャンし、選択したプログラムに表示します。
	「**コピーの作成**」 : [コピー] ダイアログ ボックスを表示して、画像または文書のハード コピーを作成します。コピー品質、コピー枚数、カラー、サイズを選択できます。

ボタン	名前と用途
	「**HP Image Zone**」：「**HP Image Zone**」を表示し、次の操作を可能にします。 ● 画像の表示と編集 ● 複数のサイズでの写真の印刷 ● フォト アルバム、ポストカード、広告の作成と印刷 ● 電子メールまたは Web サイトでの画像の共有
	「**画像の転送**」:HP 画像転送ソフトウェアを表示し、画像を HP all-in-one から転送して、コンピュータに保存します。

注記　ソフトウェアの更新、クリエイティブ アイデア、および HP Shopping など、その他の機能の詳細については、オンスクリーン「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

メニュー項目やリスト項目を選択することで、使用するデバイスの選択、デバイスの状態の確認、ソフトウェア設定の調整、オンスクリーン ヘルプの利用などが可能です。次の表で、これらの項目を説明します。

機能	用途
ヘルプ	「**HP Image Zone ヘルプ**」を利用して、HP all-in-one のソフトウェア ヘルプやトラブルシューティング情報を入手することができます。
デバイス選択	インストールされているデバイスの一覧から、使用するデバイスを選択することができます。
設定	印刷、スキャン、コピーなど、HP all-in-one の各種設定を表示したり、変更したりできます。
状態	HP all-in-one の現在の状態が表示されます。

「HP Image Zone」ソフトウェアの起動 (Macintosh OS X v10.1.5 以降)

注記　Macintosh OS X v10.2.1 および v10.2.2 はサポート**されていません**。

「**HP Image Zone**」ソフトウェアをインストールすると、「**HP Image Zone**」のアイコンがドックに表示されます。

注記　種類の異なる HP all-in-one を 2 台以上設置すると、ドックにはデバイスごとに「**HP Image Zone**」のアイコンが表示されます。たとえば、HP スキャナと HP all-in-one を 1 台ずつ設置している場合、「**HP Image Zone**」のアイコンが 2 つ (デバイスごとに 1 つずつ) ドックに表示されます。ただし、同じ種類のデバイスを 2 台設置した場合 (HP all-in-one を 2 台設置した場合など)、「**HP Image Zone**」のア

イコンはドックに 1 つしか表示されず、同じ種類のデバイスはすべてそのアイコンで表現されます。

次のいずれかの方法で、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアにアクセスできます。

- 「**HP Image Zone**」 画面から
- 「**HP Image Zone**」 ドック メニューから

「HP Image Zone」 画面を開く

「**HP Image Zone**」 アイコンを選択して、「**HP Image Zone**」 画面を開きます。「**HP Image Zone**」 画面は、主に次の 2 つの領域で構成されています。

- 「**製品/サービス**」 タブの表示領域
  - 「**製品**」 タブを使用すると、インストールされている製品のポップアップ メニューや現在の製品で利用可能なタスクの一覧など、ほとんどの HP イメージング製品の機能にアクセスすることができます。この一覧には、コピー、スキャン、ファクスまたは画像の転送などのタスクが含まれることがあります。タスクをクリックすると、そのタスクに関連付けられているアプリケーションが開きます。
  - 「**サービス**」 タブを使用すると、画像の表示、編集、管理および共有に利用可能なデジタル イメージング アプリケーションにアクセスすることができます。
- 「**HP Image Zone ヘルプの検索**」 テキスト エントリ フィールド
  「**HP Image Zone ヘルプの検索**」 テキスト エントリ フィールドを使用すると、「**HP Image Zone ヘルプ**」 からキーワードまたはフレーズを探すことができます。

「HP Image Zone」 画面を開くには

➔ ドックの 「**HP Image Zone**」 アイコンをクリックします。
「**HP Image Zone**」 画面が表示されます。
「**HP Image Zone**」 画面には、選択したデバイスに適した 「**HP Image Zone**」 の機能だけが表示されます。

注記　下の表に示されているアイコンは、コンピュータによって異なります。「**HP Image Zone**」 画面は、選択したデバイスに関連付けられている機能のアイコンを表示するようにカスタマイズされています。選択したデバイスに特定の機能が搭載されていない場合、その機能は 「**HP Image Zone**」 画面に表示されません。

製品

アイコン	機能と用途
	「**画像の転送**」：画像をメモリ カードからコンピュータに転送することができます。

(続き)

製品	
アイコン	**機能と用途**
	**「画像のスキャン」**：画像をスキャンして、**「HP ギャラリ」** に表示することができます。
	**「スキャン to OCR」**：テキストをスキャンし、選択したテキスト編集ソフトウェア プログラムで表示することができます。 注記　日本語版ではこの機能は搭載しておりません。
	**「コピーの作成」**：モノクロまたはカラーでコピーを作成できます。

サービス	
アイコン	**機能と用途**
	**「HP ギャラリ」**：**「HP ギャラリ」** を表示すると、画像の表示および編集を行うことができます。
	**「HP Image Print」**：利用可能なテンプレートを使用してアルバムから画像を印刷することができます。
	**「HP Instant Share」**：**「HP Instant Share」** クライアント アプリケーション ソフトウェアを開くことができます。クライアント アプリケーション ソフトウェアでは、**「HP Instant Share 電子メール」** を使用して、家族や友人と写真を共有したり、オンライン フォト アルバムやオンライン写真仕上げサービスに、写真をアップロードしたりすることができます。

機能アイコンの他に、メニュー項目やリスト項目を選択することで、使用するデバイスの選択、ソフトウェア設定の調整、オンスクリーン ヘルプの利用などが可能です。次の表で、この項目について説明します。

機能	用途
デバイス選択	インストールされているプリンタの一覧から使用するプリンタを選択します。
設定	印刷、スキャン、コピーなど、HP all-in-one の各種設定を表示したり、変更したりできます。

(続き)

機能	用途
「**HP Image Zone ヘルプ**」 の検索	「**HP Image Zone ヘルプ**」 を検索して、HP all-in-one のソフトウェア ヘルプやトラブルシューティングを入手することができます。

「HP Image Zone」 ドック メニューの表示

「**HP Image Zone**」 ドック メニューは、「**HP Image Zone**」 サービスへのショートカットとして使用されます。ドック メニューには、「**HP Image Zone**」 画面の 「**サービス**」 タブの一覧で利用可能なアプリケーションがすべて自動的に含まれます。「**HP Image Zone**」 プリファレンスを設定すると、「**製品**」 タブの一覧または 「**HP Image Zone ヘルプ**」 のタスクなど、その他の項目をメニューに追加することもできます。

「HP Image Zone」 ドック メニューを表示するには

➔ 次のいずれかを実行してください。
- 「**HP ギャラリ**」 または 「**iPhoto**」 をフォト マネージャとして設定します。
- フォト マネージャに関連付ける追加オプションを設定します。
- 「**HP Image Zone**」 ドック メニューに表示される項目の一覧をカスタマイズします。

「HP Image Zone」 ソフトウェアへのアクセス (X v10.1.5 以前の Macintosh OS)

注記　Macintosh OS X v10.0 および v10.0.4 はサポートされていません。

「**HP ディレクタ**」 が 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのエントリ ポイントです。ご使用の HP all-in-one に搭載されている機能に応じて、「**HP ディレクタ**」 では、スキャン、コピー、ファクス、デジタル カメラまたはメモリ カードの画像の保存などを実行することができます。「**HP ディレクタ**」 を使用すると、「**HP ギャラリ**」 を開いて、コンピュータ上で画像を表示、変更および管理することもできます。

「**HP ディレクタ**」 は、以下のいずれかの方法で起動します。この方法は Macintosh OS 専用です。

- Macintosh OS X：「**HP ディレクタ**」 は、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのインストール時に自動的に開き、デバイスに対応した 「**HP ディレクタ**」 のアイコンがドックに作成されます。「**HP ディレクタ**」 メニューを表示するには

  ドックで、デバイスに対応した 「**HP ディレクタ**」 アイコンをクリックします。

  「**HP ディレクタ**」 メニューが表示されます。

注記　種類の異なる HP デバイスを複数接続している場合 (たとえば、HP all-in-one、カメラ、および HP スキャナ)、ドックには、それぞれのデバイスに対応した **「HP ディレクタ」** アイコンが表示されます。ただし、同じ種類のデバイス 2 台に接続する場合 (たとえば、1 台のラップトップ コンピュータを職場と自宅でそれぞれの HP all-in-one デバイスに接続する場合など)、ドックには **「HP ディレクタ」** アイコンが 1 つだけ表示され、同じ種類のデバイスはすべてそのアイコンで表現されます。

- Macintosh OS 9：**「HP ディレクタ」** はスタンドアロン アプリケーションであるため、その機能を利用するには、起動する必要があります。**「HP ディレクタ」** は、以下のいずれかの方法で起動します。
  - デスクトップの **「HP ディレクタ」** エイリアスをダブルクリックします。
  - **「Applications:Hewlett-Packard:HP Photo and Imaging Software」** フォルダの **「HP ディレクタ」** エイリアスをダブルクリックします。
    「HP ディレクタ」 には、選択したデバイスに関連するタスク ボタンのみが表示されます。

注記　下の表に示されているアイコンは、コンピュータによって異なります。**「HP ディレクタ」** メニューは、選択したデバイスに関連付けられている機能のアイコンを表示するようにカスタマイズされています。選択したデバイスに特定の機能が搭載されていない場合、その機能のアイコンは表示されません。

デバイスのタスク

アイコン	用途
	**「画像の転送」**：画像をメモリ カードからコンピュータに転送することができます。 注記　Macintosh OS 9：メモリ カードからコンピュータへの画像の転送は、ネットワーク経由ではサポートされません。
	**「画像のスキャン」**：画像をスキャンして、**「HP ギャラリ」** に表示することができます。
	**「ドキュメント スキャン」**：テキストをスキャンし、選択したテキスト編集ソフトウェア プログラムで表示することができます。 注記　日本語版ではこの機能は搭載しておりません。

デバイスのタスク	
アイコン	用途
	**「コピーの作成」**：モノクロまたはカラーでコピーを作成できます。

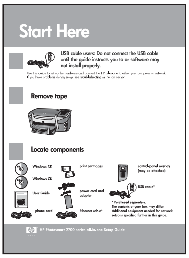
ソフト	
アイコン	用途
	**「HP ギャラリ」**：**「HP ギャラリ」** を表示すると、画像の表示および編集を行うことができます。

「HP ギャラリ」 機能の他に、アイコンのないメニュー項目を使用することで、コンピュータ上の他のアプリケーションの選択、HP all-in-one の機能設定の変更、オンスクリーン ヘルプの利用などが可能です。次の表で、これらの項目を説明します。

ソフト	
機能	用途
その他のソフト	コンピュータ上で他のアプリケーションを選択することができます。
HP サイト	HP の Web サイトを選択できます。
HP ヘルプ	HP all-in-one に関するヘルプのソースを選択することができます。
設定	印刷、スキャン、コピーなど、HP all-in-one の各種設定を表示したり、変更したりできます。

2　情報の参照先

HP all-in-one のセットアップ方法および使用方法については、豊富なリソースが印刷物とオンスクリーンで提供されています。

<table>
<tr><td>
</td><td>

「セットアップ ガイド」

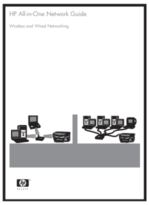
『セットアップ ガイド』には、HP all-in-one のセットアップとソフトウェアのインストールに関する指示が記載されています。必ず記載されている手順に従ってください。

セットアップの際に問題が生じた場合は、『セットアップ ガイド』の最終章「トラブルシューティング」、または本書の「トラブルシューティング」に関する章を参照してください。

</td></tr>
<tr><td>
</td><td>

「ユーザー ガイド」

『ユーザー ガイド』には、トラブルシューティングのヒントやステップごとの手順など、HP all-in-one の使用方法に関する情報が記載されています。

</td></tr>
<tr><td>
</td><td>

「ネットワーク ガイド」

『ネットワーク ガイド』には、HP all-in-one をセットアップして、ネットワークに接続する方法が記載されています。

</td></tr>
<tr><td></td><td>

「HP Image Zone ツアー」

HP Image Zone ツアーは、HP all-in-one に付属のソフトウェアの概要をインタラクティブな形で楽しく紹介します。**「HP Image Zone」** を利用して、写真を編集、整理、および印刷する方法を学ぶことができます。

</td></tr>
<tr><td></td><td>

「HP ディレクタ」

HP ディレクタを使用すると、ご使用の HP デバイスに対応する、ソフトウェア アプリケーション、デフォルト設定、状態、オンスクリーン ヘルプに簡単にアクセスすることができます。**「HP ディレクタ」** を起動するには、デスクトップの **「HP ディレクタ」** アイコンをダブルクリックします。

</td></tr>
</table>

	**「HP Image Zone ヘルプ」** HP Image Zone ヘルプでは、HP all-in-one 用ソフトウェアの使用方法が詳しく説明されています。 ● **「手順を 1 ステップずつ」** トピックでは、HP デバイスに関連する **「HP Image Zone」** ソフトウェアの使用方法が説明されています。 ● **「何ができるかな」** トピックでは、**「HP Image Zone」** ソフトウェアと HP デバイスで可能な実用的かつ創造的なことについて説明します。 ● もっと詳しく知る必要がある場合または HP ソフトウェアの更新について調べる場合、**「トラブルシューティングとサポート」** トピックを参照してください。
	**「本体のオンスクリーン ヘルプ」** 本体にはオンスクリーン ヘルプが表示され、選択したトピックに関して追加情報を表示します。オンスクリーン ヘルプはコントロール パネルから利用できます。「セットアップ」 メニューから 「ヘルプ」 メニュー項目を選択し、**「OK」** を押します。
	「Readme」 Readme ファイルには、その他の出版物に記載されていない最新情報が収録されています。 CD 上の Readme ファイルをお読みください。
www.hp.com/jp/hho	インターネットにアクセス可能な場合は、HP Web サイトからヘルプ情報とサポート情報を入手することができます。この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。

3 接続情報

HP all-in-one にはネットワーク機能が搭載されています。USB ポートも装備されているため、USB ケーブルを使用して、コンピュータに直接接続することもできます。HP bt300 BluetoothR ワイヤレス プリンタ アダプタを HP all-in-one の正面にある PictBridge カメラ ポート (USB ホスト ポート) に挿入すると、PDA やカメラ付き携帯電話などの Bluetooth デバイスから HP all-in-one に画像を送信して印刷することができます。

サポートされる接続の種類

説明	接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)	サポートされるソフトウェア機能	セットアップ方法
USB 接続	USB ケーブルでコンピュータ 1 台を本体に接続します	すべての機能がサポートされます	詳しい手順については、『セットアップ ガイド』に従ってください
Ethernet (有線) 接続	ハブまたはルータを経由して 5 台以下のコンピュータを本体に接続します	すべての機能がサポートされます (Web スキャンを含む)。注意 : Macintosh OS 9 では、メモリ カードからコンピュータへの画像の転送は、ネットワーク経由ではサポートされません。	詳しい手順については、『セットアップ ガイド』および『ネットワーク ガイド』に従ってください
802.11b または 802.11g (ワイヤレス) 接続 (HP Photosmart 2700 series all-in-one のみ)	アクセス ポイントを経由して 5 台以下のコンピュータを本体に接続します(インフラストラクチャ モード)	すべての機能がサポートされます (Web スキャンを含む)。注意 : Macintosh OS 9 では、メモリ カードからコンピュータへの画像の転送は、ネットワーク	詳しい手順については、『セットアップ ガイド』および『ネットワーク ガイド』に従ってください

説明	接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)	サポートされるソフトウェア機能	セットアップ方法
		経由ではサポートされません。	
HP bt300 BluetoothR ワイヤレス プリンタ アダプタ (HP bt300)	適用できません	印刷	HP bt300 Bluetooth ワイヤレス プリンタ アダプタによる接続の手順に従ってください

USB ケーブルによる接続

USB ケーブルでコンピュータを HP all-in-one に接続する手順は、本体に付属の『セットアップ ガイド』に記載されています。

Ethernet による接続

HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one では、10 Mbps と 100 Mbps の Ethernet ネットワーク接続がサポートされています。HP all-in-one を Ethernet (有線) ネットワークに接続する詳しい手順は、本体に付属する『セットアップ ガイド』および『ネットワーク ガイド』に記載されています。

ワイヤレスによる接続

HP Photosmart 2700 series all-in-one は、内部ネットワーク コンポーネントを使用して、ワイヤレス ネットワークをサポートします。HP all-in-one をワイヤレス ネットワーク (802.11b または g) に接続する詳しい手順は、本体に付属する『セットアップ ガイド』および『ネットワーク ガイド』に記載されています。

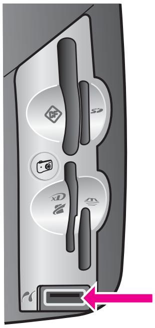
HP bt300 Bluetooth ワイヤレス プリンタ アダプタによる接続

HP bt300 を使用すると、ケーブルを接続せずに、ほとんど Bluetooth デバイスから HP all-in-one に画像を直接送信して印刷することができます。HP bt300 を HP all-in-one の正面にある PictBridge カメラ ポートに挿入して、PDA またはカメラ付き携帯電話などの Bluetooth デバイスから印刷するだけです。

注記　現時点では、Bluetooth 技術の使用による PC またはラップトップと HP all-in-one との接続はサポートされていません。

HP bt300 を HP all-in-one に接続するには

1 HP bt300 を PictBridge カメラ ポートに挿入します (下図を参照)。

	注記 HP bt300 を HP all-in-one に挿入したときに、カラー グラフィック ディスプレイに 「**Bluetooth なし**」 というメッセージが表示された場合、HP all-in-one からアダプタの接続を外し、デバイスの更新を参照してください。

2 一部の Bluetooth デバイスは、互いに通信して接続を確立するときに、デバイスのアドレスを交換し合います。Bluetooth デバイスが、接続の確立のために、HP all-in-one のアドレスを必要とする場合には、次の操作を実行してください。

a HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
「**セットアップ メニュー**」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

b 「**0**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「**Bluetooth**」 メニューが表示され、「**デバイスのアドレス**」 が選択されます。
HP all-in-one の 「**デバイスのアドレス**」 が表示されます。このアドレスは読み取り専用です。

c デバイスにアドレスを入力するには、ご使用の Bluetooth デバイスに付属するマニュアルを参照してください。

3 一部の Bluetooth デバイスでは、接続時にプリンタのデバイス名が表示されます。ご使用の Bluetooth デバイスにプリンタ名が表示される場合、次の操作を実行してください。

a HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
「**セットアップ メニュー**」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

b 「**0**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「**Bluetooth**」 メニューが表示され、「**デバイス名**」 が選択されます。
「**デバイス名**」 画面が表示されます。

注記 HP all-in-one は、工場出荷時点で、「**Photosmart 2700 series**」 という名前が付けられています。

c 「デバイス名」 画面のビジュアル キーボードを使用して、新しい名前を入力します。
ビジュアル キーボードの使用の詳細については、文字と記号の入力を参照してください。

d HP all-in-one の名前の入力が完了したら、ビジュアル キーボードの「完了」 を選択して、「**OK**」 を押します。
ご使用の Bluetooth デバイスを HP all-in-one に接続すると、入力した名前が Bluetooth デバイスに表示されます。

HP all-in-one に対する Bluetooth セキュリティの設定

HP all-in-one の 「**Bluetooth**」 メニューでプリンタのセキュリティ設定を有効にすることができます。コントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押して、「セットアップ メニュー」 から 「**Bluetooth**」 を選択するだけです。「**Bluetooth**」 メニューからは、次の操作を実行することができます。

- HP all-in-one を他のユーザーが Bluetooth デバイスからの印刷に使用する際に、事前にパスキー認証を要求する
- 伝送範囲内の Bluetooth デバイスに対して、HP all-in-one を可視または不可視にする

パスキーの使用による Bluetooth デバイスの認証

HP all-in-one のセキュリティ レベルを 「低い」 または 「高い」 に設定することができます。

- 「低い」 ：HP all-in-one はパスキーを必要としません。伝送範囲内であれば、どの Bluetooth デバイスからも印刷できます。
- 「高い」 ：HP all-in-one は、Bluetooth デバイスからの印刷ジョブを受け入れる前に、Bluetooth デバイスからのパスキーを必要とします。

パスキー認証を必要とするように HP all-in-one を設定するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
「セットアップ メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**0**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「**Bluetooth**」 メニューが表示され、「パスキー」 が選択されます。
「パスキー」 画面が表示されます。

注記 HP all-in-one は、工場出荷時点で、パスキーが 0000 に設定されています。

3 HP all-in-one のコントロール パネルの番号付きキーパッドを使用して、新しいパスキーを入力します。
キーパッドの使用の詳細については、文字と記号の入力を参照してください。
4 パスキーの入力が完了したら、「**OK**」 を押します。

「Bluetooth」 メニューが表示されます。

5 「**5**」 を押します。
「セキュリティ レベル」 が選択され、「セキュリティ レベル」 メニューが表示されます。

6 「**1**」 を押して、「高い」 を選択します。
セキュリティ レベルが高い場合、認証が必要です。

注記 デフォルトのセキュリティ設定は 「低い」 です。セキュリティ レベルが低い場合、認証は不要です。

これで HP all-in-one には、パスキー認証が設定されました。

HP all-in-one を Bluetooth デバイスに対して不可視に設定

HP all-in-one は Bluetooth デバイスに対して 「すべての表示」 (パブリック) または 「非表示」 (プライベート) のいずれかに設定することができます。

- 「すべての表示」 : 伝送範囲内であれば、どの Bluetooth デバイスも HP all-in-one で印刷できます。
- 「非表示」 : HP all-in-one のデバイス アドレスを保存している Bluetooth デバイスのみから印刷できます。

HP all-in-one を [非表示] に設定するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
「セットアップ メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

2 「**0**」 を押し、次に 「**4**」 を押します。
「Bluetooth」 メニューが表示され、「アクセシビリティ」 が選択されます。
「アクセシビリティ」 メニューが表示されます。

注記 工場出荷時点で HP all-in-one のデフォルト アクセシビリティ レベルは 「すべての表示」 に設定されています。

3 「**2**」 を押して、「非表示」 を選択します。
デバイス アドレスを保存していない Bluetooth デバイスからは、ご使用の HP all-in-one にアクセスできません。

HP all-in-one の Bluetooth 設定のリセット

HP all-in-one のすべての Bluetooth 設定を再設定する場合、 次の手順を実行すると、工場出荷時の初期設定にリセットすることができます。

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
「セットアップ メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

2 「**0**」 を押し、次に 「**6**」 を押します。
「Bluetooth」 メニューが表示され、「Bluetooth をリセットします」 が選択されます。

注記　HP all-in-one のすべての Bluetooth 設定を工場出荷時の初期設定に戻すには、「**Bluetooth をリセットします**」 のみを選択します。

Web スキャンの使用

Web スキャンを使用すると、HP all-in-one により Web ブラウザだけで基本的なスキャンを実行することができます。さらに、コンピュータにデバイス ソフトウェアがインストールされていなくても、HP all-in-one からスキャンを実行することができます。Web ブラウザに HP all-in-one の IP アドレスを入力し、HP all-in-one の埋め込まれた Web サーバ ホーム ページおよび Web スキャンにアクセスします。

Web スキャンのユーザー インターフェースは、HP all-in-one 専用であり、「**HP Image Zone**」 スキャン ソフトウェアなどのスキャン送信先の機能はサポートしません。Web スキャンの電子メール機能は制限されているため、電子メール機能を利用する場合、「**HP Image Zone**」 スキャン ソフトウェアのご使用をおすすめします。

Web スキャンを使用するには

1　HP all-in-one の IP アドレスをコンピュータ上の Web ブラウザに入力します。

　注記　ネットワーク設定ページの印刷して HP all-in-one の IP アドレスを入手する方法については、本体に付属の『ネットワーク ガイド』を参照してください。

　ブラウザの画面に、埋め込み Web サーバの 「**ホーム** 」 ページが表示されます。

2　左側の列にある 「**アプリケーション**」 から、「**スキャン**」 を選択します。

3　画面上の指示に従って操作します。

接続情報

4 写真の活用

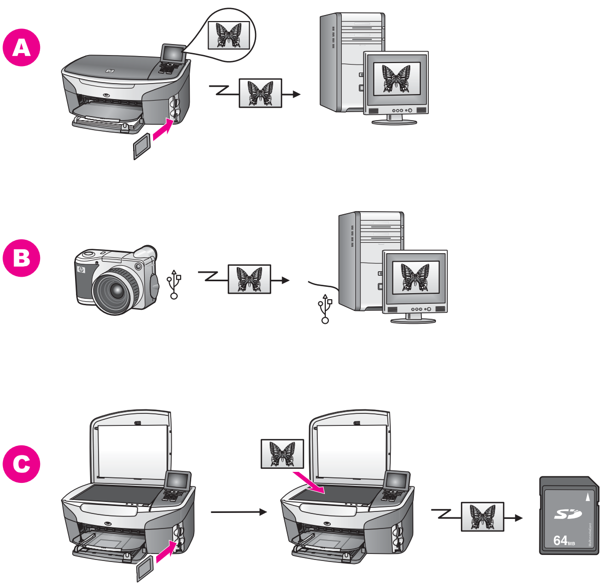
HP all-in-one では、さまざまな方法で写真を転送、編集、共有、および印刷することができます。ここでは、ユーザーの好みとコンピュータのセットアップに応じて、それぞれのジョブに用意されているオプションを簡単に説明します。それぞれのジョブの詳細については、本書の別の章またはソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 で説明されています。

写真の転送

写真の転送には、複数のオプションが用意されています。写真は HP all-in-one、コンピュータ、またはメモリ カードに転送することができます。詳細については、以下の説明の中から、ご使用のオペレーティング システムに該当する記述を参照してください。

Windows PC による写真の転送

以下の図は、Windows PC、HP all-in-one、またはメモリ カードに写真を転送する方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。



A	HP all-in-one に挿入されているメモリ カードから Windows PC に写真を転送します。

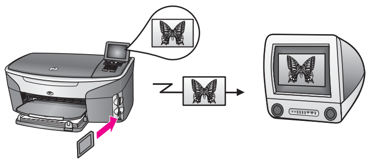
(続き)

B	デジタル カメラから Windows PC に写真を転送します。
C	写真をスキャンして、HP all-in-one に挿入されているメモリ カードに画像データを直接送信します。

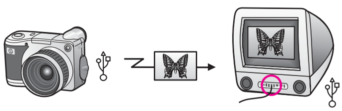
Macintosh による写真の転送

以下の図は、Macintosh、HP all-in-one、またはメモリ カードに写真を転送する方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。

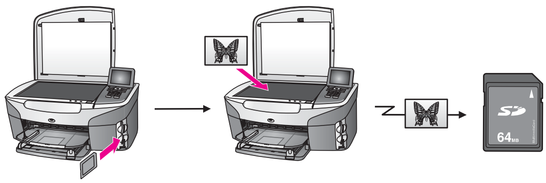
A



B



C



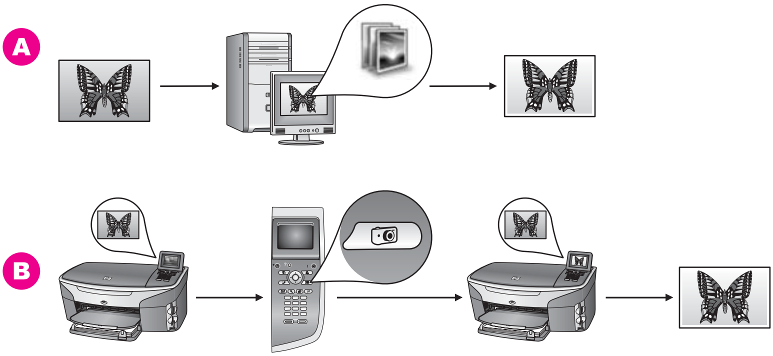
A	HP all-in-one に挿入されているメモリ カードから Macintosh に写真を転送します。
B	デジタル カメラから Macintosh に写真を転送します。
C	写真をスキャンして、HP all-in-one に挿入されているメモリ カードに画像データを直接送信します。

写真の編集

写真の編集には、複数のオプションが用意されています。詳細については、以下の説明の中から、ご使用のオペレーティング システムに該当する記述を参照してください。

Windows PC による写真の編集

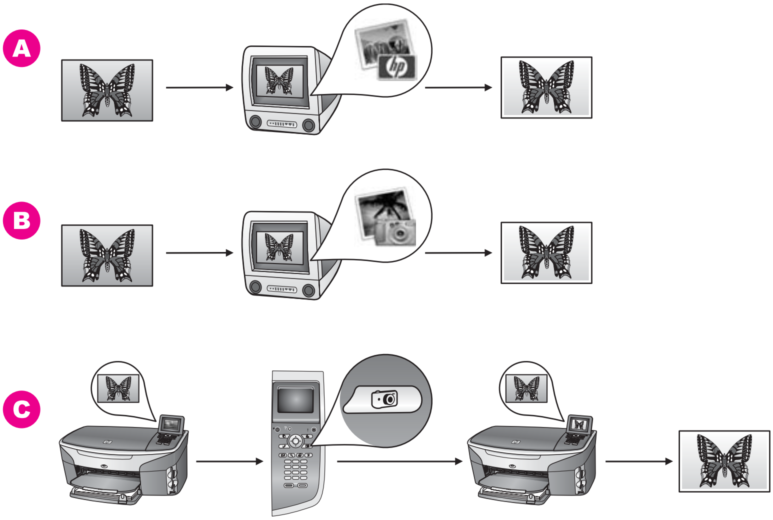
以下の図は、Windows PC で写真を編集する 2 通りの方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。



A	Windows PC 上で 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して写真を編集します。
B	HP all-in-one のコントロール パネルを使用して写真を編集します。

Macintosh による写真の編集

以下の図は、Macintosh で写真を編集する 3 通りの方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。



A	Macintosh 上で「**HP Image Zone**」ソフトウェアを使用して写真を編集します。
B	Macintosh 上で iPhoto ソフトウェアを使用して写真を編集します。
C	HP all-in-one のコントロール パネルを使用して写真を編集します。

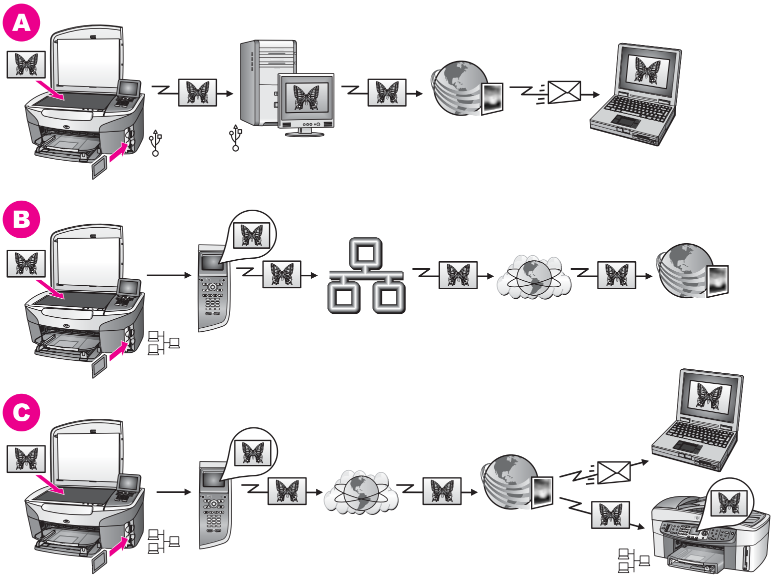
写真の共有

友人や家族と写真を共有するために複数のオプションが用意されています。詳細については、以下の説明の中から、ご使用のオペレーティング システムに該当する記述を参照してください。

Windows PC による写真の共有

以下の図は、Windows PC で写真を共有する方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。

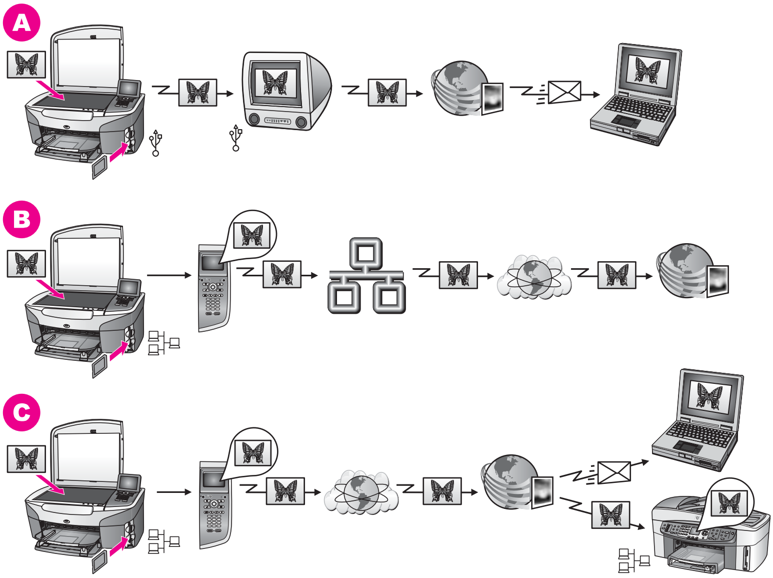
写真の活用



A	HP Instant Share サービスを使用して、USB 接続されている HP all-in-one から写真を共有します。USB 接続されている HP all-in-one からコンピュータに写真を転送し、コンピュータ上で HP Instant Share ソフトウェアを使用して、HP Instant Share サービスにより電子メールとして家族または友人に写真を送信します。
B	ネットワーク接続されている HP all-in-one からインターネットを経由して HP Instant Share サービスで写真を共有します。このサービスでは、写真はオンライン フォト アルバムに保存されます。
C	ネットワーク接続されている HP all-in-one からインターネットを経由して HP Instant Share サービスで写真を共有します。HP Instant Share サービスでは、写真を電子メールとして家族や友人に送信したり、ネットワークに接続されている別の HP all-in-one に写真を送信したりすることができます。

Macintosh による写真の共有

以下の図は、Macintosh で写真を共有する方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。



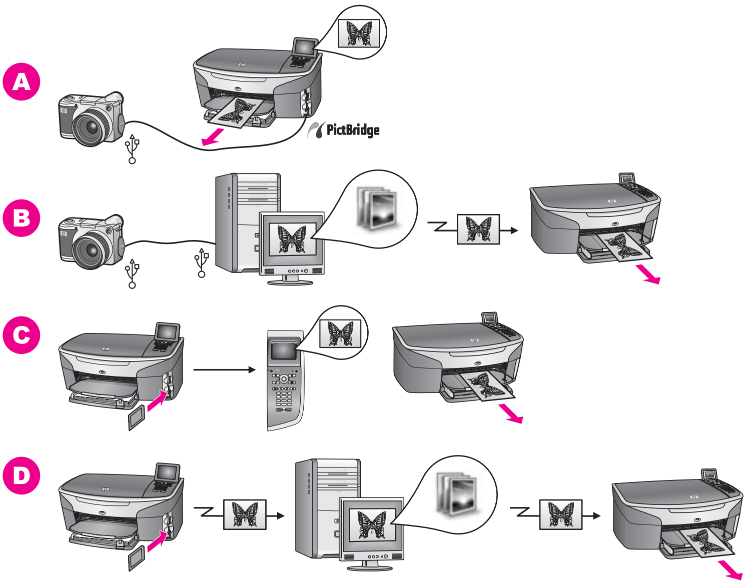
A	HP Instant Share サービスを使用して、USB 接続されている HP all-in-one から写真を共有します。USB 接続されている HP all-in-one からコンピュータに写真を転送し、コンピュータ上で HP Instant Share ソフトウェアを使用して、HP Instant Share サービスにより電子メールとして家族または友人に写真を送信します。
B	ネットワーク接続されている HP all-in-one からインターネットを経由して HP Instant Share サービスで写真を共有します。このサービスでは、写真はオンライン フォト アルバムに保存されます。
C	ネットワーク接続されている HP all-in-one からインターネットを経由して HP Instant Share サービスで写真を共有します。HP Instant Share サービスでは、写真を電子メールとして家族や友人に送信したり、ネットワークに接続されている別の HP all-in-one に写真を送信したりすることができます。

写真の印刷

写真の印刷には、複数のオプションが用意されています。詳細については、以下の説明の中から、ご使用のオペレーティング システムに該当する記述を参照してください。

Windows PC による写真の印刷

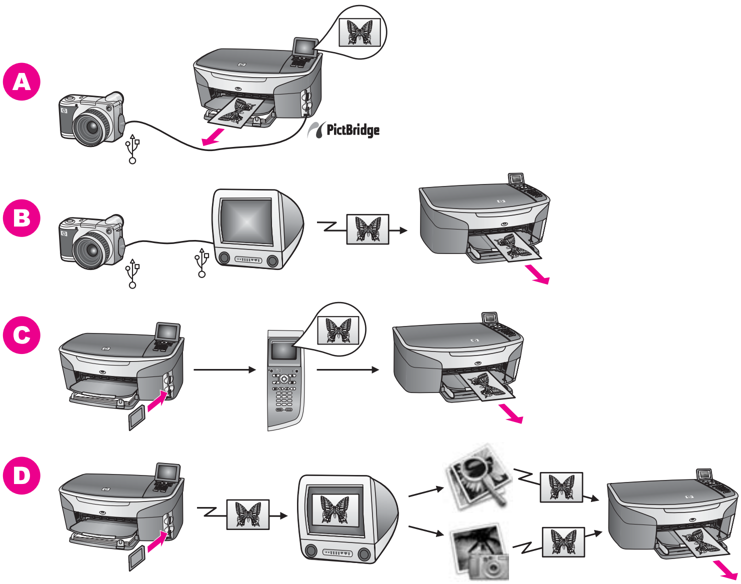
以下の図は、Windows PC で写真を印刷する方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。



A	PictBridge に対応したデジタル カメラから写真を印刷します。
B	コンピュータのソフトウェア アプリケーションを使用して、カメラの写真を印刷します。
C	HP all-in-one のコントロール パネルを使用して、メモリ カードから写真を印刷します。
D	写真をメモリ カードから Windows PC に転送し、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して印刷します。

Macintosh による写真の印刷

以下の図は、Macintosh で写真を印刷する方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。



A	PictBridge に対応したデジタル カメラから写真を印刷します。
B	コンピュータのソフトウェア アプリケーションを使用して、カメラの写真を印刷します。
C	HP all-in-one のコントロール パネルを使用して、メモリ カードから写真を印刷します。
D	写真をメモリ カードから Macintosh に転送し、「**HP ギャラリ**」 ソフトウェアまたは 「**HP ディレクタ**」 ソフトウェアを使用して印刷します。

5　原稿および用紙のセット

ここでは、コピー、スキャン、またはファクスを行う場合のガラス板への原稿のセット方法、実行するジョブに適した用紙の種類の選択方法、給紙トレイへの用紙のセット方法、および紙詰まりの防止方法について説明します。

原稿のセット

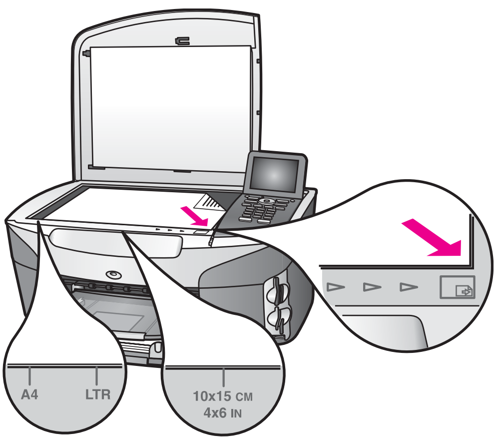
次の説明に従って、ガラス板に原稿をセットすると、最大で A4 サイズまたはレター サイズまでの原稿をコピー、スキャン、ファクスすることができます。また、フォト シートをガラス板にセットして写真を印刷する場合も、同様にセットしてください。

注記　ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、多くの特殊機能が正常に機能しなくなる可能性があります。詳細については、HP all-in-one のクリーニングを参照してください。

ガラス板に原稿をセットするには

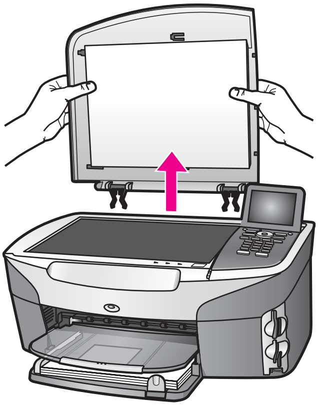
1　カバーを上げて、原稿の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。
フォト シートの場合は、フォト シートの上端をガラス板の右端に合わせてセットします。

ヒント　原稿のセット方法については、ガラス板の下端および右端に記載されているガイドを参照してください。



2　カバーを閉じます。

ヒント　HP all-in-one からカバーを取り外すと、原稿が大きくてもコピーしたりスキャンしたりできます。カバーを取り外すには、カバーを上げて開き、カバーの側面を持って引き上げます。HP all-in-one は、カバーを取り外した状態でも正常に機能します。カバーを元に戻すには、ちょうつがいにあるつまみを元の溝にはめこみます。



印刷およびコピー用紙の選択

HP all-in-one ではさまざまな種類とサイズの用紙を使用することができます。印刷またはコピーを美しく仕上げるために、次の推奨事項をお読みください。用紙の種類またはサイズを変更する場合、必ず設定を変更してください。

推奨されている用紙

写真や画像の印刷をより美しく仕上げるには、印刷するプロジェクトの種類に最も適した HP 用紙を使用することをおすすめします。たとえば、写真を印刷する場合、光沢またはつや消しのフォト用紙を給紙トレイにセットしてください。カタログまたはプレゼンテーション用資料を印刷する場合、用途に応じた種類の用紙を使用してください。

HP 用紙の詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 または www.hp.com/support を参照してください。

使ってはいけない用紙

薄すぎる用紙、表面がつるつるの用紙、伸縮性のある用紙などを使用すると、紙詰まりが起こりやすくなります。表面がでこぼこの用紙やインクをはじく用紙を使用すると、印刷された画像がにじんだり、かすれたりすることがあります。

次のような用紙は印刷に使用しないでください。

- 切り抜きやミシン目のある用紙 (HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されている場合を除く)。
- リネンなど、肌触りの粗い紙。均等に印刷できず、インクがにじむ恐れがあります。
- HP all-in-one で使用するように設計されていない、極端になめらかな用紙や光沢のある用紙、あるいは極端なコーティングがされている用紙。HP all-in-one に紙詰まりが起きたり、インクが定着しないことがあります。
- 複写用紙 (2 枚重ねあるいは 3 枚重ねの複写用紙など)。しわになったり詰まったりする可能性があります。また、インクもこすれやすくなります。
- 留め具付きの封筒や窓付き封筒。

次のような用紙はコピーに使用しないでください。

- 切り抜きやミシン目のある用紙 (HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されている場合を除く)。
- プレミアム フォト用紙またはプレミアム プラスフォト用紙以外のフォト用紙。
- 封筒。
- プレミアム OHP フィルムまたはプレミアム プラス インクジェット OHP フィルム以外の OHP フィルム。
- 複写用紙やラベル用紙。

用紙のセット

コピー、印刷、ファクスができるように、HP all-in-one にさまざまな種類およびサイズの用紙をセットする手順を説明します。

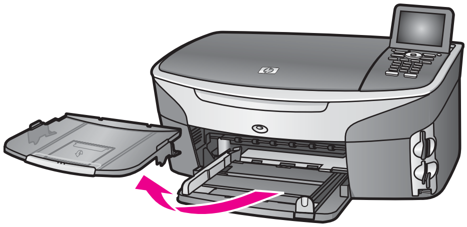
ヒント 破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないように、用紙はすべてチャック付きの袋に入れ、平らな状態で保管してください。用紙を正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙が波打ち、HP all-in-one でうまく利用できないことがあります。

フルサイズ用紙のセット

HP all-in-one のメイン給紙トレイには、A4 サイズ、レター サイズ、リーガル サイズなど、さまざまな種類の用紙をセットできます。

フルサイズ用紙をメイン給紙トレイにセットするには

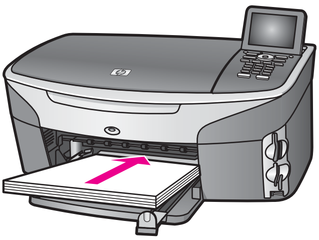
1 排紙トレイを取り外し、横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。



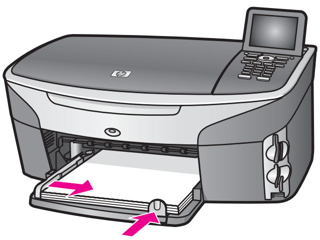
2　用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   – 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   – セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること

3　用紙の短辺を奥にし、印刷面を下にして給紙トレイに挿入します。用紙を奥にセットします。

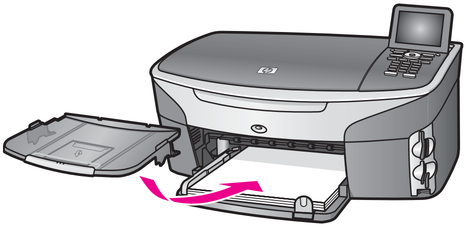
ヒント　レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。



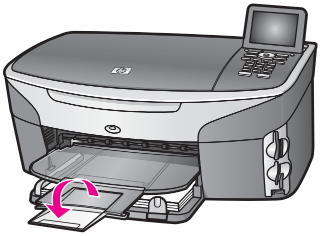
4　横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドします。
給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。



5　排紙トレイを元に戻します。



6　コピー、印刷、ファクス済みの用紙が落ちないように、排紙補助トレイを完全に引き出します。



L 判/10 x 15 cm のフォト用紙のセット

HP all-in-one のメイン給紙トレイまたはオプションの後部給紙トレイには、L 判 のフォト用紙をセットすることができます。このアクセサリは自動両面印刷対応ハガキトレイと呼ばれます。

きれいに仕上げるには、推奨タイプの L 判 のフォト用紙を使用し、印刷またはコピー ジョブに適した用紙の種類およびサイズを設定してください。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

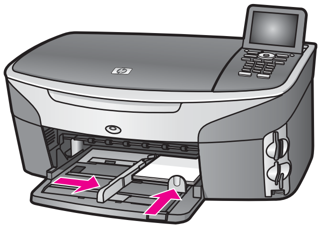
ヒント　破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないように、用紙はすべてチャック付きの袋に入れ、平らな状態で保管してください。用紙を正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙が波打ち、HP all-in-one でうまく利用できないことがあります。

L 判 のフォト用紙をメイン給紙トレイにセットするには

1　排紙トレイを取り外します。
2　給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3　フォト用紙の短辺を奥にし、光沢面を下にして給紙トレイの右端に挿入します。フォト用紙を奥にセットします。
お使いのフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。

ヒント　小さいフォト用紙のセットについては、給紙トレイの底面にあるフォト用紙セット用のアイコン (用紙とカメラのアイコン) を参照してください。フォト用紙が完全に奥にセットされたことは、給紙トレイの底面にある点線が見えることで確認できます。この点線を見ると、フォト用紙の正しいセット位置を確認できます。

4　横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドが、フォト用紙の端に当たって止まるまでスライドします。
給紙トレイにフォト用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。



5　排紙トレイを元に戻します。

L 判 のフォト用紙をオプションの後部トレイにセットするには

➔　本製品には、自動両面印刷対応ハガキトレイを取り付けることができます。このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

ポストカードやはがきのセット

HP all-in-one のメイン給紙トレイまたはオプションの後部給紙トレイには、ポストカードまたははがきをセットすることができます。このアクセサリは自動両面印刷対応ハガキトレイと呼ばれます。

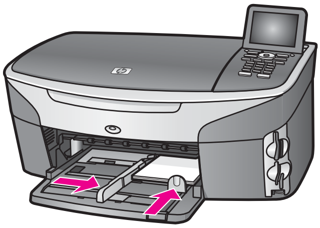
より美しく仕上げるためには、印刷する前に用紙の種類と用紙サイズを設定してください。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

ポストカードまたははがきをメイン給紙トレイにセットするには

1　排紙トレイを取り外します。
2　給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3　ポストカードまたははがきの短辺を奥にし、印刷面を下にして給紙トレイの右端に挿入します。カードの束を奥にセットします。

ヒント　ポストカードまたははがきのセットについては、給紙トレイの底面にあるフォト用紙セット用のアイコン (用紙とカメラのアイコン) を参照してください。

4　横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドが、カードの端に当たって止まるまでスライドします。
給紙トレイにカードを入れすぎないでください。 カードの束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。



5　排紙トレイを元に戻します。

ポストカードまたははがきをオプションの後部トレイにセットするには

➔ 本製品には、自動両面印刷対応ハガキトレイを取り付けることができます。このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

封筒のセット

HP all-in-one の給紙トレイには、封筒をセットすることができます。光沢紙を使った封筒、エンボス加工された封筒、留め具付きの封筒、窓付き封筒などは使用しないでください。

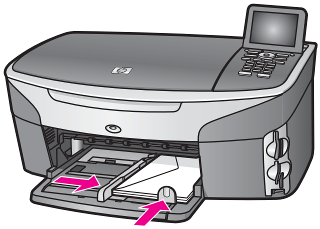
注記　文字を封筒に印刷するために書式設定する方法については、お使いのワープロ ソフトのヘルプ ファイルを参照してください。より美しく仕上げるために、封筒の差出人住所にはラベルの使用をおすすめします。

封筒をセットするには

1　排紙トレイを取り外します。
2　給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3　給紙トレイの右端に封筒を入れ、封筒のふたを上に向け、ふた側を左側または奥側にしてセットします。封筒の束を奥にセットします。

ヒント　封筒のセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

4　横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドが、封筒の端に当たって止まるまでスライドします。
給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。封筒の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。



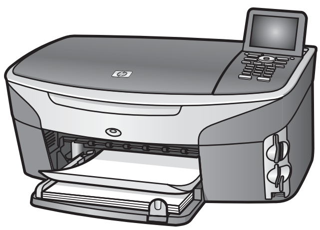
5　排紙トレイを元に戻します。

その他の用紙のセット

特定の種類の用紙をセットするときのガイドラインを次の表に示します。美しく印刷を仕上げるために、用紙サイズまたは用紙の種類を変更するたびに用紙設定を調整してください。用紙設定の詳細については、オンスクリーン「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

注記　用紙の種類およびサイズの中には、HP all-in-one の一部の機能が対応していないものがあります。ソフトウェア アプリケーションの「**印刷**」ダイアログ ボックスから、印刷を実行する場合にのみ使用できる用紙の種類やサイズもあります。このような用紙の種類およびサイズは、コピー、ファクス、メモリ カードまたはデジタル カメラからの写真印刷には使用できません。ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみに対応する用紙は、次の表に注記があります。

用紙	ヒント
HP 用紙	• プレミアム用紙 -用紙の非印刷面に表示されているグレーの矢印を見つけ、その矢印が表示されている側を上にして用紙を給紙トレイに挿入します。 • プレミアム OHP フィルム -OHP フィルムの白い縦線 (矢印と HP のロゴが表示されている) が上になるように、縦線のあるほうから先に給紙トレイにフィルムを入れます。 注記　OHP フィルムが正しくセットされていない場合または HP OHP フィルム以外の OHP フィルムを使用した場合、HP all-in-one は OHP フィルムを自動的に検出しないことがあります。より美しく仕上げるためには、OHP フィルムに印刷またはコピーする前に、用紙の種類を OHP フィルムに設定してください。 • アイロンプリント紙 -使用する前にアイロン プリント紙をきれいに伸ばしてください。 カールしたアイロン プリント紙はセットしないでください。(アイロン プリント紙がカールするのを防ぐには、使う直前までアイロン プリント紙を最初のパッケージに入れて封をしたままにしておきます。)

用紙	ヒント
	用紙の非印刷面に青い線があります。その線がある面を上にして、1 回に 1 枚ずつアイロン プリント紙を手動で給紙トレイに挿入します。
ラベル (ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみ)	A4 サイズまたはレターサイズのラベル紙で、製造日から 2 年以内のものを使用してください。古いラベルを使用すると、用紙が HP all-in-one に給紙されたときに、ラベルがはがれて、紙詰まりの原因になることがあります。 1　ページどうしがくっつかないように、ラベルを広げます。 2　フルサイズの普通紙を給紙トレイにセットし、その上に印刷面を下にしたラベル シートの束をセットします。ラベルを 1 シートずつセットしないでください。
連続バナー用紙 (ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみ)	連続バナー用紙は、コンピュータ用紙や Z 折りの用紙とも呼ばれます。 1　排紙トレイを取り外します。 2　給紙トレイから用紙をすべて取り出します。 注記　連続バナー用紙が切れないように、バナー印刷中は HP all-in-one の排紙トレイを取り外したままにしておきます。 3　バナー用紙が最低 5 ページ以上あることを確認します。 注記　HP 以外のバナー用紙を使用する場合は、20-lb 用紙を使用してください。 4　ミシン目の入った線が両端にある場合は、それを切り離します。 そしてページどうしがくっつかないように、いったん用紙を開いてからもう一度折り畳みます。 5　連続していないほうの端が用紙の束の一番上になるように、給紙トレイに用紙をセットします。 6　下の図のように、用紙の最初の端を給紙トレイの奥にセットします。 

紙詰まりの防止

紙詰まりを防止するために、次のことに注意してください。

- 未使用の用紙はチャック付きの袋に平らに入れ、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないように保管してください。
- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- 給紙トレイには、異なる種類やサイズの用紙を一緒にセットしないでください。給紙トレイ内の用紙の束は、すべて同じサイズおよび同じ種類で統一する必要があります。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの用紙ガイドを調整してください。用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用の HP all-in-one で推奨している用紙の種類をお使いください。詳細については、印刷およびコピー用紙の選択を参照してください。

紙詰まりの解消方法については、用紙のトラブルシューティングを参照してください。

6 メモリ カードの使用または PictBridge の使用

HP all-in-one では、ほとんどのデジタルカメラで採用されているメモリ カードが利用できるので、写真を印刷、保存、管理、共有することができます。メモリ カードを HP all-in-one に挿入することができます。また、カメラを直接接続すると、メモリ カードをカメラに入れたままで、HP all-in-one からメモリ カードの内容を読み取ることができます。

ここでは、メモリ カードまたは PictBridge 対応カメラを HP all-in-one で使用する方法について説明します。コンピュータへの写真の転送、写真印刷オプションの設定、写真の印刷および編集、スライド ショーの表示、友人や家族との写真の共有などの方法については、この章をお読みください。

メモリ カード スロットおよびカメラ ポート

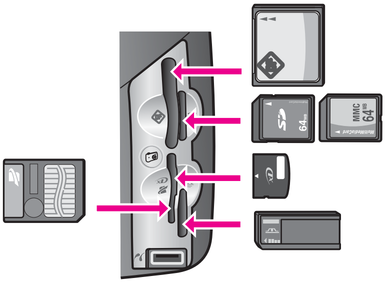
デジタル カメラで撮った写真をメモリ カードに保存している場合、そのメモリ カードを HP all-in-one に挿入し、写真を印刷したり保存したりすることができます。

HP all-in-one がコンピュータに接続されていない場合でも、フォト シートを印刷して、メモリ カードから写真を印刷できます。 フォト シートには、メモリ カードに保存されている写真のサムネイル ビューが数ページにわたって印刷されることがあります。お使いのデジタル カメラが PictBridge をサポートしている場合、HP all-in-one のカメラ ポートにデジタル カメラを接続して、直接印刷することもできます。

HP all-in-one では、次のメモリ カードを読み取ることができます。CompactFlash (I、II)、Memory Stick, MultiMediaCard (MMC)、Secure Digital、SmartMedia、xD-Picture Card。

注記　文書をスキャンし、挿入しているメモリ カードにスキャンした画像を送信できます。 詳細については、メモリ カードへのスキャン画像の送信を参照してください。

HP all-in-one には、各メモリ カードを挿入できるように 4 つのスロットが用意されています。 次の図に、各スロットと対応するメモリ カードを示します。



スロットは次のように構成されています。

- 左上のスロット -CompactFlash (I、II) 用
- 右上のスロット -Secure Digital、MultiMediaCard (MMC) 用
- 左下のスロット -SmartMedia、xD-Picture Card (スロットの右上に挿入) 用
- 右下のスロット -Memory Stick、Magic Gate Memory Stick、Memory Stick Duo (専用アダプタが必要)、Memory Stick Pro
- PictBridge カメラ ポート (メモリ カード スロットの下) -PictBridge をサポートする USB 端子付きデジタル カメラ用

注記　カメラ ポートは、PictBridge をサポートしている USB 端子付きデジタル カメラのみをサポートします。互換性のあるデジタル カメラ以外の USB デバイス (または Bluetooth アダプタ) をカメラ ポートに接続すると、カラー グラフィック ディスプレイにエラー メッセージが表示されます。

ヒント　デフォルトでは、Windows XP は、8 MB 以下 64 MB 以上のメモリ カードを FAT32 形式でフォーマットします。一方、デジタル カメラや他のデバイスでは FAT (FAT16 または FAT12) 形式を使用するため、FAT32 は使用できません。カメラ側で メモリ カードをフォーマットするか、あるいは Windows XP コンピュータでメモリ カードをフォーマットするときに FAT 形式を選択するようにしてください。

ネットワークでのメモリ カードのセキュリティ管理

HP all-in-one がネットワークに接続している場合、ネットワークのコンピュータから、メモリ カードの中身にアクセスできます。ワイヤレス暗号化が有効になっていないワイヤレス ネットワークで本製品をお使いの場合、伝送距離内であれば、ネットワーク名と HP all-in-one ネットワーク ID を知っている人なら誰でも、HP all-in-one に挿入されているメモリ カードの中身にアクセスできます。

メモリ カード内のデータのプライバシーを高めるには、ワイヤレス ネットワークで WEP (Wired Equivalent Privacy) キーまたは WPA/PSK (Wi-Fi Protected Access/事前共有キー) を設定するか、または挿入しているメモリ カードをネットワーク上のコンピュータ (ワイヤレス/有線は無関係) と共有し

ないように HP all-in-one を設定してください。その場合、ネットワークの他のコンピュータは、メモリ カードのファイルにアクセスできなくなります。

ワイヤレス ネットワークに暗号化を追加する方法については、『ネットワーク ガイド』を参照してください。

注記　HP all-in-one は、デジタル カメラがカメラ ポート経由で HP all-in-one に接続されている場合は、デジタル カメラのメモリ カードの中身を共有しません。

1　「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2　「**8**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「**ネットワーク メニュー**」 が表示され、「**詳細設定**」 が選択されます。
3　「**3**」 を押して、「**メモリ カードのセキュリティ**」 を選択します。
4　希望のセキュリティ オプションの番号を押します。
   – 「**1. ネットワークを介してファイルを共有する**」
   – 「**2. ネットワークを介してファイルを共有しない**」

コンピュータへの写真の転送

デジタル カメラで写真を撮った後、すぐに印刷することも、コンピュータに直接保存することもできます。写真をコンピュータに保存するには、メモリ カードをカメラから取り出して、HP all-in-one のメモリ カード スロットに挿入する必要があります。

注記　HP all-in-one で一度に使用できるメモリ カードは 1 枚だけです。

1　メモリ カードを HP all-in-one のスロットに挿入します。
メモリ カードが正しく挿入されると、コントロール パネルの 「**フォト**」 ボタンが点滅します。「**カードを読み取り中...**」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。カードへのアクセス中は、メモリ カード スロットの横のステータス ランプが緑に点滅します。
メモリ カードが正しく挿入されていない場合、 メモリ カード スロットの横のステータス ランプがオレンジ色に点滅し、カラー グラフィック ディスプレイに 「**カードが逆向きに装着されています。**」 または 「**カードが完全に挿入されていません。**」 のエラー メッセージが表示されます。

   警告　アクセス中は、メモリ カードを絶対に取り出さないでください。アクセス中に取り外すと、カードのファイルが破損するおそれがあります。スロットの横のステータス ランプが点滅していないときのみ、安全にカードを取り出すことができます。

2　メモリ カードにまだ転送されていないフォト ファイルがあると、フォト ファイルをコンピュータに保存するか問い合わせるダイアログ ボックスが、コンピュータに表示されます。

HP all-in-one がネットワークにある場合、「**フォト**」 を押して 「フォト メニュー」 を表示して、「**3**」 を押して 「コンピュータへ転送」 を選択します。次に、表示されたリストからお使いのコンピュータを選択します。お使いのコンピュータに戻り、画面の指示に従います。

3 保存を選択します。
メモリ カードの未保存の写真がすべてコンピュータに保存されます。
「**Windows の場合**」 : デフォルトでは、ファイルはその写真を撮った月と年のフォルダに保存されます。Windows XP および Windows 2000 の場合、「**C:\Documents and Settings\ユーザー名\My Documents\My Pictures**」 フォルダに作成されます。
「**Macintosh の場合**」 : デフォルトでは、ファイルはコンピュータの「**Hard Drive:Documents:HP All-in-One Data:Photos**」 フォルダ (OS 9 の場合) または、「**Hard Drive:Users: ユーザー名 :Pictures:HP Photos**」 フォルダ (OS X の場合) に保存されます。

ヒント コントロール パネルを使用して、接続しているコンピュータにメモリ カード ファイルを転送することもできます。「**フォト**」 を押し、次に 「**3**」 押して 「コンピュータへ転送」 を選択します。コンピュータに表示される指示に従います。また、メモリ カードはコンピュータにドライブとして表示されます。フォト ファイルをメモリ カードからデスクトップに移動することができます。

メモリ カードに未保存のファイルがない場合、HP all-in-one がメモリ カードの読み取りを終了すると、「**フォト**」 ボタンの点滅が点灯に変わり、メモリ カード スロットの横にあるステータス ランプが点灯状態になります。メモリ カードの最初の写真が、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
カードの写真を見るには、◀ または ▶ を押すと、1 枚ずつ順に (逆に) 表示されます。◀ または ▶ を押し続けると、前の写真または次の写真をさらに早く表示できます。

注記 Macintosh の Image Capture アプリケーションを使用しても、画像をアンロードすることができます。詳細は、Macintosh に付属するマニュアルを参照してください。

フォト シートからの写真の印刷

フォト シートを使うと、コンピュータを使用しないで、直接メモリ カードから選択して印刷できます。フォト シートにはメモリ カードに保存されている写真のサムネイル ビューが表示され、長さは数ページになることもあります。 各サムネイルにはファイル名、インデックス番号、日付が表示されています。フォト シートは、写真の簡単なカタログ作成としても利用できます。
フォト シートを使用して写真を印刷するには、フォト シートの印刷、記入、スキャンの 3 つのステップが必要です。

注記　HP all-in-one に挿入されているメモリ カードのフォト シートのみを印刷することができます。PictBridge カメラ ポートに接続した PictBridge 対応カメラから写真を印刷することはできません。

フォト シートの印刷、記入、スキャンという 3 つのステップに従うと、フォト シートから写真を印刷することができます。ここでは、この 3 つのステップについて詳しく説明します。

ヒント　カラー フォト プリント カートリッジやグレー プリント カートリッジを使用すると、HP all-in-one で印刷する写真の品質が向上します。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジの両方をセットすると、6 色インク システムになり、写真がよりきれいに印刷できます。カラー プリント カートリッジとグレー プリント カートリッジの両方をセットすることで、より広範囲のグレー トーンで印刷でき、モノクロ写真の品質が向上します。フォト プリント カートリッジの詳細については、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。グレー プリント カートリッジの詳細については、グレー プリント カートリッジの使用を参照してください。

フォト シートの印刷

フォト シートから写真を印刷するための最初のステップは、HP all-in-one からのフォト シートの印刷です。

1　メモリ カードを HP all-in-one のスロットに挿入します。
2　「**フォト シート**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
これで 「フォト シート メニュー」 が表示され、「フォト シートの印刷」 が選択されます。

注記　メモリ カード内の写真枚数によって、フォト シートの印刷にかかる時間は異なります。

3　21 枚以上の写真がカードに入っている場合、「写真選択メニュー」 が表示されます。コマンドを選び、その番号を押します。
– 「**1. すべて**」
– 「**2. 最後の 20 枚**」
– 「**3. カスタム範囲**」

注記　フォト シートのインデックス番号から、カスタム範囲で印刷する写真を選択します。この番号は、デジタル カメラで写真に関連付けられた番号とは異なります。メモリ カードに写真を追加したり、削除したら、フォト シートを再印刷して新しいインデックス番号を確認してください。

4　「カスタム範囲」 を選択した場合、印刷対象の写真の最初と最後のインデックス番号を入力します。

注記　戻る記号の ◀ を押すと、インデックス番号を消去できます。

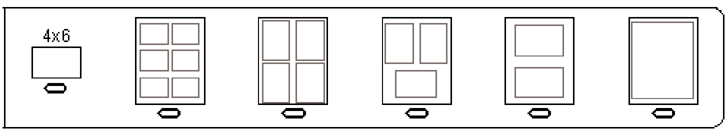
フォト シートの記入

フォト シートを印刷したら、印刷する写真を選択します。

注記　フォト プリント カートリッジを使用すると、よりきれいに印刷できます。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。詳細については、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。



1　フォト シートのサムネイル画像の下にある円を黒いペンか鉛筆で塗りつぶして、印刷する写真を選択します。
2　フォト シートの ステップ 2 から 円を塗りつぶして、レイアウト スタイルを 1 つだけ選択します。



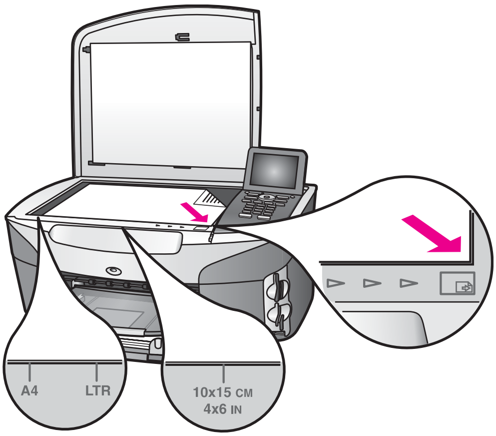
注記　フォト シートでできる印刷設定よりも、詳細な設定が必要な場合は、コントロール パネルから写真を直接印刷してください。詳細については、メモリ カードからの写真の直接印刷を参照してください。

フォト シートのスキャン

フォト シートから写真を印刷する最後のステップは、スキャナのガラス板にセットした記入済みフォト シートのスキャンです。

ヒント　HP all-in-one のガラス板に汚れがないことを確認してください。 汚れがあると、フォト シートを正しくスキャンできないことがあります。詳細については、ガラス板のクリーニングを参照してください。

1　フォト シートの表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。フォト シートの短辺と長辺が、ガラス板の右端と前端に揃っていることを確認します。カバーを閉じます。



2　L 判をフォトシートで選択した場合は、L 判 のフォト用紙を給紙トレイにセットします。フォト シートのスキャン中は、そのフォト シートの印刷に、使用したメモリ カードがスロットに挿入されていることを確認してください。

3　「**フォト シート**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「フォト シート メニュー」 が表示され、「フォト シートのスキャン」 が選択されます。
HP all-in-one でフォト シートがスキャンされて、選択した写真が印刷されます。

写真の印刷オプションの設定

写真を印刷する場合、用紙の種類、サイズ、レイアウトなどのさまざまな設定を HP all-in-one のコントロール パネルで操作できます。

ここでは、写真の印刷オプションの設定、印刷オプションの変更、および写真の印刷オプションの新しいデフォルトの設定について説明します。

HP all-in-one のコントロール パネルから利用可能な 「フォト メニュー」 を使用すると、写真の印刷オプションにアクセスしたり、写真の印刷オプションを設定したりできます。

ヒント　写真の印刷オプションの設定には、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用することもできます。詳細については、「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

印刷オプション メニューを使用して写真の印刷オプションを設定

「印刷オプション」 メニューからは、枚数や用紙の種類などの写真の印刷方法について、さまざまな設定ができます。デフォルトの単位とサイズは、国/地域によって異なります。

1. メモリ カードを HP all-in-one のスロットに挿入します。
2. 「**フォト**」 を押します。
   「フォト メニュー」 が表示されます。
3. 「**1**」 を押して 「印刷オプション」 メニューにアクセスし、変更する設定を選んで番号を押します。

設定	説明
「1. コピー枚数」	印刷枚数を設定します。
「2. 画像サイズ」	印刷する画像のサイズを設定します。2 つの選択肢「ページ全体に印刷」 および 「ページに合わせる」 について、次に説明します。その他については省略します。 「ページ全体に印刷」 設定では、用紙の印刷可能範囲全体に印刷するように画像の大きさが調整されます。給紙トレイにフォト用紙をセットした場合、写真は白いフチでは囲まれません。トリミングも行われることがあります。「ページに合わせる」 設定では、トリミングをしないで、原稿の縦横比を維持したまま、ページのできるだけ多くの部分が使用されます。画像はページの中央に配置され、白フチで囲まれます。
「3. トレイ選択」	HP all-in-one が使用する給紙トレイ (前部または後部) を選択します。HP all-in-one の電源をオンにした際に、後部トレイが検出された場合にのみ、この設定を選択することができます。
「4. 用紙サイズ」	現在の印刷ジョブで使用する用紙サイズを選択します。「自動」 設定では、デフォルトで大判 (レターまたは A4) の用紙サイズと小さい 10 x 15 cm の用紙サイズに設定されますが、国または地域に応じて異なります。「用紙サイズ」 と 「用紙の種類」 ともに 「自動」 に設定すると、HP all-in-one は現在の印刷ジョブに最適な印刷オプションを選択します。「用紙サイズ」 をその

設定	説明
	他の設定に変更すると、自動設定よりも優先されます。
「5. 用紙の種類」	現在の印刷ジョブで使用する用紙の種類を選択します。「自動」 設定では、HP all-in-one で、自動的に用紙の種類を検出して設定します。「用紙サイズ」 と 「用紙の種類」 の両方を 「自動」 に設定すると、HP all-in-one は現在の印刷ジョブに最適な印刷オプションを選択します。「用紙の種類」 をその他の設定に変更すると、自動設定よりも優先されます。
「6. レイアウト スタイル」	現在の印刷ジョブで使用するレイアウト スタイルを、2 種類の中から 1 つ選択します。 「ペーパー セーバー」 レイアウト スタイルは、必要に応じて回転とトリミングを行い、その用紙にできるだけ多くの写真が収まるようにレイアウトします。 「アルバム」 レイアウト スタイルは、写真原稿の向きを変えないでレイアウトします。トリミングも行われることがあります。
「7. スマート フォーカス」	写真の自動デジタル シャープニングを有効または無効にします。「スマートフォーカス」 は、印刷される写真にのみ適用されます。この設定を有効にしても、カラー グラフィック ディスプレイに表示される写真またはメモリ カードの実際の画像は変更されません。デフォルトでは 「スマートフォーカス」 は有効です。
「8. デジタル フラッシュ」	暗い写真を明るくします。「デジタルフラッシュ」 は、印刷される写真にのみ適用されます。この設定を有効にしても、カラー グラフィック ディスプレイに表示される写真またはメモリ カードの実際の画像は変更されません。デフォルトでは 「デジタルフラッシュ」 は有効です。
「9. 新しいデフォルトの設定」	現在の 「印刷オプション」 設定を新しいデフォルトとして保存します。

印刷オプションの変更

「印刷オプション」 メニュー設定の変更は、いずれも同様の方法でできます。

1 「**フォト**」 を押し、次に 「**1**」 を押して、変更する設定を選んで番号を押します。コントロール パネルで ▼ を押しながら 「印刷オプション」 メニューをスクロールすると、すべてのオプションを見ることができます。
現在選択されているオプションが強調表示されます。そのオプションにデフォルト設定があれば、メニューの下 (カラー グラフィック ディスプレイの下部) に表示されます。
2 設定を変更してから 「**OK**」 を押します。

注記 もう一度 「**フォト**」 を押して 「印刷オプション」 メニューを終了し、写真画面に戻ります。

写真印刷オプションのデフォルトの変更

写真印刷オプションのデフォルトをコントロール パネルで変更できます。

1 「**フォト**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「印刷オプション」 メニューが表示されます。
2 オプションを変更します。
オプションの変更を確定すると、「印刷オプション」 メニューが再表示されます。
3 「印刷オプション」 メニューの表示中に 「**9**」 を押し、新しいデフォルトを設定するか問い合わせるメッセージが表示されたら 「**OK**」 を押します。
現在のすべての設定が新しいデフォルトに設定されます。

編集機能の使用

HP all-in-one には、カラー グラフィック ディスプレイに表示中の画像に適用できる、基本的な編集機能が搭載されています。この編集機能には、明度調整、特殊カラー効果などがあります。

ここでは、次の項目について説明します。HP all-in-one での画像の編集、および 「**ズーム**」 または 「**回転**」 機能の使用

HP all-in-one での画像の編集

この編集機能は、現在表示中の写真に使用することができます。編集結果は印刷と表示のみに反映されます。画像データは変更されません。

1 「**フォト**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「編集」 メニューが表示されます。
2 対応する番号を押して、使用する編集オプションを選択します。

編集オプション	用途
「1. 写真の明度」	表示中の画像を明るく、または暗くします。◀ を押すと、画像が暗くなります。▶ を押すと、画像が明るくなります。
「2. カラー効果」	画像に適用可能な特殊カラー効果のメニューを表示します。「効果なし」 を選択すると、画像は未加工のままになります。「セピア」 を選択すると、1900 年代の写真に特有の茶色のトーンが適用されます。「アンティーク」 は 「セピア」 に似ていますが、画像に時代めいた雰囲気が出るように、淡い色合いが追加されます。「モノクロ」 を選択すると、「**スタート - モノクロ**」 を押したときと同じ効果が得られます。
「3. フレーム」	現在の画像にフレームおよびフレーム カラーを適用します。
「4. 赤目」	写真の赤目を補正します。「オン」 を選択すると、赤目が補正されます。「オフ」 を選択すると、赤目が補正されません。デフォルトの設定は 「オフ」 です。

ズーム機能または回転機能の使用

印刷前に、写真のズーム イン、ズーム アウト、または写真の回転ができます。ズーム設定および回転設定は、現在の印刷ジョブにのみ適用されます。この設定は写真には保存されません。

ズーム機能を使用するには

1 カラー グラフィック ディスプレイに写真を表示します。
2 「**ズーム**」 を押し、ズーム インの場合には 「**3**」 を押し、ズーム アウトの場合には 「**1**」 を押して、写真の表示サイズを変更します。矢印キーを使用すると、写真をパンして、大体の印刷範囲を確認できます。
3 「**スタート - カラー**」 または 「**スタート - モノクロ**」 を押して、写真を印刷します。
4 ズーム機能を終了して写真を元の状態に戻すには、「**キャンセル**」 を押します。

回転機能を使用するには

1 カラー グラフィック ディスプレイに写真を表示します。
2 「**回転**」 を押して、写真を回転します。1 回押すたびに、写真は時計回りに 90 度ずつ回転します。
3 「**スタート - カラー**」 または 「**スタート - モノクロ**」 を押して、写真を印刷します。
4 「**回転**」 を押して、写真を元の状態に戻します。

メモリ カードからの写真の直接印刷

メモリ カードを HP all-in-one に挿入し、コントロール パネルを使用すると、写真を印刷することができます。PictBridge 対応のデジタル カメラの写真を HP all-in-one で印刷する方法については、PictBridge 対応のデジタル カメラからの写真の印刷を参照してください。

ここでは、個々の写真の印刷、フチ無し写真の作成、写真の選択解除について説明します。

注記　写真を印刷するときは、用紙の種類および写真の画質向上設定について、正しいオプションを選択する必要があります。詳細については、写真の印刷オプションの設定を参照してください。また、フォト プリント カートリッジを使用すると、より美しく印刷することができます。詳細については、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、写真の印刷およびその他の機能が利用できます。このソフトウェアを使用すると、アイロン プリント紙、ポスター、バナー、ステッカーなどのクリエイティブなプロジェクトで、写真を使用することができます。詳細については、オンスクリーン「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

個々の写真の印刷

フォト シートを使用しないで、コントロール パネルから直接写真を印刷することができます。

1　メモリ カードを HP all-in-one のスロットに挿入します。
「**フォト**」 ボタンが点灯します。

2　写真をカラー グラフィック ディスプレイに表示して、それを印刷するには 「**OK**」 を押します。その写真にチェック マークが付きます。◀ または ▶ で、前の写真または次の写真を表示します。写真は 1 枚ずつ表示されます。◀ または ▶ を押し続けると、さらに早く表示できます。

注記　印刷する写真のインデックス番号を入力して写真を選択することもできます。範囲を指定するには、シャープ記号 「**#**」 を押してください。写真のインデックス番号を入力したら、「**OK**」 を押します。写真のインデックス番号がわからない場合は、印刷する個々の写真を選択する前にフォト シートを印刷してください。

3　「**フォト**」 を押して 「フォトメニュー」 を表示し、写真の印刷オプションに必要な変更を加えます。この印刷ジョブが完了すると、印刷オプションの設定はデフォルトの設定に戻ります。

4　「**スタート - モノクロ**」 または 「**スタート - カラー**」 を押して、選択した写真を印刷します。

フチ無しプリントの作成

HP all-in-one には、メモリ カードの写真を、フチ無しプリントできる機能があります。

1　メモリ カードを HP all-in-one のスロットに挿入します。
　「**フォト**」 ボタンが点灯します。
2　写真をカラー グラフィック ディスプレイに表示して、それを印刷するには 「**OK**」 を押します。その写真にチェック マークが付きます。◀ または ▶ で、前の写真または次の写真を表示します。写真は 1 枚ずつ表示されます。◀ または ▶ を押し続けると、さらに早く表示できます。

　注記　印刷する写真のインデックス番号を入力して、写真を選ぶこともできます。範囲を指定するには、シャープ記号 「**#**」 を押してください。写真のインデックス番号を入力したら、「**OK**」 を押します。

3　表を下向きにして、フォト用紙を給紙トレイの右奥隅にセットし、用紙ガイドを調整します。

　ヒント　お使いのフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。

4　「**スタート - モノクロ**」 または 「**スタート - カラー**」 を押して、選択した写真をフチ無しプリントで印刷します。

写真の選択解除

コントロール パネルから写真を選択解除できます。

➔ 次のいずれかを実行してください。
- ディスプレイに表示されている写真を選択解除するには、「**OK**」 を押します。
- **すべての**写真を選択解除して、アイドル画面に戻るには、「**キャンセル**」 を押します。

PictBridge 対応のデジタル カメラからの写真の印刷

HP all-in-one は PictBridge 規格をサポートしています。PictBridge 対応のデジタル カメラをカメラ ポートに接続すると、デジタル カメラのメモリ カードに記録されている写真を印刷することができます。

1　PictBridge 対応のデジタル カメラを、そのカメラに付属する USB ケーブルを使用して、HP all-in-one の正面にあるカメラ ポートに接続します。
2　カメラの電源をオンにして、PictBridge モードになっていることを確認します。

注記　カメラが正しく接続されると、メモリ カード スロットの横にあるステータス ランプが点灯します。カメラから印刷しているときには、ステータス ランプが緑色に点滅します。

カメラが PictBridge に対応していない場合、または PictBridge モードになっていない場合、ステータス ランプがオレンジ色に点滅し、コンピュータのモニタにエラー メッセージが表示されます (コンピュータに HP all-in-one ソフトウェアをインストールしている場合)。カメラの接続ケーブルを外し、問題を解決した後、もう一度接続してください。PictBridge カメラ ポートのトラブルシューティングの詳細については、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**トラブルシューティング ヘルプ**」 を参照してください。

PictBridge 対応のカメラを HP all-in-one に正しく接続すると、写真を印刷できます。HP all-in-one にセットされている用紙のサイズが、カメラの設定と一致していることを確認します。ご使用のカメラの用紙サイズ設定がデフォルトに設定されている場合、HP all-in-one では、給紙トレイに現在セットされている用紙が使用されます。カメラから直接印刷する方法については、カメラに付属するユーザー ガイドを参照してください。

クイック印刷による現在の写真の印刷

「**クイック印刷**」 機能を使用すると、現在カラー グラフィックディスプレイに表示している写真を印刷できます。

1 メモリ カードを HP all-in-one のスロットに挿入します。
2 印刷する写真を選択します。
3 「**スタート - モノクロ**」 または 「**スタート - カラー**」 を押して、現在の設定で写真を印刷します。

DPOF ファイルの印刷

Digital Print Order Format (DPOF) は、このフォーマットをサポートしているデジタル カメラで作成される標準のファイルです。カメラが指定する写真とは、デジタル カメラで印刷のマークをつけた写真のことです。カメラ側で写真を選択すると、カメラが、DPOF ファイルを作成します。DPOF ファイルとは、どの写真に印刷のタグがついているかがわかるファイルです。HP all-in-one では、DPOF ファイルをメモリ カードから読み取ることができるので、印刷対象の写真を選択しなおす必要がなくなります。

注記 すべてのデジタル カメラで、写真に印刷のタグを付けられるとは限りません。お使いのデジタル カメラで DPOF がサポートされているかどうかは、デジタル カメラのマニュアルを参照してください。HP all-in-one では DPOF ファイル フォーマットの 1.1 をサポートしています。

カメラ指定の写真を印刷する場合、HP all-in-one の印刷設定は適用されません。DPOF ファイルによる写真レイアウトと部数の設定が HP all-in-one より優先されます。

DPOF ファイルは、デジタル カメラでメモリ カードに保存されます。 このファイルには次の情報が設定されています。

- 印刷対象の写真
- 各写真の印刷部数
- 写真に適用される回転
- 写真に適用されるトリミング
- インデックス印刷 (選択写真のサムネイル)

カメラ指定の写真を印刷するには

1 メモリ カードを HP all-in-one のスロットに挿入します。DPOF タグが付いた写真がメモリ カードにあると、「**DPOF 写真を印刷しますか?**」 のメッセージがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 次のいずれかを実行してください。
   – メモリ カード内の DPOF のタグが付いた写真をすべて印刷するには、「**1**」 を押してください。
   – DPOF を使用して、印刷をしない場合は 「**2**」 を押してください。

スライド ショー機能の使用

「**フォトメニュー**」 の 「**スライド ショー**」 オプションを使用すると、メモリ カードのすべての写真がスライド ショーで表示されます。

スライド ショーでの写真の表示または印刷

HP all-in-one の「**スライド ショー**」機能を使用すると、スライド ショーで表示される写真を、表示または印刷することができます。

スライド ショーを表示するには

1 メモリ カードを HP all-in-one のスロットに挿入します。
2 「**フォト**」 を押して、「**フォトメニュー**」 を表示します。
3 「**4**」 を押して、スライド ショーを開始します。
4 スライド ショーを終了するには 「**キャンセル**」 を押します。

スライド ショーで現在表示されている写真を印刷するには

1 印刷する写真がカラー グラフィック ディスプレイに表示されているときに、「**キャンセル**」 を押して、スライド ショーを終了します。
2 「**スタート - モノクロ**」 または 「**スタート - カラー**」 を押して、現在の設定で写真を印刷します。

HP Instant Share による写真の共有

HP all-in-one とそのソフトウェアを使用すると、HP Instant Share と呼ばれる技術により、友人や家族と写真を共有することができます。HP Instant Share を使用すると、次のようなことが実現できます。

- 友人や親戚との写真の共有 (電子メールを使用)
- オンライン アルバムの作成
- 写真のプリントのオンライン注文

注記 日本では、写真のプリントのオンライン注文は利用できません。

HP all-in-one のコントロール パネルから HP Instant Share の機能を最大限に活用するには、HP all-in-one で HP Instant Share を設定する必要があります。HP all-in-one で HP Instant Share を設定する方法については、HP Instant Share の使用 (USB)またはHP Instant Share の使用 (ネットワーク接続)を参照してください。

注記 ネットワークで HP Instant Share を設定すると、USB 接続のデバイスでは HP Instant Share を使用することができません。

友人や親戚とのメモリ カードの写真の共有 (USB 接続)

HP all-in-one を使用すると、メモリ カードを本体に挿入してすぐに写真を共有することができます。適切なカード スロットにメモリ カードを挿入して、写真を選択し、コントロール パネルの 「**フォト**」 を押すだけです。

注記 ネットワークで HP Instant Share を設定すると、USB 接続のデバイスでは HP Instant Share を使用することができません。

1. メモリ カードが HP all-in-one の適切なカード スロットに挿入されていることを確認してください。
2. 写真を選択します。
3. HP all-in-one のコントロール パネルにある 「**フォト**」 ボタンを押します。
   「フォト メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
4. 「**5**」 を押して 「**HP Instant Share**」 を選択します。
   Windows の場合、コンピュータ上に 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアが開きます。「**HP Instant Share**」 タブが開きます。写真のサムネイルが [選択トレイ] に表示されます。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。
   Macintosh をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。「**HP Instant Share**」 画面に各写真のサムネイルが表示されます。

注記　OS X v10.1.5 以前の Macintosh OS (OS 9 を含む) をご使用の場合、写真は Macintosh の 「**HP ギャラリ**」 にアップロードされます。「**電子メール**」 をクリックします。コンピュータの画面に表示される指示に従って、写真を電子メールの添付ファイルとして送信します。

HP Instant Share を使用して他人と写真を共有するには、コンピュータの画面に表示される指示に従ってください。

友人や親戚とのメモリ カードの写真の共有 (ネットワーク接続)

HP all-in-one を使用すると、メモリ カードを本体に挿入してすぐに写真を共有することができます。適切なカード スロットにメモリ カードを挿入して、写真を選択し、コントロール パネルの 「**フォト**」 を押すだけです。

ネットワーク接続した HP all-in-one でメモリ カードの写真を共有する場合、本体で HP Instant Share を設定する必要があります。本体で HP Instant Share を設定する方法については、はじめにを参照してください。

1　メモリ カードが HP all-in-one の適切なカード スロットに挿入されていることを確認してください。
2　写真を選択します。
3　デバイスのコントロール パネルの 「**フォト**」 ボタンを押します。
「フォト メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
4　「**5**」 を押して 「**HP Instant Share**」 を選択します。
「共有メニュー」 が表示されます。
5　矢印 (▲ と ▼) を使用すると、写真の送信先を強調表示できます。
6　「**OK**」 ボタンを押して、送信先を指定し、写真を送信します。

「HP Image Zone」 の使用

「**HP Image Zone**」 を使用すると、画像ファイルの表示や編集ができます。他にも、画像の印刷、電子メールやファクスによる親戚や友人への画像の送信、Web サイトへの画像のアップロードができます。また、画像を遊びやクリエイティブな印刷プロジェクトに使うこともできます。HP ソフトウェアを使うと可能性が広がります。ソフトウェアを使って、HP all-in-one の機能を十分に活用してください。

詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

「**Windows の場合**」 : 「**HP Image Zone**」 を後から開くには、「**HP ディレクタ**」 を開いて 「**HP Image Zone**」 アイコンをクリックします。

「**Macintosh の場合**」 : 「**HP Image Zone**」 の 「**HP ギャラリ**」 コンポーネントを後から開くには、「**HP ディレクタ**」 を開いて 「**HP ギャラリ**」 をクリックするか (OS 9)、ドックの 「**HP Image Zone**」 アイコンを起動します (OS X)。

7 コピー機能の使用

HP all-in-one を使用すると、高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、OHP フィルムを含め、さまざまな種類の用紙に作成できます。原稿のサイズを特定の用紙サイズに合わせて拡大/縮小したり、コピーの色の明るさや濃さを調整したり、特別なコピー機能を使用して写真の高品質コピーや L 判のフチ無しコピーを作成したりすることもできます。

ここでは、コピー速度およびコピー品質の変更方法、コピー枚数の設定方法、実行するジョブに適した用紙の種類およびサイズを選択するためのガイドライン、ポスターの作成方法、およびアイロン プリント紙への印刷方法について説明します。

ヒント 通常のコピーを美しく仕上げるには、用紙サイズを 「**A4**」 または 「**レター**」 に設定し、用紙の種類を 「**普通紙**」、コピー品質を 「**きれい**」 に設定してください。

用紙サイズの設定については、用紙サイズの設定を参照してください。

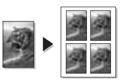
用紙の種類の設定については、用紙の種類を設定を参照してください。

コピー品質の設定については、コピーの高速化またはコピー品質の向上を参照してください。

ここでは、写真のフチ無しコピーや拡大または縮小コピーを作成する方法、1 ページに写真を複数コピーする方法、色あせた写真の補正方法など、写真のコピー方法について学ぶことができます。


L 判用紙への写真のフチ無しコピー


用紙サイズに合わせた L 判写真のコピー


1 ページに写真を複数コピーする


コピーの明るい部分を強調する

用紙サイズの設定

HP all-in-one では用紙サイズを設定できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせます。コピーの場合、用紙サイズのデフォルト設定は、「**自動**」 です。この設定では給紙トレイの用紙サイズが、HP all-in-one によって検出されます。

用紙の種類	推奨の用紙サイズの設定
コピー用紙、多用途用紙、普通紙	「A4」 または 「レター」
インクジェット用紙	「A4」 または 「レター」
アイロン プリント紙	「A4」 または 「レター」
レターヘッド	「A4」 または 「レター」
フォト用紙	「10x15 cm」 または 「フチ無し 10x15 cm」 「A4」 または 「フチ無し A4」 「L 判」 または 「フチ無し L 判」
はがき	「はがき」 または 「フチ無しはがき」
OHP フィルム	「A4」 または 「レター」

1 「**コピー**」 を押し、次に 「**4**」 を押します。
「コピー メニュー」 が表示され、「用紙サイズ」 が選択されます。
2 選択する用紙サイズが表示されるまで、▼ を押し続けます。
3 「**OK**」 を押して、表示されている用紙サイズを選択します。

用紙の種類を設定

HP all-in-one では用紙の種類を設定できます。コピーの場合、用紙の種類のデフォルト設定は、「自動」 です。この設定では給紙トレイ内の用紙の種類が HP all-in-one によって検出されます。

特殊な用紙にコピーする場合、または 「自動」 設定できれいに仕上がらない場合、「コピー メニュー」 から手動で用紙の種類を設定することができます。

1 「**コピー**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「コピー メニュー」 が表示され、「用紙の種類」 が選択されます。
2 ▼ を押して用紙の種類の設定を選択します。次に 「**OK**」 を押します。

以下の表を参照して、給紙トレイにセットされている用紙に対応する用紙の種類の設定を選択してください。

用紙の種類	コントロール パネルの設定
コピー用紙またはレターヘッド	普通紙
HP インクジェット用上質普通紙	普通紙
プレミアムプラスフォト用紙 (光沢)	プレミアムフォト用紙

用紙の種類	コントロール パネルの設定
プレミアムプラスフォト用紙 (つや消し)	プレミアムフォト用紙
プレミアムプラス 10 x 15 cm フォト用紙	プレミアムフォト用紙
フォト用紙	フォト用紙
エヴリデイフォト用紙	エヴリデイ フォト
エヴリデイフォト用紙 (半光沢)	エヴリデイつや消し用紙
その他のフォト用紙	他のフォト用紙
アイロンプリント紙 (カラー生地用)	アイロン プリント紙
アイロンプリント紙 (淡色または白地用)	アイロン左右反転用紙
プレミアム用紙	プレミアムインクジェット用紙
その他のインクジェット用紙	プレミアムインクジェット用紙
ブローシャ & フライヤ用紙 (光沢)	ブローシャ (光沢)
ブローシャ & フライヤ用紙 (つや消し)	ブローシャ (つや消し)
プレミアム OHP フィルムまたはプレミアムプラスインクジェット OHP フィルム	OHP フィルム
その他の OHP フィルム	OHP フィルム
普通はがき	普通紙
光沢はがき	プレミアム フォト用紙
L 判	プレミアムフォト用紙

コピーの高速化またはコピー品質の向上

HP all-in-one には、コピー速度およびコピーの品質に関する 3 つのオプションがあります。

- 「きれい」 印刷をきれいに仕上げます。 多くのコピーに推奨される設定です。「きれい」 設定では、「高画質」 設定よりも速くコピーできます。
- 「高画質」 各種用紙をより美しく印刷し、塗りつぶし領域に縞模様が出ないように仕上げます。「高画質」 でコピーをすると、他の品質設定よりも印刷に時間がかかります。
- 「はやい」 設定は、「きれい」 設定よりも速くコピーできます。文字の印刷品質は 「きれい」 設定と変わりませんが、グラフィックの品質は低

下します。「はやい」設定でコピーをすると、インクの消費量が少ないので、プリント カートリッジが長持ちします。

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
3 「**コピー**」を押し、次に「**6**」を押します。
「コピー メニュー」が表示され、「コピー品質」が選択されます。
4 ▼ を押して品質設定を選択します。次に「**OK**」を押します。
5 「**コピー スタート - モノクロ**」または「**コピー スタート - カラー**」を押します。

給紙トレイの選択

HP all-in-one に複数の給紙トレイがある場合、コントロール パネルを使用して、使用する給紙トレイを指定できます。

1 「**コピー**」を押し、次に「**3**」を押します。
「コピー メニュー」が表示され、「トレイ選択」が選択されます。
2 ▼ を押して、使用する給紙トレイを選択します。
3 「**OK**」を押して、選択されている用紙サイズを確定します。

デフォルトのコピー設定の変更

コントロール パネルからコピー設定を変更すると、その変更は現在のコピー ジョブにのみ適用されます。今後すべてのコピー ジョブにこのコピー設定を適用するには、その設定をデフォルト設定として保存します。

コピー設定をコントロール パネルまたは「**HP ディレクタ**」から変更すると、その変更は現在のコピー ジョブのみに適用されます。今後すべてのコピー ジョブにこのコピー設定を適用するには、その設定をデフォルト設定として保存します。

1 「コピー メニュー」の設定に、必要な変更を加えます。
2 「**0**」を押して、「コピー メニュー」から「新しいデフォルトの設定」を選択します。
3 「**OK**」を押して、デフォルト設定の変更を確定します。

ここで指定した設定は、HP all-in-one 本体にのみ保存されます。ソフトウェアの設定には適用されません。コピー設定の管理に「**HP ディレクタ**」を使用する場合は、「**HP コピー**」ダイアログ ボックスで、最も頻繁に使用する設定をデフォルトに設定してください。その方法については、オンスクリーン「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

原稿の複数コピー

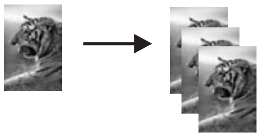
「コピー メニュー」の「コピー枚数」を使用して、印刷するコピー枚数を設定します。

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

2 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
3 「**コピー**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「コピー メニュー」 が表示され、「コピー枚数」 が選択されます。
4 ▶ を押す、またはキーパッドを使用して、コピー枚数を入力します。次に、「**OK**」 を押します。
(最大コピー枚数は、モデルに応じて異なります。)

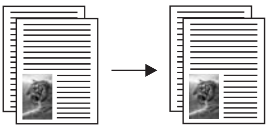
ヒント 矢印ボタンを押し続けるとコピー枚数が 5 枚ずつ増えるので、コピー枚数が多い場合に便利です。

5 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。
下の図は、HP all-in-one で L 判 の写真を 3 枚コピーした例です。



2 ページのモノクロ文書のコピー

HP all-in-one を使用すると、カラーまたはモノクロで複数ページの文書もコピーできます。下の図は、HP all-in-one を使用して、2 ページのモノクロ原稿をコピーした例です。



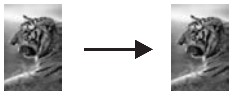
1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 原稿の 1 ページ目の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
3 点灯していなければ、「**コピー**」 を押します。
4 「**コピー スタート - モノクロ**」 を押します。
5 ガラス板から 1 ページ目を取り出して、2 ページ目をセットします。
6 「**コピー スタート - モノクロ**」 を押します。

L 判用紙への写真のフチ無しコピー

高画質で写真をコピーするときは、給紙トレイにフォト用紙をセットします。次に、コピー設定を適切な用紙の種類および写真の強調に変更します。また、フォト プリント カートリッジを使用すると、より美しく印刷することができます。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジ

をインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。詳細については、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

1 L 判 のフォト用紙を給紙トレイにセットします。
2 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて写真原稿をセットします。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3 **「コピー スタート - カラー」** を押します。
下図は、HP all-in-one で、写真原稿を L 判 の用紙にフチ無しコピーした例です。



ヒント フチ無しで出力されない場合、用紙サイズを 「**フチ無し L 版**」 に設定し、用紙の種類を 「**フォト用紙**」 に設定して、さらに 「**写真**」 強調を設定してから、もう一度実行してください。

用紙サイズの設定方法については、用紙サイズの設定を参照してください。

用紙の種類の設定については、用紙の種類を設定を参照してください。

「**写真**」 強調の設定方法については、コピーの明るい部分を強調するを参照してください。

用紙サイズに合わせた L 判写真のコピー

「**ページ全体に印刷**」 使用すると、給紙トレイにセットされている用紙の印刷可能範囲に合わせて,写真を自動的に拡大または縮小することができます。下の例では、「**ページ全体に印刷**」 を選択し、L 判 の写真を用紙に合わせてフチ無しコピーを作成しています。写真をコピーするときは、フォト プリント カートリッジを使用すると、よりきれいに印刷できます。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。詳細については、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

注記 原稿の縦横比を変えないで、フチ無しコピーを実行すると、HP all-in-one で画像の端がわずかな部分で、トリミングされることがあります。



1　A4 フォト用紙またはレター用紙を給紙トレイにセットします。
2　表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて写真原稿をセットします。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3　「**コピー**」 を押して 「コピー メニュー」 を表示します。
4　「**2**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「縮小/拡大」 メニューが表示され、「ページ全体に印刷」 が選択されます。
5　「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

ヒント　フチ無しで出力されない場合、用紙サイズを 「フチ無しレター」 または 「フチ無し A4」 に設定し、用紙の種類を 「フォト用紙」 に設定して、さらに 「写真」 強調を設定してから、もう一度実行してください。

用紙サイズの設定については、用紙サイズの設定を参照してください。

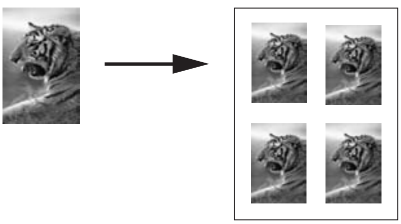
用紙の種類の設定については、用紙の種類を設定を参照してください。

「写真」 強調の設定方法については、コピーの明るい部分を強調するを参照してください。

1 ページに写真を複数コピーする

1 ページに原稿のコピーを複数印刷するには、「コピー メニュー」 から 「縮小/拡大」 で画像サイズを選択します。

画像サイズを選択すると、給紙トレイにセットした用紙に、写真のコピーを複数枚配置するか問い合わせるメッセージが表示されることがあります。



1　用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2　表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて写真原稿をセットします。

写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

3 「**コピー**」 を押して 「コピー メニュー」 を表示します。

4 「**2**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「縮小/拡大」 メニューが表示され、「画像サイズ」 が選択されます。

5 ▼ を押して写真のコピー サイズを選択します。次に 「**OK**」 を押します。
給紙トレイにセットした用紙に写真のコピーを複数配置するか、1 枚だけ配置して印刷するかを指定できます。
画像のサイズが大きい場合は、画像の数を選択するメッセージは表示されません。この場合、ページにコピーされる画像は 1 枚だけです。

6 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

A4 用紙またはレター用紙に合わせた原稿のサイズ調整

原稿の画像や文字がページ全体に配置されて、余白がない場合は、「ページに合わせる」 を使用すると、原稿を縮小でき、端の文字や画像が不必要にトリミングされることを防ぐことができます。



ヒント また、「ページに合わせる」 を使用すると、小さな写真を用紙サイズの印刷可能領域内に合わせて、拡大することもできます。原稿の縦横比を変えずに拡大する、または端をトリミングせずに拡大するため、HP all-in-one では用紙の端に不均等な余白がそのまま残ることがあります。

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

2 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

3 「**コピー**」 を押し、次に 「**4**」 を押します。
「コピー メニュー」 が表示され、「用紙サイズ」 が選択されます。

4 ▼ を押して、「レター」 を選択します。次に 「**OK**」 を押します。

5 「**1**」 を押して、「コピー メニュー」 から 「縮小/拡大」 を選択します。

6 ▼ を押して、「ページに合わせる」 を選択します。次に 「**OK**」 を押します。

7 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

コピー機能の使用

色あせた原稿のコピー

「薄く/濃く」 を使用すると、コピーの明るさを調節できます。色の濃さを調整すると、コピーの色をより鮮やかに、あるいはより落ち着いたものにすることができます。

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
3 「**コピー**」 を押し、次に 「**7**」 を押します。
「コピー メニュー」 が表示され、「薄く/濃く」 が選択されます。「薄く/濃く」 の値の範囲が、カラー グラフィック ディスプレイにスケール (目盛り) で表示されます。
4 ▶ を押してコピーの色を濃くします。次に 「**OK**」 を押します。

注記 コピーの色を薄くするには、◀ を押します。

5 「**9**」 を押して、「コピー メニュー」 から 「色の濃さ」 を選択します。
色の濃さの値の範囲は、カラー グラフィック ディスプレイにスケール (目盛り) で表示されます。
6 ▶ を押して画像をより鮮やかにします。次に 「**OK**」 を押します。

注記 画像を薄くするには、◀ を押します。

7 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

何回もファクスされた文書のコピー

「強調」 機能を使用すると、モノクロ文字の輪郭がはっきりし、テキスト文書の品質を自動調整したり、白に見えてしまう薄い色を強調して、写真を自動調整したりすることができます。

デフォルトのオプションは 「混在」 の強調です。「混在」 の強調を使用すると、ほとんどの原稿の輪郭がはっきりします。

コントロール パネルでぼやけた文書をコピーするには

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
3 「**コピー**」 を押し、次に 「**8**」 を押します。
「コピー メニュー」 が表示され、「強調」 が選択されます。
4 ▼ を押して、「文字」 強調設定を選択します。次に 「**OK**」 を押します。
5 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

ヒント　次のような場合は、「写真」 または 「なし」 を選択して、「文字」の強調をオフにしてください。

- コピー上で色の点が文字の周りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーの細かい図または線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

コピーの明るい部分を強調する

「写真」 強調を使用すると、白に見えてしまう薄い色を強調することができます。「文字」 強調でコピーするときに起こりやすい次のような問題を解消または軽減する場合に、「写真」 強調は便利です。

- コピー上で色の点が文字の周りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーの細かい図または線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

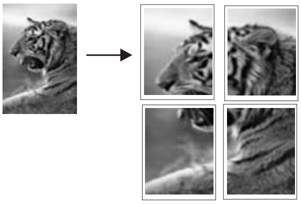
コントロール パネルで露出過度になった写真をコピーするには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて写真原稿をセットします。
   写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3. 「**コピー**」 を押し、次に 「**8**」 を押します。
   「コピー メニュー」 が表示され、「強調」 が選択されます。
4. ▼ を押して、「写真」 強調設定を選択します。次に 「**OK**」 を押します。
5. 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

HP all-in-one に付属する 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、コピー対象の写真と文書の 「強調」 が簡単に設定できます。マウスを 1 回クリックするだけで、写真は 「写真」 強調でコピーする、文字は 「文字」 強調でコピーする、画像と文字が混在する文書は 「写真」 と 「文字」 の両方を強調してコピーする、などの設定ができます。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

ポスターの作成

「ポスター」 を使用すると、原稿を分割して拡大コピーし、その分割したものを組み合わせて、1 つの大きなポスターにできます。



1　用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2　表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
　写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3　「**コピー**」 を押して 「コピー メニュー」 を表示します。
4　「**2**」 を押し、次に 「**6**」 を押します。
　「縮小/拡大」 が表示され、「ポスター」 が選択されます。
5　▼ を押して、ポスターのページ幅を選択します。次に 「**OK**」 を押します。
　デフォルトのポスター サイズは 2 ページ幅分です。
6　「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。
　ポスター幅を選択すると、HP all-in-one では原稿の縦横比を維持するように長さが自動的に調整されます。

ヒント　選択したポスター サイズが最大ズーム倍率を超えていて、原稿を拡大できない場合は、ページ幅を小さくしてもう一度実行するように促すエラーメッセージが表示されます。小さいポスター サイズを選択し、もう一度コピーしてください。

HP all-in-one に付属の 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、写真の活用範囲がさらに広がります。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

カラーのアイロン プリント紙の作成

画像または文字をアイロン プリント紙にコピーして、T シャツ、枕カバー、ランチョン マットなどの生地にアイロン プリントすることができます。

ヒント　初めての場合は、いらなくなった服などを使用して、アイロン プリントを練習することをおすすめします。

1　アイロン プリント紙を給紙トレイにセットします。
2　表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
　写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3　「**コピー**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
　「コピー メニュー」 が表示され、「用紙の種類」 が選択されます。

4 ▼ を押して、「アイロンプリント紙」 または 「アイロン左右反転用紙」 を選択します。次に 「**OK**」 を押します。
5 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

注記　用紙の種類で 「アイロン左右反転用紙」 を選択すると、HP all-in-one では原稿の左右反転の画像が自動的にコピーされます。生地にアイロン プリントすると正しい向きになります。

コピーの中止

➔ コピーを中止するには、コントロール パネルの 「**キャンセル**」 を押します。

コピー機能の使用

8 スキャン機能の使用

ここでは、スキャンした画像をアプリケーション、HP Instant Share 送信先、およびメモリ カードに送信する方法について説明します。

スキャンとは、コンピュータで使用できるように、文字や写真を電子的な形式に変換する過程のことです。写真、雑誌、記事、書類など、さまざまなものがスキャンできます。HP all-in-one のガラス面に傷をつけないように注意すれば、立体物のスキャンもできます。スキャンした画像をメモリ カードに記録すると、携帯性がさらに向上します。

HP all-in-one のスキャン機能を使用すると、次のようなことが可能です。

- 記事のテキストをスキャンしてワード プロセッサに取り込み、レポートに貼り付ける。
- ロゴをスキャンし、パブリッシング ソフトウェアで使用して、名刺やカタログを印刷する。
- お気に入りの写真をスキャンし、電子メールのメッセージに添付して、友人や親戚に送信する。
- 家財や商品の写真目録を作成する。
- 大切な写真を電子スクラップブックにまとめる。

注記 市販されているテキストのスキャン (光学式文字認識または OCR) を活用すると、雑誌記事や本などの印刷物の中身を編集可能なテキストとして、ワード プロセッサやその他のさまざまなプログラムに取り込むことができます。最高の読み取り結果を得るには、OCR の使用方法を知ることが大切です。OCR ソフトウェアを初めてお使いになるときは、スキャンしたテキスト文書の文字が完璧に認識されない場合があります。OCR ソフトウェアの操作は 1 つの技能なので、習得するには時間と練習が必要です。文書、特にテキストとグラフィックの両方を含む文書のスキャンについては、OCR ソフトウェアに付属するユーザー ガイドを参照してください。

スキャン機能を使用するには、HP all-in-one とコンピュータを接続して電源をオンにします。また、スキャンする前に、コンピュータに HP all-in-one ソフトウェアをインストールします。Windows コンピュータで HP all-in-one ソフトウェアが動作していることを確認するには、画面右下の時刻の横にあるシステム トレイに HP all-in-one のアイコンが表示されていることを確認します。Macintosh の場合、HP all-in-one ソフトウェアは常に動作しています。

注記 システム トレイにある HP Windows のアイコンを閉じると、HP all-in-one からスキャン機能の一部が失われ、「接続していません」 エラー メッセージが表示されます。このエラー メッセージが表示された場合、コンピュータを再起動するか、または 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを起動してください。

コンピュータからのスキャン方法や、スキャン画像の調整、サイズ変更、回転、トリミング、鮮明度調整については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

アプリケーションへのスキャン画像の送信

ガラス板にセットした原稿を、コントロール パネルの操作で直接スキャンすることができます。

注記　ここに示されているメニューは、ご使用のコンピュータのオペレーティング システムと、「**HP Image Zone**」 でスキャン画像の送信先に設定されたアプリケーションによって、内容が異なることがあります。

原稿のスキャン (USB 接続)

USB ケーブルで HP all-in-one をコンピュータに直接接続している場合は、次の手順に従ってください。

1　原稿の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2　スキャン ランプが点灯していない場合は、「**スキャン**」 を押します。
「スキャン メニュー」 が表示され、スキャン画像の送信先 (アプリケーション名を含む) の一覧が表示されます。デフォルトの送信先には、前回このメニューを使用したときに選択した送信先が指定されます。お使いのコンピュータで 「**HP Image Zone**」 を使用すると、「スキャン メニュー」 に表示するアプリケーションと送信先を指定できます。
3　スキャン画像を受信するアプリケーションを選択するには、コントロール パネルでその番号を押すか、あるいは矢印キーでそのアプリケーションを選択してから、「**OK**」 または 「**スタート - カラー**」 を押します。モノクロでスキャンするには、「**OK**」 の代わりに 「**スタート モノクロ**」 を押します。
スキャンのプレビュー画像が、コンピュータの 「**HP スキャン**」 画面に表示されます。ここから編集ができます。
プレビュー画像の編集の詳細については、ソフトウェアに付属するオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。
4　「**HP スキャン**」 画面でプレビュー画像を編集します。編集が終了したら、「**適用**」 をクリックします。
スキャン画像が HP all-in-one から選択したアプリケーションに送信されます。たとえば、「**HP Image Zone**」 を送信先に選択している場合は、HP Image Zone が自動的に開いて、画像を表示します。

原稿のスキャン (ネットワーク接続)

ご使用の HP all-in-one がネットワークを経由してコンピュータに接続している場合は、次の手順に従ってください。

1　原稿の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2　スキャン ランプが点灯していない場合は、「**スキャン**」 を押します。
「スキャン メニュー」 が表示され、オプションが一覧で表示されます。

3　「**1**」 を押して 「コンピュータの選択」 を選択するか、あるいは矢印キーを使用してオプションを選択してから、「**OK**」 を押します。
「コンピュータの選択」 メニューが表示され、HP all-in-one に接続されているコンピュータが一覧で表示されます。

注記 「コンピュータの選択」 には、ネットワーク接続されているコンピュータの他に、USB 接続されているコンピュータも一覧に表示されることがあります。

4　デフォルトのコンピュータを選択するには、「**OK**」 を押します。別のコンピュータを選択するには、コントロール パネルでその番号を押すか、あるいは矢印キーでそのコンピュータを選択してから、「**OK**」 を押します。コンピュータのアプリケーションにスキャン画像を送信するには、メニューからお使いのコンピュータを選択します。
「スキャン メニュー」 が表示され、スキャン画像の送信先 (アプリケーション名を含む) の一覧が表示されます。デフォルトの送信先には、前回このメニューを使用したときに選択した送信先が指定されます。お使いのコンピュータで 「**HP Image Zone**」 を使用すると、「スキャン メニュー」 に表示する送信先を指定できます。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

5　スキャン画像を受信するアプリケーションを選択するには、コントロール パネルでその番号を押すか、あるいは矢印キーでそのアプリケーションを選択してから、「**OK**」 または 「**スタート - カラー**」 を押します。モノクロでスキャンするには、「**OK**」 の代わりに 「**スタート モノクロ**」 を押します。
「**HP Image Zone**」 を選択した場合、スキャンのプレビュー画像が、コンピュータの 「**HP スキャン**」 画面に表示されます。ここから編集ができます。

6　「**HP スキャン**」 画面でプレビュー画像を編集します。編集が終了したら、「**適用**」 をクリックします。
スキャン画像が HP all-in-one から選択したアプリケーションに送信されます。たとえば、「**HP Image Zone**」 を送信先に選択している場合は、HP Image Zone が自動的に開いて、画像を表示します。

HP Instant Share の送信先へのスキャン画像の送信

HP Instant Share を使用すると、電子メールのメッセージやオンライン フォト アルバムを通して写真を家族や友人と共有することができます。HP all-in-one のコントロール パネルから HP Instant Share の機能を最大限に活用するには、HP all-in-one で HP Instant Share を設定する必要があります。

HP all-in-one で HP Instant Share を設定する方法については、HP Instant Share の使用 (ネットワーク接続)を参照してください。

HP Instant Share の使用については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

注記　ネットワークで HP Instant Share を設定すると、USB 接続のデバイスでは HP Instant Share を使用することができません。

友人や親戚とスキャン画像を共有 (USB 接続デバイス)

コントロール パネルの 「**スキャン**」 を押して、スキャンした画像を共有します。「**スキャン**」 ボタンを使用するには、表を下にしてガラス板に原稿をセットし、画像の送信先を選択してから、スキャンを開始します。

注記　ネットワークで HP Instant Share を設定すると、USB 接続のデバイスでは HP Instant Share を使用することができません。

1. 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2. 「**スキャン**」 を押します。
   「**スキャン to**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3. ▲ および ▼ 矢印を使用して、「**HP Instant Share**」 を選択します。
4. 「**OK**」 ボタンを押して、送信先を指定し、画像をスキャンします。
   画像がスキャンされ、コンピュータにアップロードされます。
   Windows の場合、コンピュータ上に 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアが開きます。「**HP Instant Share**」 タブが表示されます。スキャンされた画像のサムネイルが [選択トレイ] に表示されます。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。
   Macintosh の場合、コンピュータ上に 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが開きます。スキャンされた画像のサムネイルが 「**HP Instant Share**」 画面に表示されます。

   注記　OS X v10.1.5 以前の Macintosh OS (OS 9 を含む) をご使用の場合、スキャンした画像は Macintosh の 「**HP ギャラリ**」 にアップロードされます。「**電子メール**」 をクリックします。コンピュータの画面に表示される指示に従うと、画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

   HP Instant Share を使用して他人とスキャン画像を共有するには、コンピュータの画面に表示される指示に従ってください。

友人や親戚とスキャン画像を共有 (ネットワーク接続)

コントロール パネルの 「**スキャン**」 を押して、スキャンした画像を共有します。「**スキャン**」 ボタンを使用するには、表を下にしてガラス板に原稿をセットし、画像の送信先を選択してから、スキャンを開始します。

ネットワーク接続した HP all-in-one でスキャン画像を共有するには、最初にコンピュータに 「**HP Image Zone**」 をインストールする必要があります。

コンピュータに「**HP Image Zone**」をインストールする方法については、HP all-in-one に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

1 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2 「**スキャン**」を押します。
すると、「スキャン メニュー」がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3 「**2**」を押して「HP Instant Share」を選択します。
「共有メニュー」が表示されます。
4 矢印 (▲ と ▼) を使用して、画像の送信先を強調表示します。
5 「**OK**」ボタンを押して、送信先を指定し、画像をスキャンします。
画像がスキャンされ、選択した送信先に送信されます。

メモリ カードへのスキャン画像の送信

スキャンした画像は、HP all-in-one のメモリ カード スロットに現在挿入されているメモリ カードに JPEG 画像として送信することができます。また、メモリ カード機能を使用すると、スキャンした画像からフチ無しプリントを作成したり、アルバム ページを作成したりできます。メモリ カードをサポートしている他のデバイスから、スキャンした画像にアクセスすることもできます。

HP all-in-one 内のメモリ カードへスキャン画像を送信 (USB 接続)

スキャンした画像は JPEG 画像としてメモリ カードに送信することができます。ここでは、USB ケーブルで HP all-in-one を コンピュータに接続している場合の手順を説明します。HP all-in-one にメモリ カードが挿入されていることを確認してください。

1 原稿の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2 スキャン ランプが点灯していない場合は、「**スキャン**」を押します。
「スキャン メニュー」が表示され、オプションまたは送信先の一覧が表示されます。デフォルトの送信先には、前回このメニューを使用したときに選択した送信先が指定されます。
3 「メモリ カード」が選択されるまで ▼ を押し、次に「**OK**」を押します。
HP all-in-one によって画像がスキャンされ、そのファイルがメモリ カードに JPEG 形式で保存されます。

HP all-in-one 内のメモリ カードへスキャン画像を送信 (ネットワーク接続)

スキャンした画像は JPEG 画像としてメモリ カードに送信することができます。ここでは、HP all-in-one をネットワークに接続している場合の手順を説明します。

注記　スキャン画像をメモリ カードに送信できるのは、そのメモリ カードがネットワークで共有している場合だけです。詳細については、ネットワークでのメモリ カードのセキュリティ管理を参照してください。

1　原稿の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2　スキャン ランプが点灯していない場合は、「**スキャン**」 を押します。
「スキャン メニュー」 が表示され、オプションまたは送信先が一覧で表示されます。
3　「**3**」 を押して 「メモリ カード」 を選択する、あるいは矢印キーを使用してメモリ カードを選択してから、「**OK**」 を押します。
HP all-in-one によって画像がスキャンされ、そのファイルがメモリ カードに JPEG 形式で保存されます。

スキャンの中止

➔ スキャンを中止するには、コントロール パネルの 「**キャンセル**」 を押します。

9 コンピュータからの印刷

HP all-in-one は印刷が可能な任意のソフトウェアから使用できます。印刷を実行する場合に Windows PC と Macintosh のどちらを使用するかによって、印刷手順が多少異なります。この章を参照して、ご使用のオペレーティング システムに該当する手順に従ってください。

この章で説明する印刷機能に加えて、フチ無し印刷、ニュースレター、およびバナーなどの特殊な印刷ジョブを印刷することができます。また、メモリ カードや PictBridge をサポートするデジタル カメラから直接画像を印刷することや、カメラ付き携帯電話または PDA など、サポートされている Bluetooth デバイスから印刷すること、「**HP Image Zone**」 の印刷プロジェクトでスキャンした画像を使用することもできます。

- メモリ カードまたはデジタル カメラからの印刷の詳細については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。
- Bluetooth デバイスから印刷できるように HP all-in-one を設定する方法については、接続情報を参照してください。
- 特殊な印刷ジョブや 「**HP Image Zone**」 での画像印刷の詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

ソフトウェア アプリケーションからの印刷

ほとんどの印刷設定は、印刷元のソフトウェア アプリケーションまたは HP ColorSmart テクノロジで自動的に設定されます。印刷の品質の変更、特定の種類の用紙やフィルムに印刷、特殊機能の使用にのみ、手動で設定を変更する必要があります。

文書の作成に使用したソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Windows の場合)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの 「**印刷**」 をクリックします。
3. HP all-in-one をプリンタとして選択します。
4. 設定を変更する必要がある場合は、「**プロパティ**」 ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
   ソフトウェア アプリケーションによって、このボタンは 「**プロパティ**」、「**オプション**」、「**プリンタ設定**」、「**プリンタ**」 などの名前になっています。
5. 「**用紙/品質**」、「**レイアウト**」、「**効果**」、「**基本設定**」、「**カラー**」 タブなどで、印刷ジョブのための適切なオプションを選択します。

ヒント 印刷するジョブの種類に基づいて、一連のデフォルト設定で簡単にジョブを印刷することができます。**「印刷ショートカット」** タブで、**「実行する機能」** 一覧の印刷タスクの 1 つをクリックします。その種類の印刷タスクのデフォルト設定が設定されて、**「印刷ショートカット」** タブに表示されます。必要に応じて、ここで設定を調整するか、または **「プロパティ」** ダイアログ ボックスのその他のタブで変更することができます。

6 **「OK」** をクリックして、**「プロパティ」** ダイアログ ボックスを閉じます。
7 印刷を開始するには、**「印刷」** か **「OK」** をクリックします。

文書の作成に使用したソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Macintosh の場合)

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 印刷を開始する前に、**「セレクタ」** (OS 9)、**「プリント センター」** (OS 10.2 以前)、または **「プリント設定ユーティリティ」** (OS 10.3 以降) で HP all-in-one を選択します。
3 ご使用のソフトウェア アプリケーションで、**「ファイル」** メニューの **「ページ設定」** をクリックします。
「ページ設定」 ダイアログ ボックスが表示され、用紙のサイズ、方向、倍率を指定することができます。
4 ページ属性の選択 :
– 用紙のサイズを選択します。
– 方向を選択します。
– 倍率を入力します。

注記 OS 9 では **「ページ設定」** ダイアログ ボックスに、画像の左右反転オプションと、両面印刷用の用紙余白調整オプションがあります。

5 **「OK」** をクリックします。
6 ご使用のソフトウェア アプリケーションで、**「ファイル」** メニューの **「印刷」** をクリックします。
「印刷」 ダイアログ ボックスが表示されます。OS 9 を使用している場合は、**「全般」** パネルが開きます。OS X を使用している場合は、**「印刷部数と印刷ページ」** パネルが開きます。
7 印刷するプロジェクトに適するように、ポップアップ メニューでそれぞれのオプションの印刷設定を変更します。
8 印刷を開始するには、**「印刷」** をクリックします。

印刷設定の変更

HP all-in-one の印刷設定をカスタマイズして、さまざまな印刷ジョブを行うことができます。

Windows ユーザーの場合

印刷設定を変更する前に、現在の印刷ジョブの設定のみを変更するのか、これ以後のすべての印刷ジョブに適用されるデフォルトとして設定するのか決める必要があります。設定変更を今後すべての印刷ジョブに適用するのか、現在の印刷ジョブのみに適用するのかによって、印刷設定の表示のさせ方が異なります。

今後すべての印刷ジョブに適用される設定を変更するには

1 「**HP ディレクタ**」 で、「**設定**」 をクリックし、「**印刷設定**」 を選択して、「**プリンタ設定**」 をクリックします。
2 印刷設定を変更し、「**OK**」 をクリックします。

現在のジョブに対して印刷設定を変更するには

1 お使いのソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの「**印刷**」 をクリックします。
2 HP all-in-one がプリンタに選択されていることを確認します。
3 「**プロパティ**」 ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
ソフトウェア アプリケーションによって、このボタンは 「**プロパティ**」、「**オプション**」、「**プリンタ設定**」、「**プリンタ**」 などの名前になっています。
4 印刷設定を変更し、「**OK**」 をクリックします。
5 ジョブを印刷するには、「**印刷**」 ダイアログ ボックスで 「**印刷**」 または 「**OK**」 をクリックします。

Macintosh ユーザーの場合

印刷ジョブの設定を変更するには、「**ページ設定**」 と 「**印刷**」 ダイアログ ボックスを使用します。使用するダイアログ ボックスは、設定の変更によります。

用紙のサイズ、方向、倍率 (%) を変更するには

1 印刷を開始する前に、「**セレクタ**」 (OS 9)、「**プリント センター**」 (OS 10.2 以前)、または 「**プリント設定ユーティリティ**」 (OS 10.3 以降) で HP all-in-one を選択します。
2 ご使用のソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの「**ページ設定**」 をクリックします。
3 用紙のサイズ、方向、倍率 (%) の設定を変更し、「**OK**」 をクリックします。

その他のすべての印刷設定を変更するには

1 印刷を開始する前に、「**セレクタ**」 (OS 9)、「**プリント センター**」 (OS 10.2 以前)、または 「**プリント設定ユーティリティ**」 (OS 10.3 以降) で HP all-in-one を選択します。
2 ご使用のソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの「**印刷**」 をクリックします。
3 印刷設定を変更し、「**印刷**」 をクリックしてジョブを印刷します。

印刷ジョブの中止

印刷ジョブを中止する場合、HP all-in-one とコンピュータの両方から操作できますが、HP all-in-one から中止することをおすすめします。

HP all-in-one から印刷ジョブを中止するには

➔ コントロール パネルで、「**キャンセル**」 を押します。カラー グラフィック ディスプレイに表示される 「**印刷取消済**」 というメッセージを確認します。このメッセージが表示されない場合は、「**キャンセル**」 ボタンをもう一度押します。

10 ファクスのセットアップ

『セットアップ ガイド』に記載されているすべてのステップを終了したら、ここに記載されている手順に従って、ファクスのセットアップを完了します。『セットアップ ガイド』は、必要なときに使用できるように、大切に保管してください。

ここでは、既存の機器およびサービスと同じ電話回線で HP all-in-one のファクスが適切に機能するように、HP all-in-one をセットアップする方法について説明します。

HP all-in-one のファクス機能をセットアップする前に、同じ電話回線で使用する機器またはサービスの種類について特定します。次の表の最初の列で、自宅またはオフィスでのセットアップに該当する機器とサービスの組み合わせを選択します。次に、2 列目に記載されているセットアップ方法を参照してください。この章では、それぞれの方法について、設定手順を順を追って説明します。

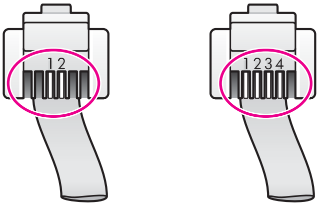
ファクスと一緒に利用するその他の機器やサービス	推奨されるファクスのセットアップ
なし ファクス専用の電話回線があります。	方法 A：ファクス専用回線 (電話の着信なし)
電話会社による DSL (デジタル加入者線) サービス。	方法 B：DSL 使用時の HP all-in-one のセットアップ
構内電話交換システム (PBX) または統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システム。	方法 C：PBX 電話システムまたは ISDN 回線使用時の HP all-in-one のセットアップ
電話会社による着信識別サービス。	方法 D：着信識別サービスを使用している回線でのファクスの送受信
電話。 1 つの電話回線で電話とファクスの両方を受信します。	方法 E：電話/ファクス共用回線
電話とボイス メール サービス。 1 つの電話回線で電話とファクスの両方を受信し、さらに、電話会社によるボイス メール サービスを利用しています。	方法 F：電話/ファクス共用回線 (ボイス メール付き)

HP all-in-one のファクス機能をセットアップする前に、お住まいの国/地域で提供されている電話システムの種類を特定します。HP all-in-one のファクス機能のセットアップ方法は、ご使用の電話システムの種類 (シリアルまたはパラレル) によって異なります。

- 共有している電話機器 (モデム、電話機、および留守番電話) のコネクタが、HP all-in-one の "2-EXT" と物理的に接続できないために、壁側のモジュラー ジャックに接続する必要がある場合、ご使用の電話システムはシリアル タイプです。次の表を参照して、お住まいの国/地域がこの一覧に含まれていないことを確認してください。ご使用の電話システムの種類 (シリアルまたはパラレル) を確認できない場合には、電話会社にお問い合わせください。この種類の電話システムでは、4 線式電話コードを使用して、HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに接続します。
- お住まいの国/地域がこの表に含まれている場合、ご使用の電話システムはおそらくパラレル タイプです。この種類の電話システムでは、2 線式電話コードを使用して、HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに接続します。

アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシャ	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	ラテン アメリカ	マレーシア
メキシコ	フィリピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ
ベトナム		

ヒント　HP all-in-one に付属する電話コードの端のプラグを確認する方法もあります。電話コードのワイヤが 2 本の場合には、2 線式電話コードです。電話コードのワイヤが 4 本の場合には、4 線式電話コードです。下の図には、電話コードの違いが示されています。



自宅またはオフィスの環境に適したファクス セットアップの選択

ファクスを適切に送受信するには、HP all-in-one と同じ電話回線で使用する機器およびサービスの種類について知る必要があります。HP all-in-one に既存のオフィス機器を直接接続したり、ファクス設定を変更したりする必要が生じることがあるため、正しく認識することは重要です。

自宅またはオフィスで HP all-in-one を正しくセットアップするには、最初に、ここに記載されている質問をすべて読んで、回答を記入します。次に、表を参照して、ご自分の回答に該当する推奨セットアップ方法を選択します。

以下の質問は、必ず、記載されている順序に従って回答してください。

1 電話会社の DSL (デジタル加入者線) サービスを利用していますか。
   - ❑ はい、DSL を利用しています。
   - ❑ いいえ。

   「はい」とお答えの場合、方法 B：DSL 使用時の HP all-in-one のセットアップに進んでください。これ以上質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの場合、以降の質問に回答してください。

2 構内電話交換システム (PBX) または統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システムを利用していますか。
   - ❑ はい、利用しています。
   - ❑ いいえ。

   「はい」とお答えの場合、方法 C：PBX 電話システムまたは ISDN 回線使用時の HP all-in-one のセットアップに進んでください。これ以上質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの場合、以降の質問に回答してください。

3 複数の電話番号と呼び出し音パターンを使用できる、電話会社の着信識別サービスを利用していますか。
   - ❑ はい、着信識別サービスを利用しています。
   - ❑ いいえ。

   「はい」とお答えの場合、方法 D：着信識別サービスを使用している回線でのファクスの送受信に進んでください。これ以上質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの場合、以降の質問に回答してください。

着信識別サービスを利用しているか不明ですか。多くの電話会社では、1本の電話回線に対して複数の電話番号を持つ場合に、着信識別音機能が提供されています。
この着信識別サービスでは、シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。シングル呼び出し音の電話番号を電話に、ダブル呼び出し音の電話番号をファクス受信に割り当てることができます。このサービスを利用すると、電話が鳴った時点で、電話とファクスを区別することが可能です。

4 HP all-in-one でファクスを受信するのと同じ電話番号で電話を受信しますか。
   - ❑ はい、電話を受信します。
   - ❑ いいえ。

   以降の質問に回答してください。

5 HP all-in-one と同じ電話回線で PC モデムを使用していますか。
   - ❑ はい、PC モデムを使用しています。
   - ❑ いいえ。

   次の質問に 1 つでも「はい」がある場合、PC モデムを使用しています。
   - – ダイヤルアップ接続で、コンピュータのソフトウェア プログラムからファクスを直接送受信しますか。
   - – ダイヤルアップ接続で、コンピュータから電子メール メッセージを送受信しますか。
   - – コンピュータからダイヤルアップ接続でインターネットにアクセスしますか。

   以降の質問に回答してください。

6 HP all-in-one でファクス受信に使用する電話番号で、電話に応答する留守番電話を使用していますか。
   - ❑ はい、留守番電話を使用しています。
   - ❑ いいえ。

   以降の質問に回答してください。

7 HP all-in-one でファクス受信に使用する電話番号で、電話会社のボイスメール サービスを利用していますか。
   - ❑ はい、ボイス メール サービスを使用しています。
   - ❑ いいえ。

   質問への回答が終了したら、次の章に進んで、ご自分の環境に適したファクスのセットアップ方法を選択してください。

ファクスのセットアップ方法の選択

HP all-in-one と電話回線を共有する機器およびサービスについて質問への回答が終了したので、自宅またはオフィスに最適なセットアップ方法を選択することができます。

次の表の最初の列で、自宅またはオフィスでのセットアップに該当する機器とサービスの組み合わせを選択します。次に、ご使用の電話システムに基づ

いて、2 列目および 3 列目に記載されているセットアップ方法を参照します。この章には、それぞれの方法について、設定手順がステップバイステップで記載されています。

前の章のすべての質問に回答した結果、記載されている機器またはサービスのいずれも使用していないことが判明した場合、表の 1 列目から「なし」を選択してください。

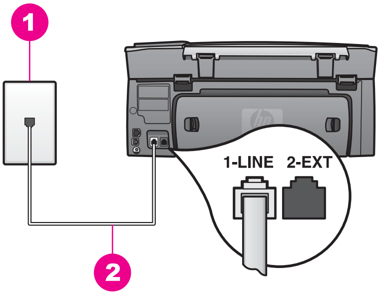
注記 ご自分の自宅またはオフィスに該当するセットアップが説明されていない場合、通常のアナログ電話と同様の方法で HP all-in-one をセットアップしてください。本体に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続してください。別の電話コードを使用すると、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。

ファクスと一緒に利用するその他の機器やサービス	パラレル タイプの電話システムに推奨されるファクスのセットアップ	シリアル タイプの電話システムに推奨されるファクスのセットアップ
なし (すべての質問に「いいえ」と回答しました)	方法 A：ファクス専用回線 (電話の着信なし)	方法 A：ファクス専用回線 (電話の着信なし)
DSL サービス (質問 1 のみに「はい」と回答しました)	方法 B：DSL 使用時の HP all-in-one のセットアップ	方法 B：DSL 使用時の HP all-in-one のセットアップ
PBX または ISDN システム (質問 2 のみに「はい」と回答しました)	方法 C：PBX 電話システムまたは ISDN 回線使用時の HP all-in-one のセットアップ	方法 C：PBX 電話システムまたは ISDN 回線使用時の HP all-in-one のセットアップ
着信識別サービス (質問 3 のみに「はい」と回答しました)	方法 D：着信識別サービスを使用している回線でのファクスの送受信	方法 D：着信識別サービスを使用している回線でのファクスの送受信
電話 (質問 4 のみに「はい」と回答しました)	方法 E：電話/ファクス共用回線	方法 E：電話/ファクス共用回線
電話とボイス メール サービス (質問 4 および 7 のみに「はい」と回答しました)	方法 F：電話/ファクス共用回線 (ボイス メール付き)	方法 F：電話/ファクス共用回線 (ボイス メール付き)

ファクスと一緒に利用するその他の機器やサービス	パラレル タイプの電話システムに推奨されるファクスのセットアップ	シリアル タイプの電話システムに推奨されるファクスのセットアップ
PC モデム (質問 5 のみに「はい」と回答しました)	方法 G : PC モデムとファクスの共用回線 (電話の着信なし)	適用できません
電話および PC モデム (質問 4 および 5 のみに「はい」と回答しました)	方法 H : 電話/ファクス共用回線 (PC モデムあり)	適用できません
電話および留守番電話 (質問 4 および 6 のみに「はい」と回答しました)	方法 I : 電話/ファクス共用回線 (留守番電話付き)	適用できません
電話、PC モデム、および留守番電話 (質問 4、5 および 6 のみに「はい」と回答しました)	方法 J : 電話/ファクス共用回線 (PC モデムおよび留守番電話付き)	適用できません
電話、PC モデム、およびボイス メール サービス (質問 4、5 および 7 のみに「はい」と回答しました)	方法 K : 電話/ファクス共用回線 (PC モデムおよびボイス メール付き)	適用できません

方法 A : ファクス専用回線 (電話の着信なし)

電話の着信がないファクス専用回線を使用し、この回線に本体以外の機器を接続しない場合、ここに記載されている手順に従って、HP all-in-one をセットアップしてください。



HP all-in-one の後部図

1	壁側のモジュラージャック
2	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)

ファクス専用回線で HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注意 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

2 着信を自動的に受信するように HP all-in-one を設定します。

a 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**4**」、「**3**」 の順序で押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「自動応答」 が選択されます。

b 「**1**」 を押して、「オン」 を選択します。

c 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。

3 (オプション) 「応答呼び出し回数」 設定を 1 または 2 回に設定します。この設定の変更の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。

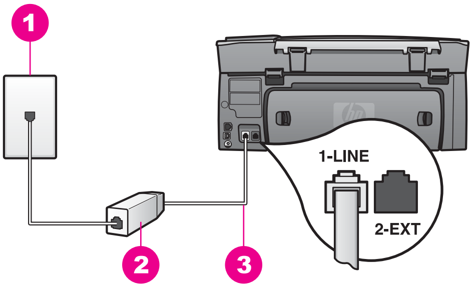
4 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

呼び出し音の回数が 「応答呼び出し回数」 で設定した回数に達すると、HP all-in-one が自動的に応答します。次に、本体は送信側のファクス機にファクス受信トーンを送信し、ファクスを受信します。

方法 B：DSL 使用時の HP all-in-one のセットアップ

電話会社の DSL サービスを利用している場合、ここに記載されている手順に従って、壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one の間に DSL フィルタを接続してください。DSL フィルタは、HP all-in-one と電話回線との正常な交信を妨害するデジタル信号を除去します。(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)

注意 DSL フィルタを接続せずに DSL 回線を使用している場合、HP all-in-one によるファクスの送受信はできません。



HP all-in-one の後部図

1	壁側のモジュラージャック
2	DSL プロバイダより提供される DSL フィルタおよびコード
3	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)

DSL 使用環境で HP all-in-one をセットアップするには

1 DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2 HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を DSL フィルタの空きポートに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注意 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。

3 DSL フィルタ コードを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
4 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

方法 C：PBX 電話システムまたは ISDN 回線使用時の HP all-in-one のセットアップ

PBX 電話システムまたは ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、必ず以下の処理を行ってください。

- PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、HP all-in-one をファクスおよび電話用のポートに接続します。また、ターミナル アダプタがお住まいの国または地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

  注記 ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機に応じてポートを設定できるものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続しているときに問題が発生する場合は、多目的用のポート (「多用途」と書かれている場合があります) を使用してください。

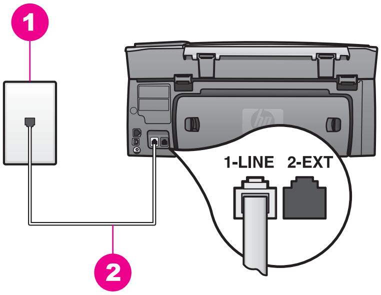
- PBX 電話システムを使用している場合、キャッチホン トーンをオフに設定します。

  注意 デジタル PBX システムの多くは、工場出荷時点でキャッチホン トーンがオンに設定されています。キャッチホン トーンにはファクス送信を妨げる作用があるため、キャッチホン トーンのオンの場合、HP all-in-one でファクスの送受信ができなくなります。キャッチホン トーンをオフにする方法については、PBX 電話システムに付属のマニュアルを参照してください。

- PBX 電話システムを使用している場合、ファクス番号をダイヤルする前に、外線番号をダイヤルします。
- 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用します。使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

方法 D：着信識別サービスを使用している回線でのファクスの送受信

1 つの回線で複数の電話番号と呼び出し音を使用可能な電話会社の着信識別サービスを使用している場合、ここに記載されている手順に従って、HP all-in-one をセットアップしてください。



HP all-in-one の後部図

1	壁側のモジュラージャック
2	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)

着信識別サービスの使用環境で HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注意　壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

2 次の手順に従って、着信に自動的に応答するように HP all-in-one を設定します。

a 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**4**」、「**3**」 の順序で押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「自動応答」 が選択されます。

b 「**1**」 を押して、「オン」 を選択します。

c 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。

3 「応答呼出し音のパターン」 設定を、ご使用のファクス番号に対して電話会社が割り当てたパターン (ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など) に変更します。
この設定の変更の詳細については、応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)を参照してください。

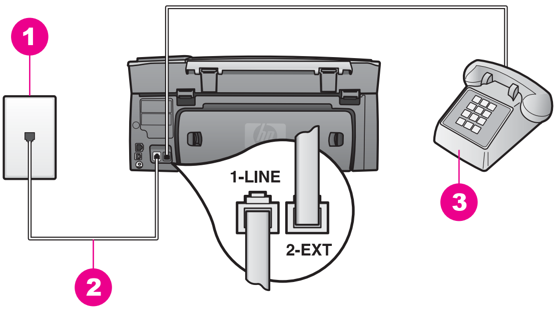
注記　HP all-in-one は、工場出荷時点では、すべての呼び出しパターンに応答するように設定されています。ご使用のファクス番号に対して電話会社が割り当てた呼び出し音のパターンを設定しないと、HP all-in-one は電話とファクスの両方に応答したり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

4　(オプション) 「応答呼び出し回数」 設定を 1 または 2 回に設定します。この設定の変更の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。
5　ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

HP all-in-one は、選択した呼び出し回数 (「応答呼び出し回数」 設定) の後、選択した呼び出し音のパターン (「応答呼出し音のパターン」 設定) に一致する着信に自動的に応答します。次に、本体は送信側のファクス機にファクス受信トーンを送信し、ファクスを受信します。

方法 E：電話/ファクス共用回線

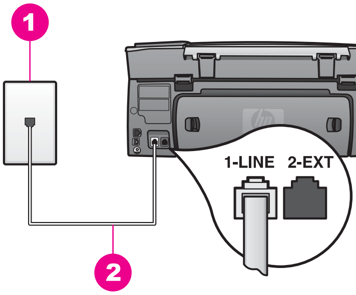
電話とファクスを同じ電話番号で受信し、この回線にその他のオフィス機器 (またはボイス メール) を接続していない場合、ここに記載されている手順に従って、HP all-in-one をセットアップしてください。



HP all-in-one の後部図 (パラレルタイプ)

1	壁側のモジュラージャック
2	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)
3	電話機

ファクスのセットアップ



HP all-in-one の後部図 (シリアルタイプ)

1	壁側のモジュラージャック
2	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)

電話/ファクス共用回線で HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

> **注意** 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

2 ご使用の電話システムに応じて、次のいずれかを実行してください。

– パラレル タイプの電話システムを使用している場合、HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを抜いて、このポートに電話を接続します。

– シリアル タイプの電話システムを使用している場合、電話を壁側のモジュラー ジャックに直接接続します。

3 次に、HP all-in-one の応答方法 (自動または手動) について設定する必要があります。

– 自動で着信に応答するように設定すると、HP all-in-one はすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP all-in-one はファクスと電話を区別できないため、電話の可能性が高いときには、HP all-in-one が着信に応答する前に、ユーザーが電話に応答する必要があります。

– ファクスを手動で受信するように HP all-in-one を設定した場合は、ユーザー自身がその場にいて、ファクスの受信操作を行う必要があります。ユーザーが操作しなければ、HP all-in-one はファクスを受信できません。

a 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**4**」、「**3**」 の順序で押します。

「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「自動応答」 が選択されます。

b 「**1**」 を押して 「オン」 (自動) を選択するか、または 「**2**」 を押して 「オフ」 (手動) を選択します。

c 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。

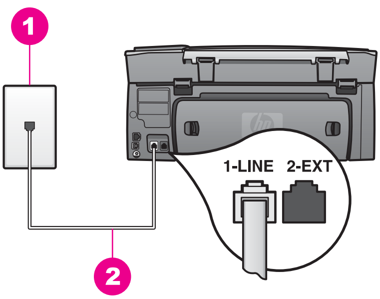
4 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

HP all-in-one が応答する前に、ユーザーが電話に応答して、送信側のファクス機からのファクス トーンを聞いた場合、手動でファクスの受信操作を行う必要があります。詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

方法 F：電話/ファクス共用回線 (ボイス メール付き)

電話とファクスを同じ電話番号で受信し、さらに電話会社のボイス メール サービスを利用している場合、ここに記載されている手順に従って、HP all-in-one をセットアップしてください。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。この場合、ファクスを手動で受信しなければならないので、ファクスの着信時にその場にいる必要があります。ファクスを自動受信するには、電話会社に連絡して、着信識別サービス、または電話専用回線あるいはファクス専用回線を申し込んでください。



HP all-in-one の後部図

1	壁側のモジュラージャック
2	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)

ボイス メール使用環境で HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

> **注意** 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

2 次の手順に従って、着信に手動で応答するように HP all-in-one を設定します。
   a 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**4**」、「**3**」 の順序で押します。
   「**ファクスの基本設定**」 メニューが表示され、「**自動応答**」 が選択されます。
   b 「**2**」 を押して、「**オフ**」 を選択します。
   c 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。

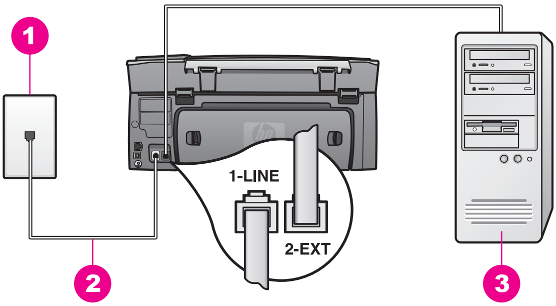
3 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。

方法 G：PC モデムとファクスの共用回線 (電話の着信なし)

電話の着信がないファクス専用回線を使用し、この回線に PC モデムを接続している場合、ここに記載されている手順に従って、HP all-in-one をセットアップしてください。

PC モデムが HP all-in-one と電話回線を共有しているため、PC モデムと HP all-in-one を同時に使用することはできません。PC モデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP all-in-one のファクス機能は使用できません。



HP all-in-one の後部図

1	壁側のモジュラージャック
2	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)
3	モデム付きコンピュータ

PC モデム使用環境で HP all-in-one をセットアップするには

1. HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。
2. コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラー ジャックとの接続に使用されている電話コードを確認します。壁側のモジュラー ジャックからその電話コードを抜いて、HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートに差し込みます。
3. HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

   注意　壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

4. PC モデム ソフトウェアが、ファクスを自動的に受信してコンピュータに保存する設定になっている場合、その設定をオフにします。

   注意　PC モデム ソフトウェアのファクス自動受信設定をオフにしないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。

5. 「自動応答」 オプションを 「オン」 にして、HP all-in-one が着信に自動的に応答するように設定します。
   a 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**4**」、「**3**」 の順序で押します。
   「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「自動応答」 が選択されます。
   b 「**1**」 を押して、「オン」 を選択します。

c 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。

6 (オプション) 「**応答呼び出し回数**」 設定を 1 または 2 回に設定します。この設定の変更の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。

7 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

呼び出し音の回数が 「**応答呼び出し回数**」 で設定した回数に達すると、HP all-in-one が自動的に応答します。次に、本体は送信側のファクス機にファクス受信トーンを送信し、ファクスを受信します。

方法 H：電話/ファクス共用回線 (PC モデムあり)

電話とファクスを同じ電話番号で受信し、この回線に PC モデムを接続している場合、ここに記載されている手順に従って、HP all-in-one をセットアップしてください。

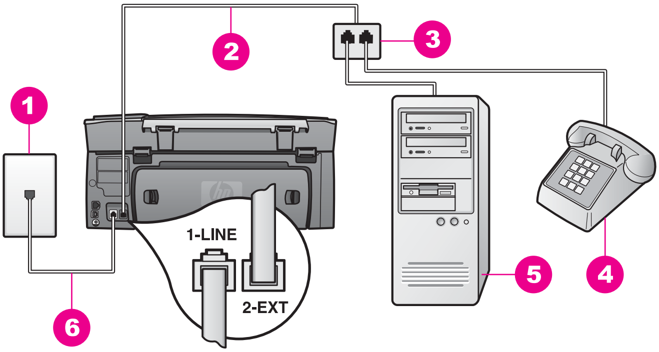
PC モデムが HP all-in-one と電話回線を共有しているため、PC モデムと HP all-in-one を同時に使用することはできません。PC モデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP all-in-one のファクス機能は使用できません。

コンピュータに搭載されている電話ポートの数に応じて、HP all-in-one は 2 通りの方法でコンピュータに対してセットアップすることができます。セットアップを始める前に、コンピュータに搭載されている電話ポートの数 (1 または 2 個) を確認してください。

- コンピュータに搭載されている電話ポートが 1 個の場合、電話ポート 1 個のコンピュータに対する HP all-in-one のセットアップを参照してください。ファクスの送受信および PC モデムの使用を可能にするには、パラレル スプリッター (カップラーとも呼ばれる) を購入する必要があります。(パラレル スプリッターには、正面に RJ-11 ポート 1 個、後部に RJ-11 ポート 2 個があります。2 線式電話スプリッター、シリアル スプリッター、または正面に RJ-11 ポート 2 個、後部にプラグ 1 個を備えるパラレル スプリッターは使用しないでください)。また、電話コードがさらに 3 本必要になります。パラレル スプリッターおよび電話コードは、電話アクセサリを販売している家電販売店で購入できます。
- コンピュータに搭載されている電話ポートが 2 個の場合、電話ポート 2 個のコンピュータに対する HP all-in-one のセットアップを参照してください。

電話ポート 1 個のコンピュータに対する HP all-in-one のセットアップ

ここでは、コンピュータに搭載されている電話ポートが 1 個の場合に、PC モデムと同時に使用できるように HP all-in-one をセットアップする方法について説明します。



HP all-in-one の後部図

1	壁側のモジュラージャック
2	"2-EXT" ポートに接続された電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機
5	モデム付きコンピュータ
6	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)

電話ポート 1 個のコンピュータに対して HP all-in-one をセットアップするには

1. コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラー ジャックとの接続に使用されている電話コードを確認します。壁側のモジュラー ジャックから電話コードを抜いて、パラレル スプリッターの、電話ポートが 2 個ある側に差し込みます。
2. HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

   注意 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

3. HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。
4. 別の電話コードを使用して、一方の端を HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートに接続します。電話コードのもう一方の端をパラレル スプリッターの、電話ポートが 1 個ある側に接続します。
5. PC モデム ソフトウェアが、ファクスを自動的に受信してコンピュータに保存する設定になっている場合、その設定をオフにします。

ファクスのセットアップ

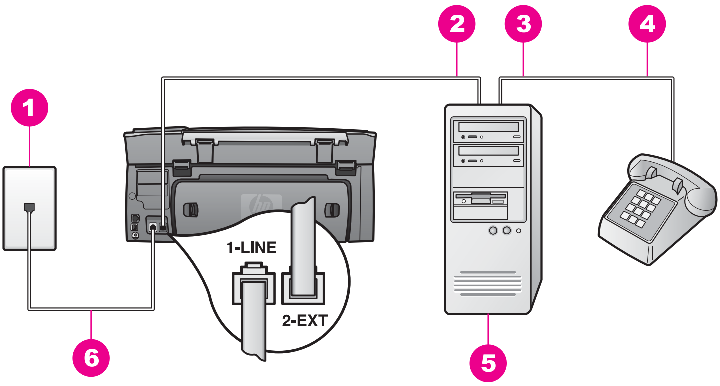
注意 PC モデム ソフトウェアのファクス自動受信設定をオフにしないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。

6 (オプション) 電話をパラレル スプリッターの空き電話ポートに接続します。
7 次に、HP all-in-one の応答方法 (自動または手動) について設定する必要があります。
   – 自動で着信に応答するように設定すると、HP all-in-one はすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP all-in-one はファクスと電話を区別できないため、電話の可能性が高いときには、HP all-in-one が着信に応答する前に、ユーザーが電話に応答する必要があります。
   – ファクスを手動で受信するように HP all-in-one を設定した場合は、ユーザー自身がその場にいて、ファクスの受信操作を行う必要があります。ユーザーが操作しなければ、HP all-in-one はファクスを受信できません。
   a 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**4**」、「**3**」 の順序で押します。
   「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「自動応答」 が選択されます。
   b 「**1**」 を押して 「オン」 (自動) を選択するか、または 「**2**」 を押して 「オフ」 (手動) を選択します。
   c 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。
8 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

HP all-in-one が応答する前に、ユーザーが電話に応答して、送信側のファクス機からのファクス トーンを聞いた場合、手動でファクスの受信操作を行う必要があります。詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

電話ポート 2 個のコンピュータに対する HP all-in-one のセットアップ

ここでは、コンピュータに搭載されている電話ポートが 2 個の場合に、PC モデムと同時に使用できるように HP all-in-one をセットアップする方法について説明します。



HP all-in-one の後部図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話機
5	モデム付きコンピュータ
6	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)

電話ポート 2 個のコンピュータに対して HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。

2 コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラー ジャックとの接続に使用されている電話コードを確認します。壁側のモジュラー ジャックからその電話コードを抜いて、HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートに差し込みます。

3 電話を PC モデムの後部にある "OUT" ポートに接続します。

4 HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

> **注意** 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

5 PC モデム ソフトウェアが、ファクスを自動的に受信してコンピュータに保存する設定になっている場合、その設定をオフにします。

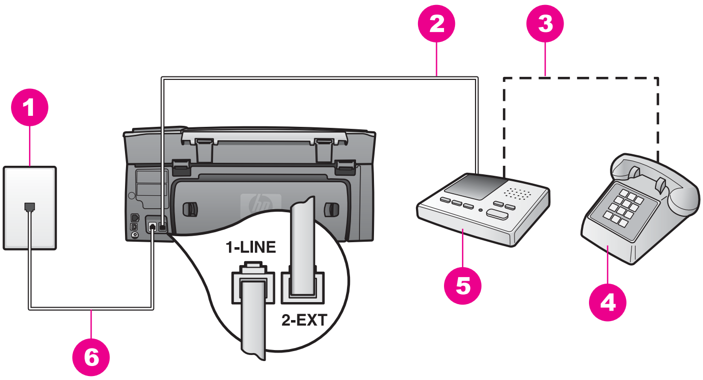
> **注意** PC モデム ソフトウェアのファクス自動受信設定をオフにしないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。

6 次に、HP all-in-one の応答方法 (自動または手動) について設定する必要があります。
   – 自動で着信に応答するように設定すると、HP all-in-one はすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP all-in-one はファクスと電話を区別できないため、電話の可能性が高いときには、HP all-in-one が着信に応答する前に、ユーザーが電話に応答する必要があります。
   – ファクスを手動で受信するように HP all-in-one を設定した場合は、ユーザー自身がその場にいて、ファクスの受信操作を行う必要があります。ユーザーが操作しなければ、HP all-in-one はファクスを受信できません。
   a 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**4**」、「**3**」 の順序で押します。
      「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「自動応答」 が選択されます。
   b 「**1**」 を押して 「オン」 (自動) を選択するか、または 「**2**」 を押して 「オフ」 (手動) を選択します。
   c 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。
7 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

HP all-in-one が応答する前に、ユーザーが電話に応答して、送信側のファクス機からのファクス トーンを聞いた場合、手動でファクスの受信操作を行う必要があります。詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

方法 I : 電話/ファクス共用回線 (留守番電話付き)

電話とファクスを同じ電話番号で受信し、さらに、この番号で留守番電話を使用している場合、ここに記載されている手順に従って、HP all-in-one をセットアップしてください。



HP all-in-one の後部図 (日本では留守電機能付き電話が一般的です。)

1	壁側のモジュラージャック
2	留守番電話の "IN" ポート
3	留守番電話の "OUT" ポート
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)

電話/ファクス共用回線 (留守番電話付き) で HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。

2 壁側のモジュラー ジャックから留守番電話の接続を外して、HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートに接続します。

注記 留守番電話のコードを HP all-in-one に直接接続しないと、送信側のファクス機からのファクス トーンが留守番電話に録音され、HP all-in-one でファクスを受信できないことがあります。

3 HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注意 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

4 (オプション) 留守番電話に電話機能が内蔵されていない場合、留守番電話の後部にある "OUT" ポートに電話機を接続することができます。

5 次の手順に従って、着信に自動的に応答するように HP all-in-one を設定します。

a 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**4**」、「**3**」 の順序で押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「自動応答」 が選択されます。
b 「**1**」 を押して、「オン」 を選択します。
c 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。

6 4 回以下の呼び出し音で応答するように留守番電話を設定します。
7 HP all-in-one の 「応答呼び出し回数」 設定を 6 回に設定します。
この設定の変更の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。
8 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

電話が鳴ると、設定した呼び出し回数の後、留守番電話が応答し、録音メッセージを再生します。この動作の間、HP all-in-one は着信にファクス トーンが含まれていないかモニタします。ファクス トーンが検出されると、HP all-in-one はファクス受信トーンを発信して、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されない場合、HP all-in-one は回線のモニタを停止し、留守番電話が音声メッセージを録音します。

方法 J : 電話/ファクス共用回線 (PC モデムおよび留守番電話付き)

電話とファクスを同じ電話番号で受信し、この回線に PC モデムと留守番電話を接続している場合、ここに記載されている手順に従って、HP all-in-one をセットアップしてください。

PC モデムが HP all-in-one と電話回線を共有しているため、PC モデムと HP all-in-one を同時に使用することはできません。PC モデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP all-in-one のファクス機能は使用できません。

コンピュータに搭載されている電話ポートの数に応じて、HP all-in-one は 2 通りの方法でコンピュータに対してセットアップすることができます。セットアップを始める前に、コンピュータに搭載されている電話ポートの数 (1 または 2 個) を確認してください。

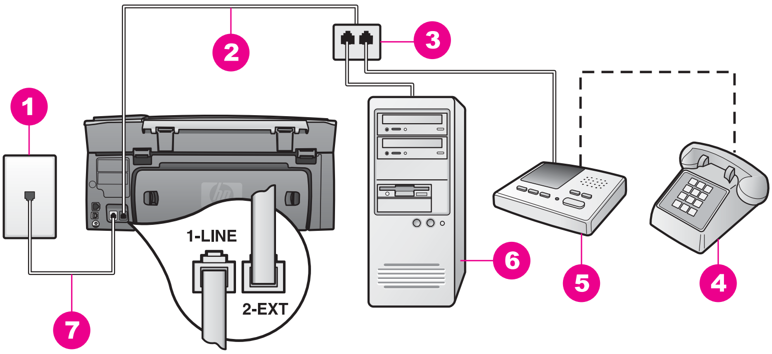
- コンピュータに搭載されている電話ポートが 1 個の場合、電話ポート 1 個のコンピュータに対する HP all-in-one のセットアップを参照してください。ファクスの送受信および PC モデムの使用を可能にするには、パラレル スプリッター (カップラーとも呼ばれる) を購入する必要があります。(パラレル スプリッターには、正面に RJ-11 ポート 1 個、後部に RJ-11 ポート 2 個があります。2 線式電話スプリッター、シリアル スプリッター、または正面に RJ-11 ポート 2 個、後部にプラグ 1 個を備えるパラレル スプリッターは使用しないでください)。また、電話コードがさ

らに 3 本必要になります。パラレル スプリッターおよび電話コードは、家電販売店で購入できます。

- コンピュータに搭載されている電話ポートが 2 個の場合、電話ポート 2 個のコンピュータに対する HP all-in-one のセットアップを参照してください。

電話ポート 1 個のコンピュータに対する HP all-in-one のセットアップ

ここでは、コンピュータに搭載されている電話ポートが 1 個の場合に、PC モデムと同時に使用できるように HP all-in-one をセットアップする方法について説明します。



HP all-in-one の後部図 (日本では留守電機能付き電話が一般的です。)

1	壁側のモジュラージャック
2	"2-EXT" ポートに接続された電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	モデム付きコンピュータ
7	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)

電話ポート 1 個のコンピュータに対して HP all-in-one をセットアップするには

1. コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラー ジャックとの接続に使用されている電話コードを確認します。壁側のモジュラー ジャックから電話コードを抜いて、パラレル スプリッターの、電話ポートが 2 個ある側に差し込みます。
2. HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

> **注意** 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

3 HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。
4 別の電話コードを使用して、一方の端を HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートに接続します。電話コードのもう一方の端をパラレル スプリッターの、電話ポートが 1 個ある側に接続します。
5 壁側のモジュラー ジャックから留守番電話の接続を外して、パラレル スプリッターの、電話ポートが 2 個ある側に接続します。

 注記 この方法で留守番電話を接続しないと、送信側のファクス機からのファクス トーンが留守番電話に録音され、HP all-in-one でファクスを受信できないことがあります。

6 (オプション) 留守番電話に電話機能が内蔵されていない場合、留守番電話の後部にある "OUT" ポートに電話機を接続することができます。
7 PC モデム ソフトウェアが、ファクスを自動的に受信してコンピュータに保存する設定になっている場合、その設定をオフにします。

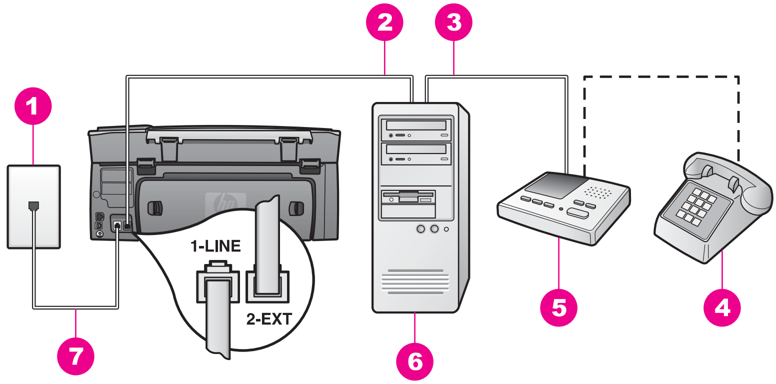
> **注意** PC モデム ソフトウェアのファクス自動受信設定をオフにしないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。

8 次の手順に従って、着信に自動的に応答するように HP all-in-one を設定します。
 a 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**4**」、「**3**」 の順序で押します。
 「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「自動応答」 が選択されます。
 b 「**1**」 を押して、「オン」 を選択します。
 c 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。
9 4 回以下の呼び出し音で応答するように留守番電話を設定します。
10 HP all-in-one の 「応答呼び出し回数」 設定を 6 回に設定します。
 この設定の変更の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。
11 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

電話が鳴ると、設定した呼び出し回数の後、留守番電話が応答し、録音メッセージを再生します。この動作の間、HP all-in-one は着信にファクス トーンが含まれていないかモニタします。ファクス トーンが検出されると、HP all-in-one はファクス受信トーンを発信して、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されない場合、HP all-in-one は回線のモニタを停止し、留守番電話が音声メッセージを録音します。

電話ポート 2 個のコンピュータに対する HP all-in-one のセットアップ

ここでは、コンピュータに搭載されている電話ポートが 2 個の場合に、PC モデムと同時に使用できるように HP all-in-one をセットアップする方法について説明します。



HP all-in-one の後部図 (日本では留守電機能付き電話が一般的です。)

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話機
5	留守番電話
6	モデム付きコンピュータ
7	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)

電話ポート 2 個のコンピュータに対して HP all-in-one をセットアップするには

1. HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。
2. コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラー ジャックとの接続に使用されている電話コードを確認します。壁側のモジュラー ジャックからその電話コードを抜いて、HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートに差し込みます。
3. 壁側のモジュラー ジャックから留守番電話の接続を外して、PC モデムの後部にある "OUT" ポートに接続します。
   PC モデムが最初に接続されてはいますが、この配線により、HP all-in-one と留守番電話が直接接続されることになります。

   注記 この方法で留守番電話を接続しないと、送信側のファクス機からのファクス トーンが留守番電話に録音され、HP all-in-one でファクスを受信できないことがあります。

4 HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

> **注意** 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

5 (オプション) 留守番電話に電話機能が内蔵されていない場合、留守番電話の後部にある "OUT" ポートに電話機を接続することができます。

6 PC モデム ソフトウェアが、ファクスを自動的に受信してコンピュータに保存する設定になっている場合、その設定をオフにします。

> **注意** PC モデム ソフトウェアのファクス自動受信設定をオフにしないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。

7 次の手順に従って、着信に自動的に応答するように HP all-in-one を設定します。

a 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**4**」、「**3**」 の順序で押します。「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「自動応答」 が選択されます。

b 「**1**」 を押して、「オン」 を選択します。

c 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。

8 4 回以下の呼び出し音で応答するように留守番電話を設定します。

9 HP all-in-one の 「応答呼び出し回数」 設定を 6 回に設定します。この設定の変更の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。

10 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

電話が鳴ると、設定した呼び出し回数の後、留守番電話が応答し、録音メッセージを再生します。この動作の間、HP all-in-one は着信にファクス トーンが含まれていないかモニタします。ファクス トーンが検出されると、HP all-in-one はファクス受信トーンを発信して、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されない場合、HP all-in-one は回線のモニタを停止し、留守番電話が音声メッセージを録音します。

方法 K：電話/ファクス共用回線 (PC モデムおよびボイス メール付き)

電話とファクスを同じ電話番号で受信し、この回線で PC モデムを使用して、さらに電話会社のボイス メール サービスも利用している場合、ここに記載されている手順に従って、HP all-in-one をセットアップしてください。

注記　ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。この場合、ファクスを手動で受信しなければならないので、ファクスの着信時にその場にいる必要があります。ファクスを自動受信するには、電話会社に連絡して、着信識別サービス、または電話専用回線あるいはファクス専用回線を申し込んでください。

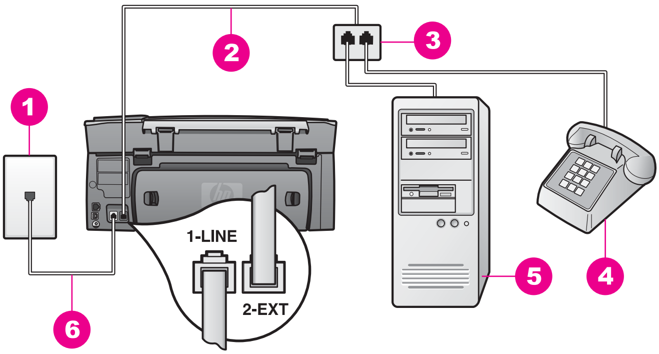
PC モデムが HP all-in-one と電話回線を共有しているため、PC モデムと HP all-in-one を同時に使用することはできません。PC モデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP all-in-one のファクス機能は使用できません。

コンピュータに搭載されている電話ポートの数に応じて、HP all-in-one は 2 通りの方法でコンピュータに対してセットアップすることができます。セットアップを始める前に、コンピュータに搭載されている電話ポートの数 (1 または 2 個) を確認してください。

- コンピュータに搭載されている電話ポートが 1 個の場合、電話ポート 1 個のコンピュータに対する HP all-in-one のセットアップを参照してください。ファクスの送受信および PC モデムの使用を可能にするには、パラレル スプリッター (カップラーとも呼ばれる) を購入する必要があります。(パラレル スプリッターには、正面に RJ-11 ポート 1 個、後部に RJ-11 ポート 2 個があります。2 線式電話スプリッター、シリアル スプリッター、または正面に RJ-11 ポート 2 個、後部にプラグ 1 個を備えるパラレル スプリッターは使用しないでください)。また、電話コードがさらに 3 本必要になります。パラレル スプリッターおよび電話コードは、家電販売店で購入できます。
- コンピュータに搭載されている電話ポートが 2 個の場合、電話ポート 2 個のコンピュータに対する HP all-in-one のセットアップを参照してください。

電話ポート 1 個のコンピュータに対する HP all-in-one のセットアップ

ここでは、コンピュータに搭載されている電話ポートが 1 個の場合に、PC モデムと同時に使用できるように HP all-in-one をセットアップする方法について説明します。



HP all-in-one の後部図

1	壁側のモジュラージャック
2	"2-EXT" ポートに接続された電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機
5	モデム付きコンピュータ
6	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)

電話ポート 1 個のコンピュータに対して HP all-in-one をセットアップするには

1 コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラー ジャックとの接続に使用されている電話コードを確認します。壁側のモジュラー ジャックから電話コードを抜いて、パラレル スプリッターの、電話ポートが 2 個ある側に差し込みます。
2 別の電話コードを使用して、一方の端を HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートに接続します。電話コードのもう一方の端をパラレル スプリッターの、電話ポートが 1 個ある側に接続します。
3 HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注意　壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

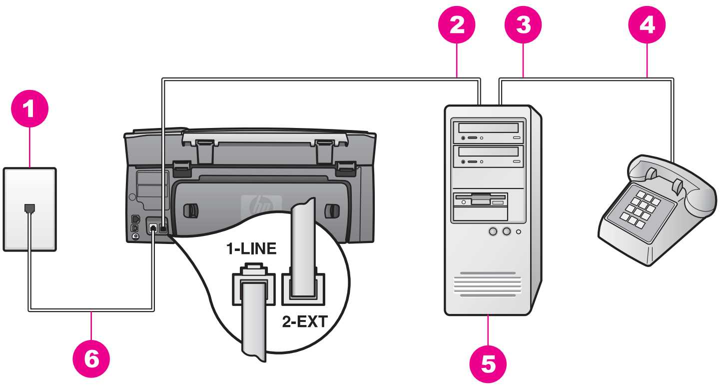
4 HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。
5 PC モデム ソフトウェアが、ファクスを自動的に受信してコンピュータに保存する設定になっている場合、その設定をオフにします。

注意　PC モデム ソフトウェアのファクス自動受信設定をオフにしないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。

6　(オプション) 電話をパラレル スプリッターの空き電話ポートに接続します。
7　次の手順に従って、着信に手動で応答するように HP all-in-one を設定します。
   a　「**セットアップ**」 を押し、次に 「**4**」、「**3**」 の順序で押します。
   「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「自動応答」 が選択されます。
   b　「**2**」 を押して、「オフ」 を選択します。
   c　「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。
8　ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。

電話ポート 2 個のコンピュータに対する HP all-in-one のセットアップ



HP all-in-one の後部図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話機
5	モデム付きコンピュータ
6	HP all-in-one に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続)

電話ポート 2 個のコンピュータに対して HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。
2 コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラー ジャックとの接続に使用されている電話コードを確認します。壁側のモジュラー ジャックからその電話コードを抜いて、HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートに差し込みます。
3 電話を PC モデムの後部にある "OUT" ポートに接続します。
4 HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

> 注意　壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

5 PC モデム ソフトウェアが、ファクスを自動的に受信してコンピュータに保存する設定になっている場合、その設定をオフにします。

> 注意　モデム ソフトウェアのファクス自動受信設定をオフにしないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。

6 次の手順に従って、着信に手動で応答するように HP all-in-one を設定します。
   a 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**4**」、「**3**」 の順序で押します。「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「自動応答」 が選択されます。
   b 「**2**」 を押して、「オフ」 を選択します。
   c 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。
7 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。

ファクス設定のテスト

ファクス設定をテストして HP all-in-one の状態を確認し、正常にファクス送信できるように設定されたことを確認することができます。このテストは、

HP all-in-one のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。テストでは、次の処理が実行されます。

- ファクス ハードウェアを確認します。
- 電話コードが正しいポートに接続されていることを確認します。
- ダイヤル トーンを確認します。
- 電話回線が有効であることを確認します。
- 電話回線の接続状態を確認します。

テスト結果は、レポートとして HP all-in-one から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してから、テストをもう一度実行します。

コントロール パネルからファクス機能のセットアップをテストするには

1 この章に記載されているセットアップ手順に従って、HP all-in-one のファクス機能をセットアップします。
2 テストを開始する前に、プリント カートリッジと A4 の白い普通紙がセットされていることを確認します。
詳細については、プリント カートリッジの交換およびフルサイズ用紙のセットを参照してください。
3 「**セットアップ**」 を押します。
4 「**6**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「ツール」 メニューが表示され、「ファクス テストを実行」 が選択されます。
HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。
5 レポートを確認します。
   – テストに合格しても、ファクスに問題がある場合は、レポートに記載されているファクス設定が正しいかどうかを確認します。空白または不適切なファクス設定がファクス使用時の問題の原因となることがあります。
   – テストに失敗した場合、レポートを参照し、問題の解決方法を確認してください。
6 HP all-in-one からファクス レポートを取り出した後、「**OK**」 を押します。
必要に応じて、問題を解決し、テストをもう一度実行します。
テストで見つかった問題の解決方法については、ファクス テストに失敗を参照してください。

11 ファクス機能の使用

HP all-in-one を使用して、カラー ファクスなどのファクスの送受信ができます。よく使用するファクス番号に早く簡単にファクスを送信するには、短縮ダイヤルを設定して使用できます。コントロール パネルからは、解像度などのファクス オプションが設定できます。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属の 「**HP ディレクタ**」 をいろいろと使用して、すべての機能を十分に活用してください。「**HP ディレクタ**」を使用すれば、コンピュータ上で作成したカバー ページを付けてコンピュータからファクスを送信したり、短縮ダイヤルを簡単に設定したりすることができます。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

「**HP ディレクタ**」 およびオンスクリーン ヘルプの使用については、HP Image Zone による HP all-in-one のフル活用を参照してください。

ファクスを受信するように HP all-in-one を設定する

HP all-in-one は、家庭やオフィスなどの用途に応じて、自動か手動を選択してファクスを受信することができます。ファクスを自動で受信するように設定すると、HP all-in-one がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。ファクスを手動で受信するように HP all-in-one を設定した場合は、ユーザー自身がその場にいて、ファクスの受信操作を行う必要があります。ユーザーが操作しなければ、HP all-in-one はファクスを受信できません。ファクスの手動受信の詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

状況に応じてファクスを手動で受信することもできます。たとえば、HP all-in-one が電話と回線を共有して、着信識別や留守番電話がない場合、HP all-in-one がファクスの受信に手動で応答するように設定してください。ボイスメール サービスに加入した場合にも、ファクス呼び出しに手動で応答する必要があります。HP all-in-one では、ファクスの受信と電話の着信の違いを識別できないためです。

オフィス機器を HP all-in-one 用にセットアップする詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。

セットアップに適した推奨応答モードを選択する

家庭やオフィス用のセットアップで、ファクス受信の応答方法を決定するには、以下の表を参照してください。表の最初の列で、オフィス設定に該当する機器とサービスの種類を選択します。それに対して、2 列目の設定を参照してください。3 列目は、HP all-in-one が受信に応答する方法を示します。

家庭やオフィス用の推奨応答モード設定を決定した後の詳細については、応答モードの設定を参照してください。

ファクスと同時に利用するその他の機器やサービス	推奨される「自動応答」設定	説明
なし (ファクス受信のみを受信する、個別のファクス回線がある場合)	「オン」	HP all-in-one は 「応答呼び出し回数」 設定に基づいて、すべての受信に自動的に応答します。応答呼び出し回数の設定については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。
電話とファクスが共用で、留守番電話はない (電話とファクスの両方を受信する、共用の回線がある場合)	「オフ」	HP all-in-one は着信に自動的に応答しません。「**スタート - モノクロ**」 または 「**スタート - カラー**」 を押して、手動ですべてのファクスを受信する必要があります。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。 ほとんどが電話の着信で、ファクスの受信が少ない場合に、この設定を使用します。
電話会社が提供するボイス メール サービス	「オフ」	HP all-in-one は着信に自動的に応答しません。「**スタート - モノクロ**」 または 「**スタート - カラー**」 を押して、手動ですべてのファクスを受信する必要があります。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。
留守番電話と、電話とファクスが共用の回線	「オン」	留守番電話が着信に応答し、HP all-in-one は回線をモニタします。HP all-in-one がファクス トーンを検出した場合、HP all-in-one はファクスを受信します。 注記　これは、留守番電話を持っている場合に推奨される、デフォルト設定です。留守番電話が、HP all-in-one に対して適切に設定されていることを確認してください。詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。 また留守番電話が応答した後で HP all-in-one が応答するように設定してください。HP all-in-one の応答呼び出し回数を、留守番電話が応答するまでの呼び出

ファクスと同時に利用するその他の機器やサービス	推奨される「自動応答」設定	説明
		し回数よりも多い値に設定する必要があります。留守番電話が HP all-in-one より前に応答するようにします。応答するまでの呼出し回数の設定は、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。
着信識別サービス	「オン」	HP all-in-one が、すべての受信に自動的に応答します。 電話会社がファクス回線に設定した呼出し音のパターンが、HP all-in-one に設定された 「応答呼出し音のパターン」 と一致することを確認します。詳細については、応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)を参照してください。

応答モードの設定

応答モードは、HP all-in-one が着信に応答するかどうかを決めます。ファクスを自動で受信するように設定した場合 (「**自動応答**」 オプションが 「はい」 に設定されている場合) 、HP all-in-one はすべての受信に応答し、ファクスを受信します。ファクスを手動で受信するように HP all-in-one を設定した場合 (「**自動応答**」 オプションが 「オフ」 に設定されている場合)、ユーザー自身がその場にいて、ファクスの受信操作を行う必要があります。ユーザーが操作しなければ、HP all-in-one はファクスを受信できません。ファクスの手動受信の詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

どちらの応答モードを使用するべきか分からない場合は、セットアップに適した推奨応答モードを選択するを参照してください。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「自動応答」 が選択されます。
3 「オン」 を選択するには 「**1**」 を、「オフ」 を選択するには 「**2**」 を押します。
4 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。

ファクスの送信

ファクスはさまざまな方法で送信することができます。HP all-in-one のコントロール パネルからモノクロまたはカラーでファクスを送信できます。接続

されている電話から、手動でファクスを送信することもできます。この場合、ファクスを送信する前に、受信者と話をすることができます。

同じ番号に頻繁にファクスを送信する場合、短縮ダイヤルに登録することができます。さまざまなファクスの送信方法については、この章を参照してください。

基本的なファクスの送信

コントロール パネルから、複数ページの基本的なファクスを送信することができます。

注記 ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する**前に**ファクス送受信の確認を有効にします。詳細については、ファクスの確認レポートを有効にするを参照してください。

ヒント ダイヤルのモニタ機能を使用して、ファクスを送信することもできます。この場合、ダイヤルのペースを調整することができます。ダイヤル中に音声ガイダンスに応答する必要があるときに、この機能は役に立ちます。詳細については、ダイヤルのモニタ機能を使用したファクス送信を参照してください。

1 1 ページ目の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2 「**ファクス**」 を押します。
  「番号を入力」 画面が表示されます。
3 キーパッドを使用してファクス番号を入力します。

  ヒント ファクス番号の途中に間隔を入れるには、カラー グラフィック ディスプレイにダッシュ記号が表示されるまで、「**スペース (#)**」 ボタンを繰り返し押します。

4 「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押します。
5 直前に送信したモノクロ ファクスがメモリに保存されている場合は、「ファクス モード」 画面が表示されます。新しいファクスを送信するには、「**1**」 を押します。
6 もう一度 「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押します。
7 他にも送信するページがある場合は、指示に従って、「**1**」 を押します。次のページの表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。次に 「**スタート - モノクロ**」 を押します。ファクス送信するページがこれ以上ない場合は、「**2**」 を押します。
  HP all-in-one は、すべてのページをスキャンした後でファクスを送信します。

  ヒント HP all-in-one では、ファクス (写真など) をカラー送信することもできます。「**スタート - モノクロ**」 の代わりに 「**スタート - カラー**」 を押します。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属の 「**HP ディレクタ**」 を使用すると、コンピュータからファクスを送信できます。ファクスとともに送信するカバー ページもコンピュータで簡単に作成して付けることができます。詳細については、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

ファクスの確認レポートを有効にする

ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、以下の手順に従って、ファクスを送信する**前に**、ファクス送受信の確認を有効にします。

デフォルトのファクス送受信を確認する設定は、「**すべてのエラー**」 です。この場合、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、HP all-in-one でレポートが印刷されます。ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージが、送受信処理後にカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。レポートの印刷の詳細については、レポートの印刷を参照してください。

1. 「**セットアップ**」 を押します。
2. 「**2**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
   「**レポートの印刷**」 メニューが表示され、次に 「**ファクス レポートの設定**」 が選択されます。
3. 「**5**」 を押し、次に 「**OK**」 を押します。
   「**送信のみ**」 が選択されます。
   HP all-in-one は、ファクスが送信されると、ファクスが適切に送信されたかどうかを通知する確認レポートを印刷します。

   注記 「**送信のみ**」 を選択した場合、ファクス受信中にエラーが発生しても、レポートは印刷されません。受信エラーを確認するには、「**ファクス ログ**」 を印刷します。「**ファクス ログ**」 の印刷方法については、手動でのレポート生成を参照してください。

電話からのファクスの手動送信

ファクスを送信する前に、電話をかけて受信者と話をすることができます。この方法は、手動でのファクス送信と呼ばれます。手動でのファクス送信は、送信前に、受信者がファクスを受信可能であることを確認する場合に役に立ちます。

注記 送信前に受信者と話をする必要がなく、別のファクス機に直接ファクスを送信する場合は、コントロール パネルから直接送信することをお勧めします。電話から手動でファクスを送信する場合、送信に時間がかかることがあります。受信側のファクス機がファクスを受信する前に制限時間が経過して、送信できないことがあります。この場合、コントロール パネルまたはモニタ ダイヤルを使用して、ファクスを送信してください。詳細については、基本的なファクスの送信またはダイヤルのモニタ機能を使用したファクス送信を参照してください。

電話は、HP all-in-one の後部の 「2-EXT」 ポートに接続します。HP all-in-one を電話用にセットアップする詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。

電話からモノクロ ファクスやカラー ファクスを送信できます。次に、モノクロ ファクスを送信する方法を説明します。

電話からファクスを手動送信するには

1 1 ページ目の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2 HP all-in-one に接続された電話から、番号をダイヤルします。

注記 番号をダイヤルするには、電話を使用する必要があります。HP all-in-one のコントロール パネルのキーパッドは使用しないでください。

3 ファクスを送信する準備ができたら、「**ファクス**」 を押します。
「ファクス モード」 画面が表示されます。
4 新しいファクスを送信するには、「**1**」 を押します。
5 「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押します。
送信先が電話に出たら、ファクスを送信する前に会話できます。受信者に、ファクス受信音が聞こえた後で、ファクス機の開始ボタンを押すように伝えてください。
6 他にも送信するページがある場合は、指示に従って、「**1**」 を押します。次のページの表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットして、「**OK**」 を押します。ファクス送信するページがこれ以上ない場合は、「**2**」 を押します。

注記 30 秒以内に指示に応答しないと、HP all-in-one は自動的にファクスを送信します。

ファクスの送信中は、電話回線から音がしません。この時点で、受話器を置くことができます。ファクス受信が完了した後、受信者と続けて話をする場合は、電話を切らないでください。

複数の受信者へのファクスの再送信

原稿をもう一度スキャンせずに、すぐに他の受信者に再送信できるように、最後に送信したモノクロ ファクスはメモリに保存されます。HP all-in-one は、カラー ファクスはメモリに保存しません。

「番号を入力」 画面のままであれば、ファクスは最大 5 分間保存されています。ファクス メニューを終了するボタン (「**キャンセル**」 など) を押した場合、またはカラー ファクスを送信した場合、ファクスはメモリから削除されます。

1 モノクロ ファクスを送信します。
詳細については、基本的なファクスの送信を参照してください。
2 キーパッドから次のファクス番号を入力します。
3 「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押します。

4 直前に送信したモノクロ ファクスがまだメモリに残っている場合は、「ファクス モード」 画面が表示されます。
5 メモリ内の直前のファクスを送信するには、「**2**」 を押します。
HP all-in-one はファクス番号をダイヤルして、ファクスを送信します。メモリに保存されたファクスを別の受信者に送信するには、この手順を繰り返します。

リダイヤルでのファクス送信

リダイヤルを使用して、最後にダイヤルしたファクス番号にファクスを再送信することができます。リダイヤルでは、モノクロまたはカラーでファクスを送信できます。ここでは、ファクスをモノクロで送信する手順について説明します。

1 1 ページ目の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2 「**ファクス**」 を押します。
「番号を入力」 画面が表示されます。
3 最後にダイヤルした番号をリダイヤルするには、▲ を押します。
4 「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押します。
5 直前に送信したモノクロ ファクスがメモリに保存されている場合は、「ファクス モード」 画面が表示されます。新しいファクスを送信するには、「**1**」 を押します。
6 「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押します。
7 他にも送信するページがある場合は、指示に従って、「**1**」 を押します。次のページの表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットして、「**OK**」 を押します。ファクス送信するページがこれ以上ない場合は、「**2**」 を押します。
HP all-in-one がファクスを送信します。

短縮ダイヤルでのファクス送信

短縮ダイヤルを使用すると、HP all-in-one からすばやくファクスを送信できます。モノクロ ファクスとカラー ファクスのどちらでも短縮ダイヤルで送信できます。以下のページでは、モノクロ ファクスを送信する方法を説明します。

短縮ダイヤル番号は、短縮ダイヤルが設定されるまで表示されません。詳細については、短縮ダイヤルの設定を参照してください。

1 1 ページ目の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2 「**ファクス**」 を押します。
「番号を入力」 画面が表示されます。
3 短縮ダイヤルを利用するには ▼ を押します。
4 目的の短縮ダイヤルが表示されるまで ▼ を押し続けます。

注記　またコントロール パネルのキーパッドから短縮ダイヤルを入力することもできます。

5　「**OK**」 ボタンを押して、短縮ダイヤルを選択します。
6　「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押します。
7　直前に送信したモノクロ ファクスがメモリに保存されている場合は、「ファクス モード」 画面が表示されます。新しいファクスを送信するには、「**1**」 を押します。
8　「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押します。
9　他にも送信するページがある場合は、指示に従って、「**1**」 を押します。次のページの表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットして、「**OK**」 を押します。ファクス送信するページがこれ以上ない場合は、「**2**」 を押します。

ダイヤルのモニタ機能を使用したファクス送信

ダイヤルのモニタ機能を使用すると、通常電話するように、コントロール パネルから番号をダイヤルすることができます。ダイヤル中に音声ガイダンスに応答する必要があるときに、この機能は役に立ちます。また、必要に応じて、指定した速度で番号をダイヤルすることもできます。

モノクロ ファクスとカラー ファクスの両方でダイヤルのモニタ機能を使用できます。次に、モノクロ ファクスを送信する方法を説明します。

注記　音量がオンになっていることを確認してください。オフの場合、ダイヤル トーンは聞こえません。詳細については、音量の調整を参照してください。

コントロール パネルからダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信するには

1　1 ページ目の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2　「**ファクス**」 を押します。
「番号を入力」 画面が表示されます。
3　「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押します。
4　もう一度 「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押します。
HP all-in-one が、ページをスキャンしてメモリに保存します。
5　他にも送信するページがある場合は、指示に従って、「**1**」 を押します。次のページの表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットして、「**OK**」 を押します。ファクス送信するページがこれ以上ない場合は、「**2**」 を押します。
「番号を入力」 画面が表示されます。
6　ダイヤル トーンが聞こえたら、コントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
7　音声ガイダンスがあれば、従ってください。
受信側のファクス機が応答したときに、ファクスは送信されます。

ファクスの受信

「自動応答」 の設定によって、HP all-in-one がファクスを自動で受信できるか、手動で受信する必要があるかが決まります。「自動応答」 オプションを 「オフ」 に設定すると、手動でファクスを受信する必要があります。「自動応答」 オプションを 「オン」 に設定すると、HP all-in-one は着信に自動的に応答してファクスを受信します。「自動応答」 の詳細については、ファクスを受信するように HP all-in-one を設定するを参照してください。

注記　ファクスを受信するときに、写真を印刷するためのカラー フォト カートリッジやグレー カートリッジをセットしている場合、黒プリント カートリッジに交換することをおすすめします。プリント カートリッジのメンテナンスを参照してください。

応答までの呼出し回数を設定する

HP all-in-one が自動的に着信に応答する際の呼び出し回数を指定することができます。

注記　この設定は、「自動応答」 が 「オン」 の場合のみ有効です。

「応答呼び出し回数」 設定は、特に HP all-in-one と同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。留守番電話が HP all-in-one より先に応答するには、HP all-in-one の応答呼び出し回数を、留守番電話が応答するまでの呼び出し回数よりも多い値に設定する必要があります。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を 4 回に設定し、HP all-in-one の呼び出し回数を本体でサポートされている最大の呼び出し回数に設定してください(最大呼び出し回数は、国/地域に応じて異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP all-in-one が電話回線を監視します。HP all-in-one がファクス トーンを検出した場合、HP all-in-one はファクスを受信します。着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。

コントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには

1　「**セットアップ**」 を押します。
2　「**4**」 を押して、もう一度 「**4**」 を押します。
　「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「応答呼び出し回数」 が選択されます。
3　キーパッドを使用して、適切な呼び出し回数を入力します。
4　「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。

ファクスの手動受信

ファクスを手動で受信するように HP all-in-one を設定した場合 (「**自動応答**」 オプションが 「オフ」 に設定されている場合)、またはユーザーが電話に応答して、ファクス トーンが聞こえた場合、ここに記載されている手順に従って、ファクスを受信します。

ファクス機能の使用

次のように設定した電話で、ファクスを手動受信することができます。

- HP all-in-one の「2-EXT」ポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、直接 HP all-in-one に接続されていない電話

1 HP all-in-one の電源がオンで、給紙トレイに用紙がセットされていることを確認します。
2 ガラス板に原稿を置かないでください。
3 HP all-in-one が応答する前に、ユーザーが着信に応答できるように、「応答呼び出し回数」 を多めに設定します。あるいは、HP all-in-one が自動的に着信に応答しないように、「自動応答」 を 「オフ」 に設定します。
「応答呼び出し回数」 の設定の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。「自動応答」 の詳細については、応答モードの設定を参照してください。
4 次のいずれかを実行してください。
   – 電話が同じ回線上にあっても、HP all-in-one の後部に直接接続されていない場合は、送信側のファクス機からのファクス トーンが聞こえたら、5 ～ 10 秒待って、電話の 「**1 2 3**」 を押します。HP all-in-one がファクスの受信を開始しない場合は、数秒待ってから、もう一度 「**1 2 3**」 を押します。

     注記 着信があると、HP all-in-one はカラー グラフィック ディスプレイに 「呼び出し中...」 と表示します。ユーザーが電話に応答すると、数秒後に 「受話器が外れています」 が表示されます。電話機の 「**1 2 3**」 を押す前に、このメッセージが表示されるまで待つ必要があります。これをしないと、ファクスを受信できません。

   – 電話が HP all-in-one の後部に直接接続されていて、送信側のファクス機からのファクス トーンが聞こえる場合は、コントロール パネルの 「**ファクス**」 を押します。「ファクスを手動で受信」 が強調表示されるまで、▼ を押して、次に 「**OK**」 を押します。コントロール パネルの 「**スタート - モノクロ**」 ボタンまたは 「**スタート カラー**」 ボタンを押した後、電話を切ります。
   – HP all-in-one に接続した電話を使用している送信者と電話がつながっている場合は、最初に相手のファクス機で [スタート] を押すよう指示します。送信元のファクス機からのファクス トーンが聞こえたら、コントロール パネルの 「**ファクス**」 ボタンを押します。「ファクスを手動で受信」 が強調表示されるまで、▼ を押して、次に 「**OK**」 を押します。コントロール パネルの 「**スタート - モノクロ**」 ボタンまたは 「**スタート カラー**」 ボタンを押した後、電話を切ります。

     注記 送信者がファクスをモノクロで送信している場合、受信者が 「**スタート - カラー**」 を押しても、HP all-in-one ではモノクロで印刷されます。

日付と時刻の設定

コントロール パネルから日付と時刻を設定することができます。ファクスを送信すると、その時の日付と時刻がファクスのヘッダーに印刷されます。この日付と時刻の形式は、言語と国/地域の設定に基づいています。

注記　停電などの場合には、通電後に、HP all-in-one の日付と時刻の再設定が必要になります。

1　「**セットアップ**」 を押します。
2　「**4**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「日付と時刻」 が選択されます。
3　キーパッドの数字を押して、年、月、日を入力します。言語と国/地域の設定によっては、入力する順序が異なることがあります。
アンダーライン カーソルは最初の桁の下にあり、ボタンを押すと自動的に次の桁に進みます。また、日付の最後の桁を入力すると、自動的に時刻指定画面に進みます。
4　時間と分を入力します。

ファクス ヘッダーの設定

ファクスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファクスの上部に名前とファクス番号が印刷されます。「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのインストール中に、「**ファクス セットアップ ウィザード**」 (Windows ユーザー) または 「**設定アシスタント**」 (Macintosh ユーザー) で、ファクス ヘッダーを設定することをおすすめします。また、コントロール パネルからファクス ヘッダーを設定することもできます。

ファクス ヘッダーでの情報表示は、多くの国/地域の法律で定められています。

1　「**セットアップ**」 を押します。
2　「**4**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「ヘッダーの入力」 が選択されます。
3　個人または会社の名前を入力します。
コントロール パネルからテキストを入力する方法については、文字と記号の入力を参照してください。
4　ユーザー名または会社名の入力が完了したら、ビジュアル キーボードの「完了」 を選択して、「**OK**」 を押します。
5　キーパッドを使用して、ファクス番号を入力します。
6　「**OK**」 を押します。

ファクスのヘッダー情報を入力するには、コントロール パネルよりも「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属する「**HP ディレクタ**」を使用する方が簡単です。ファクスのヘッダー情報、カバー ページの情報も入力できます。この情報は、コンピュータからファクスを送信する際のカバー ページに印刷されます。詳細については、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

文字と記号の入力

ファクスのヘッダー情報や短縮ダイヤルを設定するとき、カラー グラフィック ディスプレイに自動的に表示されるビジュアル キーボードを利用して、コントロール パネルから文字と記号を入力することができます。また、コントロール パネルのキーパッドを使用して、文字と記号を入力することもできます。

ファクス番号や電話番号をダイヤルするときも、キーパッドから記号を入力することができます。HP all-in-one は、番号をダイヤルするときに、記号に応じた動作をします。たとえば、ファクス番号の途中にダッシュがある場合は、HP all-in-one はダイヤルするときに、その場所で一定の間隔を置きます。この間隔は、ファクス番号をダイヤルする前に、外線番号を入力する必要がある場合などに役に立ちます。

注記 ファクス番号にダッシュなどの記号を含める場合は、キーパッドからその記号を入力する必要があります。

ビジュアル キーボードを使用した文字の入力

文字を入力する場合、カラー グラフィック ディスプレイに自動的に表示されるビジュアル キーボードを利用して、コントロール パネルから文字と記号を入力することができます。たとえば、ファクスのヘッダー情報や短縮ダイヤルの設定の際に、ビジュアル キーボードは自動的に表示されます。

- ビジュアル キーボードの文字、数字、記号は、◀、▶、▲、▼ を押して選択します。
- 入力する文字、数字、記号を強調表示した後で、コントロール パネルの「**OK**」 を押して確定します。
  選択した文字などが、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
- 小文字を入力するには、ビジュアル キーボード上の 「**abc**」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。
- 大文字を入力するには、ビジュアル キーボード上の 「**ABC**」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。
- 数字と記号を入力するには、ビジュアル キーボード上の 「**123**」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。
- 文字、数字、記号を消去するには、ビジュアル キーボード上の 「**クリア**」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。

- スペースを入力するには、ビジュアル キーボードの ▶ を押して、「**OK**」 を押します。

  注記　スペースを入力するには、必ずビジュアル キーボードの ▶ を使用してください。コントロール パネル上の矢印ボタンからは、スペースを入力できません。

- 文字、数字、記号の入力が終わったら、ビジュアル キーボード上の 「完了」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。

コントロール パネルのキーパッドからの文字の入力

コントロール パネルのキーパッドから文字と記号を入力することもできます。選択した文字などは、カラー グラフィック ディスプレイのビジュアル キーボードに表示されます。

- 名前の文字に対応するキーパッドの数字を押します。以下に示すように、A、B、C の文字は数字 [2] に対応しています。

  2 abc

- 何度もボタンを押すと、そのボタンで入力可能な文字が順に表示されます。

  注記　選択した言語と国/地域によって、その他の文字が使用できることもあります。

- 正しい文字が表示された後で、しばらくしてカーソルが自動的に右に進んで文字が確定されます。または ▶ を押して手動で確定します。名前の次の文字に対応する数字を押します。正しい文字が出てくるまで、さらに何回か数字ボタンを押します。単語の最初の文字は自動的に大文字になります。

  ヒント　カーソルは、数秒後に自動的に右に進みます。

- スペースを挿入するには、「**スペース (#)**」 ボタンを押します。
- ポーズを入力するには、「*****」 ボタンを押し、ダッシュ (-) を入力します。
- 誤りを修正するには、矢印ボタンを押してビジュアル キーボード上の 「クリア」 ボタンを選択し、「**OK**」 を押します。
- 文字、数字、記号の入力が終わったら、矢印ボタンを押してビジュアル キーボード上の 「完了」 ボタンを選択し、「**OK**」 を押します。

レポートの印刷

HP all-in-one を、エラー レポートを自動印刷し、かつファクスの送受信のたびに確認のレポートを印刷するよう設定できます。必要に応じて、システム

のレポートも手動で印刷できます。これらのレポートから HP all-in-one について役立つシステム情報を知ることができます。

デフォルト設定では、ファクスの送受信に問題があると、HP all-in-one でレポートが印刷されます。送信処理後に、ファクスの送信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージが、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

自動的なレポートの生成

HP all-in-one で、自動的にエラー レポートと確認レポートを印刷する設定ができます。

注記 ファクスを送信するたびに確認メッセージを紙に印刷する必要がある場合は、次の手順を実行して、ファクスを送信する前に 「送信のみ」 を選択します。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**2**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「レポートの印刷」 メニューが表示され、次に 「ファクス レポートの設定」 が選択されます。
3 レポートには次のような種類があり、▼ を押すとスクロールできます。
– 「1. すべてのエラー」 - 各種ファクス エラーが発生するとレポートが印刷されます (デフォルト)。
– 「2. 送信エラー」 - 送信エラーが発生するとレポートが印刷されます。
– 「3. 受信エラー」 - 受信エラーが発生するとレポートが印刷されます。
– 「4. すべてのファクス」 - ファクスの送受信のたびに確認のレポートが印刷されます。
– 「5. 送信のみ」 - ファクス送信のたびに、正常に送信されたかどうかを示すレポートが印刷されます。
– 「6. オフ」 - エラーまたは確認レポートは印刷しません。
4 目的のレポートを選択してから、「**OK**」 を押します。

手動でのレポート生成

以前に送信したファクスの状態、短縮ダイヤルのリスト、自己診断テストなどの HP all-in-one についてのレポートを手動で生成することができます。

1 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「レポートの印刷」 メニューが表示されます。
2 レポートには次のような種類があり、▼ を押すとスクロールできます。
– 「1. ファクス レポートの設定」 - 自動的なレポートの生成 の方法で自動ファクス レポートを印刷します。
– 「2. 最後の処理」 - 最後のファクス処理についての詳細を印刷します。

– 「3. ファクス ログ」 - 最近の約 30 件のファクス送受信の一覧が印刷されます。
– 「4. 短縮ダイヤル一覧」 - プログラムされている短縮ダイヤルの一覧を印刷します。
– 「5. セルフテスト レポート」 - 印刷に関する問題や調整に関する問題を特定できるレポートを印刷します。詳細については、セルフテスト レポートの印刷を参照してください。

3 目的のレポートを選択してから、「**OK**」 を押します。

短縮ダイヤルの設定

よく使うファクス番号を、短縮ダイヤルとして登録すると、コントロール パネルからすぐにダイヤルすることができます。

短縮ダイヤルでファクスを送信する詳細については、短縮ダイヤルでのファクス送信を参照してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属する 「**HP ディレクタ**」 を使用すると、短縮ダイヤルをコンピュータから簡単に設定できます。詳細については、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

短縮ダイヤル番号の作成

よく使うファクス番号を、短縮ダイヤル番号に登録できます。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**3**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「短縮ダイヤルの設定」 メニューが表示され、次に 「個別の短縮ダイヤル」 が選択されます。
まだ登録されていない短縮ダイヤルが、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3 「**OK**」 ボタンを押して、表示された短縮ダイヤルを選択します。まだ登録されていない別の短縮ダイヤルを選択するには、▼ または ▲ を押してから、「**OK**」 を押します。
4 その短縮ダイヤル番号に登録するファクス番号を入力し、「**OK**」 ボタンを押します。

ヒント ファクス番号の途中に間隔を入れるには、カラー グラフィック ディスプレイにダッシュ記号が表示されるまで、「**スペース (#)**」 ボタンを繰り返し押します。

ビジュアル キーボードが、カラー グラフィック ディスプレイに自動的に表示されます。
5 名前を入力します。名前の入力が完了したら、ビジュアル キーボードの「完了」 を選択して、「**OK**」 を押します。

ファクス機能の使用

ビジュアル キーボードを使用した文字の入力の詳細については、文字と記号の入力を参照してください。

6 別の番号を設定する場合は「**1**」を、「短縮ダイヤルの設定」メニューを終了する場合は「**キャンセル**」を押します。

短縮ダイヤル番号の更新

個別の短縮ダイヤルの電話番号や名前を、変更することができます。

1 「**セットアップ**」を押します。
2 「**3**」を押し、次に「**1**」を押します。
「短縮ダイヤルの設定」メニューが表示され、次に「個別の短縮ダイヤル」が選択されます。
3 ▼ または ▲ を押して短縮ダイヤルをスクロールして目的の項目を探し、「**OK**」を押して選択します。
4 現在のファクス番号が表示されたら、◀ を押してそれを消去します。
5 新しいファクス番号を入力します。
6 「**OK**」を押して新しい番号を保存します。
ビジュアル キーボードが、カラー グラフィック ディスプレイに自動的に表示されます。
7 ビジュアル キーボードを使用して、名前を変更します。
ビジュアル キーボードの使用の詳細については、文字と記号の入力を参照してください。
8 「**OK**」を押します。
9 別の短縮ダイヤルを更新するには「**1**」を、終了するには「**キャンセル**」を押します。

短縮ダイヤルの削除

短縮ダイヤルは、個別に、またグループで削除できます。

1 「**セットアップ**」を押します。
2 「**3**」を押し、次に「**2**」を押します。
「短縮ダイヤルの設定」メニューが表示され、次に「短縮ダイヤルを削除」が選択されます。
3 削除する短縮ダイヤルが表示されるまで ▼ か ▲ を押し、次に「**OK**」ボタンを押して削除します。またコントロール パネルのキーパッドから短縮ダイヤルを入力することもできます。
4 別の短縮ダイヤルを削除するには「**1**」を、終了するには「**キャンセル**」を押します。

ファクスの解像度と濃淡の変更

ファクス送信する文書の「解像度」と「薄く/濃く」の設定は変更することができます。

ファクス解像度の変更

「解像度」 の変更は、ファクス送信されるモノクロ文書の送信速度と印字品質に影響します。HP all-in-one の解像度の上限は、受信側のファクスでサポートされている解像度で決定します。解像度やコントラストの変更はモノクロ文書に限ります。カラー ファクスはすべて 「高画質」 の解像度で送信されます。次の解像度設定を選択できます。

- 「高画質」 - ほとんどの文書でファクス送信するのに適した高品質な文字です。これがデフォルト設定値です。
- 「写真」 - 写真のファクス送信に適した最高画質です。「写真」 を選択すると、ファクス送信に通常よりも時間がかかります。写真をファクスするときは 「写真」 を選択することをおすすめします。
- 「標準」 - ファクス品質は下がりますが、最も速くファクスを送信することができます。

この設定は、新しいデフォルトとして保存しない限り、処理が終了して 5 分後にデフォルト値に戻ります。詳細については、新しいデフォルトの設定を参照してください。

コントロール パネルで解像度を変更するには

1 1 ページ目の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2 **「ファクス」** を押します。
「番号を入力」 画面が表示されます。
3 キーパッドを使用してファクス番号を入力します。
4 **「ファクス」** を押し、次に **「1」** を押します。
「ファクス メニュー」 が表示され、「解像度」 が選択されます。
5 ▼ を押して、解像度設定を選択します。次に **「OK」** を押します。
6 **「スタート - モノクロ」** ボタンを押します。

注記 **「スタート - カラー」** を押すと、ファクスは 「高画質」 設定で送信されます。

7 直前に送信したモノクロ ファクスがメモリに保存されている場合は、**「ファクス モード」** 画面が表示されます。新しいファクスを送信するには、**「1」** を押します。
8 **「スタート - モノクロ」** ボタンを押します。
9 他にも送信するページがある場合は、指示に従って、**「1」** を押します。次のページの表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットし、**「OK」** を押します。ファクス送信するページがこれ以上ない場合は、**「2」** を押します。

濃淡の設定の変更

ファクスのコントラストの濃淡を変更することができます。かすれた文書や色あせた文書、手書きの文書などをファクスするときに便利です。原稿の濃度を濃くするには、コントラストを調整します。

この設定は、新しいデフォルトとして保存しない限り、処理が終了して 5 分後にデフォルト値に戻ります。詳細については、新しいデフォルトの設定を参照してください。

1 1 ページ目の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2 「**ファクス**」 を押します。
「番号を入力」 画面が表示されます。
3 キーパッドを使用してファクス番号を入力します。
4 「**ファクス**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「ファクス メニュー」 が表示され、「薄く/濃く」 メニューが選択されます。
5 ファクスを明るくするには ◀ を、暗くするには ▶ を押します。
押した矢印ボタンに応じて、インジケータが左右に動きます。
6 「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押します。
7 直前に送信したモノクロ ファクスがメモリに保存されている場合は、「**ファクス モード**」 画面が表示されます。新しいファクスを送信するには、「**1**」 を押します。
8 「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押します。
9 他にも送信するページがある場合は、指示に従って、「**1**」 を押します。次のページの表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットし、「**OK**」 を押します。ファクス送信するページがこれ以上ない場合は、「**2**」 を押します。

新しいデフォルトの設定

コントロール パネルから、「解像度」 と「薄く/濃く」 のデフォルト値を変更することができます。

1 「解像度」 と 「薄く／濃く」 を変更してください。
2 「ファクス メニュー」 が開かれていない場合は、「**ファクス**」 を 2 回押してください。
「ファクス メニュー」 が選択されます。
3 「**3**」 を押します。
「新しいデフォルトの設定」 が選択されます。
4 「**OK**」 を押します。

ファクス オプションの設定

HP all-in-one には、送信先が話し中の場合に自動的にリダイヤルする設定など、数々のファクス オプションがあります。次のオプションにを変更すると、新しい設定がデフォルトになります。ファクス オプションの変更については、この章を参照してください。

ファクス受信用の用紙サイズの設定

受信するファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせます。ファクスは A4 用紙、レター用紙、またはリーガル用紙にのみ印刷できます。

注記 ファクスを受信したときにこの他の用紙サイズが給紙トレイにセットされていると、ファクスを印刷しないで、カラー グラフィック ディスプレイにエラー メッセージが表示されます。ファクスを印刷するには、A4 用紙、レター用紙、リーガル用紙のいずれかをセットして「**OK**」 を押します。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「用紙サイズ」 が選択されます。
3 ▼ を押してオプションを選択してから 「**OK**」 を押します。

トーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルの設定

HP all-in-one のダイヤル モードを、トーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルに設定できます。ほとんどの電話機は、トーン ダイヤルとパルス ダイヤルのどちらかを使用します。ご使用の電話でパルス ダイヤルが不要なときは、デフォルト設定のトーン ダイヤルの使用をおすすめします。公衆電話か構内交換機 (PBX) システムの場合は、「パルス ダイヤル」 を選択します。どちらの設定を使用しているかわからないときは、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

注記 「パルス ダイヤル」 を選択した場合は、いくつかの電話システム機能が使用できないことがあります。また、ファクスや電話番号をダイヤルするのに時間がかかることがあります。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**6**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「トーン、パルス選択」 が選択されます。
3 ▼ を押してオプションを選択してから 「**OK**」 を押します。

音量の調整

HP all-in-oneでは、呼び出し音およびスピーカの音量を 3 段階で調整できます。呼び出し音のボリュームとは、電話がかかってきたときに鳴る音のボリュームです。スピーカのボリュームとは、ダイヤル トーンやファクス トーン、ボタンを押したときに鳴る音など、それ以外の音の大きさのことです。デフォルトの設定は 「小」 です。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**7**」 を押します。

ファクス機能の使用

「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「呼出し音とプッシュ音の音量」 が選択されます。

3 ▼ を押し、「小さい」、「大きい」、「オフ」 のいずれかを選択します。

注記 「オフ」 を選択すると、ダイヤル トーン、ファクス受信音、着信の呼び出し音がまったく聞こえなくなります。

4 「**OK**」 を押します。

応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)

多くの電話会社では、1 本の電話回線に対して複数の電話番号を持つ場合に、着信識別音機能が提供されています。この着信識別サービスでは、シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。HP all-in-one は、特定の呼び出し音のパターンの着信に応答するようにセットアップすることができます。

着信識別音が設定されている電話回線に HP all-in-one を接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。ファクス番号には、ダブル呼び出し音かトリプル呼び出し音を割り当てることをおすすめします。HP all-in-one は、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

たとえば、電話会社に依頼して、ファクス番号にダブル呼び出し音を、電話番号にシングル呼び出し音を割り当ててもらいます。この場合、HP all-in-one の 「応答呼出し音のパターン」 を 「呼出し 2 回」 に設定します。「応答呼び出し回数」 設定を 「3」 に設定することもできます。ダブル呼び出し音の着信があると、3 回鳴った後に HP all-in-one が応答して、ファクスを受信します。

この着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターンの 「すべての呼び出し」 を使用します。

コントロール パネルで応答呼び出し音のパターンを変更するには

1 HP all-in-one がファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。詳細については、ファクスを受信するように HP all-in-one を設定するを参照してください。

2 「**セットアップ**」 を押します。

3 「**5**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「応答呼出し音のパターン」 が選択されます。

4 ▼ を押してオプションを選択してから 「**OK**」 を押します。
ファクス回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、HP all-in-one は着信に応答して、ファクスを受信します。

ビジー状態または応答のない番号への自動リダイヤル

HP all-in-one を、ビジー状態または応答のない番号に自動的にリダイヤルする設定ができます。「ビジー リダイヤル」 のデフォルト設定は、「リダイヤ

ルする」 です。「応答なしリダイヤル」 のデフォルト設定は 「リダイヤルしない」 です。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 次のいずれかを実行してください。
   – 「ビジー リダイヤル」 設定を変更するには、「**5**」 を押してから「**2**」 を押します。
     「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「ビジー リダイヤル」 が選択されます。
   – 「応答なしリダイヤル」 設定を変更するには、「**5**」 を押してから、「**3**」 を押します。
     「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「応答なしリダイヤル」 が選択されます。
3 必要に応じて、▼ を押して 「リダイヤルする」 または 「リダイヤルしない」 を選択します。
4 「**OK**」 を押します。

受信したファクスを自動縮小に設定

ここでは、受信したファクスがデフォルトの用紙サイズよりも大きい場合の HP all-in-one の処理を設定します。この設定をオン (デフォルトの設定) にすると、受信したファクスの画像を 1 ページに収まるように縮小します。この機能がオフの場合は、1 ページ目からはみ出した内容は 2 ページ目に印刷されます。「自動縮小」 は、レター サイズの用紙が給紙トレイにセットされていて、リーガル サイズのファクスを受信する場合に役に立ちます。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**5**」 を押し、次に 「**4**」 を押します。
  「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「自動縮小」 が選択されます。
3 ▼ を押して 「オフ」 または 「オン」 を選択します。
4 「**OK**」 を押します。

バックアップ ファクス受信の設定

HP all-in-one は、受信済みファクスをすべてメモリに保存します。HP all-in-one にファクスを印刷できないエラーが発生した場合、「バックアップ ファクス受信」 を使用すると、ファクスの受信を継続できます。「バックアップ ファクス受信」 を有効にすると、エラーの間、ファクスはメモリに保存されます。

たとえば、HP all-in-one でファクスの受信中に用紙がなくなっても、「バックアップ ファクス受信」 を有効にしておけば、受信したファクスがすべてメモリに保存されます。用紙を追加すると、 ファクスを印刷できます。この機能を無効にすると、HP all-in-one は、エラーが解決されるまでファクス受信に応答しません。

HP all-in-one でファクスを受信できなくなるエラーには、次のようなものがあります。

- 給紙トレイに用紙がセットされていない
- 紙詰まりが起こっている
- プリント キャリッジのアクセス ドアが開いている
- プリント キャリッジの動きが妨げられている

通常の操作時 (「バックアップ ファクス受信」 が 「オン」 か 「オフ」 かに関わらず) では、HP all-in-one はすべてのファクスをメモリに保存します。メモリがいっぱいになると、HP all-in-one は、新しいファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。メモリ内のすべてのファクスを削除する場合は、「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源をオフにします。

注記　「バックアップ ファクス受信」 が 「オン」 の場合に、エラーが発生すると、HP all-in-one は、受信したファクスを「印刷未完了」として メモリに保存します。まだ印刷されていないファクスは、印刷するか削除しない限りメモリに残ります。印刷されていないファクスでメモリがいっぱいになると、それらのファクスを印刷するか、メモリから削除するまで、HP all-in-one はファクスの受信ができなくなります。メモリからファクスを印刷または削除する方法については、メモリにあるファクスの再印刷と削除を参照してください。

デフォルトでは、「バックアップ ファクス受信」 は 「オン」 です。

コントロール パネルでバックアップ ファクス受信を設定するには

1. 「**セットアップ**」 を押します。
2. 「**5**」 を押して、もう一度 「**5**」 を押します。
   「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「バックアップ ファクス受信」 が選択されます。
3. ▼ を押して 「オン」 または 「オフ」 を選択します。
4. 「**OK**」 を押します。

エラー補正モードの使用

「エラー補正モード」 (ECM) は、電話回線の問題により、送受信中に喪失したデータを排除し、検出されたエラー部分を再送信するよう自動的に要求する機能です。この処理を行っても、品質の良い電話回線を使用している場合、電話料金は変わらず、場合によっては安くなることもあります。電話回線の状態が悪い場合、ECM を選択すると、送信時間と電話料金が増えますが、送信するデータの信頼性が上がります。デフォルトの設定はオンです。電話料金を安くするためにファクスの品質を問わないという場合のみ、ECM をオフにしてください。

ECM には、次のルールが適用されます。

- ECM をオフにしている場合、ECM は、送信するファクスにのみ適用されます。受信するファクスには適用されません。
- ECM をオンにしている場合は、「ファクス速度」 を 「標準」 に設定してください。「ファクス速度」 を 「はやい」 に設定すると、ファクスを送信する際に、自動的に ECM がオンになります。「ファクス速度」の変更については、ファクス速度の設定を参照してください。
- カラー ファクスを送信する場合は、現在の設定に関係なく、ECM がオンになります。

コントロール パネルで ECM 設定を変更するには

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**5**」 を押し、次に 「**6**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「エラー補正モード」 が選択されます。
3 ▼ を押して 「オフ」 または 「オン」 を選択します。
4 「**OK**」 を押します。

ファクス速度の設定

ファクスを送受信するときに HP all-in-one と相手のファクス機の間で通信する、ファクス速度を設定することができます。デフォルトのファクス速度は「はやい」 です。

以下のサービスを使用している場合は、ファクス速度をおそい設定にする必要があることがあります。

- インターネット電話サービス
- PBX システム
- Fax over Internet Protocol (FoIP)
- ISDN (総合デジタル通信網) サービス

ファクスの送受信に問題がある場合は、「ファクス速度」 設定を 「標準」または 「おそい」 に設定することをおすすめします。以下の表に、選択できるファクス速度の設定を示します。

ファクス速度の設定	ファクス速度
「はやい」	v.34 (33600 ボー)
「標準」	v.17 (14400 ボー)
「おそい」	v.29 (9600 ボー)

コントロール パネルからファクス速度を設定するには

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**5**」 を押し、次に 「**7**」 を押します。

「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「ファクス速度」 が選択されます。

3 ▼ を押してオプションを選択してから 「**OK**」 を押します。

メモリにあるファクスの再印刷と削除

メモリに保存されたファクスは、再印刷または削除できます。HP all-in-one がファクスを受信している間に用紙がなくなった場合は、いったんメモリにファクスを保存して、後で再印刷する必要があります。または、HP all-in-one のメモリがいっぱいになった場合は、ファクスの受信を継続するためにメモリを消去する必要があります。

注記　受信したファクスは、印刷後もすべて HP all-in-one のメモリに保存されます。このため、必要に応じて、ファクスを後で再印刷できます。メモリがいっぱいになると、HP all-in-one は、新しいファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。

コントロール パネルで、メモリに保存されたファクスを再印刷するには

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

2 「**セットアップ**」 を押します。

3 「**6**」 を押し、次に 「**4**」 を押します。
「ツール」 メニューが表示され、「メモリにあるファクスを再印刷」 が選択されます。
受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。

4 再印刷するファクスがこれ以上ない場合は、「**キャンセル**」 を押します。
HP all-in-oneがメモリ内の次のファクスを印刷し始めます。

注記　印刷を中止するには、保存されているファクスごとに 「**キャンセル**」 を押します。

コントロール パネルで、メモリに保存されたすべてのファクスを削除するには

➔ メモリ内のすべてのファクスを削除する場合は、「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源をオフにします。

HP all-in-one の電源をオフにすると、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

インターネットでのファクス送受信

HP all-in-one でのファクスの送受信にインターネットを使用する、低コスト電話サービスが提供されていることがあります。この方法は、FoIP (Fax

over Internet Protocol) と呼ばれています。次のいずれかに該当する場合には、おそらく FoIP サービス (電話会社が提供) を利用しています。

- ファクス番号の他に専用のアクセス コードをダイヤルする。
- インターネットに接続する際に使用する IP コンバータ ボックスに、ファクス接続用の電話ポートが搭載されている。

注記 電話コードを HP all-in-one の "1-LINE" ポートに接続している場合にのみファクスを送受信することができます。Ethernet ポートからではファクス機能を使用できません。つまり、インターネットへの接続は、コンバータ ボックス (ファクス接続用に通常のアナログ電話ジャックを搭載する) または電話会社のいずれかを経由して行う必要があります。

HP all-in-one が高速 (33600 bps) でファクスを送受信する場合、FoIP サービスは正しく機能しないことがあります。ファクスを送受信する際に問題が発生した場合、ファクス速度を低速に設定してください。ファクス速度を変更するには、「**ファクス速度**」 設定を 「**はやい**」 (デフォルト) から 「**標準**」 に変更します。この設定の変更の詳細については、ファクス速度の設定を参照してください。

ご利用の電話会社に問い合わせて、インターネット電話サービスでファクスの送受信がサポートされていることも確認してください。ファクスの送受信がサポートされていない場合、インターネット経由でファクスを送受信することはできません。

ファクスの中止

送受信中のファクスはいつでもキャンセルすることができます。

コントロール パネルでファクス送信を中止するには

→ 送受信しているファクスを中止するには、コントロール パネルで 「**キャンセル**」 を押します。カラー グラフィック ディスプレイに表示される 「**ファクス取消済**」 メッセージを確認します。このメッセージが表示されない場合は、「**キャンセル**」 ボタンをもう一度押します。
HP all-in-one は、すでに印刷を開始したページをすべて印刷してから、残りのファクスをキャンセルします。しばらく時間がかかる場合があります。

番号のダイヤルを中止するには

→ ダイヤルを中止するには、「**キャンセル**」 を押します。

12 HP Instant Share の使用 (USB)

HP Instant Share を使用すると、家族や友人と写真を簡単に共有できます。写真をスキャンするか、HP all-in-one の適切なカード スロットにメモリ カードを挿入して、共有する写真を選択し、写真の送信先を選択してから、送信するだけです。また、オンライン フォト アルバムやオンライン写真仕上げサービスに写真をアップロードすることもできます。このサービスの提供は国/地域に応じて異なります。

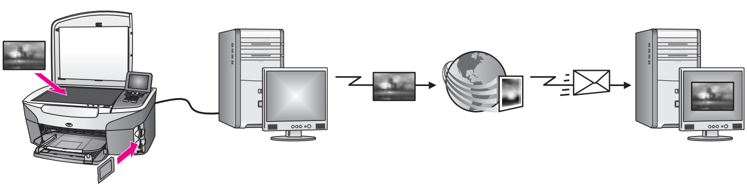
「**HP Instant Share 電子メール**」 を使用すると、家族や友人は、すぐに表示可能な写真を受け取ることができます。長時間のダウンロードを要求されたり、サイズが大きすぎて開けない画像データを受信したりすることがなくなります。写真のサムネイル画像が付いた電子メール メッセージに、セキュリティで保護された Web ページへのリンクが挿入されており、このページを表示すると、家族や友人は写真を簡単に閲覧、共有、印刷、および保存することができます。

注記　ご使用の HP all-in-one がネットワークに接続されていて、HP Instant Share に関するセットアップが行われている場合には、HP Instant Share の使用 (ネットワーク接続)に記載されている情報を参照してください。ここに記載されている情報は、本体が USB ケーブルでコンピュータに接続されている場合にのみ適用され、過去にネットワークに接続されたことがなく、HP Instant Share に関するセットアップが行われていないことが条件となります。

概要

HP all-in-one を USB 接続で使用している場合、コンピュータにインストールされている HP ソフトウェアと本体を使用して、友人や親戚と写真を共有することができます。Windows コンピュータをご使用の場合、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用します。Macintosh をご使用の場合、「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアを使用します。

注記　HP All-in-One は USB ケーブルでコンピュータに接続され、コンピュータ経由でインターネットにアクセスします。



HP Instant Share を使用して、HP all-in-one から指定の送信先に画像を送信します。たとえば、電子メール アドレス、オンライン フォト アルバム、またはオンライン写真仕上げサービスなどを送信先として選択できます。このサービスの提供は国/地域に応じて異なります。

注記　友人や親戚のネットワーク接続した HP All-in-One またはフォト プリンタにも画像を送信することができます。デバイスに送信するには、HP Passport のユーザー ID とパスワードが必要です。この場合、受信側のデバイスをセットアップして、HP Instant Share に登録する必要があります。送信者が受信側のデバイスに割り当てた名前を入手することも必要です。詳細については、HP all-in-one による画像の送信のステップ 5 を参照してください。

はじめに

HP all-in-one で HP Instant Share を使用するには、次のものが必要です。

- USB ケーブルでコンピュータに接続した HP all-in-one
- インターネットへのアクセス (HP all-in-one を接続したコンピュータ経由)
- ご使用のオペレーティング システムに応じた環境
  - Windows の場合：コンピュータにインストール済みの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェア
  - Macintosh の場合：コンピュータにインストール済みの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェア (「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアを含む)

  詳細については、本体に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

HP all-in-one をセットアップし、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのインストールが完了すると、HP Instant Share を使用して写真を共有することが可能になります。

HP all-in-one による画像の送信

写真またはスキャンした文書を画像として送信できます。HP all-in-one と HP Instant Share を使用すると、どちらの画像でも友人や親戚と共有することができます。メモリ カードから写真を選択するか、画像をスキャンして、HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押し、指定の送信先へ画像を送信します。詳しい手順については、以下の項目を参照してください。

メモリ カードの写真の送信

HP all-in-one では、メモリ カードを挿入した後、すぐに写真を共有することも、あとで共有することもできます。すぐに写真を共有する場合は、メモリ

カードを適切なカード スロットに挿入して、写真を選択し、コントロール パネルにある 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。

メモリ カードを挿入した後、しばらくしてから写真を送信する場合、写真を送信する時点では、HP all-in-one はアイドル モードになっています。この場合、コントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押し、指示に従って、写真を選択および共有します。

注記　メモリ カードの使用方法については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。

メモリ カードを挿入した後、すぐに写真を送信するには

1　メモリ カードが HP all-in-one の適切なカード スロットに挿入されていることを確認してください。

2　写真を選択します。
写真の選択方法については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。

　注記　動画ファイルの形式は、HP Instant Share サービスでサポートされていないことがあります。

3　HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
Windows の場合、コンピュータ上に 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアが開きます。 「**HP Instant Share**」 タブが開きます。写真のサムネイルが [選択トレイ] に表示されます。 「**HP Image Zone**」 の詳細については、オンスクリーン ヘルプの「「**HP Image Zone**」 の使用」を参照してください。
Macintosh をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。 「**HP Instant Share**」 ウィンドウに各写真のサムネイルが表示されます。

　注記　X v10.1.5 以前の Macintosh OS (OS 9 v9.1.5 を含む) をご使用の場合、写真は Macintosh の 「**HP ギャラリ**」にアップロードされます。 「**電子メール**」 をクリックします。コンピュータの画面に表示される指示に従って、写真を電子メールの添付ファイルとして送信します。

4　ご使用のオペレーティング システムに適した手順に従います。

Windows コンピュータをご使用の場合

a　「**HP Instant Share**」 タブの 「**コントロール**」 または 「**作業**」 領域から、写真の送信に使用するサービスのアイコンまたはリンクをクリックします。

注記　**「すべてのサービスを見る」** をクリックすると、お住まいの国/地域で利用可能なすべてのサービスが選択肢として表示されます。例：**「HP Instant Share 電子メール」** および **「オンライン アルバムの作成」** 画面上の指示に従って操作します。

「インターネットに接続」 画面が [作業] 領域に表示されます。

b　**「次へ」** をクリックして、画面の指示に従います。

Macintosh をご使用の場合

a　共有する写真が **「HP Instant Share」** ウィンドウに表示されていることを確認します。
　「-」 ボタンを使用して写真を削除するか、または **「+」** ボタンを使用して画面に写真を追加します。

b　**「続行」** をクリックして、画面の指示に従います。

c　HP Instant Share サービス一覧から、写真の送信に使用するサービスを選択します。

d　画面上の指示に従って操作します。

5　**「HP Instant Share 電子メール」** サービスからは、次の操作を実行することができます。
- Web 上で閲覧、印刷、および保存が可能な写真のサムネイル画像付き電子メール メッセージを送信できます。
- 電子メールのアドレス帳を開いて管理できます。**「アドレス帳」** を開いて、HP Instant Share に登録し、HP Passport のアカウントを作成してください。
- 複数のアドレスに電子メール メッセージを送信できます。複数のアドレス リンクをクリックしてください。
- 友人や親戚の、ネットワーク上の受信をサポートしているプリンタに複数の画像を一括して送信できます。**「電子メール アドレス」** の @send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。HP Passport の **「ユーザー ID」** および **「パスワード」** を使用して、HP Instant Share にサインインするように指示されます。

　注記　HP Instant Share のセットアップがお済みでない場合、**「HP Passport サインイン」** 画面の **「HP Passport のアカウントを作成する」** をクリックしてください。HP Passport のユーザー ID とパスポートが発行されます。

注記　メモリ カードから画像を送信するには、**「フォト」** ボタンを使用することもできます。詳細については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。

メモリ カードを挿入し、あとから写真を送信するには

1　メモリ カードを HP all-in-one のスロットに挿入します。

一定の時間が経過すると、HP all-in-one はアイドル モードになります。HP all-in-one がアイドル モードになると、カラー グラフィック ディスプレイにアイドル画面が表示されます。

2 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「どこから送信しますか?」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

3 「**1**」 を押して 「メモリ カード」 を選択します。
メモリ カードの最初の写真がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

4 写真を選択します。

注記 写真の選択方法については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。

5 メモリ カードを挿入した後、すぐに写真を送信するにはのステップ (ステップ 3 から) に従います。

スキャンした画像の送信

コントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押して、スキャンした画像を共有します。「**HP Instant Share**」 ボタンを使用する場合、原稿をガラス板の上に置いて、画像の送信手段としてスキャナを選択し、送信先を選択してから、スキャンを開始します。

注記 画像のスキャン方法については、スキャン機能の使用を参照してください。

スキャンした画像を HP all-in-one から送信するには

1 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

2 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「どこから送信しますか?」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

3 「**2**」 を押して 「スキャナ」 を選択します。
画像がスキャンされ、コンピュータにアップロードされます。
Windows の場合、コンピュータ上に 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアが開きます。「**HP Instant Share**」 タブが開きます。スキャンされた画像のサムネイルが [選択トレイ] に表示されます。「**HP Image Zone**」 の詳細については、オンスクリーン ヘルプの「「**HP Image Zone**」 の使用」を参照してください。
Macintosh をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。「**HP Instant Share**」 ウィンドウに、スキャンした画像のサムネイルが表示されます。

注記　X v10.1.5 以前の Macintosh OS (OS 9 v9.1.5 を含む) をご使用の場合、写真は Macintosh の **「HP ギャラリ」**にアップロードされます。**「電子メール」** をクリックします。コンピュータの画面に表示される指示に従って、スキャンした画像を電子メールの添付ファイルとして送信します。

4　ご使用のオペレーティング システムに適した手順に従います。

Windows コンピュータをご使用の場合

a　**「HP Instant Share」** タブの **「コントロール」** または **「作業」** 領域から、スキャンした画像の送信に使用するサービスのアイコンまたはリンクをクリックします。

注記　**「すべてのサービスを見る」** をクリックすると、お住まいの国/地域で利用可能なすべてのサービスが選択肢として表示されます。例：**「HP Instant Share 電子メール」** および **「オンライン アルバムの作成」**画面上の指示に従って操作してください。

「インターネットに接続」 画面が [作業] 領域に表示されます。

b　**「次へ」** をクリックして、画面の指示に従います。

Macintosh をご使用の場合

a　共有するスキャン画像が **「HP Instant Share」** 画面に表示されていることを確認します。
「-」 ボタンを使用して写真を削除するか、または **「+」** ボタンを使用して画面に写真を追加します。

b　**「続行」** をクリックして、画面の指示に従います。

c　HP Instant Share サービス一覧から、スキャンした画像の送信に使用するサービスを選択します。

d　画面上の指示に従って操作します。

5　**「HP Instant Share 電子メール」** サービスからは、次の操作を実行することができます。

– Web 上で閲覧、印刷、および保存が可能な写真のサムネイル画像付き電子メール メッセージを送信できます。
– 電子メールのアドレス帳を開いて管理できます。**「アドレス帳」** を開いて、HP Instant Share に登録し、HP Passport のアカウントを作成してください。
– 複数のアドレスに電子メール メッセージを送信できます。複数のアドレス リンクをクリックしてください。
– 友人や親戚の、ネットワーク上の受信をサポートしているプリンタに複数の画像を一括して送信できます。**「電子メール アドレス」** の @send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。HP Passport の **「ユーザー ID」** および **「パスワード」** を使用して、HP Instant Share にサインインするように指示されます。

注記　HP Instant Share のセットアップがお済みでない場合、**「HP Passport サインイン」** 画面の **「HP Passport のアカウントを作成する」** をクリックしてください。HP Passport のユーザー ID とパスポートが発行されます。

注記　スキャンした画像を送信するには、**「スキャン」** ボタンを使用することもできます。詳細については、スキャン機能の使用を参照してください。

コンピュータによる画像の送信

HP all-in-one を使用して HP Instant Share 経由で画像を送信する方法の他に、コンピュータにインストールされている **「HP Image Zone」** ソフトウェアを使用して画像を送信する方法があります。**「HP Image Zone」** ソフトウェアを使用すると、画像を選択および編集してから、HP Instant Share にアクセスしてサービス (例： **「HP Instant Share 電子メール」**) を選択し、画像を送信することができます。画像の共有には、次の方法を利用することができます。

- HP Instant Share 電子メール (電子メール アドレスに送信)
- HP Instant Share 電子メール (デバイスへの送信)
- オンライン アルバム
- オンライン写真仕上げ (サービスの提供は国/地域によって異なる)

「HP Image Zone」 ソフトウェアによる画像の送信 (Windows)

「HP Image Zone」 ソフトウェアを使用すると、友人や親戚と画像を共有できます。**「HP Image Zone」** を開き、共有する画像を選択して、**「HP Instant Share 電子メール」** サービスで画像を転送するだけです。

注記　**「HP Image Zone」** ソフトウェアの使用については、オンスクリーン **「HP Image Zone ヘルプ」** を参照してください。

「HP Image Zone」 ソフトウェアを使用するには

1　デスクトップ上にある **「HP Image Zone」** のアイコンをダブルクリックします。
　「HP Image Zone」 画面がコンピュータ上に開きます。**「マイ イメージ」** タブが画面に表示されます。
2　保存されているフォルダから画像を選択します。
　詳細については、オンスクリーン **「HP Image Zone ヘルプ」** を参照してください。

　注記　**「HP Image Zone」** 画像編集ツールを使用して、画像を編集し、好みの結果に仕上げてください。詳細については、オンスクリーン **「HP Image Zone ヘルプ」** を参照してください。

3　**「HP Instant Share」** タブをクリックします。

「**HP Instant Share**」 タブが 「**HP Image Zone**」 画面に表示されます。

4 「**HP Instant Share**」 タブの 「**コントロール**」 または 「**作業**」 領域から、スキャンした画像の送信に使用するサービスのアイコンまたはリンクをクリックします。

注記 「**すべてのサービスを見る**」 をクリックすると、お住まいの国/地域で利用できるサービスすべての中から、いずれかを選択できます。たとえば、「**メール送信**」 や 「**オンライン アルバムの作成**」 を選択できます。画面上の指示に従って操作します。

「**インターネットに接続**」 画面が 「**HP Instant Share**」 タブの 「**作業**」 領域に表示されます。

5 「**次へ**」 をクリックして、画面の指示に従います。

6 「**HP Instant Share 電子メール**」 サービスからは、次の操作を実行することができます。

- Web 上で閲覧、印刷、および保存が可能な写真のサムネイル画像付き電子メール メッセージを送信できます。
- 電子メールのアドレス帳を開いて管理できます。「**アドレス帳**」 を開いて、HP Instant Share に登録し、HP Passport のアカウントを作成してください。
- 複数のアドレスに電子メール メッセージを送信できます。複数のアドレス リンクをクリックしてください。
- 友人や親戚の、ネットワーク上の受信をサポートしているプリンタに複数の画像を一括して送信できます。「**電子メール アドレス**」 フィールドの @send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。HP Passport の 「**ユーザー ID**」 および 「**パスワード**」 を使用して、HP Instant Share にサインインするように指示されます。

  注記 HP Instant Share のセットアップがお済みでない場合、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する**」 をクリックしてください。HP Passport のユーザー ID とパスポートが発行されます。

HP Instant Share クライアント アプリケーション ソフトウェアによる画像の送信 (Macintosh OS X v10.1.5 以降)

注記 Macintosh OS X v10.2.0、v10.2.1 および v10.2.2 はサポート**されていません。**

HP Instant Share クライアント アプリケーションを使用すると、友人や親戚と画像を共有できます。[HP Instant Share] 画面を開き、共有する画像を選択して、「**HP Instant Share 電子メール**」 サービスで画像を転送するだけです。

注記　「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアの使用については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

HP Instant Share クライアント アプリケーションを使用するには

1. ドックから 「**HP Image Zone**」 アイコンを選択します。
   「**HP Image Zone**」 がデスクトップ上に開きます。
2. 「**HP Image Zone**」 で、画面の上部にある 「**サービス**」 ボタンをクリックします。
   アプリケーションの一覧が 「**HP Image Zone**」 の下側に表示されます。
3. アプリケーションの一覧から 「**HP Instant Share**」 を選択します。
   「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアがコンピュータ上に開きます。
4. 「**+**」 ボタンを使用して画像を画面に追加するか、または 「**-**」 ボタンを使用して画像を画面から削除します。

   注記　「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアの使用については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

5. 共有する画像が 「**HP Instant Share**」 画面に表示されていることを確認します。
6. 「**続行**」 をクリックして、画面の指示に従います。
7. HP Instant Share サービス一覧から、スキャンした画像の送信に使用するサービスを選択します。
8. 画面上の指示に従って操作します。
9. 「**HP Instant Share 電子メール**」 サービスからは、次の操作を実行することができます。
   - Web 上で閲覧、印刷、および保存が可能な写真のサムネイル画像付き電子メール メッセージを送信できます。
   - 電子メールのアドレス帳を開いて管理できます。「**アドレス帳**」 を開いて、HP Instant Share に登録し、HP Passport のアカウントを作成してください。
   - 複数のアドレスに電子メール メッセージを送信できます。複数のアドレス リンクをクリックしてください。
   - 友人や親戚の、ネットワーク上の受信をサポートしているプリンタに複数の画像を一括して送信できます。「**電子メール アドレス**」 フィールドの @send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。HP Passport の 「**ユーザー ID**」 および 「**パスワード**」 を使用して、HP Instant Share にサインインするように指示されます。

     注記　HP Instant Share のセットアップがお済みでない場合、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウント**

を作成する」 をクリックしてください。HP Passport のユーザー ID とパスポートが発行されます。

「HP ディレクタ」 による画像の共有 (X v10.1.5 以前の Macintosh OS)

注記　Macintosh OS X v10.0 および v10.0.4 はサポート**されていません**。

電子メール アカウントを持っている人となら誰とでも画像を共有できます。まず、「**HP ディレクタ**」 を起動して、「**HP ギャラリ**」を開きます。次に、コンピュータにインストールされている電子メール アプリケーションを使用して、電子メール メッセージを新規作成します。

注記　詳細については、オンスクリーン 「**HP フォト イメージング ヘルプ**」 の「HP イメージング ギャラリ」に関する章を参照してください。

「HP ディレクタ」で電子メール オプションを使用するには

1. 次のいずれかの方法で 「**HP ディレクタ**」 メニューを表示します。
   - OS X の場合、ドックから 「**HP ディレクタ**」 アイコンを選択します。
   - OS 9 の場合、デスクトップ上にある 「**HP ディレクタ**」のショートカットをダブルクリックします。
2. 次のいずれかの方法で 「**HP フォト イメージング ギャラリ**」 を開きます。
   - OS X の場合、「**HP ディレクタ**」 メニューの 「**管理と共有**」 から 「**HP ギャラリ**」 を選択します。
   - OS 9 の場合、「**HP ギャラリ**」 をクリックします。
3. 共有する画像を選択します。
   詳細については、オンスクリーン 「**HP フォト イメージング ヘルプ**」 を参照してください。
4. 「**電子メール**」 をクリックします。
   Macintosh で電子メール プログラムが開きます。
   コンピュータの画面に表示される指示に従うと、画像を電子メールの添付ファイルとして共有できます。

HP Instant Share の使用 (USB)

13 HP Instant Share の使用 (ネットワーク接続)

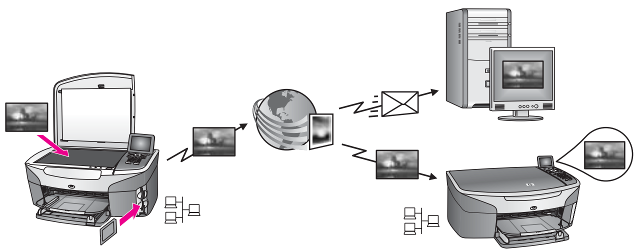
HP Instant Share を使用すると、家族や友人と写真を簡単に共有できます。写真をスキャンするか、HP all-in-one の適切なカード スロットにメモリ カードを挿入して、共有する写真を選択し、写真の送信先を選択してから、送信するだけです。また、オンライン フォト アルバムやオンライン写真仕上げサービスに写真をアップロードすることもできます。このサービスの提供は国/地域に応じて異なります。

概要

HP all-in-one がネットワークに接続していて、インターネットに直接アクセスできる場合 (インターネットの接続にコンピュータを使用しない場合) には、デバイスが提供する HP Instant Share の機能を制限なく利用することができます。利用できる機能には、HP all-in-one で画像を送受信する機能や、リモート印刷をする機能があります。次に、各機能について説明します。

注記　画像には、写真やスキャンした原稿があります。どちらも、HP all-in-one と HP Instant Share を使用して友人や家族と共有できます。

HP Instant Share Send

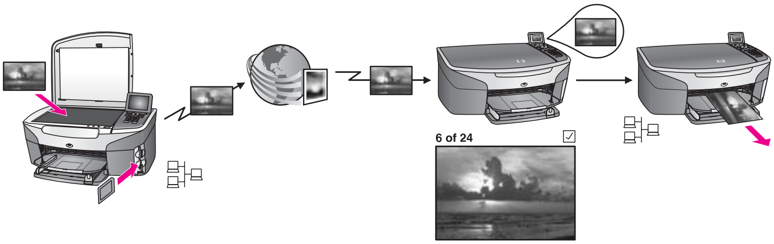


HP Instant Share Send を使用して、HP all-in-one から指定の送信先に、HP Instant Share サービス経由で画像を送信できます。(コンピュータにインストールされている 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアからも画像を送信できます)。送信先に指定できるのは、電子メール アドレス、友人や家族が使用しているネットワークに接続しているデバイス、オンライン フォト アルバム、またはオンライン写真仕上げサービスです。このサービスの提供は国/地域に応じて異なります。詳細については、HP all-in-one からの画像の直接送信を参照してください。

注記 HP All-in-One に HP Instant Share 機能がある場合、ネットワークに接続しているデバイスとは、ホーム ネットワークを介してインターネットに接続する、またはコンピュータを使用しないでインターネットに接続するもののことです。デバイスが、ネットワークに接続していて USB ケーブルでコンピュータにも接続されている場合には、ネットワーク接続の方が優先されます。

ネットワークに接続できることを表す記号は 品 です。

HP Instant Share Receive



HP Instant Share Receive を使用すると、HP Instant Share サービスにアクセスした友人や親戚、または HP Passport のユーザー ID およびパスワードを持っている友人や親戚から画像を受信することができます。

すべての送信者または指定の送信者から画像を受信

HP Passport のアカウントを持っているすべての送信者 (公開モード) または指定の送信者 (非公開モード) から画像を受信できます。

- すべての送信者からの画像の受信を選択する場合、画像の送信者に自分の HP all-in-one の名前を知らせます。デバイスに名前が割り当てられるのは、HP all-in-one で HP Instant Share をセットアップして、使用しているデバイスを登録するときです。デバイス名には、大文字と小文字の区別はありません。
デフォルトの受信モードは、公開モード (すべての送信者からの受信) です。公開モードでの受信の詳細については、すべての送信者からの受信 (公開モード)を参照してください。
ご使用の HP all-in-one に特定の個人が HP Instant Share アクセス一覧経由で画像を送信することを防止することもできます。アクセス一覧の使用方法については、HP Instant Share サービス オンライン ヘルプを参照してください。
- 指定の送信者からの画像を受信する場合、受信する画像の送信者を HP Instant Share アクセス一覧に追加し、それぞれの送信者にアクセス権限を割り当てます。アクセス権限の割り当て方法については、HP Instant Share サービス オンスクリーン ヘルプを参照してください。

受信した画像のプレビューまたは自動印刷

HP Instant Share では、画像コレクションをプレビューしてから印刷することも、自動的に HP all-in-one で印刷することもできます。自動印刷権限は、送信者ごとに、HP Instant Share アクセス一覧から有効にすることができます。

自動印刷権限が割り当てられている送信者からの画像コレクションのみが、本体で自動的に印刷されます。それ以外のコレクションは、いずれもプレビュー モードで受信されます。

注記　HP Instant Share Receive の詳細については、画像の受信を参照してください。

HP リモート印刷



HP リモート印刷を使用すると、Windows アプリケーションから、別の場所にあるネットワーク接続デバイスに出力できます。たとえば、HP リモート プリンタ ドライバを使用すれば、喫茶店でノートパソコンを操作して、自宅にある HP all-in-one で印刷できるようになります。また、家から、仮想プライベート ネットワーク (VPN) を経由して会社にあるデバイスで印刷することもできます。詳細については、ドキュメントのリモート印刷を参照してください。

さらに、ネットワークに接続しているデバイスを持っていない友人や家族がリモート プリンタ ドライバを自分のコンピュータにダウンロードすると、お客様がお使いの HP all-in-one で印刷できるようになります (ただし、デバイスの名前を相手に知らせている場合に限ります)。詳細については、ドキュメントのリモート印刷を参照してください。

はじめに

HP all-in-one で HP Instant Share を使用するには、次のものが必要です。

- ローカル エリア ネットワーク (LAN) または無線ネットワーク
- LAN または無線に接続された HP all-in-one
- インターネット サービス プロバイダ (ISP) を利用した、インターネットへの直接アクセス
- HP Passport の ユーザー ID およびパスポート
- ご使用のデバイスにセットアップ済みの HP Instant Share

HP Instant Share のセットアップと HP Passport のユーザー ID およびパスポートの入手は、次の方法または経路で行うことができます。

- コンピュータの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアから
- HP all-in-one のコントロール パネルの [HP Instant Share] ボタンを押す
- ソフトウェアのインストール手順の最後でオプションが表示されたとき (Macintosh のみ)

詳細については、「**HP Instant Share セットアップ ウィザード**」 オンスクリーン ヘルプを参照してください。

注記　HP all-in-one のソフトウェアをインストールするときに 「**標準**」インストールを選択したかどうかを確認してください。HP Instant Share は、最小インストールをするとデバイスでは**機能しません**。

HP Passport のユーザー ID およびパスワードを入手し、HP all-in-one のユニーク名を作成して、 ご使用のデバイスを登録すると、送信者をアクセス一覧に追加し、送信先を作成することができるようになります。アクセス一覧の使用と送信先の作成を後から行う場合、次の項目の手順に従ってください。

注記　HP Instant Share へのサインアップを行い、ご使用の HP all-in-one を登録すると、自動的にデバイスのアクセス一覧に登録されて、自動印刷権限が与えられます。HP Instant Share メンバになる方法とご使用のデバイスの登録方法については、はじめにを参照してください。

送信先の作成

送信先を作成して、画像を送信する場所を指定します。たとえば、電子メール アドレス、友人や家族が使用しているネットワーク接続デバイス、オンライン フォト アルバム、またはオンライン写真仕上げサービスなどを送信先として指定できます。このサービスの提供は国/地域に応じて異なります。

注記　送信先は HP Instant Share サービスで作成されますが、送信先へのアクセスには HP all-in-one が使用されます。

送信先を作成するには

1. HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。
   「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2. 「**4**」 を押して、 「**新しい送信先を追加**」 を選択します。
   「**コンピュータの選択**」 メニューが表示され、ご使用のネットワークに接続されているコンピュータの一覧が表示されます。
3. 一覧からコンピュータを選択します。

   注記　選択したコンピュータは 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアがインストール済みで、HP Instant Share サービスにアクセスできる必要があります。

コンピュータのウィンドウに HP Instant Share サービスの画面が表示されます。

4 HP Passport の「**ユーザー ID**」 と「**パスワード**」を使用して、HP Instant Share にサインインします。
HP Instant Share マネージャが表示されます。

注記 HP Instant Share サービスに HP Passport のユーザー ID とパスワードを記憶するように設定した場合、HP Passport の 「**ユーザー ID**」 と 「**パスワード**」 は要求されません。

5 「**共有メニュー**」 タブを選択し、オンスクリーンの指示に従って新しい送信先を作成してください。
詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。
画像コレクションを友人または親戚のネットワーク接続されたデバイスに送信する場合、「**HP Instant Share 電子メール**」 を選択します。「**電子メール アドレス**」 の @send.hp.com の前にデバイス名を入力します。(この特定の電子メール アドレスは HP Instant Share でのみ使用することができます)。

注記 デバイスに送信するには、1) 送信者と受信者が両方とも HP Passport のユーザー ID およびパスワードを所有し、2) 画像の送信先であるデバイスがHP Instant Share に登録され、3) 「**HP Instant Share 電子メール**」 または HP リモート印刷を使用して画像を送信する必要があります。

「**HP Instant Share 電子メール**」 でデバイスの送信先を設定する前、または HP リモート印刷で使用するプリンタを追加する前には、受信者に対して、ネットワーク接続しているデバイスに割り当てた一意の名前を確認してください。デバイス名は、HP Instant Share にサインアップして、使用しているデバイスを登録するときに作成されます。詳細については、はじめにを参照してください。

HP Instant Share アクセス一覧の使用

アクセス一覧は、HP all-in-one の設定が公開モードでも、非公開モードでも使用されます。

- 公開モードでは、送信者が HP Passport のアカウントを持っていて、受信者のデバイスに割り当てられた名前を知っていれば、誰からでも画像コレクションを受信することができます。公開モードでの受信を選択すると、ご使用のデバイスに対して、送信者が画像を送信できるようになります。
アクセス一覧を使用すると、自動印刷権限を割り当てることができます。アクセス一覧を使用すると、画像の受信を**拒否する**送信者を指定することもできます。
- 非公開モードでは、アクセス一覧で指定した送信者からの画像のみを受信します。アクセス一覧に追加する送信者には、HP Passport のユーザー ID とパスワードが必要です。

送信者をアクセス一覧に追加する場合、次のアクセス権限のいずれかを与えてください。

– 許可：送信者からの画像を印刷前にプレビューできます。
– 自動印刷：送信者からの画像をご使用のデバイスで自動的に印刷できます。
– 拒否：送信者からの不要な画像の受信を拒否します。

アクセス一覧を使用するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。
「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**3**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「**Instant Share のオプション**」 メニューが表示され、「**アカウントを管理**」 が選択されます。
「**コンピュータの選択**」 メニューが表示され、ご使用のネットワークに接続されているコンピュータの一覧が表示されます。
3 一覧からコンピュータを選択します。

注記 選択したコンピュータは 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアがインストール済みで、HP Instant Share サービスにアクセスできる必要があります。

コンピュータのウィンドウに HP Instant Share サービスの画面が表示されます。
4 画面の指示に従って、HP Passport の 「**ユーザー ID**」 と 「**パスワード**」 を使用し、HP Instant Share にサインインします。
HP Instant Share マネージャが表示されます。

注記 HP Instant Share サービスに HP Passport のユーザー ID とパスワードを記憶するように設定した場合、HP Passport の 「**ユーザー ID**」 と 「**パスワード**」 は要求されません。

5 画面上の指示に従って、アクセス一覧を使用し、送信者を追加または削除して、アクセス権限を変更します。
詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。

注記 アクセス一覧に追加する個々の送信者について、HP Passport のユーザー ID を入手する必要があります。アクセス一覧に送信者を追加するには、ユーザー ID が必要です。アクセス一覧に送信者を追加し、アクセス権限を与えると、アクセス一覧には送信者に関する情報(アクセス権限、名、姓、および HP Passport のユーザー ID) が表示されます。

HP all-in-one からの画像の直接送信

写真またはスキャンした文書を画像として送信できます。どちらも、HP all-in-one と HP Instant Share を使用して友人や家族と共有できます。メモリ カ

ードから写真を選択するか、画像をスキャンして、HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押し、指定の送信先へ画像を送信します。詳しい手順については、以下の項目を参照してください。

注記 ネットワークに接続しているデバイスに送信する場合、受信側のデバイスを HP Instant Share に登録する必要があります。

メモリ カードの写真の送信

HP all-in-one では、メモリ カードを挿入すると、すぐに写真を送信することも、後から送信することもできます。すぐに写真を送信する場合は、メモリ カードを適切なカード スロットに挿入して、写真を選択し、コントロール パネルにある 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。

メモリ カードを挿入した後、しばらくしてから写真を送信する場合、写真を送信する時点では、HP all-in-one はアイドル モードになっています。この場合、コントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押し、指示に従って、写真を選択および共有します。

注記 メモリ カードの使用方法については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。

友人や家族が使用しているネットワーク接続デバイスに写真を送信するには

1 友人や家族 (受信者) から、使用しているネットワークに接続しているデバイスの名前を入手します。

   注記 デバイスに名前が割り当てられるのは、HP Instant Share をセットアップして HP all-in-one を登録したときです。デバイス名には、大文字と小文字の区別はありません。

2 受信者が、公開モードで受信しているか、または受信側のデバイスのアクセス一覧に、お客様の HP Passport ユーザー ID を登録済みであるかを確認します。
   詳細については、すべての送信者からの受信 (公開モード)および HP Instant Share アクセス一覧の使用を参照してください。
3 受信者から入手したデバイス名を使用して、送信先を作成します。
   詳細については、送信先の作成を参照してください。
4 「**HP Instant Share**」 を押して、写真を送信します。
   詳細については、次の手順を参照してください。

メモリ カードを挿入した後、すぐに写真を送信するには

1 メモリ カードが HP all-in-one の適切なカード スロットに挿入されていることを確認してください。
2 写真を選択します。
   写真の選択方法については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。

注記　動画ファイルの形式は、HP Instant Share サービスでサポートされていないことがあります。

3　HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「共有メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
「共有メニュー」 に、HP Instant Share サービスで作成した送信先が表示されます。詳細については、送信先の作成を参照してください。
4　矢印 (▲ と ▼) を使用すると、写真の送信先を強調表示できます。
5　「**OK**」 ボタンを押して、送信先を指定し、写真を送信します。

注記　メモリ カードから画像を送信するには、「**フォト**」 ボタンを使用することもできます。詳細については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。

メモリ カードを挿入し、後から写真を送信するには

1　メモリ カードを HP all-in-one のスロットに挿入します。
一定の時間が経過すると、HP all-in-one はアイドル モードになります。HP all-in-one がアイドル モードになると、カラー グラフィック ディスプレイにアイドル画面が表示されます。
2　写真を送信する準備ができたら、HP all-in-one のコントロール パネルの「**HP Instant Share**」 を押します。
「HP Instant Share」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3　「**1**」 を押して 「**送信**」 を選択します。
「どこから送信しますか」 メニューが表示されます。
4　「**1**」 を押して 「メモリ カード」 を選択します。
メモリ カードの最初の写真がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
5　写真を選択します。
写真の選択方法については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。
6　コントロール パネルの 「**フォト**」 を押します。
「共有メニュー」 が表示されます。
「共有メニュー」 に、HP Instant Share サービスで作成した送信先が表示されます。詳細については、送信先の作成を参照してください。
7　矢印 (▲ と ▼) を使用すると、写真の送信先を強調表示できます。
8　「**OK**」 ボタンを押して、送信先を指定し、写真を送信します。

送信先ファイルの写真の送信

ご使用のデジタル カメラが HP Instant Share をサポートしている場合、写真をメモリ カードの送信先に割り当てることができます。割り当てられた写真は、送信先ファイルに保存されます。メモリ カードをカメラから取り外し、

HP all-in-one の適切なカード スロットに挿入すると、 HP all-in-one はメモリ カードを読み取り、写真を割り当てられた送信先に転送します。

写真をデジタル カメラで割り当てられた送信先に送信するには

1 メモリ カードが HP all-in-one の適切なカード スロットに挿入されていることを確認してください。
詳細については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。
カラー グラフィック ディスプレイに 「送信先が見つかりました」 ダイアログ ボックスが表示されます。
2 「**1**」 を押して、「はい、写真を HP Instant Share に送信します」 を選択します。
写真は割り当てられた送信先に送信されます。

注記 写真を多くの送信先に送信する場合、送信に時間がかかり、HP all-in-one が 1 回の処理で送信可能な送信先の数を超えることがあります。メモリ カードを再挿入すると、残りの写真が送信先に送信されます。

スキャンした画像の送信

コントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押すと、スキャンした画像を共有できます。「**HP Instant Share**」 ボタンを使用する場合、原稿をガラス板の上に置いて、画像の送信手段としてスキャナを選択し、送信先を選択してから、スキャンを開始します。

注記 画像のスキャン方法については、スキャン機能の使用を参照してください。

スキャンした画像を友人や家族が使用しているネットワーク接続デバイスに送信するには

1 友人や家族 (受信者) から、使用しているネットワークに接続しているデバイスの名前を入手します。

注記 デバイスに名前が割り当てられるのは、HP Instant Share をセットアップして HP all-in-one を登録したときです。デバイス名には、大文字と小文字の区別はありません。

2 受信者が、公開モードで受信しているか、または受信側のデバイスのアクセス一覧に、お客様の HP Passport ユーザー ID を登録済みであるかを確認します。
詳細については、すべての送信者からの受信 (公開モード)および HP Instant Share アクセス一覧の使用を参照してください。
3 友人や家族から入手したデバイスの名前を使用して、送信先を作成します。
詳細については、送信先の作成を参照してください。
4 「**HP Instant Share**」 を押して、写真を送信します。
詳細については、次の手順を参照してください。

スキャンした画像を HP all-in-one から送信するには

1. 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2. プリンタのコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
   「HP Instant Share」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3. 「**1**」 を押して 「送信」 を選択します。
   「どこから送信しますか」 メニューが表示されます。
4. 「**2**」 を押して 「スキャナ」 を選択します。
   「共有メニュー」 が表示されます。
   「共有メニュー」 に、HP Instant Share サービスで作成した送信先が表示されます。詳細については、送信先の作成を参照してください。
5. 矢印 (▲ と ▼) を使用して、画像の送信先を強調表示します。
6. 「**OK**」 ボタンを押して、送信先を選択し、スキャンを開始します。
   画像がスキャンされ、選択した送信先に送信されます。

注記 スキャンした画像を送信するには、「**スキャン**」 ボタンを使用することもできます。詳細については、スキャン機能の使用を参照してください。

画像の送信をキャンセル

画像の送信は、送信先の数に関係なく、プリンタのコントロール パネルの 「**キャンセル**」 ボタンを押すと、いつでもキャンセルできます。キャンセルは、画像コレクションがすでに HP Instant Share サービスにアップロードされているかどうかで異なります。

- 画像コレクションが HP Instant Share サービスに完全にアップロードされている場合、画像は送信先に送信されます。
- 画像コレクションが HP Instant Share サービスにアップロードされている途中の場合、画像は送信先には送信されません。

コンピュータによる画像の送信

HP all-in-one を使用して HP Instant Share 経由で画像を送信する方法の他に、コンピュータにインストールされている 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して画像を送信する方法があります。「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、画像を選択および編集してから、HP Instant Share にアクセスしてサービス (「**HP Instant Share 電子メール**」 など) を選択し、画像を送信することができます。画像の共有には、次の方法を利用することができます。

- HP Instant Share 電子メール (電子メール アドレスへ送信)
- HP Instant Share 電子メール (デバイスへ送信)
- オンライン アルバム
- オンライン写真仕上げ (サービスの提供は国/地域によって異なる)

注記　「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、画像コレクションを受信することはできません。

HP Instant Share 電子メール (デバイスへ送信) を使用して画像を共有する場合、次のタスクを実行してください。

- 受信者から、使用しているネットワークに接続しているデバイスの名前を入手します。

  注記　デバイスに名前が割り当てられるのは、HP Instant Share をセットアップして HP all-in-one を登録したときです。詳細については、はじめにを参照してください。

- 受信者が、公開モードで受信しているか、または受信側のデバイスのアクセス一覧に、お客様の HP Passport ユーザー ID を登録済みであるかを確認します。
  詳細については、すべての送信者からの受信 (公開モード)および HP Instant Share アクセス一覧の使用を参照してください。
- 以下に記載されている、オペレーティング システムに応じた手順に従います。

「HP Image Zone」 から画像を送信するには (Windows の場合)

1. デスクトップ上にある 「**HP Image Zone**」 のアイコンをダブルクリックします。
   「**HP Image Zone**」 画面がコンピュータ上に開きます。「**マイ イメージ**」 タブが画面に表示されます。
2. 保存されているフォルダから画像を選択します。
   詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

   注記　「**HP Image Zone**」 画像編集ツールを使用して、画像を編集し、好みの結果に仕上げてください。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

3. 「**HP Instant Share**」 タブをクリックします。
   「**HP Image Zone**」 のウィンドウに 「**HP Instant Share**」 タブが表示されます。
4. 「**コントロール**」で、「**すべてのサービスを表示**」 をクリックします。
   「**HP Instant Share**」 タブの「**作業**」に、「**インターネットに接続**」 画面が表示されます。
5. 「**次へ**」 をクリックします。
6. サービス一覧から、画像の送信に使用するサービスを選択します。
7. 画面上の指示に従って操作します。
   詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。
   画像コレクションを友人または親戚のネットワーク接続されたデバイスに送信する場合、「**HP Instant Share 電子メール**」 を選択します。「**電子メール アドレス**」 の @send.hp.com の前に、デバイスの名前を入力

してください。HP Passport の 「**ユーザー ID**」 および 「**パスワード**」 を使用して、HP Instant Share にサインインするように指示されます。

注記　HP Instant Share のセットアップがお済みでない場合、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する**」 をクリックしてください。HP Passport のユーザー ID とパスポートが発行されます。「**地域と使用条件**」 画面で、国/地域を選択し、「**使用条件**」 に同意します。

「HP Image Zone」 から画像を送信するには (Macintosh OS X v10.1.5 以降をご使用の場合)

注記　Macintosh OS X v10.2.0、v10.2.1 および v10.2.2 はサポートされていません。

1. ドックから 「**HP Image Zone**」 アイコンを選択します。
   「**HP Image Zone**」 がデスクトップ上に開きます。
2. 「**HP Image Zone**」 で、画面の上部にある 「**サービス**」 ボタンをクリックします。
   アプリケーションの一覧が 「**HP Image Zone**」 の下側に表示されます。
3. アプリケーションの一覧から、「**HP Instant Share**」 を選択します。
   コンピュータで 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。
4. 共有する画像を 「**HP Instant Share**」 ウィンドウに追加します。
   詳細については、「**HP Image Zone ヘルプ**」 の HP Instant Share に関する章を参照してください。
5. 画像をすべて追加したら、「**続行**」 をクリックします。
6. 画面上の指示に従って操作します。
7. サービス一覧から、画像の送信に使用するサービスを選択します。
8. 画面上の指示に従って操作します。
   詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。
   画像コレクションを友人または親戚のネットワーク接続されたデバイスに送信する場合、「**HP Instant Share 電子メール**」 を選択します。「**電子メール アドレス**」 の @send.hp.com の前に、デバイスの名前を入力してください。HP Passport の 「**ユーザー ID**」 および 「**パスワード**」 を使用して、HP Instant Share にサインインするように指示されます。

   注記　HP Instant Share のセットアップがお済みでない場合、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する**」 をクリックしてください。HP Passport のユーザー ID とパスポートが発行されます。「**地域と使用条件**」 画面で、国/地域を選択し、「**使用条件**」 に同意します。

画像の受信

画像は、ネットワークに接続しているデバイスから、ほかのネットワークに接続しているデバイスに送信できます。HP Passport のユーザー ID およびパ

スワードを持っているすべての送信者 (公開モード) または指定の送信者 (非公開モード) から画像を受信できます。デフォルトの受信モードは公開モードです。詳細については、HP Instant Share Receiveを参照してください。

注記　画像コレクションとは、送信者が特定の送信先 (この場合、お客様のデバイス) に送信する複数の画像を集めたものです。

すべての送信者からの受信 (公開モード)

HP all-in-one は、デフォルトではオープン モードに設定されています。使用しているデバイスの名前を教えると、有効な HP Passport アカウントを持っている友人や親戚が、画像コレクションを送信できます。HP Instant Share アクセス一覧で送信者に自動印刷権限を与えていない限り、画像コレクションは自動的に印刷されることは**ありません**。詳細については、HP Instant Share アクセス一覧の使用を参照してください。

注記　すべての送信者からの画像を受信するように HP all-in-one を設定している場合でも、特定の送信者からの画像の受信を拒否することができます。アクセス一覧を使用して、該当する送信者を拒否に設定するだけです。詳細については、HP Instant Share アクセス一覧の使用を参照してください。

ご使用のデバイスに送信される画像を拒否するには、HP Instant Share サービスの印刷ジョブ一覧にアクセスする方法もあります。

すべての送信者からの画像を受信するには

1　HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。
「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2　「**3**」 を押して 「**HP Instant Share のオプション**」 を選択します。
「**Instant Share のオプション**」 メニューが表示されます。
3　「**1**」 を押して 「**受信オプション**」 を選択します。
「**受信オプション**」 メニューが表示されます。
4　「**2**」 を押して 「**開いてすべてを受信**」 を選択します。
HP all-in-one は、デフォルトでは、画像コレクションの画像を印刷前にプレビューする設定されています。受信した画像を自動的に印刷する場合は、受信した画像を自動的に印刷するにはを参照してください。

指定の送信者からの受信 (非公開モード)

非公開モードで受信するように HP all-in-one を設定すると、許可した送信者 (各自が HP Passport アカウントを持っている) からのみ画像コレクションを受信できます。それぞれの送信者をアクセス一覧に追加すると、この方法で受信することができます。アクセス一覧に送信者を追加するときに、アクセス権限を与えます。詳細については、HP Instant Share アクセス一覧の使用を参照してください。

注記　非公開モードでは、HP Passport アカウントを持ち、お客様から許可または自動印刷の権限を与えられた送信者からのみ画像コレクションを受信できます。

非公開モードでは、アクセス一覧で自動印刷権限が与えられている場合を除き、受信した画像は手動で印刷されます。詳細については、受信した画像の印刷を参照してください。

許可した送信者からの画像を受信するには

1. 送信者を HP Instant Share アクセス一覧に追加し、権限を与えます。
詳細については、HP Instant Share アクセス一覧の使用を参照してください。
2. 一覧が完成したら、HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。
「HP Instant Share」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3. 「**3**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「Instant Share のオプション」 メニューが表示されて、「受信オプション」 が選択されます。
「受信オプション」 メニューが表示されます。
4. 「**1**」 を押して、「プライベート、許可した送信者から受信」 を選択します。
5. 画像コレクションの画像をプレビューしてから印刷する、または受信した画像をすべて自動的に印刷することを、HP all-in-one で設定します。
詳細については、受信した画像の印刷を参照してください。

受信した画像の印刷

HP Instant Share サービスは、ご使用のデバイスに送信された画像コレクションを受信し、送信者に割り当てられているアクセス権限をコレクションごとに示します。HP all-in-one は、次のいずれかの方法で、HP Instant Share サービスに受信した画像がないか確認します。

- HP all-in-one がネットワークに接続されていて、HP Instant Share に関するセットアップが完了している場合、HP all-in-one は設定された間隔 (20 分間隔など) で HP Instant Share サービスにアクセスして、新しい画像コレクションの有無を確認します。この処理は自動チェックと呼ばれ、ご使用のデバイスではデフォルトで有効になっています。
HP all-in-one が HP Instant Share サービスで画像コレクションの受信を検出すると、アイコンがカラー グラフィック ディスプレイに表示され、画像コレクションの受信を知らせます。受信した画像コレクションが、許可した送信者のうち、自動印刷権限を持つ送信者から送信されたものである場合、ご使用のデバイスで自動的に印刷されます。許可した送信者でも、自動印刷権限を持っていない送信者からの画像コレクショ

ンであれば、HP all-in-one の 「受信済」 コレクション一覧に、コレクションに関する情報が表示されます。

- 自動チェックが有効になっていない場合、または自動チェックの間隔以外で画像コレクションの受信の有無を確認する場合には、「**HP Instant Share**」 を押して、「HP Instant Share」 メニューから 「受信」 を選択します。「受信」 を選択すると、HP all-in-one が新しい画像コレクションの有無を確認し、デバイスの 「受信済」 コレクション一覧に情報をダウンロードします。
  受信したコレクションが、許可した送信者のうち、自動印刷権限を持つ送信者から送信されたものであれば、「今すぐ印刷」 または 「後で印刷」 のいずれかを選択するように指示されます。「今すぐ印刷」 を選択すると、コレクションに含まれる画像が印刷されます。「後で印刷」 を選択すると、コレクションに関する情報が 「受信済」 コレクション一覧に表示されます。

ここでは、受信した画像の印刷方法、印刷サイズと関連印刷オプションの設定方法、および印刷ジョブのキャンセル方法を説明します。

受信した画像の自動印刷

許可した送信者のうち、自動印刷権限を持つ送信者から受信した画像コレクションは、自動チェックが有効になっている場合、HP all-in-one で自動的に印刷されます。

受信した画像を自動的に印刷するには

1. 送信者を HP Instant Share アクセス一覧に追加し、自動印刷権限を与えます。
   詳細については、HP Instant Share アクセス一覧の使用を参照してください。
2. HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。
   「HP Instant Share」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3. 「**3**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
   「Instant Share のオプション」 メニューが表示され、「自動チェック」 が選択されます。
   「自動チェック」 メニューが表示されます。
4. 「**1**」 を押して、「オン」 を選択します。
   「自動チェック」 を [オン] にすると、HP all-in-one から HP Instant Share サービスに対して、お客様宛てに画像コレクションが届いているか、定期的に問い合わせます。コレクションが見つかると、自動印刷権限を持つ送信者からのコレクションであれば、ご使用のデバイスにダウンロードされて印刷されます。

注記 HP Instant Share サービスに手動で問い合わせるには、「**HP Instant Share**」 を押し、次に 「**2**」 を押して 「**HP Instant Share**」 メニューから 「**受信**」 を選択します。HP all-in-one から HP Instant Share サービスに対して問い合わせます。自動印刷対象の画像コレクションが見つかると、「**プリント ジョブの準備完了**」 画面がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。「**1**」 を押して 「**今すぐ印刷**」 を選択すると、コレクションは印刷されます。さらに 「**受信済**」 コレクション一覧に追加されます。「**2**」 を押して 「**後で印刷**」 を選択すると、コレクションは「**受信済**」 コレクション一覧に追加されるだけです。

受信した画像の手動印刷

ご使用のデバイスに送信が許可されている送信者のうち、自動印刷権限を持っていない送信者から画像コレクションが届いた場合、HP all-in-one で画像の処理方法を決めるまで、その画像コレクションは HP Instant Share サービスに保持されます。印刷する前に、コレクションに含まれる画像をプレビューすることもできれば、プレビューせずにコレクション全体を印刷することもできます。

印刷前に画像をプレビューするには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。
「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**2**」 を押して、「**受信**」 を選択します。
HP all-in-one から HP Instant Share サービスに対して、お客様宛ての画像コレクションが届いているか問い合わせます。コレクションが見つかると、使用しているデバイスにダウンロードされます。カラー グラフィック ディスプレイには、「**受信済**」 コレクション一覧が表示されます。
3 矢印 (▲ と ▼) を使用して、表示するコレクションを選択します。
4 「**OK**」 を押します。
5 コレクションから画像を選択します。
6 「**カラー**」、「**モノクロ**」、「**フォト**」 のいずれかのボタンを押します。
   – 「**スタート - カラー**」 ボタンを押すと、選択した画像がカラーで印刷されます。
   – 「**スタート - モノクロ**」 ボタンを押すと、選択した画像がモノクロで印刷されます。
   – 「**フォト**」 ボタンを押すと、印刷前に印刷オプション (枚数、画像サイズ、用紙サイズ、用紙の種類など) を選択することができます。印刷オプションを選択した後、「**スタート - カラー**」 または 「**スタート - モノクロ**」 を押します。

注記 印刷オプションの詳細については、写真の印刷オプションの設定を参照してください。

画像コレクションをプレビューしないで印刷するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。
「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**2**」 を押して、「**受信**」 を選択します。
HP all-in-one から HP Instant Share サービスに対して、お客様宛ての画像コレクションが届いているか問い合わせます。コレクションが見つかると、使用しているデバイスにダウンロードされます。また、「**受信済**」 コレクション一覧が表示されます。
3 矢印 (▲ と ▼) を使用して、印刷するコレクションを選択します。
4 「**スタート - カラー**」 または 「**スタート - モノクロ**」 を押します。
各画像の印刷情報に従って印刷されます。画像に印刷情報が含まれていない場合、画像は 「**Instant Share のオプション**」 メニューで定義されたリモート印刷オプションに基づいて印刷されます。

印刷オプションの設定

HP All-in-One でスキャンした画像は、受信側のデバイスに指定の印刷サイズで転送されます。また、HP リモート プリンタ ドライバから転送される画像や文書も、受信時には印刷サイズがすでに決まっています。受信した文書や画像コレクションの印刷サイズが決められている場合には、次の規則に従って印刷されます。

- コレクションまたは画像が自動印刷に設定されている場合、HP all-in-one は指定の印刷サイズを使用します。
- 印刷前にコレクションまたは文書をプレビューした場合、HP all-in-one は フォトの 「**印刷オプション**」 メニューで設定されたオプション (デフォルトまたはユーザーが選択した設定) を使用します。
- プレビューせずにコレクションまたは文書を印刷する場合、HP all-in-one は指定の印刷サイズを使用します。

カメラまたはメモリ カードから送信された画像は、受信側のデバイスに印刷情報**なしで**転送されます。受信した画像や画像コレクションに**印刷情報がない**場合には、次の規則に従って印刷されます。

- 画像またはコレクションが自動印刷に設定されている場合、HP all-in-one は 「**Instant Share のオプション**」 メニューで設定されているリモート印刷のサイズ オプションを使用します。
- 印刷前に画像またはコレクションをプレビューした場合、HP all-in-one は フォトの 「**印刷オプション**」 メニューで設定されたオプション (デフォルトまたはユーザーが選択した設定) を使用します。
- プレビューせずに画像またはコレクションを印刷する場合、HP all-in-one は 「**Instant Share のオプション**」 メニューで設定されているリモート印刷のサイズ オプションを使用します。

規則に関するオプションの設定方法を以下に説明します。

自動印刷される画像コレクション用にリモート印刷オプションを設定するには

1. HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。
   「HP Instant Share」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2. 「**3**」 を押し、次に 「**6**」 を押します。
   「Instant Share のオプション」 メニューが表示され、「リモート印刷のサイズ」 が選択されます。
   「画像サイズ」 メニューが表示されます。
3. 矢印 (▲ と ▼) を使用して、適切な画像サイズを選択します。デフォルトの設定は 「ページに合わせる」 です。
   詳細については、写真の印刷オプションの設定を参照してください。

印刷前にプレビューする画像コレクション用に印刷オプションを設定するには

1. HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。
   「HP Instant Share」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2. 「**2**」 を押して、「受信」 を選択します。
   HP all-in-one から HP Instant Share サービスに対して、お客様宛ての画像コレクションが届いているか問い合わせます。コレクションが見つかると、使用しているデバイスにダウンロードされます。カラー グラフィック ディスプレイには、「受信済」 コレクション一覧が表示されます。
3. 矢印 (▲ と ▼) を使用して、表示するコレクションを選択します。
4. 「**OK**」 を押します。
5. コレクションから画像を選択します。
6. コントロール パネルの 「**フォト**」 を押します。
   「印刷オプション」 メニューが表示されます。
7. 設定する項目 (枚数、画像サイズ、用紙サイズ、および用紙の種類など) を選択し、設定を選択します。

   注記　印刷オプションの詳細については、写真の印刷オプションの設定を参照してください。

8. 「**モノクロ**」 ボタンまたは 「**カラー**」 ボタンを押して印刷します。

プレビューせずに印刷する画像コレクション用にリモート印刷オプションを設定するには

➔ 自動印刷される画像コレクション用にリモート印刷オプションを設定するにはの手順に従ってください。

印刷ジョブのキャンセル

HP all-in-one では、すべての処理をいつでもキャンセルできます。「**キャンセル**」ボタンを押すと、受信ジョブ、プレビュー ジョブ、および印刷ジョブを停止できます。

- 「**HP Instant Share**」メニューから「**受信**」を選択した後で、「**キャンセル**」ボタンを押すと、デバイスは HP Instant Share サービスに、新しい画像コレクションが届いているかの確認を中止します。ディスプレイの表示は「**HP Instant Share**」メニューに戻ります。
- 画像コレクションをプレビュー中に「**キャンセル**」ボタンを押すと、印刷するために選択した画像は、すべて選択解除されます。ディスプレイの表示は「**受信済**」コレクション一覧に戻ります。
- 画像の印刷を開始した後で、「**キャンセル**」ボタンを押すと、印刷ジョブは中止されます。印刷中の画像と残りの画像は印刷されません。
  HP all-in-one はアイドル モードになります。

注記　キャンセルされた印刷ジョブは、自動的に再印刷されることはありません。

受信した画像の削除

HP all-in-one に表示される「**受信済**」コレクション一覧には、画像コレクションが最新のものから順番に表示されます。古いコレクションは、30日経過すると表示されなくなります。(この日数は、変更されることがあります。最新情報については、HP Instant Share サービスに関するサービス条件を参照してください)。

多数のコレクションを受信する場合、表示されるコレクションの数を自分で減らすことができます。HP all-in-one には、「**受信済**」コレクション一覧から画像コレクションを削除する方法があります。

画像コレクションを削除するには

1. HP all-in-one のコントロール パネルの「**HP Instant Share**」を押します。
   「**HP Instant Share**」メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2. 「**3**」を押して「**HP Instant Share のオプション**」を選択します。
   「**Instant Share のオプション**」メニューが表示されます。
3. 「**3**」を押して、「**コレクションを削除**」を選択します。
   「**コレクションを削除**」一覧が表示されます。
4. 矢印 (▲ と ▼) を使用して、削除するコレクションを強調表示します。
5. 「**OK**」ボタンを押して、削除するコレクションを選択します。
   もう一度「**OK**」ボタンを押すと、コレクションの選択を解除できます。
6. 削除するコレクションをすべて選択します。
7. 選択が完了したら、「**選択完了**」ラベルを強調表示し、「**OK**」ボタンを押します。

選択した項目が 「受信済」 コレクション一覧から削除されます。

ドキュメントのリモート印刷

HP リモート プリンタ ドライバを使用すると、Windows アプリケーションから、別の場所にあるネットワーク接続の印刷デバイスに印刷ジョブを送信できます。たとえば、ノートパソコンなどのコンピュータを使用して HP all-in-one でリモート印刷したり、作業しているコンピュータから VPN を経由してデバイスで印刷したり、別の場所にある他のネットワークに接続しているデバイスからご使用の HP All-in-One に印刷ジョブを送信したりできます。印刷ジョブの送信元は、いずれも HP リモート プリンタ ドライバがインストールされている必要があります。

HP リモート プリンタ ドライバは、デバイス用ソフトウェアをインストールしたコンピュータ (ノートパソコンなど) にインストールされます。別のノートパソコンに HP リモート プリンタ ドライバをインストールする必要がある場合は、デバイス用ソフトウェアをインストールするか、HP Web サイトからドライバをダウンロードしてください。

注記 HP Web サイトから HP リモート プリンタ ドライバをする場合、必ず、ブロードバンド接続を使用してください。ダイヤルアップ接続は使用しないでください。

HP リモート プリンタ ドライバを使用するには

1 Windows アプリケーションで、「**ファイル**」 を選択し、「**印刷**」 を選択します。
コンピュータの画面に 「**印刷**」 ウィンドウが表示されます。
2 「**HP リモート プリンタ**」 という名前のプリンタを選択します。
3 プリンタの 「**プロパティ**」 をクリックし、印刷オプションを設定します。
4 「**OK**」 をクリックして印刷します。
コンピュータのウィンドウに HP Instant Share の 「**ようこそ**」 画面が表示されます。「**ようこそ**」 画面は、過去に 「**今後、この画面を表示しない。**」 を選択していない場合にのみ表示されます。
5 画面上の指示に従って操作します。
6 画面上の指示に従って、HP Passport の 「**ユーザー ID**」 および 「**パスワード**」 を入力し、「**次へ**」 をクリックします。

ヒント サービスに HP Passport のユーザー ID とパスワードを記憶するように設定していない場合にのみ、HP Passport のユーザー ID とパスワードを入力するように要求されます。

注記 HP Instant Share のセットアップがお済みでない場合、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する**」 をクリックしてください。HP Passport のユーザー ID と

パスポートが発行されます。**「地域と使用条件」** 画面で、国/地域を選択し、**「使用条件」** に同意します。

「リモート プリンタの選択」 画面が表示されます。

7 HP all-in-one で印刷する場合、プリンタの一覧からご使用のプリンタを選択します。

注記 プリンタは、デバイスをセットアップして HP Instant Share に登録したときに、デバイスに割り当てたユニーク名によって一覧表示されます。アクセスが許可されているすべてのプリンタが、この一覧に表示されます。

ネットワークに接続しているプリンタで印刷する場合は、プリンタの一覧から該当するプリンタの名前を選択してください。プリンタが表示されていない場合、**「プリンタの追加」** をクリックして、そのプリンタを一覧に追加します。デバイスへの送信の詳細については、友人や家族が使用しているネットワーク接続デバイスに写真を送信するにはの手順のステップ 1 と 2 を参照してください。

8 画面上の指示に従って操作します。

注記 リモート印刷ジョブを受信する方法については、画像の受信を参照してください。

HP Instant Share のオプションの設定

HP all-in-one では、次の設定が可能です。

- 画像コレクションを受信するモードを選択できます (公開モードまたは非公開モード)。
- 自動チェックを有効または無効にできます。
- 印刷済みの画像コレクションまたは不要な画像コレクションを 「受信済」 コレクション一覧から削除できます。
- アクセス一覧を使用して、送信者を追加または削除でき、アクセス権限を割り当てることができます。
- デバイスに割り当てた一意の名前を表示できます。
- HP Instant Share デバイスの設定を工場出荷時のデフォルトにリセットできます。

HP Instant Share のオプションを設定するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの **「HP Instant Share」** を押します。
「HP Instant Share」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**3**」 を押して 「HP Instant Share のオプション」 を選択します。
「Instant Share のオプション」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3 矢印 (▲ と ▼) を使用して、操作するオプションを強調表示します。
各オプションの説明を、次の表に示します。

Instant Share のオプション	
受信オプション	「受信オプション」 を選択すると、ご使用の HP all-in-one で受信する画像コレクションの送信元を、有効な HP Passport アカウントを持つすべての送信者 (公開モード) と指定の送信者 (非公開モード) のいずれかから選択することができます。デフォルトでは、「開いてすべてを受信」 に設定されています。詳細については、指定の送信者からの受信 (非公開モード)およびすべての送信者からの受信 (公開モード)を参照してください。
自動チェック	「自動チェック」 を選択すると、設定した間隔での HP all-in-one による HP Instant Share サービスへのアクセスおよび新しいメッセージの有無の確認を実行するか指定できます。自動チェックが 「オン」 に設定すると、画像コレクションを受信する際に、そのことを通知するアイコンがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。(アイコンはHP all-in-one の概要で説明されています。詳細については、印刷前に画像をプレビューするにはおよび受信した画像を自動的に印刷するにはを参照してください。 注記　画像の送受信をしない場合、または 「**HP Instant Share**」 ボタンを押して手動でメッセージの有無を確認する方が便利な場合には、自動チェックを 「オフ」 に設定してください。
コレクションを削除	「コレクションを削除」 を選択すると、「受信済」 コレクション一覧から画像コレクションを削除できます。詳細については、受信した画像の削除を参照してください。
デバイス名を表示	「デバイス名を表示」 を選択すると、HP Instant Share にサインアップして、ご使用の HP all-in-one を登録したときにデバイスに割り当てた名前を表示できます。このデバイス名は、他の人がお客様のデバイスに送信するときに使用されます。詳細については、友人や家族が使用しているネットワーク接続デバイスに写真を送信するにはを参照してください。
アカウントを管理	HP all-in-one の HP Instant Share に関するセットアップが完了していない場合、「アカウントを管理」 を選択すると、「**HP Instant Share セットアップ ウィザード**」 を起動できます。

Instant Share のオプション	
	ご使用のデバイスのセットアップが完了している場合、「アカウントを管理」 を選択すると、ご自分の HP Instant Share アカウントをコンピュータから管理できます。HP Passport の 「**ユーザーID**」 および「**パスワード**」 を使用してサインインすると、HP Instant Share マネージャが使用できます。オプションには、送信先を作成できる機能やアクセス一覧に送信者を追加する機能などが含まれています。詳細については、はじめにの各トピックを参照してください。
リモート印刷のサイズ	「リモート印刷のサイズ」 を選択すると、受信した画像の印刷サイズを設定できます。詳細については、印刷オプションの設定を参照してください。
HP Instant Share をリセット	「リセットHP Instant Share」 を選択すると、HP Instant Share のデバイス設定を工場出荷時のデフォルトにリセットできます。従って、HP all-in-one は HP Instant Share に登録されていない状態になります。 注記　HP Instant Share のデバイスの設定をリセットすると、HP all-in-one では、もう一度 HP Instant Share がセットアップされるまで、画像の送受信ができなくなります。 ご使用のデバイスを他人に譲渡する場合、または HP all-in-one の使用環境をネットワーク接続から USB 接続に変更する場合に、このオプションを選択します。

14 サプライ品の注文

HP 推奨の印刷用紙、プリント カートリッジ、および HP all-in-one 用アクセサリは、HP Web サイトでオンライン注文できます。

用紙や OHP フィルムなどのメディアの注文

HP プレミアム用紙、HP プレミアム プラスフォト用紙、HP プレミアム OHP フィルム、HP アイロン プリント紙 などのメディアを注文するときは、www.hp.com/jp/hho を参照してください。ページ上のオンライン ストアをクリックします。

プリント カートリッジの注文

HP all-in-one 用のプリント カートリッジを注文するときは、www.hp.com/jp/hho を参照してください。ページ上のオンライン ストアをクリックします。

ご使用の HP all-in-one では、次のプリント カートリッジがサポートされています。

プリント カートリッジ	HP 注文番号
HP 黒プリント カートリッジ	**#130**, 21 ml 黒プリント カートリッジ **#131**, 11 ml 黒プリント カートリッジ
HP カラー プリント カートリッジ	**#134**, 14 ml カラー プリント カートリッジ **#135**, 7 ml カラー プリント カートリッジ
HP フォト プリント カートリッジ	**#138**, 13 ml カラー フォト プリント カートリッジ
HP グレー プリント カートリッジ	**#100**, 15 ml 黒プリント カートリッジ

注記　プリント カートリッジの注文番号は、国/地域により異なります。本書に記載されている注文番号が HP all-in-one に取り付けられているプリント カートリッジの番号と一致しない場合、現在取り付けられているプリント カートリッジの番号を使用して、新しいプリント カートリッジを注文してください。

最寄りの HP 製品取扱店または www.hp.com/support でも、お住まいの国/地域で使用されているプリント カートリッジ注文番号を確認することができます。

アクセサリの注文

追加の用紙トレイや自動両面印刷モジュールなど、 HP all-in-one 用アクセサリを注文するときは、www.hp.com/jp/hho を参照してください。ページ上のオンラインストアをクリックします。

お住まいの国/地域に応じて、HP all-in-one は次のアクセサリをサポートします。

アクセサリと HP モデル番号	説明
HP 自動両面印刷モジュール ph5712	自動的に用紙の両面に印刷できます。このアクセサリを取り付けると、印刷ジョブの途中で用紙を手動で裏返してセットし直さなくても、用紙の両面に印刷できます。
自動両面印刷対応ハガキトレイ ph3032	小さい用紙や封筒の専用トレイです。HP all-in-one の後部に追加すると、通常サイズの用紙と小さい用紙の両面に、自動印刷できるようになります。アクセサリを取り付けると、通常サイズの用紙をメイン給紙トレイにセットして、はがきなどの小さい用紙を後部給紙トレイにセットできます。用紙のサイズを切り替えながら印刷するときに、用紙をその都度セットし直す必要がなくなるので、時間を節約できます。
HP bt300 Bluetooth ワイヤレス プリンタ アダプタ bt300	Bluetooth デバイスからの画像を HP all-in-one で印刷できます。このアクセサリを HP all-in-one の正面のカメラポートに接続すると、デジタル カメラ付き携帯電話または PDA など、サポートされている Bluetooth デバイスの印刷ジョブを実行することができます。Bluetooth 対応の PC または Macintosh コンピュータからの印刷はサポートしていません。

15 HP all-in-one のメンテナンス

HP all-in-one では、メンテナンスはほとんど必要ありません。ガラス板とカバーの裏側に付いたほこりを掃除し、きれいな状態でコピーとスキャンができるようにしてください。適宜プリント カートリッジを交換、調整、またはクリーニングする必要があります。ここでは、HP all-in-one を最高の状態に保つための方法について説明します。必要に応じて簡単なメンテナンス手順を実行してください。

HP all-in-one のクリーニング

指紋、汚れ、髪の毛などのごみがガラス板やカバーの裏側に付着していると、パフォーマンスが低下したり、「ページに合わせる」 などの特別な機能の精度に影響する可能性があります。きれいにコピーやスキャンをするには、ガラス板とカバーの裏側をクリーニングしてください。また、HP all-in-one の外側のほこりも拭き取ってください。

ガラス板のクリーニング

指紋、汚れ、髪の毛、およびほこりでガラス板が汚れていると、パフォーマンスが低下したり、「ページに合わせる」 などの機能の精度に影響する可能性があります。

1 HP all-in-one の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。

   注記 電源コードを抜くと、日付と時刻は消去されます。後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻の再設定が必要になります。メモリに保存されているファクスもすべて消去されます。

2 非摩耗性のガラス クリーナで、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス板を拭きます。

   警告 研磨剤やアセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。ガラス板には液体を直に接触させないでください。液体がガラス板の下に入り込んで、本体を損傷させる可能性があります。

3 しみにならないよう、セーム革かセルロース スポンジでガラス板を拭きます。

カバーの裏側のクリーニング

HP all-in-one のカバーの裏側にある白い原稿押さえの表面に、ほこりがたまることがあります。

1 HP all-in-one の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。

2 刺激性の少ない石鹸とぬるま湯で、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。
3 原稿押さえを軽く拭いて汚れを落とします。力を入れてこすらないでください。
4 セーム革あるいは柔らかい布でカバーの裏側を拭いて乾かしてください。

警告 カバーの裏側を傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

5 さらにクリーニングが必要な場合には、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返してから、湿らせた布でカバーの裏側に残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

警告 ガラス板または HP all-in-one の塗装部分にアルコールを付着させないように注意してください。アルコールが付着すると、本体が損傷する可能性があります。

外側のクリーニング

柔らかい布か、または少し湿らせたスポンジで、外側のほこり、しみ、汚れなどを拭き取ります。HP all-in-one の内側のクリーニングは必要はありません。HP all-in-one のコントロール パネルや内側に液体がかからないようにしてください。

警告 HP all-in-one の塗装を傷めるおそれがあるため、コントロール パネルやカバーなど、本体の塗装部分に対しては、アルコールまたはアルコールベースの洗浄液を使用しないでください。

推定インク残量の確認

簡単にインク レベルを確認して、プリント カートリッジの交換時期を知ることができます。インク レベルは、プリント カートリッジの推定インク残量を示しています。

本体のコントロール パネルからインク レベルを確認するには

→ カラー グラフィック ディスプレイの下部に表示されている、取り付け済みの 2 種類のプリント カートリッジのインク残量のレベルを示す 2 つのアイコンを確認します。
  – 緑のアイコンは、カラー プリント カートリッジの推定インク残量を示しています。
  – 黒のアイコンは、黒プリント カートリッジの推定インク残量を示しています。
  – オレンジのアイコンは、フォト プリント カートリッジの推定インク残量を示しています。
  – ブルーのアイコンは、グレー プリント カートリッジの推定インク残量を示しています。

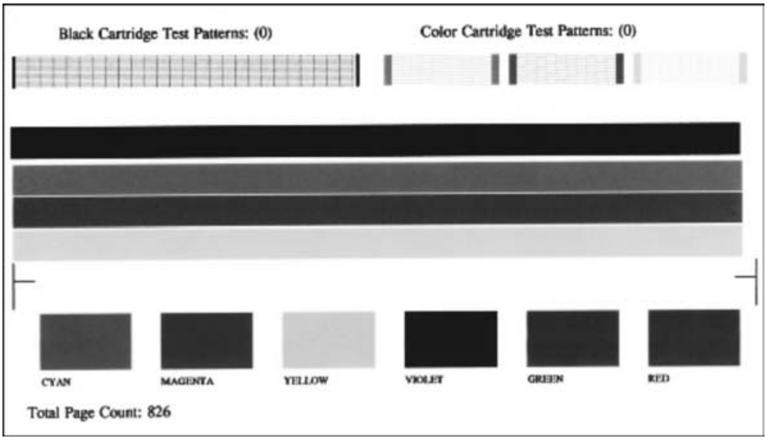
HP 以外のプリント カートリッジまたは詰め替えたプリント カートリッジを使用している場合、またはいずれかのカートリッジ取り付け位置にカートリッジが挿入されていない場合には、アイコンがアイコン バーに表示されないことがあります。HP all-in-one では、HP 以外のプリント カートリッジや詰め替えたプリント カートリッジのインク残量を検出できません。
ほとんど空を示すアイコンが表示されたら、そのアイコンのプリント カートリッジのインクが残りわずかになっているので、交換が必要になります。印刷品質が低下し始めたら、プリント カートリッジを交換してください。
カラー グラフィック ディスプレイのインク レベル アイコンの詳細については、カラー グラフィック ディスプレイのアイコンを参照してください。

プリント カートリッジの推定インク残量はコンピュータからも確認できます。コンピュータと HP all-in-one が USB 接続されている場合、「**プリンタ ツールボックス**」 からインク残量を確認する方法については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。ネットワーク接続されている場合、埋め込み Web サーバ (EWS) からインク残量を確認できます。EWS へのアクセス方法については、『ネットワーク ガイド』を参照してください。

セルフテスト レポートの印刷

印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジを交換する前に、セルフテスト レポートを印刷してください。このレポートには、プリント カートリッジなど、本体の役立つ情報があります。

1 給紙トレイに、A4 サイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
3 「**2**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「レポートの印刷」 メニューが表示され、「セルフテスト レポート」 が選択されます。
HP all-in-one でセルフテスト レポートが印刷されます。このレポートから印刷時の問題の原因が分かることがあります。次に、レポートのインク テスト領域の例を示します。



4　テスト パターンが均一でグリッドがきちんと印刷されていることを確認します。
パターン上の複数の筋がずれて印刷される場合、ノズルに問題がある可能性があります。プリント カートリッジをクリーニングする必要があります。詳細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。

5　カラー ラインがページ幅いっぱいに印刷されていることを確認します。
黒い線が見えない、かすれている、または筋または線が入っている場合、右側のスロットに入っている黒またはフォト プリント カートリッジに問題がある可能性があります。
3 本の線が見えない、かすれている、または筋または線が入っている場合、左側のスロットに入っているカラー プリント カートリッジに問題がある可能性があります。

6　カラー ブロックが均一で、次の色が表示されていることを確認します。
シアン、マゼンタ、黄色、紫、緑、赤のカラー ブロックが表示されます。
カラー ブロックが消えている場合、またはブロックの色がくすんでいたり、ブロック下のラベルと一致しない場合には、カラー プリント カートリッジのインクが切れている可能性があります。プリント カートリッジを交換してください。プリント カートリッジの交換方法ついては、プリント カートリッジの交換を参照してください。

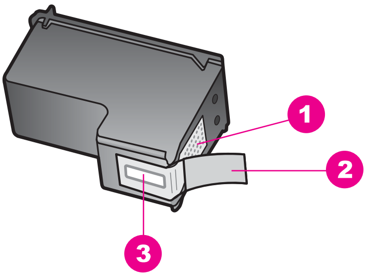
注記　正常なプリント カートリッジと不良プリント カートリッジテストによるテスト パターン、カラー ライン、カラー ブロックの例については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

プリント カートリッジのメンテナンス

HP all-in-one での印刷を常に美しく仕上げるには、簡単なメンテナンス作業を行う必要があります。ここでは、プリント カートリッジの取り扱い方法と交換、調整、およびクリーニングの手順について説明します。

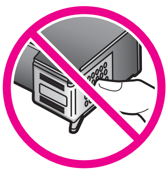
プリント カートリッジの取り扱い

プリント カートリッジを交換したり、クリーニングしたりする前に、プリント カートリッジの部品の名前や取り扱い方を知っておく必要があります。



1	銅色の接触部
2	ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

ラベルを上にして、プリント カートリッジの黒いプラスチックの部分の横を持ちます。銅色の接触部やインク ノズルには触れないでください。





警告 プリント カートリッジを落とさないように注意してください。破損して使用できなくなることがあります。

プリント カートリッジの交換

プリント カートリッジのインク レベルが低下すると、カラー グラフィック ディスプレイにメッセージが表示されます。

注記 インク レベルは、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属の 「**HP ディレクタ**」を使用して、コンピュータで確認することもできます。詳細については、推定インク残量の確認を参照してください。

インク レベルの低下を警告するメッセージが、カラー グラフィック ディスプレイに表示されたら、プリント カートリッジを交換してください。文字がかすれたり、プリント カートリッジが原因で印刷の品質に問題が生じた場合も、プリント カートリッジを交換してください。

ヒント 黒プリント カートリッジをフォト プリント カートリッジやグレー プリント カートリッジと交換して、高品質のカラー写真やモノクロ写真を印刷する場合も、次の手順を使用できます。

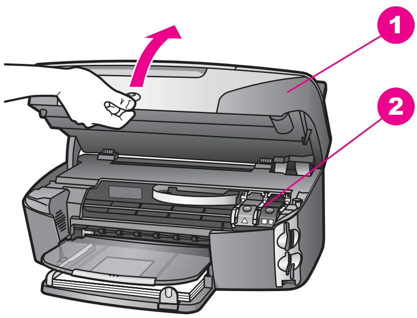
ご使用の HP all-in-one でサポートされているプリント カートリッジの注文番号を調べるには、プリント カートリッジの注文を参照してください。
HP all-in-one 用のプリント カートリッジを注文するときは、www.hp.com/jp/hho を参照してください。ページ上のオンライン ストアをクリックします。

プリント カートリッジを交換するには

1 HP all-in-one の電源がオンになっていることを確認します。

警告 プリント カートリッジを交換する場合、HP all-in-one がオフのときにプリント キャリッジのアクセス ドアを開けても、HP all-in-one ではプリント カートリッジの固定は解除されません。プリント カートリッジを取り外すときに、プリント カートリッジが右側に安全に固定されていない場合は、HP all-in-one が破損することがあります。

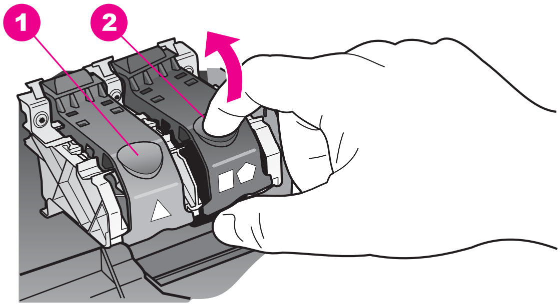
2 プリント キャリッジのアクセス ドアを本体正面の中央から上げて、所定の位置で止まるまで開きます。
プリント キャリッジは HP all-in-one の右端にあります。



1	プリント キャリッジのアクセス ドア
2	プリント キャリッジ

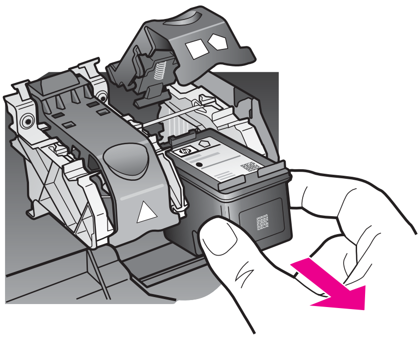
3 プリント キャリッジがアイドル状態で無音の場合、HP all-in-one の内側のラッチを押してから持ち上げます。
カラー プリント カートリッジを交換する場合は、左側の緑のラッチを上げます。

黒プリント カートリッジ、フォト プリント カートリッジ、またはグレー プリント カートリッジを交換する場合は、右側の黒のラッチを上げます。



1	カラー プリント カートリッジのプリント カートリッジ ラッチ
2	黒、フォト、およびグレー プリント カートリッジのプリント カートリッジ ラッチ

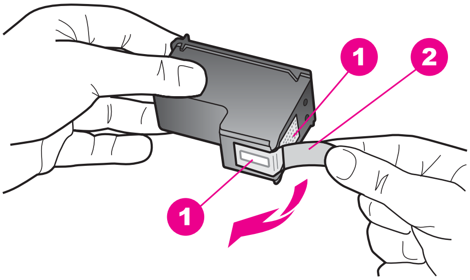
4 プリント カートリッジを下げて固定を解除してから、カートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。



5 黒プリント カートリッジを取り外してフォト プリント カートリッジまたはグレー プリント カートリッジを取り付ける場合には、取り外した黒プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに入れて保存してください。詳細については、プリント カートリッジ ケースの使用を参照してください。
インク残量の低下やインク切れが原因でプリント カートリッジを交換する場合、プリント カートリッジをリサイクルしてください。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、以下の Web サイトを参照してください。
www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

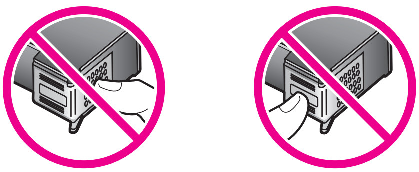
HP all-in-one のメンテナンス

6 新しいプリント カートリッジを包装からあけた後、黒いプラスチックの部分以外に触れないように注意して、ピンクのつまみからプラスチックテープをゆっくりはがします。

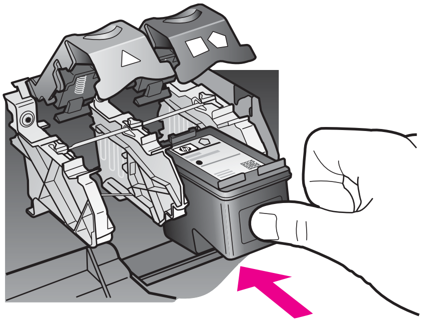


1	銅色の接触部
2	ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

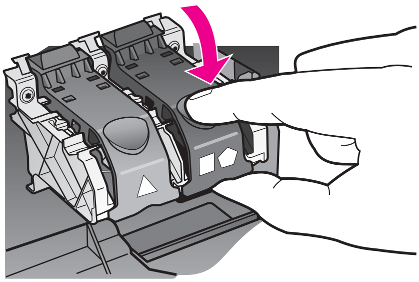
注意 銅色の接触部やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。



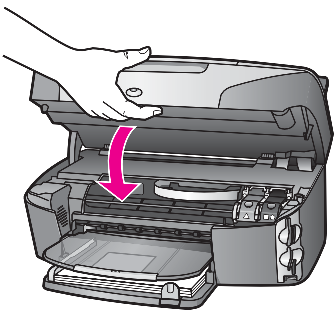
7 新しいプリント カートリッジを、空きスロットの底の傾斜に沿ってスライドさせながら挿入します。きちんとはまるまでプリント カートリッジを押し込んでください。
取り付けるプリント カートリッジのラベルに白い三角形が付いている場合は、プリント カートリッジを左側のスロットにスライドさせながら取り付けます。ラッチは緑色で、その表面に白で塗りつぶされた三角形が付いています。
取り付けるプリント カートリッジのラベルに白い四角形または五角形が付いている場合は、プリント カートリッジを右側のスロットにスライドさせながら取り付けます。ラッチは黒色で、その表面に白で塗りつぶされた四角形および五角形が付いています。



8　ラッチを下げます。ラッチが下側のつまみにきちんとはまっていることを確認してください。



9　プリント キャリッジのアクセス ドアを閉じます。



フォト プリント カートリッジの使用

フォト プリント カートリッジを利用すると、HP all-in-one で印刷またはコピーされるカラー写真をきれいに仕上げることができます。黒プリント カートリッジを取り外し、代わりにフォト プリント カートリッジを取り付けてください。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジの両方をセットすると、6 色インク システムになり、写真の品質がさらに向上します。

通常の文書を印刷するときは、黒プリント カートリッジと取り替えてください。使用していないプリント カートリッジは、プリント カートリッジ ケースに入れて安全に保管してください。

- フォト プリント カートリッジの購入方法については、プリント カートリッジの注文を参照してください。
- プリント カートリッジの交換方法ついては、プリント カートリッジの交換を参照してください。
- プリント カートリッジ ケースの使用方法については、プリント カートリッジ ケースの使用を参照してください。

グレー プリント カートリッジの使用

グレー プリント カートリッジを利用すると、HP all-in-one でモノクロ写真を美しく印刷またはコピーすることができます。黒プリント カートリッジを取り外し、代わりにグレー プリント カートリッジを取り付けてください。これで、カラー プリント カートリッジとグレー プリント カートリッジが本体に取り付けられ、グレーをさまざまな濃度で印刷することができ、モノクロ写真の品質が向上します。

通常の文書を印刷するときは、黒プリント カートリッジと取り替えてください。使用していないプリント カートリッジは、プリント カートリッジ ケースに入れて安全に保管してください。

- グレー プリント カートリッジの購入方法については、プリント カートリッジの注文を参照してください。
- プリント カートリッジの交換方法ついては、プリント カートリッジの交換を参照してください。
- プリント カートリッジ ケースの使用方法については、プリント カートリッジ ケースの使用を参照してください。

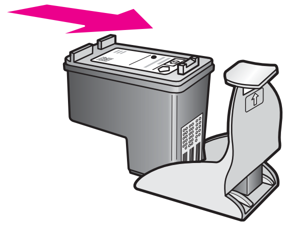
プリント カートリッジ ケースの使用

国/地域によっては、フォト プリント カートリッジを購入すると、プリント カートリッジ ケースも付属してきます。HP all-in-one の箱にプリント カートリッジ ケースが付属してくる国/地域もあります。プリント カートリッジと HP all-in-one のいずれにもプリント カートリッジ ケースが付属していない場合、HP サポートにケースを注文できます。www.hp.com/support を参照してください。

プリント カートリッジ ケースは、使用していないプリント カートリッジを安全に保管できて、乾燥を防止できるように設計されています。後でもう一度使用するつもりで、HP all-in-one からプリント カートリッジを取り外した場合、そのプリント カートリッジは必ずプリント カートリッジ ケースに入れて保管してください。たとえば、フォトおよびカラー プリント カートリッジを使用して高品質の写真を印刷するために、黒プリント カートリッジをいったん取り外す場合、黒プリント カートリッジはプリント カートリッジ ケースに入れて保管してください。

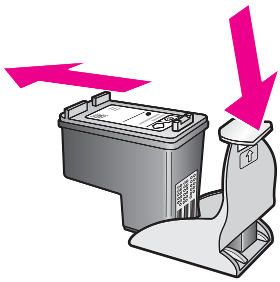
プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに入れるには

➔ プリント カートリッジを少し角度を付けてスライドさせながら、プリント カートリッジ ケースに差し込み、パチンと音がするまで押し込みます。



プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースから取り外すには

➔ プリント カートリッジ ケースの上部を後方に押し下げ、プリント カートリッジの固定を解除します。その後、プリント カートリッジ ケースからプリント カートリッジをスライドさせて取り出します。



プリント カートリッジの調整

HP all-in-one では、プリント カートリッジを取り付けたり交換すると、カートリッジの調整のメッセージが表示されます。プリント カートリッジの調整は、本体のコントロール パネルから、あるいはコンピュータの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、随時実行することができます。プリント カートリッジを調整することで、高品質の出力が得られます。

注記 プリント カートリッジを取り外した後、もう一度同じカートリッジを HP all-in-one に取り付けた場合には、プリント カートリッジの調整のメッセージは表示されません。プリント カートリッジを再調整する必要がないように、いったん取り付けられたプリント カートリッジの調整値は、HP all-in-one に記憶されます。

メッセージに従って本体のコントロール パネルからプリント カートリッジを調整するには

➔ A4 サイズの未使用の白い普通紙が、給紙トレイにセットされていることを確認してから、「**OK**」 ボタンを押します。
HP all-in-one によってプリント カートリッジ調整シートが印刷されて、プリント カートリッジが調整されます。この用紙は再利用するかまたは捨ててください。

注記 プリント カートリッジを調整するときに、色付きの用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。その場合は、給紙トレイに A4 の未使用の白い普通紙をセットしてから、調整をやり直してください。

調整に再度失敗した場合、センサーまたはプリント カートリッジに問題がある可能性があります。HP サポートにお問い合わせください。お問い合わせ先については、HP カスタマ サポートへの問い合わせ を参照してください。

任意の時点で本体のコントロール パネルからカートリッジを調整するには

1 給紙トレイに、A4 サイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
3 「**6**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「ツール」 メニューが表示され、「カートリッジの調整」 が選択されます。
HP all-in-one によってプリント カートリッジ調整シートが印刷されて、プリント カートリッジが調整されます。

HP all-in-one に付属の 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、プリント カートリッジを調整する方法については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

プリント カートリッジのクリーニング

セルフテスト レポートでカラー ラインのいずれかに筋や白線が表示されたときに、この機能を使用してください。不必要にプリント カートリッジのクリーニングをしないでください。インクの無駄になり、インク ノズルの寿命を縮めます。

本体のコントロール パネルからプリント カートリッジをクリーニングするには

1 給紙トレイに、A4 サイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
3 「**6**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「ツール」 メニューが表示され、「カートリッジ クリーニング」 が選択されます。
HP all-in-one で 1 枚の用紙が印刷されます。
プリント カートリッジをクリーニングしても、コピーや印刷の品質が上がらない場合は、プリント カートリッジを交換する前に、問題のプリン

ト カートリッジの接触部をクリーニングしてください。プリント カートリッジの接触部をクリーニングする方法については、プリント カートリッジの接触部のクリーニングを参照してください。プリント カートリッジの交換方法については、プリント カートリッジの交換を参照してください。

HP all-in-one に付属の 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、プリント カートリッジをクリーニングする方法については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

プリント カートリッジの接触部のクリーニング

プリント カートリッジの接触部のクリーニングは、プリント カートリッジのクリーニングと調整をしても、カラー グラフィック ディスプレイに、プリント カートリッジの確認のメッセージが繰り返し表示される場合にのみ実行してください。

プリント カートリッジの接触部をクリーニングする前に、プリント カートリッジを取り外し、プリント カートリッジの接触部に何も付着していないことを確認してから取り付け直してください。プリント カートリッジの確認のメッセージがその後も表示される場合、プリント カートリッジの接触部をクリーニングしてください。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布
- 蒸留水、ろ過水、瓶詰水のいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれているおそれがあります)

警告 プリント カートリッジの接触部のクリーニングには、プラテン クリーナやアルコールを**使用しないでください**。プリント カートリッジや HP all-in-one を傷める可能性があります。

プリント カートリッジの接触部をクリーニングするには

1 HP all-in-one の電源を入れ、プリント キャリッジのアクセス ドアを開きます。
プリント キャリッジは HP all-in-one の右端にあります。

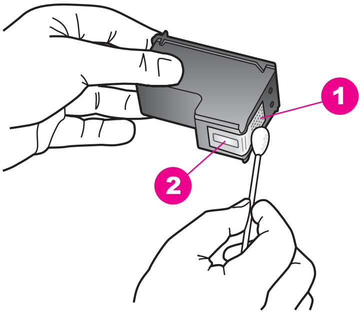
2 プリント キャリッジが停止して静かになってから、HP all-in-one の後部から電源コードを抜きます。

注記 電源コードを抜くと、日付と時刻は消去されます。後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻の再設定が必要になります。詳細については、日付と時刻の設定を参照してください。メモリ内に保存されたファクスも消去されます。

3 どちらかのラッチを上げて、プリント カートリッジを取り外します。

注記　両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。プリント カートリッジを取り外してクリーニングする作業は、一度に 1 つずつしてくださいプリント カートリッジを HP all-in-one から取り外した状態で 30 分以上放置しないでください。

4　プリント カートリッジの接触部に、インクや汚れが付着していないか調べます。
5　きれいなスポンジ棒または糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。
6　プリント カートリッジの横を持ちます。
7　銅色の接触部のみをクリーニングします。インク ノズル部分をクリーニングする方法については、インク ノズル周辺部分のクリーニングを参照してください。



1	銅色の接触部
2	インク ノズル (クリーニングしないでください)

8　プリント カートリッジをプリント キャリッジのスロットに戻し、ラッチを閉じます。
9　必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業をします。
10　プリント キャリッジのアクセス ドアをゆっくり閉め、HP all-in-one の後部に電源コードを差し込みます。

インク ノズル周辺部分のクリーニング

ほこりっぽい環境で HP all-in-one を使用していると、ほこり、髪の毛、カーペットや衣服の繊維などの小さな汚れが本体の中にたまることがあります。ほこりがプリント カートリッジに付くと、印刷したページにインクの筋やにじみが出ることがあります。インクの筋は、ここで説明した手順でインク ノズルをクリーニングすると出なくなることがあります。

注記　コントロール パネルまたは 「**HP Image Zone**」 を使用してプリント カートリッジをクリーニングしても、印刷したページの筋やにじみが消えない場合にのみ、インク ノズルの周辺をクリーニングします。詳

細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布
- 蒸留水、ろ過水、瓶詰水のいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれているおそれがあります)

警告 銅色の接触部やインク ノズルには**さわらないでください。** この部分に手を触れると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。

インク ノズルの周辺部分をクリーニングするには

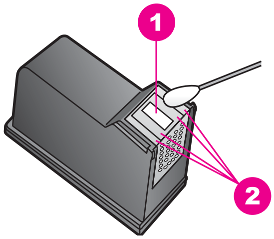
1 HP all-in-one の電源を入れ、プリント キャリッジのアクセス ドアを開きます。
プリント キャリッジは HP all-in-one の右端にあります。
2 プリント キャリッジが停止して静かになってから、HP all-in-one の後部から電源コードを抜きます。

注記 電源コードを抜くと、日付と時刻は消去されます。後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻の再設定が必要になります。詳細については、日付と時刻の設定を参照してください。メモリ内に保存されたファクスも消去されます。

3 どちらかのラッチを上げて、プリント カートリッジを取り外します。

注記 両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。プリント カートリッジを取り外してクリーニングする作業は、一度に 1 つずつしてくださいプリント カートリッジを HP all-in-one から取り外した状態で 30 分以上放置しないでください。

4 インク ノズルを上に向けて、プリント カートリッジを紙の上に置きます。
5 きれいなスポンジ棒を蒸留水で軽く湿らせます。
6 下の図のように、インク ノズル周辺の面と端部を綿棒でクリーニングします。



1	ノズル プレート (クリーニングしないでください)
2	インク ノズル部分の表面と角

警告　ノズル プレートはクリーニング**しないでください。**

7　プリント カートリッジをプリント キャリッジのスロットに戻し、ラッチを閉じます。
8　必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業をします。
9　プリント キャリッジのアクセス ドアをゆっくり閉め、HP all-in-one の後部に電源コードを差し込みます。

本体の設定の変更

お好みに応じて、HP all-in-one の省電力時間およびプロンプト遅延時間の設定を変更することができます。また、本体の設定を、購入時の設定に戻すこともできます。この場合、新しく設定したデフォルト値はすべて消去されます。

省電力時間の設定

印刷要求があったときに HP all-in-one がすぐに応えられるよう、HP all-in-one のスキャナのランプ バルブは指定した時間はオンになっています。指定した時間に HP all-in-one を使用しなかった場合は、電力を節約するためにバルブがオフになります。本体のコントロール パネルでいずれかのボタンを押すと、このモードを終了できます。

HP all-in-one は 12 時間後に省電力モードになります。HP all-in-one が省電力モードになる時間を早めたい場合は、次の手順に従います。

1　「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2　「**7**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「**プリファレンス**」 メニューが表示され、「**省電力時間の設定**」 が選択されます。
3　▼ を押して適切な時間を選択し、「**OK**」 ボタンを押します。
1 時間、4 時間、8 時間、12 時間のいずれかを省電力時間として選択できます。

HP all-in-one のメンテナンス

プロンプト遅延時間の設定

「プロンプト遅延時間」 オプションを使用すると、指示メッセージが表示されるまでの時間を管理できます。たとえば、「コピー」 を押した後、他のボタンを押す前にプロンプト遅延時間が過ぎると、カラー グラフィック ディスプレイに 「“[スタート] を押してコピー。[番号] か OK を押して選択”」の メッセージが表示されます。設定値は 「はやい」、「標準」、「おそい」、「オフ」 のいずれかから選択できます。「オフ」 を選択すると、カラー グラフィック ディスプレイにヒントが表示されなくなります。ただし、インク レベルの低下に関する警告やエラー メッセージなどの他のメッセージは引き続き表示されます。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**7**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「プリファレンス」 メニューが表示され、「プロンプト遅延時間の設定」 が選択されます。
3 ▼ を押して遅延時間を選択し、「**OK**」 ボタンを押します。

工場出荷時の初期設定の復元

HP all-in-one の設定は、工場出荷時の初期設定 (購入したときの設定) に戻すことができます。

注記 工場出荷時の初期設定に戻しても、現在設定されている日付情報は変更されません。また、スキャン設定、言語設定、および国と地域の設定に加えた変更にも影響しません。

この作業は、本体のコントロール パネルからのみ実行できます。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**6**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「ツール」 メニューが表示され、「工場出荷時の初期設定に戻す」 が選択されます。
工場出荷時の初期設定に復元します。

セルフメンテナンス音

長期間 (約 2 週間) 使用しないと、HP all-in-one から音が発生することがあります。この音は、正常な動作の範囲であり、HP all-in-one で印刷を常にきれいに仕上げるために必要な動作です。

16 トラブルシューティング

ここでは、HP all-in-one のトラブルシューティングについて説明します。インストールおよび設定に関する問題と動作に関する事項について詳しく説明します。トラブルシューティングの詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

HP all-in-one ソフトウェアをコンピュータにインストールする前に HP all-in-one を USB ケーブルでコンピュータに接続すると、多くの問題が発生します。ソフトウェアのインストール画面でコンピュータへの接続を指示される前に、HP all-in-one をコンピュータに接続した場合、次の手順に従ってください。

1. コンピュータから USB ケーブルを外します。
2. ソフトウェアをアンインストールします (すでにインストールした場合)。
3. コンピュータを再起動します。
4. HP all-in-one の電源をオフにし、1 分間経過してから、電源をもう一度オンにします。
5. HP all-in-one ソフトウェアを再インストールします。ソフトウェア インストール画面で指示されるまで、USB ケーブルはコンピュータに接続しないでください。

ソフトウェアのインストールとアンインストールの詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

ここでは、次の項目について説明します。

- 「**セットアップのトラブルシューティング**」 : ハードウェアのセットアップ、ソフトウェアのインストール、ファクスのセットアップ、および HP Instant Share セットアップのトラブルシューティングについて説明します。
- 「**動作に関するトラブルシューティング**」 : HP all-in-one の機能を使用して通常のタスクを実行しているときに発生する問題について説明します。
- 「**デバイスの更新**」 : HP カスタマ サポートからのアドバイスまたはカラー グラフィック ディスプレイのメッセージに基づいて、HP サポート Web サイトにアクセスし、ご使用のデバイスの更新に必要なデータを入手することができます。ここでは、ご使用のデバイスの更新について説明します。

HP サポートに問い合わせる前に

お困りの場合、次の手順に従ってください。

1 HP all-in-one に付属のマニュアルを読んで、問題の解決法を確認します。
   – 「**セットアップ ガイド**」: 『セットアップ ガイド』では、HP all-in-one のセットアップ方法を説明します。
   – 「**ユーザー ガイド**」: 本書が『ユーザー ガイド』です。『ユーザー ガイド』では、HP all-in-one の基本機能を紹介し、HP all-in-one をコンピュータに接続せずに使用する方法やセットアップおよび動作に関するトラブルシューティングについて説明します。
   – 「**HP Image Zone ヘルプ**」: オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 では、HP all-in-one をコンピュータと接続して使用する方法や『ユーザー ガイド』に記載されていないトラブルシューティングを紹介します。
   – 「**Readme ファイル**」: Readme ファイルでは、インストールの際に考えられる問題とシステム要件について説明します。詳細については、Readme ファイルの表示を参照してください。
   – 「**ネットワーク ガイド**」: 『ネットワーク ガイド』では、ネットワークに接続する場合の HP all-in-one のセットアップ方法について説明します。
2 マニュアル類を参照しても問題を解決できない場合、「**www.hp.com/support**」 を参照して、次のことを実行してください。
   – オンライン サポート ページにアクセスする
   – 質問を電子メール メッセージにまとめて、HP 宛てに送信する
   – オンライン サポートを使用して、HP の専門技術者に問い合わせる
   – ソフトウェアの更新がないか確認する

   サポートのオプションと提供の可否は、製品、国/地域、および言語に応じて異なります。
3 オンスクリーン ヘルプまたは HP の Web サイトを使用しても問題を解決できない場合、お住まいの国/地域の HP サポートまでお電話ください。詳細については、HP サポートの利用を参照してください。

Readme ファイルの表示

インストール時に考えられる問題とシステム要件の詳細については、Readme ファイルを参照してください。

● Windows の場合、Windows のタスクバーから 「**スタート**」 をクリックし、「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」、「**HP**」、「**HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one**」 の順でポイントして、

「**Readme**」 をクリックすると、Readme ファイルを表示することができます。

- Macintosh の OS 9 または OS X の場合は、HP all-in-one ソフトウェア CD-ROM の最上位のフォルダにあるアイコンをダブルクリックすると、Readme ファイルを表示することができます。

セットアップのトラブルシューティング

ここでは、HP all-in-one のハードウェア、ソフトウェア、ファクス、および「**HP Instant Share**」 の機能に関連する最も一般的な問題について、インストールと設定のトラブルシューティングのヒントを紹介します。

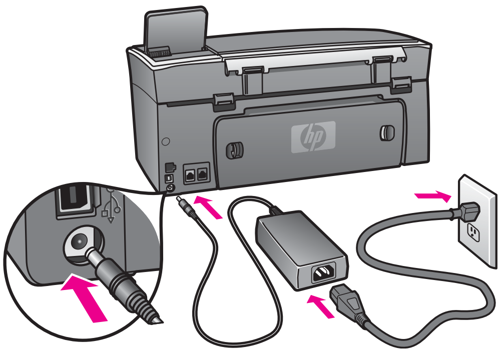
ハードウェアのセットアップ時のトラブルシューティング

ここに記載されている情報は、HP all-in-one ハードウェアのセットアップ時に発生した問題を解決する際に使用してください。

HP all-in-one の電源がオンにならない

解決方法

各電源コードがしっかりと接続されていることを確認した後、HP all-in-one の電源がオンになるまで数秒待ちます。はじめて HP all-in-one の電源をオンにする場合には、電源がオンになるまでに 1 分かかることがあります。また、HP all-in-one がテーブルタップに接続されている場合は、テーブルタップの電源がオンになっていることも確認してください。



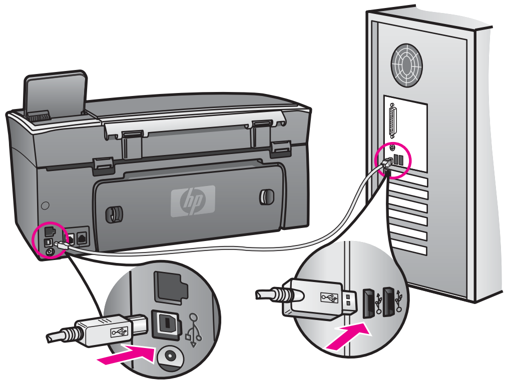
コンピュータとの接続にUSB ケーブルを使用したが、HP all-in-one をうまく使用できない

解決方法

USB ケーブルを接続する前に、HP all-in-one に付属するソフトウェアをインストールする必要があります。USB ケーブルは、インストール時に画面で指示があるまで接続しないでください。画面で指示される前に USB ケーブルを接続すると、エラーの原因になります。

トラブルシューティング

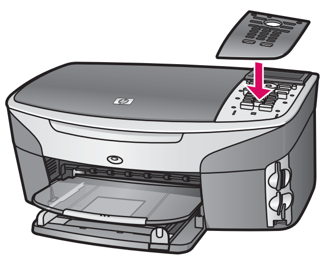
ソフトウェアのインストールが完了したら、USB ケーブルを使用してコンピュータを HP all-in-one に接続するのは、簡単です。USB ケーブルの一方の端をコンピュータの後部に接続し、他方の端を HP all-in-one の後部に接続します。コンピュータの後部にある任意の USB ポートに接続できます。

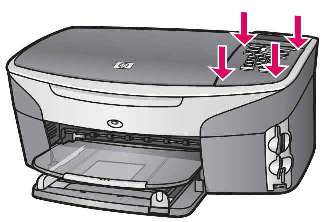


コントロール パネル オーバーレイの取り付け時に、カラー グラフィック ディスプレイにメッセージが表示される

解決方法

コントロール パネル オーバーレイが取り付けられていないか、その取り付け方が正しくない可能性があります。HP all-in-one 上の一連のボタンにオーバーレイを合わせ、パチンと音がするまで押し込みます。





カラー グラフィック ディスプレイに表示される言語が正しくない

解決方法

言語および国/地域は通常、HP all-in-one を初めてセットアップする際に設定します。ただし、以下の手順に従うと、それらの設定値をいつでも変更できます。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**7**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「プリファレンス」 が選択され、次に 「言語と国/地域の設定」 を選択します。
言語の一覧が表示されます。▲ および ▼ 矢印を押すと、言語の一覧をスクロールできます。
3 目的の言語が選択されたら、「**OK**」 を押します。
4 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 「**1**」、[いいえ] の場合は 「**2**」 を押します。
選択された言語に対応する国/地域が表示されます。▲ または ▼ を押して、一覧をスクロールします。
5 目的の言語が選択されたら、「**OK**」 を押します。
6 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 「**1**」、[いいえ] の場合は 「**2**」 を押します。

カラー グラフィック ディスプレイのメニューに表示される単位が正しくない

解決方法

HP all-in-one のセットアップ時に、国/地域の設定を正しく選択しなかった可能性があります。選択する国/地域の設定に応じて、カラー グラフィック ディスプレイに表示される用紙サイズが決定されます。

国/地域を変更するには、もう一度デフォルトの言語を設定する必要があります。言語および国/地域は通常、HP all-in-one を初めてセットアップする際に設定します。ただし、以下の手順に従うと、それらの設定値をいつでも変更できます。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**7**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「プリファレンス」 が選択されるので、次に 「言語と国/地域の設定」 を選択します。
言語の一覧が表示されます。▲ および ▼ 矢印を押すと、言語の一覧をスクロールできます。
3 目的の言語が選択されたら、「**OK**」 を押します。
4 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 「**1**」、[いいえ] の場合は 「**2**」 を押します。
選択された言語に対応する国/地域が表示されます。▲ または ▼ を押して、一覧をスクロールします。
5 目的の言語が選択されたら、「**OK**」 を押します。
6 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 「**1**」、[いいえ] の場合は 「**2**」 を押します。

プリント カートリッジの位置を調整するよう示すメッセージがカラー グラフィック ディスプレイに表示される

解決方法

HP all-in-one では、新しいプリント カートリッジを取り付けるたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。詳細については、プリント カートリッジの調整を参照してください。

注記　プリント カートリッジを取り外した後、もう一度同じカートリッジを HP all-in-one に取り付けた場合には、プリント カートリッジの調整のメッセージは表示されません。プリント カートリッジを再調整する必要がないように、いったん取り付けられたプリント カートリッジの調整値は、HP all-in-one に記憶されます。

プリント カートリッジの位置調整に失敗したことを示すメッセージがカラー グラフィック ディスプレイに表示される

原因

給紙トレイに間違った種類の用紙がセットされています。

解決方法

プリント カートリッジの調整を行うときに給紙トレイに色付き用紙をセットしていると、調整に失敗します。A4 またはレターの白い普通紙を給紙トレイにセットして、カートリッジを再調整してください。

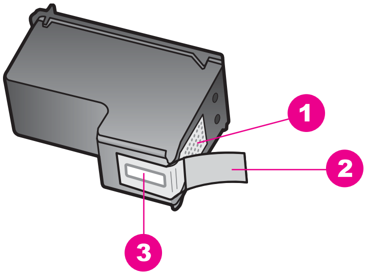
もう一度調整に失敗した場合、センサーまたはプリント カートリッジに問題がある可能性があります。HP サポートにお問い合わせください。お問い合わせ先については、HP カスタマ サポートへの問い合わせ を参照してください。

原因

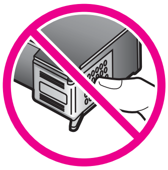
保護テープがプリント カートリッジをふさいでいます。

解決方法

各プリント カートリッジを確認してください。テープがインク ノズルをふさいでいる場合、ピンクのつまみを持ってテープを慎重に取り除いてください。銅色の接触部やインク ノズルには触れないでください。



1	銅色の接触部
2	ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル





もう一度プリント カートリッジを挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。

原因

プリント カートリッジの接触部がプリント キャリッジの接触部に接触していません。

解決方法

プリント カートリッジを取り出して、もう一度挿入してください。プリント カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。

原因

プリント カートリッジまたはセンサーに問題があります。

解決方法

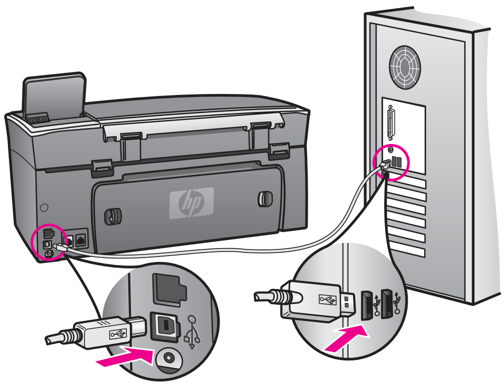
HP サポートにお問い合わせください。お問い合わせ先については、HP カスタマ サポートへの問い合わせ を参照してください。

HP all-in-one が印刷しない

解決方法

HP all-in-one とコンピュータが互いに通信できない場合は、次のことを行ってください。

- USB ケーブルを確認します。古いケーブルを使用している場合は、正しく動作しないことがあります。別の製品に接続し、USB ケーブルが機能するかどうかを確認してください。問題が発生したら、USB ケーブルを交換する必要があります。また、USB ケーブルの長さが 3 メートル 以下であることを確認してください。
- コンピュータで USB が使用可能であることを確認します。Windows 95 や Windows NT など、一部のオペレーティング システムは USB 接続をサポートしていません。詳細については、お使いのオペレーティング システムに付属するマニュアルを参照してください。
- HP all-in-one からコンピュータまでの接続状態を確認します。USB ケーブルが HP all-in-one の後部の USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また USB ケーブルのもう一方の端がコンピュータの USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。USB ケーブルを正しく接続した後、HP all-in-one の電源を入れ直してください。



- 他のプリンタやスキャナを確認します。コンピュータから古い製品の接続を外す必要がある場合があります。
- ご使用の HP all-in-one がネットワーク接続されている場合、HP all-in-one に付属の『ネットワーク ガイド』を参照してください。
- 接続を確認したら、コンピュータを再起動してください。HP all-in-one の電源を切って、入れ直します。
- 必要ならば、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアをアンインストールしてから、もう一度インストールします。詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

HP all-in-one のセットアップとコンピュータへの接続方法については、HP all-in-one に付属のセットアップ ガイドを参照してください。

トラブルシューティング

紙詰まりまたはキャリッジのブロックに関するメッセージがカラー グラフィック ディスプレイに表示される

解決方法

紙詰まりやキャリッジのブロックに関するエラー メッセージがカラー グラフィック ディスプレイに表示される場合は、HP all-in-one の内部に梱包材が残っている可能性があります。プリント キャリッジのアクセス ドアを開けて、キャリッジの動作を妨げている梱包材 (テープまたは段ボールなど) などの異物を取り除きます。

ソフトウェアのインストール時のトラブルシューティング

ソフトウェアのインストール時に問題が検出された場合は、以下のトピックを参照して問題を解決してください。ハードウェアのセットアップ時に問題が検出された場合は、ハードウェアのセットアップ時のトラブルシューティングを参照してください。

HP all-in-one ソフトウェアの通常のインストール時は、以下の処理が実行されます。

1 HP all-in-one の CD-ROM が自動的に実行される。
2 ソフトウェアがインストールされる。
3 一連のファイルがハード ドライブにコピーされる。
4 HP all-in-one をコンピュータに接続するように要求される。
5 緑色の [OK] とチェック マークがインストール ウィザード画面に表示される。
6 コンピュータを再起動するよう要求される (XP では再起動しない場合もあります)。
7 ファクス セットアップ ウィザードが実行される。
8 登録プロセスが実行される。

これらのいずれかの処理が実行されない場合は、インストールに問題がある可能性があります。コンピュータに対するインストールをチェックするには、以下の事柄を確認します。

- 「**HP ディレクタ**」 を起動し、次のアイコンが表示されることを確認します。「**画像のスキャン**」、「**ドキュメント スキャン**」、「**ファクス送信**」、および 「**HP ギャラリ**」。「**HP ディレクタ**」 の起動については、 ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。アイコンがすぐに表示されない場合は、お使いのコンピュータに HP all-in-one が接続されるまで数分待たなければならないこともあります。または、HP ディレクタ のアイコンのいくつかが表示されない を参照してください。

トラブルシューティング

注記　ソフトウェアの最小インストール (標準インストールではなく) を実行した場合、「**HP Image Zone**」 および 「**コピー**」 はインストールされないため、「**HP ディレクタ**」 から使用することはできません。

- [プリンタ] ダイアログ ボックスを開き、HP all-in-one がリスト表示されることを確認します。
- Windows タスクバーの右端のシステム トレイに HP all-in-one のアイコンがあるか確認します。表示されていれば、HP all-in-one が待機中であることを示しています。

コンピュータの CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入したが、何も実行されない

解決方法

次の手順に従ってください。

1. Windows の 「**スタート**」 メニューから 「**ファイル名を指定して実行**」 をクリックします。
2. 「**ファイル名を指定して実行**」 ダイアログ ボックスで、「**d:\setup.exe**」 と入力 (CD-ROM ドライブにドライブ文字 d が割り当てられていない場合は、該当するドライブ文字を入力してください) し、「**OK**」 をクリックします。

最小システム チェック画面が表示される

解決方法

お使いのシステムが、ソフトウェアのインストールに必要な最小の要件を満たしていません。「**詳細**」 をクリックして、具体的な問題を確認し、ソフトウェアのインストールを試みる前に問題を解決します。

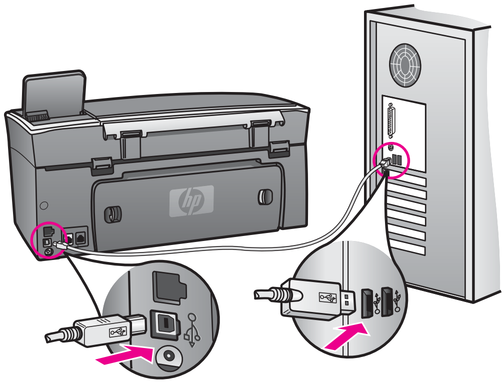
赤の X が USB 接続プロンプトに表示される

解決方法

通常は、プラグ アンド プレイが成功したことを示す緑のチェック記号が表示されます。赤の X は、プラグ アンド プレイ が失敗したことを示します。

次の手順に従ってください。

1. コントロール パネル オーバーレイがしっかりと取り付けられていることを確認し、HP all-in-one の電源コードをいったん抜き、もう一度差し込みます。
2. USB ケーブルおよび電源ケーブルが接続されていることを確認します。



3　「**再試行**」 をクリックして、プラグ　アンド プレイ セットアップをもう一度試みます。これでも正常に機能しない場合、次の手順に進みます。

4　USB ケーブルが正しくセットアップされていることを以下のようにして確認します。
   – USB ケーブルを、いったん抜き、再度差し込みます。
   – USB ケーブルを、キーボードや給電されないハブに接続してはいけません。
   – USB ケーブルは、3 m 以下の長さとしてください。
   – お使いのコンピュータに USB デバイスが複数個接続されている場合は、インストール中、ほかのデバイスの接続を解除した方がよい場合もあります。

5　インストール作業を継続し、指示されたらコンピュータを再起動します。「**HP ディレクタ**」 を起動し、必須のアイコン (「**画像のスキャン**」、「**ドキュメント スキャン**」、「**ファクス送信**」、および「**HP ギャラリ**」) が表示されることを確認します。

6　必須のアイコンが表示されない場合は、本ソフトウェアをいったん削除した後、再インストールしてください。詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

不明なエラーが発生したことを示すメッセージが出力される

解決方法

インストールを引き続き実行してください。エラーが解消されない場合、インストール作業をいったん中止し、もう一度やり直して、画面の指示に従ってください。エラーが発生した場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。HP all-in-one のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP all-in-one プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使用して、該当するファイルを正しく削除してください。

詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

「HP ディレクタ」 のアイコンのいくつかが表示されない

必須アイコン (「**画像のスキャン**」、「**ドキュメント スキャン**」、「**ファクス送信**」、および 「**HP ギャラリ**」) が表示されない場合、インストールが完了していない可能性があります。

解決方法

インストールが未完の場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。HP all-in-one のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP all-in-one プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使用して、該当するファイルを正しく削除してください。詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

ファクス ウィザードが起動しない

解決方法

次の手順に従って、ファクス ウィザードを起動してください。

1 「**HP ディレクタ**」 を起動します。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。
2 「**設定**」 メニューをクリックし、「**ファクスの設定とセットアップ**」 を選択して、次に 「**ファクス セットアップ ウィザード**」 をクリックします。

登録画面が表示されない

解決方法

→ Windows の場合、Windows のタスクバーから [スタート] をクリックし、「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」 (XP)、「**HP**」、「**HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one**」 の順でポイントして、「**今すぐサインアップする**」 をクリックすると、登録画面を表示することができます。

システム トレイに 「デジタル イメージング モニタ」 が表示されない

解決方法

システム トレイにデジタル イメージング モニタが表示されない場合は、「**HP ディレクタ**」 を起動して、必須アイコンがそこに表示されるかどうかを確認します。「**HP ディレクタ**」 の起動については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

「**HP ディレクタ**」 で表示されない必須アイコンの詳細については、HP ディレクタ のアイコンのいくつかが表示されないを参照してください。

通常、システム トレイはデスクトップの右下隅に表示されます。



ソフトウェアのアンインストールと再インストール

インストールが完了していない場合、またはソフトウェア インストール画面で指示される前に USB ケーブルをコンピュータに接続した場合、ソフトウェアをいったんアンインストールしてから、再インストールする必要があります。HP all-in-one のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP all-in-one プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使用して、該当するファイルを正しく削除してください。

Windows、Macintosh に関係なく、再インストールには 20 分～ 40 分かかることがあります。Windows コンピュータからソフトウェアをアンインストールするには、次の 3 つの方法があります。

Windows コンピュータからアンインストールするには (方法 1)

1 お使いのコンピュータから HP all-in-one の接続を解除します。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。
2 「**On**」 ボタンを押して、HP all-in-oneの電源をオフにします。
3 Windows のタスクバーから 「**スタート**」 をクリックし、「**プラグラム**」 または 「**すべてのプログラム**」 (XP)、「**HP**」、「**HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one**」 の順にポイントし、「**ソフトウェアのアンインストール**」 をクリックします。
4 画面上の指示に従って操作します。
5 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、「**いいえ**」 をクリックします。
共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。
6 コンピュータを再起動します。

注記 コンピュータを再起動する前に HP all-in-one の接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。

7 ソフトウェアを再インストールするには、HP all-in-one CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入し、画面の指示と HP all-in-one に付属の『セットアップ ガイド』に記載されている指示に従います。

ソフトウェアのインストールが完了すると、Windows のシステム トレイに [ステータス モニタ] アイコンが表示されます。

ソフトウェアが正しくインストールされていることを確認するには、デスクトップ上にある **「HP ディレクタ」** のアイコンをダブルクリックしてください。**「HP ディレクタ」** に主要なアイコン (**「画像のスキャン」**、**「ドキュメント スキャン」**、**「ファクス送信」**、および **「HP ギャラリ」**) が表示されている場合、ソフトウェアは正しくインストールされています。

Windows コンピュータからアンインストールするには (方法 2)

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューから **「ソフトウェアのアンインストール」** を利用できない場合に使用します。

1. Windows のタスクバーから、**「スタート」**、**「設定」**、**「コントロールパネル」** の順にクリックします。
2. **「アプリケーションの追加と削除」**をダブルクリックします。
3. **「HP all-in-one & OfficeJet 4.0」** を選択し、次に **「変更と削除」** をクリックします。
   画面上の指示に従って操作します。
4. お使いのコンピュータから HP all-in-one の接続を解除します。
5. コンピュータを再起動します。

   注記　コンピュータを再起動する前に HP all-in-one の接続を解除することが重要です。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。

6. セットアップを開始します。
7. 画面の指示と HP all-in-one に付属の『セットアップ ガイド』に記載されている指示に従います。

Windows コンピュータからアンインストールするには (方法 3)

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューから **「ソフトウェアのアンインストール」** を利用できない場合のもう 1 つの方法です。

1. CD を入れて HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one ソフトウェア セットアップ プログラムを起動します。
2. **「アンインストール」** を選択して、画面上の指示に従って操作します。
3. お使いのコンピュータから HP all-in-one の接続を解除します。
4. コンピュータを再起動します。

   注記　コンピュータを再起動する前に HP all-in-one の接続を解除することが重要です。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。

5. HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one ソフトウェアのセットアップ プログラムをもう一度実行します。
6. **「インストール」** を開始します。

7　画面の指示と HP all-in-one に付属の『セットアップ ガイド』に記載されている指示に従います。

Macintosh コンピュータからアンインストールするには

1　Macintosh から HP all-in-one の接続を解除します。
2　「**アプリケーション:**」 「**HP All-in-One Software**」 フォルダをダブルクリックします。
3　「**HP アンインストーラ**」 をダブルクリックします。
画面上の指示に従って操作します。
4　ソフトウェアのアンインストールが終了したら、HP all-in-one を切断し、コンピュータを再起動します。

注記　コンピュータを再起動する前に HP all-in-one の接続を解除することが重要です。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。

5　ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブに HP all-in-one の CD-ROM を挿入します。
6　デスクトップで、CD-ROM を開き、「**HP all-in-one installer**」 をダブルクリックします。
7　画面の指示と HP all-in-one に付属の『セットアップ ガイド』に記載されている指示に従います。

ファクスのセットアップに関するトラブルシューティング

ここでは、HP all-in-one のファクスのセットアップに関するトラブルシューティングについて説明します。HP all-in-one のファクス機能が正しくセットアップされていないと、ファクスの送信、受信、または送受信の両方で問題が発生することがあります。

ヒント　ここでは、セットアップ関連のトラブルシューティングについて説明します。受信したファクスの印刷に関する問題や受信速度の低下など、その他のファクスのトラブルシューティング項目については、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属のオンスクリーン [トラブルシューティング ヘルプ] を参照してください。

ファクスに関する問題が発生している場合、ファクス テスト レポートを印刷すると、HP all-in-one の状態を確認できます。HP all-in-one のファクス機能が正しくセットアップされていない場合、テストは失敗します。このテストは、HP all-in-one のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。

ファクス設定をテストするには

1　「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2　「**6**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「ツール」 メニューが表示され、「ファクス テストを実行」 が選択されます。

トラブルシューティング

HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。

3 レポートを確認します。
   – テストに合格しても、ファクスに問題がある場合は、レポートに記載されているファクス設定が正しいかどうかを確認します。空白または不適切なファクス設定がファクス使用時の問題の原因となることがあります。
   – テストに失敗した場合、レポートを参照し、問題が見つかった場合は、その解決方法を確認してください。詳細については、ファクス テストに失敗を参照してください。

4 「**OK**」 を押して、「セットアップ メニュー」 に戻ります。

これでもファクスの問題が解消されない場合、次の章に進んで、トラブルシューティングを続けてください。

ファクス テストに失敗

ファクス テストを実行し、テストに失敗した場合、レポートを見て、エラーに関する基本情報を確認します。詳細については、レポートを確認して、どの部分のテストが失敗したのか判定し、この章の該当する項目を参照してください。

- ファクス ハードウェア テストに失敗
- 壁側のモジュラー ジャックとファクスとの接続テストに失敗
- ファクスの正しいポートへの電話コードの接続テストに失敗
- ファクス回線状態テストに失敗
- ダイヤル トーン検出テストに失敗

ファクス ハードウェア テストに失敗

解決方法

- コントロール パネルの 「**On**」 ボタンを使用して、HP all-in-one をオフにし、次に HP all-in-one の後部から電源コードを抜きます。数秒後、電源コードを再接続し、電源をオンにします。テストをもう一度実行します。再びテストに失敗した場合、この章のトラブルシューティングを詳しく確認してください。
- テスト ファクスの送信または受信を試みます。ファクスを正しく送信または受信できる場合、問題がない可能性があります。
- Windows コンピュータを使用し、「**ファクス セットアップ ウィザード**」 からテストを実行する場合、HP all-in-one が、ファクスの受信またはコピーの作成など、他のタスクを実行中でないことを確認してください。カラー グラフィック ディスプレイを見て、HP all-in-one がビジー状態であることを示すメッセージが表示されていないか確認してください。ビジー状態の場合、実行中のタスクが終了して、アイドル状態になるまで待ってから、テストを実行します。

問題が発見された場合、問題を解決した後、ファクス テストをもう一度実行して、テストにパスすること、および HP all-in-one ファクス機能が使用可能であることを確認します。「ファクス ハードウェア テスト」

トラブルシューティング

にパスできず、ファクスの問題が発生し続ける場合、HP にお問い合わせください。HP への問い合わせ方法については、HP サポートの利用を参照してください。

壁側のモジュラー ジャックとファクスとの接続テストに失敗

解決方法

- 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one との接続を点検して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 必ず、HP all-in-one に付属の電話コードを使用してください。壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスを送受信できないことがあります。HP all-in-one に付属の電話コードを接続した後、ファクス テストをもう一度実行してください。
- HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに正しく接続していることを確認してください。HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。HP all-in-one のファクス機能のセットアップ方法については、ファクスのセットアップを参照してください。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になることがあります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP all-in-one に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、ダイヤル トーンの有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の点検を依頼してください。
- テスト ファクスの送信または受信を試みます。ファクスを正しく送信または受信できる場合、問題はない可能性があります。

問題が発見された場合、問題を解決した後、ファクス テストをもう一度実行して、テストにパスすること、および HP all-in-one ファクス機能が使用可能であることを確認します。

ファクスの正しいポートへの電話コードの接続テストに失敗

解決方法

電話コードが、HP all-in-one の後部の間違ったポートに接続されています。

1 HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注記　壁側のモジュラー ジャックとの接続に "2-EXT" ポートを使用すると、ファクスの送受信ができません。"2-EXT" ポートは、留守番電話または電話機など、その他の機器と接続する場合にのみ使用します。

2 電話コードを "1-LINE" ポートに接続した後、ファクス テストをもう一度実行し、テストにパスすること、および HP all-in-one のファクス機能が使用可能であることを確認してください。
3 テスト ファクスの送信または受信を試みます。

ファクス回線状態テストに失敗

解決方法

- HP all-in-one をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。接続していないと、ファクスの送受信ができません。電話回線がデジタルかどうかをチェックするには、通常のアナログ電話を回線に接続し、ダイヤル音を聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。HP all-in-one をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
- 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one との接続を点検して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに正しく接続していることを確認してください。HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。HP all-in-one のファクス機能のセットアップ方法については、ファクスのセットアップを参照してください。
- HP all-in-one と同じ電話回線を使用している他の機器が、テスト失敗の原因である可能性があります。その他の機器が問題の原因かどうかを調べるには、 電話回線からすべての機器の接続を外して、テストをもう一度実行してください。
  – 他の機器を接続しない状態で 「ファクス回線状態テスト」 にパスした場合、接続されていない機器のいずれかに原因があります。問題の原因となっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ接続し、そのたびにテストを実行してください。
  – その他の機器を接続していない状態でも 「ファクス回線状態テスト」 に失敗する場合、HP all-in-one を正常に機能している電話回線に接続して、この章のトラブルシューティング情報をさらに確認してください。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になることがあります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。

問題が発見された場合、問題を解決した後、ファクス テストをもう一度実行して、テストにパスすること、および HP all-in-one ファクス機能が使用可能であることを確認します。「**ファクス回線状態テスト**」 にパスできず、ファクスの問題が発生し続ける場合、電話会社に連絡して、電話回線の点検を依頼してください。

ダイヤル トーン検出テストに失敗

解決方法

- HP all-in-one と同じ電話回線を使用している他の機器が、テスト失敗の原因である可能性があります。その他の機器が問題の原因かどうかを調べるには、 電話回線からすべての機器の接続を外して、テストをもう一度実行してください。他の機器を接続しない状態で「**ダイヤル トーン検出テスト**」 にパスした場合、接続されていない機器のいずれかに原因があります。問題の原因となっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ接続し、そのたびにテストを実行してください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP all-in-one に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、ダイヤル トーンの有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の点検を依頼してください。
- HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに正しく接続していることを確認してください。HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。HP all-in-one のファクス機能のセットアップ方法については、ファクスのセットアップを参照してください。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になることがあります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。
- ご使用の電話システムが標準のダイヤル トーンを使用していない場合 (PBX システムなどを使用)、テストに失敗する原因になることがあります。この場合、ファクスの送受信に関する問題はありません。テスト ファクスを送信または受信して確認してください。
- 国/地域の設定がお住まいの国/地域に設定されていることを確認してください。国/地域の設定が設定されていない、または正しく設定されていない場合、テストに失敗し、ファクスをうまく送受信できないことがあります。国/地域の設定を確認するには、「**セットアップ**」 ボタンを押して、次に 「**7**」 を押します。言語と国/地域の設定が、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。国/地域の設

定が正しくない場合、「**OK**」ボタンを押し、カラー グラフィック ディスプレイに表示される指示に従って、設定を変更します。

- HP all-in-one をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。接続していないと、ファクスの送受信ができません。電話回線がデジタルかどうかをチェックするには、通常のアナログ電話を回線に接続し、ダイヤル音を聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。HP all-in-one をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。

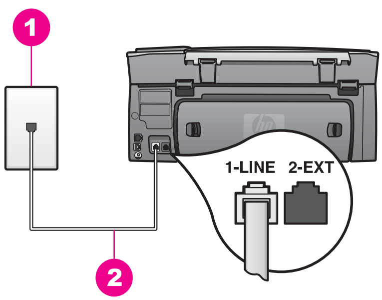
問題が発見された場合、問題を解決した後、ファクス テストをもう一度実行して、テストにパスすること、および HP all-in-one ファクス機能が使用可能であることを確認します。「ダイヤル トーン検出」テストに失敗し続ける場合、電話会社に連絡して、電話回線の点検を依頼してください。

HP all-in-one でファクスの送受信がうまくできない

解決方法

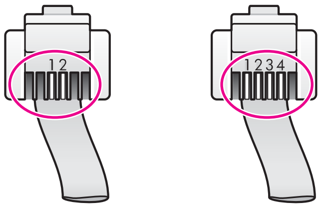
注記　この解決策が適用するのは、2 線式電話コードが HP all-in-one に同梱されている次のような国/地域のみです。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテンアメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

- HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。下図のように、専用 2 線式電話コードの一方の端を HP all-in-one の後部にある「1-LINE」と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。



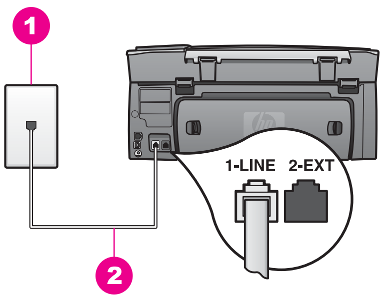
1	壁側のモジュラージャック
2	HP all-in-one に同梱されている電話コード

この専用 2 線式電話コードは、自宅またはオフィスで一般的に使用されている 4 線式電話コードとは異なります。コードの端を確認して、下図に示されている 2 種類のコードと比較してください。



4 線式電話コードを使用している場合は、それを取り外し、付属の 2 線式電話コードを HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。2 線式電話コードの接続と HP all-in-one のファクス機能のセットアップについては、ファクスのセットアップを参照してください。
付属の電話コードの長さが足りない場合、延長することができます。詳細については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

- HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。下図のように、電話コードの一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。



付属の電話コードの長さが足りない場合、延長することができます。詳細については、HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りないを参照してください。

- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP all-in-one に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、ダイヤル トーンの有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の点検を依頼してください。
- HP all-in-one と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。内線電話の受話器が外れている場合や、PC モデムを経由し

て電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP all-in-one のファクス機能は使用できません。

- 電話回線の接続ノイズが発生していることがあります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取り、電話回線の音質を確認してください。ノイズが聞こえる場合、「エラー補正モード」(ECM) をオフにして、ファクスの送信または受信をもう一度試してください。詳細については、エラー補正モードの使用を参照してください。問題が解決しない場合、電話会社に連絡してください。
- DSL サービスの使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。接続されていないと、ファクスを使用することができません。DSL フィルタは、デジタル信号を除去して、HP all-in-one が電話回線と正しく交信できるようにします。DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。DSL フィルタを設置済みの場合、正しく接続されていることを確認してください。詳細については、方法 B：DSL 使用時の HP all-in-one のセットアップを参照してください。
- HP all-in-one が、デジタル電話用に設定された壁側のモジュラー ジャックに接続されていないことを確認してください。電話回線がデジタルかどうかをチェックするには、通常のアナログ電話を回線に接続し、ダイヤル音を聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。
- 構内電話交換システム (PBX) または統合サービス デジタル通信網 (ISDN) コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、HP all-in-one がファクスおよび電話用のポートに接続されていることを確認してください。また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。
  ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機に応じてポートを設定できるものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ファクス/電話ポートに接続しているときに問題が発生し続ける場合は、多目的用のポート (「多用途」と書かれている場合があります) を使用してください。HP all-in-one を PBX 電話システムまたは ISDN 回線用にセットアップする方法については、ファクスのセットアップを参照してください。
- HP all-in-one は、DSL サービスと同じ電話回線を使用しており、DSL モデムが正しく接地されていない可能性があります。DSL モデムが正しく接地されていない場合、電話回線にノイズが発生することがあります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。ノイズが聞こえる場合、DSL

モデムの電源をオフにして、最低 15 分は完全に電源コードを抜きます。DSL モデムをオンにして、ダイヤル トーンをもう一度聞きます。

注記　今後、電話回線で静的ノイズが聞こえる場合があります。HP all-in-one でファクスの送受信が中止された場合は、この手順を繰り返します。

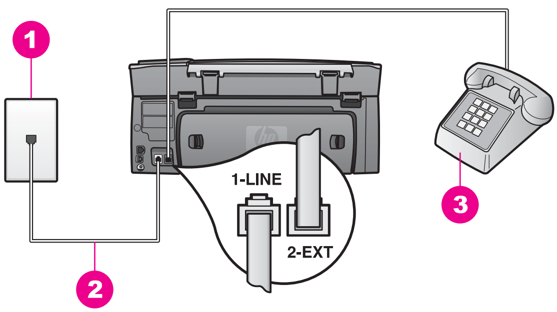
電話回線でまだノイズが聞こえる場合、または DSL モデムの電源をオフにする方法については、DSL プロバイダにお問い合わせください。または電話会社にお問い合わせください。

- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になることがあります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。

HP all-in-one で手動によるファクスの送信がうまくできない

解決方法

- ファクスを送信するときに使用する電話機が HP all-in-one に直接接続されていることを確認してください。ファクスを手動で送信するには、下図のように、HP all-in-one の後部にある "2-EXT" ポートに電話機のコードを直接接続してください。ファクスの手動送信については、電話からのファクスの手動送信を参照してください。



1	壁側のモジュラージャック
2	HP all-in-one に同梱されている電話コード
3	電話機

- HP all-in-one に直接接続されている電話機から手動でファクスを送信する場合、電話機のキーパッドを使用する必要があります。HP all-in-one のコントロール パネルにあるキーパッドは使用できません。

HP all-in-one でファクスの受信ができない

トラブルシューティング

解決方法

- 着信識別サービスを使用していない場合は、HP all-in-one の 「応答呼出し音のパターン」 機能が 「すべての呼び出し」 が設定されていることを確認してください。詳細については、応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)を参照してください。
- 「自動応答」 が 「オフ」 に設定されている場合、ファクスを手動で受信する必要があります。手動で操作しないと、HP all-in-one はファクスを受信しません。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。
- ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを手動で受信する必要があります。つまり、ユーザー自身がその場にいて、ファクスの受信操作を行わなければなりません。ボイス メール サービスを利用しているときの HP all-in-one のセットアップ方法については、ファクスのセットアップを参照してください。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。
- HP all-in-one と同じ電話回線で PC モデムを使用している場合は、PC モデムのソフトウェアがファクスを自動受信するような設定になっていないことを確認してください。モデムのファクス自動受信機能がオンになっていると、送信されたファクスをモデムが受信します。そのため、HP all-in-one は、ファクスを受信することができません。
- HP all-in-one と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、次のいずれかの問題が発生している可能性があります。
  - 留守番電話が HP all-in-one に対して適切にセットアップされていません。
  - 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために HP all-in-one がファクス トーンを検出できず、送信元のファクス機が切断されます。
  - 留守番電話が、相手からのメッセージがない (ファクスの場合など) ことを検出した場合に、再生メッセージの後、電話を早く切りすぎることがあります。この場合、HP all-in-one はファクス トーンを検出できません。この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

  次の処理を行うと、この問題を解決できることがあります。
  - ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ファクスのセットアップに記載されているように、留守番電話を HP all-in-one に直接接続してください。
  - HP all-in-one がファクスを自動受信するように設定されていることを確認してください。ファクスを自動受信するように HP all-in-one を設定する方法については、ファクスを受信するように HP all-in-one を設定するを参照してください。
  - 「応答呼び出し回数」 設定が正しいことを確認してください。留守番電話の呼び出し回数を 4 回に設定し、HP all-in-one の呼び

トラブルシューティング

出し回数をプリンタでサポートされている最大の呼び出し回数に設定してください(最大呼び出し回数は、国/地域に応じて異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP all-in-one が電話回線を監視します。HP all-in-one がファクス トーンを検出した場合、HP all-in-one はファクスを受信します。着信が電話の場合は、留守番電話が着信メッセージを録音します。応答するまでの呼出し回数の設定は、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。

– 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信します。留守番電話の接続を外した状態でファクスを受信できる場合は、留守番電話が問題の原因である可能性があります。
– 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。メッセージはできるだけ短くし (10 秒以下)、録音時はゆっくりとお話ください。発信メッセージの最後に、4、5 秒間の無音部分 (ノイズなし) を入れてください。もう一度ファクスの受信を試みてください。

注記　デジタル式の留守番電話機の中には、発信メッセージの最後に無音部分が録音されない機種があります。発信メッセージを再生して、確認してください。

- HP all-in-one が、留守番電話や PC モデム、マルチポート スイッチボックスなど、その他の種類の電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが減衰することがあります。信号レベルの減衰により、ファクス受信時に問題が発生することがあります。
  その他の機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、HP all-in-one 以外のすべての機器を電話回線から取り外して、ファクスを受信してください。ファクスの受信に成功した場合は、取り外した機器のいずれかに原因があります。問題の原因となっている機器がわかるまで、機器を 1 つずつ取り付け、ファクスを受信してください。
- ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、HP all-in-one の「**応答呼出し音のパターン**」 機能の設定が一致していることを確認してください。たとえば、電話会社からファクス番号にダブル呼び出し音パターンが割り当てられている場合は、「**応答呼出し音のパターン**」 設定として 「**呼び出し 2 回**」 が選択されていることを確認します。この設定の変更の詳細については、応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)を参照してください。

  注記　短い呼び出し音パターンと長い呼び出し音パターンが交互になっている場合など、HP all-in-one では一部の呼び出し音パターンを認識することができません。このような種類の呼び出し音パターンを使っているときに問題がある場合は、電話会社に、

交互型でない呼び出し音パターンを割り当てを依頼してください。

ファクス トーンが留守番電話に録音されている

解決方法

- ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ファクスのセットアップに記載されているように、留守番電話を HP all-in-one に直接接続してください。留守番電話の接続が推奨される接続方法と異なる場合、ファクス トーンが留守番電話に録音されることがあります。
- HP all-in-one がファクスを自動受信するように設定されていることを確認してください。HP all-in-one がファクスを手動で受信するように設定されている場合、HP all-in-one はファクスの着信に応答しません。受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP all-in-one はファクスを受信せず、留守番電話がファクス トーンを録音するだけになります。ファクスを自動受信するように HP all-in-one を設定する方法については、ファクスを受信するように HP all-in-one を設定するを参照してください。
- 「応答呼び出し回数」 設定が正しいことを確認してください。
  HP all-in-one の応答呼び出し回数を、留守番電話が応答するまでの呼び出し回数よりも多い値に設定する必要があります。留守番電話と HP all-in-one の応答呼び出し回数が同じ回数に設定されていると、電話とファクスの両方が着信に応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。
  留守番電話の呼び出し回数を 4 回に設定し、HP all-in-one の呼び出し回数をプリンタでサポートされている最大の呼び出し回数に設定してください(最大呼び出し回数は、国/地域に応じて異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP all-in-one が電話回線を監視します。HP all-in-one がファクス トーンを検出した場合、HP all-in-one はファクスを受信します。着信が電話の場合は、留守番電話が着信メッセージを録音します。応答呼び出し回数の設定は、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。

HP all-in-one を接続したあと、電話回線上で静的ノイズが聞こえる

解決方法

注記　この解決策が適用するのは、2 線式電話コードが HP all-in-one に同梱されている次のような国/地域のみです。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテンアメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

- HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートと壁側のモジュラー ジャックとの接続に 2 線式電話コード (HP all-in-one に同梱されているコード) を使用していないと、電話回線で静的ノイズが聞こえ、ファクスをうまく使用できないことがあります。この専用 2 線式電話コードは、自宅またはオフィスで一般的に使用されている 4 線式電話コードとは異なります。
- 電話スプリッターを使用している場合、電話回線で静的ノイズが発生することがあります(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。
- HP all-in-one の電源コードを、接地済みの適切な電源コンセントに接続していない場合、電話回線で静的ノイズが聞こえることがあります。別の電源コンセントに接続してください。

HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りない

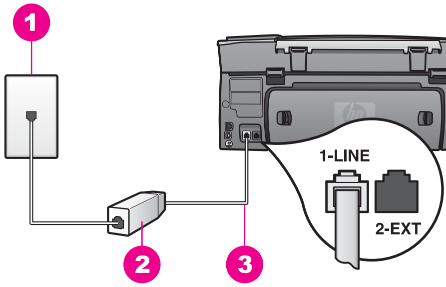
解決方法

HP all-in-one に付属している電話コードの長さが足りない場合、カップラーを使用して、長さを延長することができます。カップラーは電話アクセサリを販売している家電販売店で購入できます。延長する場合には、電話コードがもう 1 本必要です。自宅またはオフィスですでに使用している標準の電話コードを使用できます。

ヒント　HP all-in-one に 2 線式電話コード アダプタが付属している場合、4 線式電話コードをそのアダプタに接続して、コードの長さを延長できます。2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください (日本では付属しておりません)。

電話コードを延長するには

1. HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、一方の端をカップラーに、もう一方の端を HP all-in-one の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。
2. 下図のように、別の電話コードをカップラーの空きポートと壁側のモジュラー ジャックに接続します。



1	壁側のモジュラージャック
2	カップラー
3	HP all-in-one に同梱されている電話コード

インターネット経由でファクスをうまく使用できない

解決方法

次の点について確認してください。

- HP all-in-one が高速 (33600 bps) でファクスを送受信する場合、FoIP サービスは正しく機能しないことがあります。ファクスを送受信する際に問題が発生した場合、ファクス速度を低速に設定してください。ファクス速度を変更するには、「ファクス速度」 設定を「はやい」 (デフォルト) から 「標準」 に変更します。この設定の変更の詳細については、ファクス速度の設定を参照してください。
- 電話コードを HP all-in-one の "1-LINE" ポートに接続している場合にのみファクスを送受信することができます。Ethernet ポートからではファクス機能を使用できません。つまり、インターネットへの接続は、コンバータ ボックス (ファクス接続用に通常のアナログ電話ジャックを搭載する) または電話会社のいずれかを経由して行う必要があります。
- ご利用の電話会社に問い合わせ、インターネット電話サービスでファクスの送受信がサポートされていることも確認してください。ファクスの送受信がサポートされていない場合、インターネット経由でファクスを送受信することはできません。

HP Instant Share のセットアップに関する問題

「**HP Instant Share**」 のセットアップに関するエラー (「**HP Passport**」 アカウントまたは 「**アドレス帳**」 の設定に関するものなど) は、「**HP Instant Share**」 サービスの画面別のヘルプで説明されます。特定の動作に関するトラブルシューティング情報は、HP Instant Share のトラブルシューティングに記載されています。

デバイスのセットアップ方法に起因する HP Instant Share のエラーを解決する場合に、この章を参照してください。

最小インストールによるエラー

トラブルシューティング

解決方法

HP Instant Share を HP all-in-one にセットアップできません。
HP Instant Share 機能がインストールされていないためです。

→ HP Instant Share 機能を有効にするには、製品に付属するインストール CD をコンピュータにセットし、「**標準 (推奨)**」 を選択します。
  – HP Photosmart 2600 series all-in-one のインストール CD は、www.hp.com/jp/hho で購入することができます。
  – HP Photosmart 2700 series all-in-one のインストール CD は、www.hp.com/jp/hho で購入することができます。

注記　お使いのシステムが 「**標準**」 のソフトウェア インストールのシステム要件を満たしていない場合、HP Instant Share のインストールおよび使用はできません。

デバイス ソフトウェアをインストールする必要がある

解決方法

HP all-in-one ソフトウェアをインストールしていません。

→ HP all-in-one ソフトウェアをインストールするには、製品に付属するインストール CD をコンピュータにセットし、「**標準 (推奨)**」 を選択します。
  – HP Photosmart 2600 series all-in-one のインストール CD は、www.hp.com/jp/hho で購入することができます。
  – HP Photosmart 2700 series all-in-one のインストール CD は、www.hp.com/jp/hho で購入することができます。

HP Instant Share 未設定

解決方法

「**HP Instant Share**」 ボタンを押しましたが、HP all-in-one に HP Instant Share が登録されていません。

1　「**1**」 を押し、「**はい、写真を簡単に共有するために HP Instant Share を設定します**」 を選択します。
コンピュータのブラウザで HP Instant Share セットアップ ウィザードが開きます。
2　画面上の指示に従って HP Passport のアカウントを取得し、HP Instant Share に対応するように HP all-in-one をセットアップします。

HP Instant Share がセットアップされていない、またはネットワークが利用できない

解決方法

デバイスに HP Instant Share がセットアップされていません。

1　HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。

トラブルシューティング

2 「**1**」 を押し、「**はい、写真を簡単に共有するために HP Instant Share を設定します**」 を選択します。
コンピュータのブラウザで HP Instant Share セットアップ ウィザードが開きます。
3 画面上の指示に従って HP Passport のアカウントを取得し、HP Instant Share に対応するように HP all-in-one をセットアップします。

解決方法

ネットワークが利用できません。

→ 詳細については、HP all-in-one に付属の『ネットワーク ガイド』を参照してください。

デバイス上で送り先が未設定。ヘルプに関してはマニュアルを参照してください。

解決方法

HP Instant Share サービスで送信先が検出されませんでした。送信先が設定されていません。

→ 送信先を作成して、画像を送信する場所を指定します。
たとえば、電子メール アドレス、友人や家族が使用しているネットワーク接続デバイス、オンライン フォト アルバム、またはオンライン写真仕上げサービスなどを送信先として指定できます。このサービスの提供は国/地域に応じて異なります。

送信先を作成するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。
「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**4**」 を押し、「**新しい送信先を追加**」 を選択します。
「**コンピュータの選択**」 メニューが表示され、ご使用のネットワークに接続されているコンピュータの一覧が表示されます。
3 一覧からコンピュータを選択します。

注記 選択したコンピュータは 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアがインストール済みで、HP Instant Share サービスにアクセスできる必要があります。

コンピュータのウィンドウに HP Instant Share サービスの画面が表示されます。
4 HP Passport の「**ユーザー ID**」 と「**パスワード**」を使用して、HP Instant Share にサインインします。
HP Instant Share マネージャが表示されます。

注記　HP Instant Share サービスに HP Passport のユーザー ID とパスワードを記憶するように設定した場合、HP Passport の **「ユーザー ID」** と **「パスワード」** は要求されません。

5　**「共有メニュー」** タブを選択し、オンスクリーンの指示に従って新しい送信先を作成します。
詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。
画像コレクションを友人または親戚のネットワーク接続されたデバイスに送信する場合、**「HP Instant Share 電子メール」** を選択します。**「電子メール アドレス」** の @send.hp.com の前に、送信先のデバイス名を入力します。

注記　デバイスに送信するには、1) 送信者と受信者が両方とも HP Passport のユーザー ID およびパスワードを所有し、2) 画像の送信先であるデバイスがHP Instant Share に登録され、3) **「HP Instant Share 電子メール」** または HP リモート印刷を使用して画像を送信する必要があります。

「HP Instant Share 電子メール」 でデバイスの送信先を設定する前、または HP リモート印刷で使用するプリンタを追加する前に、ネットワーク接続しているデバイスに割り当てた一意の名前を、受信者に確認してください。デバイス名は、HP Instant Share にサインアップして、使用しているデバイスを登録するときに作成されます。詳細については、はじめにを参照してください。

動作に関するトラブルシューティング

「HP Image Zone」 の **「HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one」** のトラブルシューティングに関する章には、HP all-in-one に関連する最も一般的な問題のトラブルシューティングのヒントが記載されています。

Windows コンピュータでトラブルシューティング情報にアクセスするには、**「HP ディレクタ」** で **「ヘルプ」** をクリックして、次に **「トラブルシューティングとサポート」** を選択します。トラブルシューティング情報は、一部のエラー メッセージに表示される [ヘルプ] ボタンを使っても表示できます。

Macintosh OS X v10.1.5 以降でトラブルシューティング情報にアクセスするには、ドックの **「HP Image Zone」** アイコンをクリックして、メニュー バーから **「ヘルプ」** を選択した後、**「ヘルプ」** メニューから **「HP Image Zone ヘルプ」** を選択し、ヘルプ ビューアで **「HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one トラブルシューティング」** を選択します。

インターネットにアクセス可能な場合は、HP Web サイト (www.hp.com/support) からヘルプ情報を入手することができます。この Web サイトには、よく寄せられる質問に対する回答も掲載されています。

用紙のトラブルシューティング

紙詰まりを防止するために、HP all-in-one での使用が推奨されている種類の用紙のみを使用してください。推奨される用紙の一覧については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 または www.hp.com/support を参照してください。

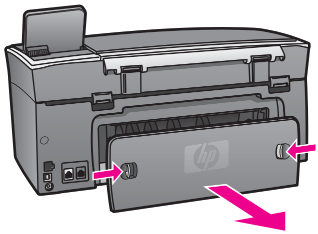
波打ったり、しわが寄ったりしている用紙や端が曲がったり、破れたりしている用紙は、給紙トレイにセットしないでください。詳細については、紙詰まりの防止を参照してください。

本体に紙が詰まった場合、次の手順に従って、紙詰まりを解消してください。

HP all-in-one に紙が詰まった

解決方法

1 下図のように、後部アクセスドアにある両脇のタブを押し込んで、このカバーを取り外します。



注意 HP all-in-one の正面から詰まった紙を取り除くと、本体が損傷する場合があります。必ず、後部アクセスドアを開けて、詰まった紙を後部から取り除いてください。

2 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

警告 ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。HP all-in-one に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3 後部アクセスドアを取り付けます。パチンと音がするまでカバーをゆっくり押し込みます。

4 現在のジョブを続行するには、「**OK**」 を押します。

オプションの両面印刷モジュールに用紙が詰まった

解決方法

両面印刷モジュールを取り外す必要があります。詳細については、両面印刷モジュールに付属するマニュアルを参照してください。

トラブルシューティング

注記　紙詰まりを解消する前に HP all-in-one の電源をオフにした場合は、電源を入れてから印刷ジョブやコピー ジョブを再開してください。

プリント カートリッジのトラブルシューティング

印刷エラーが発生した場合は、プリント カートリッジに問題がある可能性があります。次の手順に従ってください。

1. プリント カートリッジを取り外してからもう一度挿入し、カートリッジが所定の位置に正しく挿入され、ロックされていることを確認してください。
2. 問題が続く場合は、セルフテスト レポートを印刷して、プリント カートリッジに問題がないか確認します。
このレポートには、ステータス情報など、プリント カートリッジに関する情報が印刷されます。
3. セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。
4. 問題が解決しない場合は、プリント カートリッジの銅色の接触部をクリーニングしてください。
5. 印刷に問題がある場合、どのプリント カートリッジに問題があるか確認し、そのプリント カートリッジを交換してください。

この項目の詳細については、HP all-in-one のメンテナンスを参照してください。

HP Instant Share のトラブルシューティング

ここで説明されるエラー メッセージは HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。ここでは、基本的な HP Instant Share のトラブルシューティング項目について説明します。HP Instant Share サービスで表示されるエラー メッセージについては、オンライン ヘルプが使用できます。

一般的なエラー

この章を使用して、次の一般的な HP Instant Share のエラーを解決します。

HP Instant Share のエラー。ヘルプに関してはマニュアルを参照してください。

解決方法

HP all-in-one にエラーが発生しました。

➔ HP all-in-one をシャット ダウンしてから再起動します。

HP all-in-one をシャット ダウンするには

1. コントロール パネルの 「**On**」 ボタンを押して、HP all-in-one の電源をオフにします。
2. 電源コードを HP all-in-one の後部から取り外します。

HP Instant Share のエラー。後で再試行してください。

解決方法

HP Instant Share サービスから、HP all-in-one が認識できないデータが送信されました。

→ 後でタスクをもう一度試みてください。それでもうまくいかない場合は、HP all-in-one をシャット ダウンして、再起動してください。

HP all-in-one をシャット ダウンするには

1 コントロール パネルの 「**On**」 ボタンを押して、HP all-in-one の電源をオフにします。
2 電源コードを HP all-in-one の後部から取り外します。

接続のエラー

この章を使用して、HP all-in-one が HP Instant Share サービスとの接続に失敗したときに発生する次のエラーを解決します。

ネットワーク未接続。ネットワーク ドキュメントをご覧ください。

解決方法

「**有線ネットワーク**」

ネットワーク ケーブルがゆるんでいるか切断されています。

ネットワーク接続が不完全または不適切な場合は、デバイスの相互通信が妨害され、ネットワークに問題が発生します。

- HP all-in-one からゲートウェイ、ルータ、ハブまでのケーブル接続を確認して、きちんと接続されていることを確認してください。正しく接続されている場合、残りのケーブルを確認してください。またケーブルに損傷など問題がないことを確認してください。
- 次の接続部をすべて確認してください。電源ケーブル、HP all-in-one とハブまたはルータ間のケーブル、ハブまたはルータとコンピュータ間のケーブル、(該当する場合) モデムまたはインターネット接続の前後のケーブル。
- 上記の接続部がすべて正しく接続されている場合、ネットワークの正常に機能している部分に HP all-in-one をケーブルで接続して、ケーブルの不良であることを確認してください。または、不良ケーブルが判明するまで、残りのケーブルを (1 本ずつ) 交換してください。

注記　コンピュータから 「**HP ディレクタ**」 を起動して、「**状態**」 をクリックすることもできます。HP all-in-one の接続の有無を示すダイアログ ボックスがコンピュータに表示されます。

解決方法

「**ワイヤレス ネットワーク**」

何らかの干渉が存在します。

トラブルシューティング

HP all-in-one がアクセス ポイントの範囲外です。

- 物理的障害と他の形式の干渉が限定されていることを確認してください。
  HP all-in-one とアクセス ポイントの間で送信される信号は、コードレス電話、電子レンジ、近隣のワイヤレス ネットワークなど、他のワイヤレス デバイスの干渉により影響を受けます。コンピュータと HP all-in-one との間の物理的な物体も、送信される信号に影響します。干渉が発生している場合、ネットワーク コンポーネントを HP all-in-one の近くに移動してください。他のワイヤレス ネットワークからの干渉を最小限にするには、チャネルを変更してください。
- アクセス ポイントと HP all-in-one の距離を近づけます。アクセス ポイントと HP all-in-one の距離が離れている場合は、距離を近づけてください(802.11b の範囲は、およそ 30.48 メートル (100 フィート) で、干渉がある場合はそれ以下です)。可能な場合、HP all-in-one とアクセス ポイントの間の障害物を取り除いて、無線の障害物を最小限にしてください。

解決方法

HP all-in-one は、過去にネットワークに接続されており、現在は、USB ケーブルでコンピュータに接続されています。HP Instant Share アプリケーションは過去のネットワーク設定を読み取っています。

➔ USB ケーブルで接続して、HP Instant Share を使用する場合、HP all-in-one のネットワーク設定をリセットするか、またはコンピュータの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアから HP Instant Share にアクセスしてください。

注記　ネットワーク設定のリセット方法については、HP all-in-one に付属の『ネットワーク ガイド』を参照してください。

HP Instant Share の接続が確立されていません。

解決方法

ドメイン名サーバー (DNS) に URL のエントリがありませんでした。

➔ DNS 設定を確認し、後からタスクをもう一度試みてください。

DNS IP アドレスを確認するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
  「セットアップ メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**8**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
  「ネットワーク」 が選択され、「ネットワーク設定の表示」 が選択されます。
  「ネットワーク設定」 メニューが表示されます。

3 「**1**」 を押して 「ネットワーク設定ページの印刷」 を選択します。
HP all-in-one でネットワーク構成ページが印刷されます。
4 DNS サーバー情報を見つけて、ネットワークのドメイン名サーバーの IP アドレスが正しいことを確認します。
ご利用のインターネット サービス プロバイダ (ISP) に問い合わせて、DNS アドレスを確認してください。
5 IP アドレスが無効である場合、埋め込み Web サーバー (EWS) にアクセスして、正しい IP アドレスを入力します。

EWS に情報を入力するには

1 ネットワーク構成ページでデバイスの IP アドレスを見つけます。
2 デバイスの IP アドレスをコンピュータのブラウザの 「**アドレス**」 フィールドに入力します。
ブラウザのウィンドウに EWS の「**ホーム**」ページが表示されます。
3 「**ネットワーク**」 タブをクリックします。
4 サイドバー ナビゲーションを使用して、変更する情報を探し、正しい情報を入力します。
詳細については、「**HP Image Zone ヘルプ**」 の 「**HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one**」 に関する章を参照してください。

解決方法

HP Instant Share サービスが応答していません。サービスがメンテナンスのためにダウンしているか、プロキシの設定に誤りがあります。あるいは、ネットワーク ケーブルの 1 つが切断されています。

➔ 次のいずれかを実行してみてください。
- プロキシの設定を確認します (以下の手順を参照)。
- ネットワーク接続を確認します。詳細については、HP all-in-one に付属の『ネットワーク ガイド』を参照してください。
- 後でタスクをもう一度試みてください。

注記 HP all-in-one は、認証を必要とするプロキシをサポートしていません。

プロキシの設定を確認するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
「セットアップ メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**8**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「ネットワーク」 が選択され、「ネットワーク設定の表示」 が選択されます。
「ネットワーク設定」 メニューが表示されます。
3 「**1**」 を押して 「ネットワーク設定ページの印刷」 を選択します。
HP all-in-one でネットワーク構成ページが印刷されます。
4 ネットワーク構成ページでデバイスの IP アドレスを見つけます。

5 デバイスの IP アドレスをコンピュータのブラウザの 「**アドレス**」 フィールドに入力します。
ブラウザのウィンドウに埋め込み Web サーバー (EWS) の「**ホーム**」ページが表示されます。
6 「**ネットワーク**」 タブをクリックします。
7 「**アプリケーション**」 から、「**Instant Share**」 をクリックします。
8 プロキシの設定を確認します。
9 設定が正しくない場合、EWS の該当するフィールドに正しい情報を入力します。
詳細については、HP all-in-one に付属の『ネットワーク ガイド』を参照してください。

HP Instant Share への接続失敗。DNS のアドレスを確認してください。

解決方法

HP all-in-one が HP Instant Share サービスに接続できません。この場合、次のような原因が考えられます。DNS IP アドレスが不明、DNS IP アドレスが未設定、DNS IP アドレスがすべてない。

➔ HP all-in-one が使用する DNS IP アドレスを確認します。
詳細については、DNS IP アドレスを確認するにはを参照してください。

HP Instant Share への接続失敗。DNS サーバーが応答していません。

解決方法

DNS サーバーが応答していないか、ネットワークがダウンしています。あるいは、DNS IP アドレスが無効です。

1 HP all-in-one が使用する DNS IP アドレスを確認します。
詳細については、DNS IP アドレスを確認するにはを参照してください。
2 DNS IP アドレスが無効である場合、もう一度接続を試みてください。

HP Instant Share への接続失敗。プロキシアドレスのチェック要

解決方法

DNS サーバーは、プロキシ URL または IP アドレスを解読できませんでした。

1 HP all-in-one が使用するプロキシ情報を確認します。
詳細については、プロキシの設定を確認するにはを参照してください。
2 プロキシ情報が無効である場合、もう一度接続を試みてください。

HP Instant Share への接続が中断されました

解決方法

HP all-in-one の HP Instant Share サービスへの接続が中断されました。

1 物理的なネットワーク接続を確認し、ネットワークが機能していることを確認してください。
詳細については、HP all-in-one に付属の『ネットワーク ガイド』を参照してください。
2 ネットワーク接続を確認した後、タスクを再試行してください。

画像の送信エラー

この章を使用して、HP all-in-one から選択した送信先に画像を送信するときに問題が発生した場合に生成されたエラーを解決します。

壊れた送信先ファイルが見つかりました。

解決方法

メモリ カード上のファイルの形式に問題があります。

➔ お使いのカメラに付属するユーザー マニュアルを参照してください。

このデバイスは送信先にアクセスする権限がありません。

解決方法

HP Instant Share の送信先に、デバイスの登録ユーザーに属していないものがあります。

➔ カメラと HP all-in-one が同じ HP Passport アカウントに登録されていることを確認してください。

メモリ カード エラー

解決方法

メモリ カードに問題がある可能性があります。

1 HP all-in-one からメモリ カードを取り出し、もう一度セットし直します。
2 それでもうまく機能しない場合は、HP all-in-one をシャット ダウンして、再起動してください。
3 状況が改善されない場合は、メモリ カードを再フォーマットします。
それでも問題が解決しない場合は、メモリ カードを交換してください。

HP Instant Share のストレージ制限を超過しています。ヘルプに関してはマニュアルを参照してください。

解決方法

送信したジョブが失敗しました。HP Instant Share サービスで、割り当てられているディスク容量を超えました。

注記　古いファイルがアカウントから自動的に削除されます。このエラーは、数日か数週で解決します。

HP Instant Share サービスからファイルを削除するには

1. HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。
   「HP Instant Share」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2. 「**3**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
   「Instant Share オプション」 メニューが選択され、「アカウントの管理」 が選択されます。
   コンピュータのウィンドウに HP Instant Share サービスの画面が表示されます。
3. HP Passport の「**ユーザー ID**」 と「**パスワード**」を使用して、HP Instant Share にサインインします。

   注記　HP Instant Share サービスに HP Passport のユーザー ID とパスワードを記憶するように設定した場合、HP Passport の 「**ユーザー ID**」 と 「**パスワード**」 は要求されません。

4. 画面上の指示に従って操作します。
5. HP Instant Share のセットアップ メニューから、「**アカウントの管理**」 を選択します。
6. 画面の指示に従って、アカウントからファイルを削除します。

画像の送受信エラー

この章を使用して、HP Instant Share の送信機能と受信機能の両方に共通するエラーを解決します。

ログインに失敗しました。ヘルプに関するマニュアルをご覧ください。

解決方法

HP all-in-one が HP Instant Share サービスへのログインに失敗しました。

- 後で再試行してください。
- HP Instant Share を使用して、デバイスをもう一度セットアップしてください。

HP Instant Share サービスは停止されました。

解決方法

HP Instant Share サービスへの接続が切断されました。

➔ サービスへの接続が切断されました。質問がある場合、HP カスタマ サポートにお問い合わせください。

HP Instant Share サービスが一時使えません。後で再試行してください。

解決方法

HP Instant Share サービスは現在メンテナンスのためにダウンしています。

➔ 後で接続をもう一度試みてください。

HP Instant Share エラー レポート メッセージ

画像を送信先に送信しているときに問題が発生した場合、HP all-in-one で HP Instant Share のエラー レポートが印刷されます。この章を使用して、エラー レポートに示されるファイルの問題を解決します。

ファイル形式がサポートされていない

解決方法

HP Instant Share サービスに送信されたファイルの 1 つが、サポート対象のファイル形式ではありません。

➔ ファイルを JPEG 形式に変換してから、タスクを再試行してください。

ファイルの破損

解決方法

送信したファイルが破損しています。

➔ ファイルを替えて、もう一度やり直します。たとえば、デジタル写真を撮り直す、または画像を再生成します。

サポートされるファイル サイズを超えている

解決方法

HP Instant Share サービスに送信されたファイルの 1 つが、サーバのファイル サイズの制限を超えています。

➔ 画像を再処理して 5 MB 未満のファイル サイズにしてから、もう一度送信してください。

フォト メモリ カードのトラブルシューティング

次に示すトラブルシューティングのヒントは、Macintosh の iPhoto ユーザーにだけ適用されます。

ネットワーク接続された HP all-in-one にメモリ カードを挿入しても、iPhoto から認識されない

解決方法

iPhoto から認識されるためには、メモリ カードがデスクトップ上に表示される必要がありますが、ネットワーク接続された HP all-in-one にメモリカードをセットしても、デスクトップ上に自動的にマウントされません。iPhoto をそのフォルダから起動したり、エイリアスをダブルクリックして起動しても、セットされているメモリ カードがマウントされていなければ、メモリ カードはアプリケーションから認識できません。その

代わりに、「**HP ディレクタ**」 を起動し、「**その他のアプリケーション**」 から 「**iPhoto**」 を選択してください。この方法で 「**HP ディレクタ**」 から iPhoto を起動すると、メモリ カードはアプリケーションから自動的に認識およびマウントされます。

メモリ カードにビデオ クリップが保存されているが、メモリ カードの内容をインポートした後も iPhoto にクリップが表示されない

解決方法

iPhoto が処理できるのはスチール写真だけです。ビデオ クリップとスチール写真を同時に管理するには、「**HP ディレクタ**」 から 「**画像の転送**」 を使用します。

ファクスのトラブルシューティング

ヒント　受信したファクスの印刷に関する問題や受信速度の低下など、その他のファクスのトラブルシューティング項目については、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属のオンスクリーン [トラブルシューティング ヘルプ] を参照してください。

ファクスを送信すると、メモリがいっぱいであることを示すエラー メッセージが表示される

解決方法

ファクスを送信するときに、カラー グラフィック ディスプレイにメモリがいっぱいであることを示すメッセージが表示される場合、次の操作を試してください。

- 複数ページをファクス送信する場合、各ページを別々に (一度に 1 枚ずつ) 送信します。
- 「薄く/濃く」 設定を現在よりも薄い設定または濃い設定に変更してから、ファクスをもう一度送信します。「薄く/濃く」 設定の変更方法については、濃淡の設定の変更を参照してください。
- 「フォト」 解像度でモノクロ ファクスを送信する場合、「**スタート - モノクロ**」 の代わりに 「**スタート - カラー**」 を押します。

デバイスの更新

HP all-in-one を更新するには、いくつかの方法があります。いずれの方法でも、ご使用のコンピュータにファイルをダウンロードして、「**プリンタ更新ウィザード**」 を起動する必要があります。次のような例があげられます。

- HP カスタマ サポートからのアドバイスにより、HP サポート Web サイトにアクセスして、ご使用のデバイスに該当する更新を入手する場合があります。
- HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイにダイアログが表示されて、デバイスの更新を促すことがあります。

注記　Windows ユーザーの場合、HP サポート Web サイトを指定した周期で自動的に検索してデバイスの更新を探すように、**「ソフトウェアの更新」** ユーティリティ (コンピュータにインストールされている **「HP Image Zone」** ソフトウェアの一部) を設定することができます。**「ソフトウェアの更新」** ユーティリティの詳細については、オンスクリーン **「HP Image Zone ヘルプ」** を参照してください。

デバイスの更新 (Windows)

次のいずれかを実行して、デバイスの更新を入手してください。

- Web ブラウザを使用して、www.hp.com/support から HP all-in-one に該当する更新をダウンロードします。
- **「ソフトウェアの更新」** ユーティリティを使用し、HP サポート Web サイトを指定の周期で自動的に検索してデバイスの更新を探します。

注記　ご使用のコンピュータに **「ソフトウェアの更新」** ユーティリティをインストールすると、デバイスの更新が検索されます。インストール時に最新バージョンの **「ソフトウェアの更新」** ユーティリティを使用していない場合、アップグレードを促すダイアログが画面に表示されます。アップグレードに同意してください。

デバイスの更新 (Macintosh)

デバイス更新インストーラにより、HP all-in-one に更新を適用する方法が提供されます。次の手順に従ってください。

1. Web ブラウザを使用して、www.hp.com/support から HP all-in-one に該当する更新をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
   インストーラがコンピュータ上に開きます。
3. 画面の指示に従って、更新を HP all-in-one にインストールします。
4. HP all-in-one を再起動して、インストール作業を完了します。

トラブルシューティング

17 HP サポートの利用

弊社では、ご使用の HP all-in-one のサポートをインターネットおよび電話で提供しております。
ここでは、インターネットによるサポートの利用、HP カスタマ サポートへの問い合わせ、シリアル番号とサービス ID の確認、および HP all-in-one の発送準備について説明します。
製品に付属する印刷マニュアルまたはオンスクリーン マニュアルで必要な答えが見つからない場合は、以下のページに記載されている HP サポート サービスに問い合わせることができます。一部のサポート サービスは米国とカナダでしか利用できませんが、その他のサポート サービスは世界中の多くの国/地域で利用できます。お住まいの国/地域のサポート サービスの電話番号が記載されていない場合は、最寄りの HP 正規代理店までお問い合わせください。

インターネットからのサポートの利用およびその他の情報の入手

インターネットにアクセス可能な場合は、以下の HP Web サイトからヘルプ情報を入手することができます。
www.hp.com/jp/hho
この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。

HP カスタマ サポート

HP all-in-one には、他社のソフトウェア プログラムが付属している場合があります。このようなプログラムで問題が発生した場合は、そのメーカーの担当技術者に問い合わせると最適な技術サポートが受けられます。
HP カスタマ サポートに問い合わせる必要がある場合は、連絡の前に以下の作業を行ってください。

1 以下の事項を確認します。
   a HP all-in-one が接続され、電源がオンになっていること。
   b 指定のプリント カートリッジが正しく取り付けられていること。
   c 推奨されている用紙が給紙トレイに正しくセットされていること。
2 以下の手順に従って HP all-in-one をリセットします。
   a 「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源をオフにします。
   b 電源コードを HP all-in-one の後部から取り外します。
   c 電源コードを HP all-in-one にもう一度差し込みます。
   d 「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源を入れます。
3 詳細については、www.hp.com/support を参照してください。
   この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。
4 上記の作業を行っても問題が解決されず、HP カスタマ サポート担当に問い合わせる必要がある場合は、以下の作業を行います。
   a 本体のコントロール パネルに明記されている HP all-in-one のモデル名をメモします。

b　セルフテスト レポートを印刷します。セルフテスト レポートの印刷方法については、セルフテスト レポートの印刷を参照してください。
c　サンプル出力として利用できるカラー コピーを作成します。
d　発生した問題を詳しく説明できるように準備します。
e　シリアル番号とサービス ID をメモします。シリアル番号とサービス ID を確認する方法については、シリアル番号とサービス ID の確認を参照してください。

5　HP カスタマ サポートに連絡します。連絡するときは、HP all-in-one の近くで行ってください。

シリアル番号とサービス ID の確認

HP all-in-one の 「情報メニュー」 を使用すると、重要な情報を確認できます。

注記　HP all-in-one の電源がオンになっていない場合は、後部 USB ポートの上に付いている一番上のラベルでシリアル番号を確認できます。シリアル番号は、ラベルの左上隅にある 10 桁のコードです。

1. 「**OK**」 ボタンを押し続けます。「**OK**」 ボタンを押しながら 「**4**」 を押してください。「情報メニュー」 が表示されます。
2. 「モデル番号」 が表示されるまで ▶ を押し、それから 「**OK**」 ボタンを押します。サービス ID が表示されます。
   表示されたサービス ID を省略せずにメモしてください。
3. 「**キャンセル**」 ボタンを押してから、「シリアル番号」 が表示されるまで ▶ を押します。
4. 「**OK**」 ボタンを押します。シリアル番号が表示されます。
   表示されたシリアル番号を省略せずにメモしてください。
5. 「**キャンセル**」 ボタンを押して 「情報メニュー」 を終了します。

他国のサポートへの問い合わせ

以下に記載されている電話番号は、このガイドの発行日の時点での番号です。各国向け HP サポート サービスの最新の電話番号一覧を参照するには、www.hp.com/support にアクセスして、お住まいの国/地域か、言語を選択してください。

以下の国/地域では、HP サポート センターに問い合わせることができます。お住まいの国/地域が一覧にない場合は、お近くの代理店、または最寄りの HP 営業サポート事務所にお問い合わせください。

ヨーロッパについては、国/地域によって電話でのサポート内容や条件が異なりますから、www.hp.com/support でご確認ください。

あるいは、代理店に問い合わせる、またはこのガイドに記載されている電話番号の HP に連絡することもできます。

当社では、電話サポート サービスを向上させるために絶えず努力しています。定期的に当社の Web サイトを確認して、サービスの機能や提供方法に関する新しい情報を入手することをおすすめします。

国/地域	HP 技術サポート	国/地域	HP 技術サポート
アイルランド	+353 1890 923 902	ドイツ (0.12 ユーロ/分)	+49 (0) 180 5652 180

(続き)

国/地域	HP 技術サポート	国/地域	HP 技術サポート
アメリカ合衆国	1-800-474-6836 (1-800-HP invent)	ドミニカ共和国	1-800-711-2884
アラブ首長国連邦	800 4520	ナイジェリア	+234 1 3204 999
アルジェリア[1]	+213 61 56 45 43	ニュージーランド	0800 441 147
アルゼンチン	(54)11-4778-8380, 0-810-555-5520	ノルウェー[2]	+47 815 62 070
イエメン	+971 4 883 8454	ハンガリー	+36 1 382 1111
イギリス	+44 (0) 870 010 4320	バングラデシュ	ファクス：+65-6275-6707
イスラエル	+972 (0) 9 830 4848	バーレーン	800 171
イタリア	+39 848 800 871	パキスタン	ファクス：+65-6275-6707
インド	91-80-8526900	パナマ	001-800-711-2884
インド (通話料無料)	1600-4477 37	パレスチナ	+971 4 883 8454
インドネシア	62-21-350-3408	フィリピン	632-867-3551
ウクライナ、キエフ	+7 (380 44) 4903520	フィンランド	+358 (0) 203 66 767
エクアドル (Andinatel)	999119 +1-800-7112884	フランス (0.34 ユーロ/分)	+33 (0)892 69 60 22
エクアドル (Pacifitel)	1-800-225528 +1-800-7112884	ブラジル (その他の地域)	0800 157751
エジプト	+20 2 532 5222	ブラジル (サンパウロ大都市圏)	(11) 3747 7799
オマーン	+971 4 883 8454	ブルネイ	ファクス：+65-6275-6707
オランダ (0.10 ユーロ/分)	0900 2020 165	プエルトリコ	1-877-232-0589
オーストラリア (保証期間内)	131047	ベトナム	84-8-823-4530
オーストラリア (保証期間後、1 回ごとに料金が発生)	1902 910 910	ベネズエラ	0-800-474-6836 (0-800-HP invent)
オーストリア	+43 1 86332 1000	ベネズエラ (カラカス)	(502) 207-8488

国/地域	HP 技術サポート	国/地域	HP 技術サポート
カタール	+971 4 883 8454	ベルギー (オランダ語)	+32 070 300 005
カナダ (保証期間内)	(905) 206 4663	ベルギー (フランス語)	+32 070 300 004
カナダ (保証期間後、1 回ごとに料金が発生)	1-877-621-4722	ペルー	0-800-10111
カリブおよび中央アメリカ	1-800-711-2884	ボリビア	800-100247
カンボジア	ファクス : +65-6275-6707	ポルトガル	+351 808 201 492
ギリシャ (キプロスからアテネ、通話料無料)	800 9 2649	ポーランド	+48 22 5666 000
ギリシャ (国内向け)	801 11 22 55 47	マレーシア	1-800-805405
ギリシャ (国外向け)	+30 210 6073603	メキシコ	01-800-472-6684
クウェート	+971 4 883 8454	メキシコ (メキシコ市)	(55) 5258-9922
グアテマラ	1800-995-5105	モロッコ[1]	+212 22 404747
コスタリカ	0-800-011-4114, 1-800-711-2884	ヨルダン	+971 4 883 8454
コロンビア	01-800-51-474-6836 (01-800-51-HP invent)	ルクセンブルグ (ドイツ語)	900 40 007
サウジアラビア	800 897 1444	ルクセンブルグ (フランス語)	900 40 006
シンガポール	65 - 62725300	ルーマニア	+40 (21) 315 4442
ジャマイカ	1-800-711-2884	レバノン	+971 4 883 8454
スイス[3]	+41 0848 672 672	ロシア連邦、サンクトペテルブルグ	+7 812 3467997
スウェーデン	+46 (0)77 120 4765	ロシア連邦、モスクワ	+7 095 7973520
スペイン	+34 902 010 059	中国	86-21-38814518, 8008206616
スリランカ	ファクス : +65-6275-6707	中東	+971 4 366 2020

国/地域	HP 技術サポート	国/地域	HP 技術サポート
スロバキア	+421 2 50222444	南アフリカ (RSA)	086 0001030
タイ	0-2353-9000	南アフリカ、共和国以外	+27 11 2589301
チェコ共和国	+420 261307310	台湾	+886 (2) 8722-8000, 0800 010 055
チュニジア[1]	+216 71 89 12 22	日本	+81-3-3335-9800
チリ	800-360-999	英語 (国外向け)	+44 (0) 207 512 5202
デンマーク	+45 70 202 845	西アフリカ	+351 213 17 63 80
トリニダード トバゴ	1-800-711-2884	韓国	+82 1588 3003
トルコ	+90 216 579 71 71	香港特別行政区	+(852) 2802 4098

1 モロッコ、チュニジア、アルジェリアのコール センターでは、フランス語を使用するユーザーをサポートしています。

2 1 回のコールにかかるお金は、0.55 ノルウェー クローネ (0.08 ユーロ)です。1 分間にお客様が支払う料金は、0.39 ノルウェー クローネ (0.05 ユーロ)です。

3 このコール センターでは、スイス国内のドイツ語、フランス語、およびイタリア語を使用するユーザーをサポートしています (ピーク時は 0.08 CHF/分、非ピーク時は 0.04 CHF/分)。

HP カスタマ サポートへの問い合わせ

カスタマー･ケア･センター

TEL : 0570-000-511（ナビダイヤル）

03-3335-9800（ナビダイヤルをご利用いただけない場合）

FAX : 03-3335-8338

月～金 **9:00 ～ 17:00**

土･日 **10:00 ～ 17:00**（祝祭日、**1/1～3** を除く）

FAX によるお問い合わせは、ご質問内容とともに、ご連絡先、
弊社製品名、接続コンピュータ名をご記入ください。

HP Quick Exchange Service

製品に問題がある場合は以下に記載されている電話番号に連絡してください。製品が故障している、または欠陥があると判断された場合、HP Quick Exchange Serviceがこの製品を正常品と交換し、故障した製品を回収します。保証期間中は、修理代と配送料は無料です。また、お住まいの地域にも依りますが、プリンタを次の日までに交換することも可能です。

電話番号： 0570-000511 （自動応答）
:03-3335-9800（自動応答システムが使用できない場合）
サポート時間: 平日の午前 9:00 から午後 5:00 まで
土日の午前 10:00 から午後 5:00 まで。
祝祭日および1月1日から 3日は除きます。

サービスの条件

- サポートの提供は、カスタマケアセンターを通してのみ行われます。
- カスタマケアセンターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。
  ご注意: ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保証期間中あっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

その他の制限

- 運送の時間はお住まいの地域によって異なります。　詳しくは、カスタマケアターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者が行います。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告なしに変更することがあります。

18 保証に関する情報

ここでは、HP all-in-one に付加されている限定保証について説明します。また、保証サービスの取得方法についても説明します。
ここでは、限定保証の期間、保証によるサービス、修理のための HP all-in-one の返送について説明し、さらに、Hewlett-Packard グローバル限定保証の告示について説明します。

限定保証の期間

限定保証の期間 (ハードウェア) - 1 年

限定保証の期間 (CD メディア) - 90 日

限定保証の期間 (プリント カートリッジ) -純正 HP カートリッジのインクが消耗した当日の日付、またはカートリッジに記載されている「保証期限」の日付のうち、どちらか早い方の日付。この保証は、補充、再製品化、改造、誤用、改造されている HP インク製品には適用されません。

保証サービス

HP リペア サービスを利用するには、まず HP サービス オフィスに連絡するか、HP カスタマ サポート センターに連絡して、基本的な問題を解決する必要があります。カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、HP カスタマ サポートを参照してください。

ご使用の HP all-in-one でユーザーによる交換が可能な部品が必要になった場合、HP では発送料、関税、および税金を先払いし、部品の交換時に電話によるサポートを行います。 この他、HP で返送を依頼した部品については、発送料、関税、および税金をお支払いします。これ以外の場合、HP カスタマ サポート センターでは、ユーザーに HP 認定の指定サービス業者を紹介して、製品のサービスを行います。

注記　この情報は日本のユーザーには適用されません。日本のユーザーを対象にしたサービス オプションについては、HP Quick Exchange Serviceを参照してください。

修理のための HP all-in-one の返送

修理等のサービスを受ける際、HP all-in-one を返送する前に、HP カスタマ サポートに連絡してください。カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、HP カスタマ サポートを参照してください。

注記　この情報は日本のユーザーには適用されません。日本のユーザーを対象にしたサービス オプションについては、HP Quick Exchange Serviceを参照してください。

Hewlett-Packard グローバル限定保証の告示

次に HP グローバル限定保証について説明します。

限定保証の範囲

Hewlett-Packard (以下、「HP」という) はエンドユーザー (以下、「ユーザー」という) に対し、関連ソフトウェア、アクセサリ、メディア、およびサプライ品を含め、

お買い上げ日から一定の期間にわたり、それぞれの HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one 製品 (以下、「本製品」という) に材料および製品上の瑕疵がないことを保証します。

本製品の各ハードウェアを対象とする HP の限定保証の期間は、部品および保守作業については 1 年とします。製品のハードウェア以外を対象とする HP の限定保証の期間は、部品および保守作業については 90 日とします。

本製品の各ソフトウェアを対象とする HP の限定保証は、プログラムの命令を実行できない場合にのみ適用されます。HP は、本製品の動作が停止しないことまたは誤動作しないことを保証しません。

HP の限定保証は、本製品を正しく使用した結果として発生した瑕疵のみを対象とするものであり、(a) 不適切な保守または改造、(b) HP によってサポートされていないソフトウェア、アクセサリ、メディア、またはサプライ品、あるいは (c) 本製品の仕様外の動作に起因する問題を含め、その他のあらゆる問題は保証の対象になりません。

本製品の各ハードウェアについては、HP 以外のインク カートリッジまたは詰め替え用のインク カートリッジを使用しても、ユーザーに対する保証またはユーザーとの HP のサポート契約には影響しません。ただし、本製品の障害または損傷が HP 以外のインク カートリッジまたは詰め替え用のインク カートリッジを使用したことに起因する場合は、HP は本製品の障害または損傷を修理するための標準の作業費および材料費を請求するものとします。

保証の適用期間内に、HP が本製品の瑕疵の報告を受けた場合は、HP はその裁量により、瑕疵のある本製品を修理または交換するものとします。保守作業費が HP の限定保証の対象とならない場合、修理は HP の標準の保守作業費で行われるものとします。

HP の保証の対象である瑕疵のある本製品を、修理または交換することが不可能な場合は、瑕疵があることが通知されてから妥当な期間内に本製品の購入費用を払い戻しいたします。

HP は、ユーザーが瑕疵のある本製品を HP に返却するまでは修理、交換、または払い戻しを行う義務はないものとします。

交換用の製品は、新品または新品同様のものとします。ただし、交換される本製品と同等以上の機能を持つものとします。

本製品を含め、HP 製品には、性能が新品と同等の再生部品、再生装置、または再生材料が使用されていることがあります。

本製品に対する HP の限定保証は、HP が本製品の販売を行っているあらゆる国/地域で有効です。HP または正規代理店が本製品の販売を行っている国/地域では、HP 認定のサービス業者に出張修理サービスなどの追加保証サービスについて問い合わせることができます。

保証の制限

現地の法律によって許可される範囲において、HP および第三者の供給業者のいずれも、対象の HP 製品に関して、明示または黙示に関係なく他のいかなる種類の保証または条件も制定しません。 また、市場性、十分な品質、および特定目的への適合性の保証または条件について責任を否認します。

責任の制限

現地の法律によって許可される範囲において、この限定保証の告知で提供される補償は、ユーザーの独占的および排他的な補償です。

現地の法律によって許可される範囲において、この限定保証の告知に明記された義務を除き、HP または第三者の供給業者は、直接的、間接的、特殊、付随的、または結果的な損害に対しては、契約、不法行為、またはその他のいかなる合法的見解に基づくものであるかどうかを問わず、また上記の損害の可能性を通知したかどうかを問わず、その責任を負わないものとします。

現地法

この限定保証の告示により、ユーザーには法律上の特定の権利が付与されます。また、ユーザーは、その他の権利も有しますが、この権利は米国およびカナダでは州によって異なり、世界的な見地でも国/地域によって異なります。

この限定保証の告示が現地の法律と矛盾する場合に限り、この告示はその現地の法律と矛盾しないように修正されているとみなされるものとします。上記の現地の法律の下では、この告示の特定の免責条項および制限がユーザーに適用されないことがあります。たとえば、米国の一部の州の他、米国以外の一部の政府では (カナダの州を含め)、以下の事例が発生することがあります。

この告示の免責条項および制限で、法律によって定められたユーザーの権利を制限することができなくなることがあります (イギリスなど)。

あるいは、上記の免責条項または制限条項をメーカーが実施できないように制限されることがあります。

また、別の保証の権利をユーザーに付与したり、メーカーが否認できない黙示的な保証期間を指定したりするほか、黙示的な保証期間への制限を許可しないことがあります。

オーストラリアおよびニュージーランドでの消費者の取り引きにおいては、この限定保証の告示の条項は、合法的に許可された場合を除き、対象の HP 製品の当該消費者への販売に適用可能な、法律によって定められた必須の権利を除外、制限、または修正しません。

EU 諸国/地域に対する限定保証情報

EU 諸国/地域で HP の限定保証 (メーカー保証) を付与できる HP 企業の会社名と所在地を以下に示します。

このメーカー保証の他にも、購買契約に基づいて売り手に対抗できる法的特権がユーザーには与えられます。この特権は、メーカー保証によって制限されません。

ベルギー/ルクセンブルグ Hewlett-Packard Belgium SA/NV Woluwedal 100 Boulevard de la Woluwe B-1200 Brussels	アイルランド Hewlett-Packard Ireland Ltd. 30 Herbert Street IRL-Dublin 2
デンマーク Hewlett-Packard A/S Kongevejen 25 DK-3460 Birkeroed	オランダ Hewlett-Packard Nederland BV Startbaan 16 1187 XR Amstelveen NL
フランス Hewlett-Packard France 1 Avenue du Canada	ポルトガル Hewlett-Packard Portugal - Sistemas de Informática e de Medida S.A.

Zone d'Activite de Courtaboeuf F-91947 Les Ulis Cedex	Edificio D. Sancho I Quinta da Fonte Porto Salvo 2780-730 Paco de Arcos P-Oeiras
ドイツ Hewlett-Packard GmbH Herrenberger Straße 110-140 D-71034 Böblingen	オーストリア Hewlett-Packard Ges.m.b.H. Lieblgasse 1 A-1222 Wien
スペイン Hewlett-Packard Española S.A. Carretera Nacional VI km 16.500 28230 Las Rozas E-Madrid	フィンランド Hewlett-Packard Oy Piispankalliontie 17 FIN-02200 Espoo
ギリシャ Hewlett-Packard Hellas 265, Mesogion Avenue 15451 N. Psychiko Athens	スウェーデン Hewlett-Packard Sverige AB Skalholtsgatan 9S-164 97 Kista
イタリア Hewlett-Packard Italiana S.p.A Via G. Di Vittorio 9 20063 Cernusco sul Naviglio I-Milano	イギリス Hewlett-Packard Ltd Cain Road Bracknell GB-Berks RG12 1HN

19 技術情報

この章には HP all-in-one に該当するシステム要件、用紙、印刷、コピー、メモリカード、およびスキャンの仕様、物理的仕様、電気的仕様、環境仕様、規制に関する告知、および適合宣言に関する情報が記載されています。

システム要件

ソフトウェアのシステム要件は Readme ファイルに記載されています。Readme ファイルの表示方法については、Readme ファイルの表示を参照してください。

用紙の仕様

ここには、用紙トレイの収容枚数、用紙サイズ、印刷余白の仕様に関する情報が記載されています。

用紙トレイの収容枚数

種類	用紙の重さ	給紙トレイ[1]	排紙トレイ[2]
普通紙 (15 mm)	16 ～ 24 lb.(60 ～ 90 gsm)	150 (20 lb. の用紙)	50 モノクロ (20 lb. の用紙) 20 カラー (20 lb. の用紙)
インデックス カード	110 lb. はがき大まで (200 gsm)	30	30
はがき (15 mm)	N/A	60	60
封筒 (15 mm)	20 ～ 24 lb.(75 ～ 90 gsm)	21	10
バナー (4 mm)	16 ～ 24 lb.(60 ～ 90 gsm)	20	20 枚以下
OHP フィルム	N/A	25	25 枚以下
ラベル (8 mm)	N/A	30	30
L 判/10 × 15 のフォト用紙	145 lb. (236 gsm)	30	30
A4/8.5 x 11 インチ (216 x 279 mm) フォト用紙	N/A	20	20

1 最大収容枚数

2 排紙トレイの収容枚数は、用紙の種類および使用するインクの量の影響を受けます。排紙トレイは頻繁に空にしてください。

用紙サイズ

種類	サイズ
用紙	レター：216 x 279 mm A4：210 x 297 mm A5：148 x 210 mm エグゼクティブ：184.2 x 266.7 mm リーガル[1]：216 x 356 mm
バナー	HP バナー用紙、90 g/m2 (24 lb. ボンド紙)、A (C1820A) および A4 サイズ HP 以外の 3 つ折りコンピュータ用紙、60 ～ 90 g/m^2 (16-24 lb. ボンド紙)、A および A4 サイズ (トラクターのミシン目を取り除いた状態)
封筒	U.S. #10：104 x 241 mm A2：111 x 146 mm DL：110 x 220 mm C6：114 x 162 mm
OHP フィルム	レター：216 x 279 mm A4：210 x 297 mm
フォト用紙	102 x 152 mm 127 x 178 mm レター：216 x 279 mm A4：210 x 297 mm
カード	インデックス カード：76.2 x 127 mm インデックス カード：101 x 152 mm インデックス カード：127 x 203.2 mm 127 x 178 mm A6：105 x 148.5 mm はがき：100 x 148 mm
ラベル	レター：216 x 279 mm A4：210 x 297 mm
カスタム	77 x 127 mm ～ 215 x 609 mm

1 20 lb. 以上

技術情報

印刷余白の仕様

	上 (先端)	下 (後端) [1]	左	右
U.S. (レター、リーガル)	1.8 mm	3 mm	3.2 mm	3.2 mm
エグゼクティブ	1.8 mm	6 mm	3.2 mm	3.2 mm
ISO (A4、A5) および JIS (B5)	1.8 mm	6.0 mm	3.2 mm	3.2 mm
封筒	1.8 mm	14.3 mm	3.2 mm	3.2 mm
インデックス カード (3 x 5 インチ、4 x 6 インチ、5 x 8 インチ)	1.8 mm	6.0 mm	3.2 mm	3.2 mm
インデックス以外のカード (4 x 6 インチ)	3.2 mm	3 mm	3.2 mm	3.2 mm
A6 カード	1.8 mm	6 mm	3.2 mm	3.2 mm
L 判 のフォト用紙	3.2 mm	3.2 mm	3.2 mm	3.2 mm

1　この余白は該当しませんが、合計の印刷領域は該当します。印刷領域は、中心から 5.4 mm (0.21 インチ) オフセットされています。このため、上と下の余白は同じではありません。

印刷の仕様

- 1200 x 1200 dpi モノクロ
- 1200 x 1200 dpi カラー グラフィック解像度
- 印刷速度は、文書の複雑さによって異なります。
- パノラマサイズ印刷
- 方法：オンデマンド型サーマル インクジェット
- 言語：HP PCL レベル 3、PCL3 GUI または PCL 10
- オプションのフォト プリント カートリッジおよびグレー プリント カートリッジ
- 動作周期：500 ページ/月 (平均)
- 動作周期：1250 ページ/月 (最大)

モード		解像度 (dpi)	普通紙での印刷速度 (ppm)	L 判フチ無し写真での印刷速度 (秒)
最大 dpi	モノクロおよびカラー	1200 x 1200 dpi (最大 4800 dpi に最適化) [1]	0.5	150
高画質	モノクロおよびカラー	1200 x 1200[2]	2.1	96
きれい	モノクロ	600 x 600	9.8	53

技術情報

モード		解像度 (dpi)	普通紙での印刷速度 (ppm)	L 判フチ無し写真での印刷速度 (秒)
	カラー	600 x 600	5.7	53
はやい (標準)	モノクロ	600 x 600	11.6	33
	カラー	600 x 600	7.4	33
はやい (最速)	モノクロ	300 x 300	30	27
	カラー	300 x 300	20	27

1 最大 4800 x 1200 dpi に最適化されたカラー印刷。フォト プリント カートリッジを追加すると、印刷品質が向上します。

2 フォト用紙を使用した PhotoREt カラー印刷

コピーの仕様

- デジタル画像処理
- 原稿からのコピーは 99 枚まで (モデルによって異なります)
- 25 ～ 400% のデジタル ズーム (モデルによって異なります)
- ページに合わせて印刷、ポスター印刷、割り付け印刷
- 最大 30 枚/分のモノクロ コピー、最大 20 枚/分のカラー コピー (モデルによって異なります)
- コピーの速度は、文書の複雑さによって異なります。

モード		速度 (ppm)	印刷の解像度 (dpi)	スキャンの解像度 (dpi)
高画質	モノクロ	最大 0.8	1200 x 1200	1200 x 1200[1]
	カラー	最大 0.8	1200 x 1200 dpi (最大 4800 dpi に最適化) [1]	1200 x 1200[1]
きれい	モノクロ	最大 9.8	600 x 600	300 x 300
	カラー	最大 5.7	600 x 600	300 x 300
はやい	モノクロ	最大 30	300 x 300	300 x 300
	カラー	最大 20	300 x 300	300 x 300

1 プレミアム フォト用紙を使用

ファクスの仕様

- ウォークアップのモノクロおよびカラー ファクス機能
- 最大 75 個の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)
- 最大 90 ページ分のメモリ (モデルによって異なります。標準解像度で ITU-T Test Image #1 を使用した場合の例です。)さらに複雑なページまたは高い解像度の場合、所要時間が長くなり、使用するメモリも増えます。
- 手動での複数ページ ファクス
- 最大 5 回の自動ビジー リダイヤル (モデルによって異なります)

- 自動応答なしリダイヤル 1 回 (モデルによって異なります)
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー補正モードあり)
- 33.6 Kbps での送信
- 1 ページあたり 3 秒の送信速度 (標準解像度で ITU-T Test Image #1 を使用した場合の例です)。さらに複雑なページまたは高い解像度の場合、所要時間が長くなり、使用するメモリも増えます。
- 自動ファクス/自動切り替えによる呼び出し音検出

	写真 (dpi)	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
モノクロ	200 x 200	200 x 200	200 x 100
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200

メモリ カードの仕様

- メモリ カード上のファイル数 (最大推奨値)： 1,000
- 各ファイルのサイズ (最大推奨値)：12 メガピクセル (最大)、8 MB (最大)
- メモリ カードのサイズ (最大推奨値)：1 GB (半導体のみ)

注記　メモリ カードの最大推奨値に近づくと、HP all-in-one のパフォーマンスが期待値より遅くなる場合があります。

サポートされるメモリ カードの種類

- CompactFlash
- SmartMedia
- Memory Stick
- Memory Stick Duo
- Memory Stick Pro
- Secure Digital
- MultiMediaCard (MMC)
- xD-Picture カード

スキャンの仕様

- イメージ エディタ付属
- 統合された OCR ソフトウェアによって、スキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換 (Windows のみ)
- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります。
- Twain 対応インタフェース
- 解像度：2400 x 4800 dpi (光学)、19200 dpi (ソフトウェアによる補間解像度)
- カラー：48 ビット カラー、8 ビット グレースケール (256 階調の灰色)
- ガラス板での最大スキャン サイズ：216 x 297 mm (8.5 x 11.7 インチ)

物理的仕様

- 高さ：21.21 cm (カラー グラフィック ディスプレイを倒した位置)
- 幅：46.4 cm
- 奥行き：37.2 cm

49 cm (HP 自動両面印刷モジュール取り付け時)

- 重量 : 8.5 kg
  10.8 kg (HP 自動両面印刷モジュール)

電気的仕様

- 消費電力 : 最大 75 W
- 入力電圧 : AC 100 ～ 240 V、2 A、50 - 60 Hz, アース済み
- 出力電圧 : DC 31Vdc===2420 mA

環境仕様

- 推奨される動作時の温度範囲 : 15 ～ 32°C (59 ～ 90°F)
- HP all-in-one の許容される動作時の温度範囲 : 5 ～ 40°C (41 ～ 104°F)
- 印刷システムの許容される動作時の温度範囲 : -15 ～ 35°C (5 ～ 104°F)
- 湿度 : 15% ～ 85% RH (結露なきこと)
- 非動作時 (保管時) の温度範囲 : -4 ～ 60 °C (-40 ～ 140°F)
- 強い電磁気が発生している場所では、HP all-in-one の印刷結果に多少の歪みが出るおそれがあります。
- 強い電磁気が原因で発生するインクジェットのノイズを最小化するために、使用する USB ケーブルは長さが 3 m 以下のものとしてください。

その他の仕様

メモリ : 16 MB ROM、64 MB DRAM

インターネットにアクセス可能な場合は、騒音に関する情報を次の HP Web サイトから入手することができますお問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。
www.hp.com/support

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

ここでは、環境の保護、オゾン生成、エネルギー消費、化学物質安全性データシート、リサイクル プログラムについて説明します。
ここには、環境基準に関する情報も記載されています。

環境の保護

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品は、私たちの環境への影響を最も少なくする特性を備えるように設計されています。
詳細については、以下の HP の「環境保護」の Web サイトにアクセスしてください。
www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

オゾンの生成

この製品では、検出可能なオゾン ガス (O3) は生成されません。

Energy consumption

Energy usage drops significantly while in ENERGY STAR® mode, which saves natural resources, and saves money without affecting the high performance of this product. This product qualifies for ENERGY STAR, which is a voluntary program established to encourage the development of energy-efficient office products.

ENERGY STAR is a U.S. registered service mark of the U.S. EPA. As an ENERGY STAR partner, HP has determined that this product meets ENERGY STAR guidelines for energy efficiency.

For more information on ENERGY STAR guidelines, go to the following website:

www.energystar.gov

用紙の使用

この製品は、DIN 19309 に準拠したリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラムを超えるプラスチック部品は、製品が役目を終えたときにリサイクルするため、プラスチックを識別しやすくする国際規格に従って記号が付けられています。

化学物質安全性データ シート

化学物質怒™

www.hp.com/go/msds

インターネットにアクセスできないユーザーは、最寄りの HP カスタマ ケア センターにお問い合わせください。

リサイクル プログラム

HP では、より多くの製品を返却してもらえるよう、リサイクル プログラムを多くの国で展開しているほか、世界で最大の電子機器リサイクル センターのいくつかと協力しています。また、HP では最も広く使用されている製品のいくつかを再生し、再度販売することによって、資源を保護しています。

本 HP 製品には、製品が役目を終えたときに特別な取り扱いが必要な物質が含まれています。

- 水銀 (スキャナの蛍光灯内、2 mg 未満)
- 鉛 (はんだ内)

HP インクジェット消耗品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、以下の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

規制に関する告知

HP all-in-one は、お住まいの国/地域の規制当局が設定している製品要件を満たしています。

ここでは、ワイヤレス機能以外を対象とする規制項目について説明します。

規制モデルの ID 番号

規制の識別を目的として、お使いの製品には規制モデル番号が割り当てられています。ご使用の製品の規制モデル番号は、SDGOB-0304-01/SDGOB-0304-02 です。この規制番号を、市販名 (HP Photosmart 2600/2700 series all-in-one) や製品番号 (Q3450A/Q3452A) と混同しないでください。

Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent Number (REN) for this equipment. If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant. This equipment connects to the telephone network through the following standard network interface jack: USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called. Too many devices on one line may result in failure to ring in response to an incoming call. In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company may discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC. Your telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service.

If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information. Your telephone company may ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company. Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability. When programming and/or making test calls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

注記 The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of

each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided may not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.) In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

Declaration of Conformity: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. Class B limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For more information, contact the Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, San Diego, (858) 655-4100.

The user may find the following booklet prepared by the Federal Communications Commission helpful: How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems. This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington DC, 20402. Stock No. 004-000-00345-4.

注意　Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett-Packard Company may cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

「Exposure to radio frequency radiation」

注意　The radiated output power of this device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. This product and any attached external antenna, if supported, shall be placed in such a manner to minimize the potential for human contact during normal operation. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20 cm (8 inches) during normal operation.

Note à l’attention des utilisateurs du réseau téléphonique Canadien/notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d’Industrie Canada. Le numéro d’enregistrement atteste de la conformité de l’appareil. L’abréviation IC qui précède le numéro d’enregistrement indique que l’enregistrement a été effectué dans le cadre d’une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d’Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l’appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s’assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d’alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d’alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d’une interface peut se composer de n’importe quelle combinaison d’appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.2B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.

注記 The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.2B, based on FCC Part 68 test results.

Notice to users in the European Economic Area

This product is designed to be connected to the analog Switched Telecommunication Networks (PSTN) of the European Economic Area (EEA) countries/regions.

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the

individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

Notice to users of the German telephone network

This HP fax product is designed to connect only to the analogue public-switched telephone network (PSTN). Please connect the TAE N telephone connector plug, provided with the HP all-in-one into the wall socket (TAE 6) code N. This HP fax product can be used as a single device and/or in combination (in serial connection) with other approved terminal equipment.

Geräuschemission

LpA < 70 dB am Arbeitsplatz im Normalbetrieb nach DIN 45635 T. 19

日本のユーザーに対する告知 (VCCI-2)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

Notice to users in Korea

사용자 안내문(B급 기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파 적합 등록을 받은 기기로서, 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

ワイヤレス製品の規制に関する告知

ここでは、ワイヤレス製品を対象とする規制について説明します。

Note à l'attention des utilisateurs Canadien/notice to users in Canada

「**For Indoor Use.**」 This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from the digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications. The internal wireless radio complies with RSS 210 of Industry Canada.

「**For Indoor Use.**」 Le présent appareil numérique n'émet pas de bruit radioélectrique dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la classe B prescrites dans le Règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le

ministère des Communications du Canada. Le composant RF interne est conforme a la norme CDN-210 d'Industrie Canada.

ARIB STD-T66

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

１　この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。

２　万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。

３　その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

連絡先：日本ヒューレット・パッカード株式会社　ＴＥＬ：０１２０－０１４１２１

２．４ＤＳ ４

Notice to users in Italy

License required for use. Verify with your dealer or directly with General Direction for Frequency Planning and Management (Direzione Generale Pianificazione e Gestione Frequenze).

E'necessaria una concessione ministeriale anche per l'uso del prodotto. Verifici per favore con il proprio distributore o direttamente presso la Direzione Generale Pianificazione e Gestione Frequenze.

Notice to users in France

For 2.4 GHz Wireless LAN operation of this product certain restrictions apply: This equipment may be used indoor for the entire 2400-2483.5 MHz frequency band (channels 1-13). For outdoor use, only 2454-2483.5 MHz frequency band (channels 10-13) may be used. For the latest requirements, see www.art-telecom.fr.

Pour une utilisation en rseau sans fil 2,4 GHz de ce produit, certaines restrictions s'appliquent : cet appareil peut tre utilis l'intrieur des btiments sur toute la bande de frquences 2400-2483,5 MHz (canaux 1 13). Pour une utilisation l'extrieur des btiments, seule la partie 2454-2483,5 MHz (canaux 10 13) peut tre utilise. Pour connatre les dernires rglementations en vigueur, consultez le site Web www.art-telecom.fr.

Notice to users in the European Economic Area (wireless products)

Radio products with the CE 0984 or CE alert marking comply with the R&TTE Directive (1999/5/EC) issued by the Commission of the European Community.

注記　Low-power radio LAN product operating in 2.4-GHz band, for Home and Office environments. In some countries/regions, using the product may be subject to specific restrictions as listed for specific countries/regions below.

This product may be used in the following EU and EFTA countries/regions: Austria, Belgium, Denmark, Finland, Germany, Greece, Iceland, Ireland, Italy, Liechtenstein, Luxembourg, Netherlands, Norway, Portugal, Sweden, Switzerland and United Kingdom. For normal wireless LAN operation of this product, only a limited band is available in France (Channels 10, 11, 12 and 13). L'Autorité de régulation des télécommunications (ART) has special regulations for hotspots allowing additional channels. For more information, including local rulings and authorization, please see the ART website : www.art-telecom.fr.

Declaration of conformity (European Economic Area)

The Declaration of Conformity in this document complies with ISO/IEC Guide 22 and EN 45014. It identifies the product, manufacturer's name and address, and applicable specifications recognized in the European community.

HP Photosmart 2600 series declaration of conformity

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name:	Hewlett-Packard Company
Manufacturer's Address:	16399 West Bernardo Drive San Diego CA 92127, USA

declares, that the product

Regulatory Model Number:	SDGOB-0304-01
Product Name:	Photosmart 2600 Series (Q3450A)
Model Number(s):	2610 (Q5542A/B, Q5548C), 2610xi (Q5543A), 2608 (Q5541D), 2610v (Q5550A), 2605 (Q5551A/B), 2615 (Q5553B), 2613 (Q5546C)
Power Adapter(s) HP part#:	0950-4483 (domestic) 0950-4484 (international)

conforms to the following Product Specifications:

Safety:	IEC 60950-1: 2001 EN 60950-1: 2002 IEC 60825-1 Edition 1.2: 2001 / EN 60825-1+A11+A2+A1: 2002 Class 1(Laser/Led) UL 60950-1: 2003 CAN/CSA-22.2 No. 60950-1-03 NOM 019-SFCI-1993, AS/NZS 60950: 2000, GB4943: 2001
EMC:	CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 Class B CISPR 24:1997 / EN 55024:1998 IEC 61000-3-2: 2000 / EN 61000-3-2: 2000 IEC 61000-3-3/A1: 2001 / EN 61000-3-3/ A1: 2001 CNS13438:1998, VCCI-2 FCC Part 15-Class B/ICES-003, Issue 2 GB9254: 1998
Telecom:	TBR 21:1998, AS/ACIF S002:2001, FCC Part 68

Supplementary Information:

The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EC, the EMC Directive 89/336/EC and with the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) and carries the CE-marking accordingly. The product was tested in a typical configuration.

11 March 2004
Date

Steve Smith, Hardware Test & Regs MGR.

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, D-71034 Böblingen Germany. (FAX +49-7031-14-3143

HP Photosmart 2700 series declaration of conformity

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name: Hewlett-Packard Company

Manufacturer's Address: 16399 West Bernardo Drive
San Diego CA 92127, USA

Declares, that the product

Regulatory Model Number: SDGOB-0304-02
Product Name: Photosmart 2700 Series (**Q3452A)**
Model Number(s): 2710 (Q5552A/B, Q5545C), 2710xi (Q5544A), 2713 (Q5547C)
Power Adapter(s) HP part#: 0950-4483 (domestic), 0950-4484 (international)
Radio Module Model No: RSVLD-0303
Conforms to the following Product Specifications:

Safety:
IEC 60950-1: 2001
EN 60950-1: 2002
IEC 60825-1 Edition 1.2: 2001 / EN 60825-1+A11+A2+A1: 2002 Class 1(Laser/Led)
UL 60950-1: 2003
CAN/CSA-22.2 No. 60950-1-03
NOM 019-SFCI-1993, AS/NZS 60950: 2000, GB4943: 2001

EMC:
CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 Class B
CISPR 24:1997 / EN 55024:1998
IEC 61000-3-2: 2000 / EN 61000-3-2: 2000
IEC 61000-3-3/A1: 2001 / EN 61000-3-3/ A1: 2001
CNS13438:1998, VCCI-2
FCC Part 15-Class B/ICES-003, Issue 2
GB9254: 1998,
EN 301 489-17 v1.2.1 (2002)

Telecom:
Option for Analogue modem: TBR 21:1998 / AS/ACIF S008: 2001/ FCC Part 68

Option for Radio Link: EN 300 328-2 v1.2.1 (2001),
Equipment Class 2, R&TTE Directive Annex 4

Notified Body Number – 0984 CE 0984 ⓘ

Health:
EU: 1999/519/EC

Supplementary Information:

The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EC, the EMC Directive 89/336/EC and with the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex 2/4) and carries the CE-marking accordingly. The product was tested in a typical configuration.

11 March 2004
Date

Steve Smith, Hardware Test & Regs MGR.

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, D-71034, Böblingen, Germany. FAX +49-7031-14-3143

索引

この印刷物には、50%以上の再生パルプと
10%以上の再生紙を使用しています。

Electronic Edition

www.hp.com

Q3450-90237